The essentials of imaging

bizhub C360/C280/C220

ユーザーズガイド　ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編

もくじ

1 はじめに

2 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

3 操作パネル / 液晶画面

4 基本情報の登録

5 送信する

6 受信する（G3/IP/I-FAX）

7 電話をかける / 受ける（G3）

8 便利な機能（G3/IP/I-FAX）

9 レポート / リストの見かた

10 ユーザーモード設定

12 PageScope Web Connection

13　ファクス / スキャン機能で困ったとき

14　付録

15 索引

1 はじめに

1　はじめに

1.1　ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1　マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[すぐに使える操作ガイド]	すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー機能編]	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 ・ 原稿、コピー用紙の仕様 ・ コピー機能 ・ 本機のメンテナンス ・ トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド 拡大表示機能編]	拡大表示機能の操作について記載しています。 ・ コピー機能 ・ スキャナー機能 ・ G3 ファクス機能 ・ ネットワークファクス機能
[ユーザーズガイド プリンター機能編]	プリンター機能について記載しています。 ・ プリンター機能 ・ プリンタードライバーの設定
[ユーザーズガイド ボックス機能編]	ハードディスクを利用したボックス機能について記載しています。 ・ ボックスへのデータ保存 ・ ボックスからのデータの取出し ・ ボックスからのデータの印刷、転送
[ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編]	スキャンしたデータの送信方法を記載しています。 ・ E-mail 送信、FTP 送信、SMB 送信、ボックス保存、WebDAV 送信、Web サービス ・ G3 ファクス ・ IP アドレスファクス、インターネットファクス
[ユーザーズガイド ファクスドライバー機能編]	コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバー機能について記載しています。 ・ PC-FAX
[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]	ネットワークを利用した各機能の設定方法を記載しています。 ・ ネットワークの設定 ・ PageScope Web Connection を使用した設定

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
［ユーザーズガイド 拡張機能編］	オプションのライセンスキットでご利用いただける機能、およびアプリケーションと連携することでご利用いただける機能について記載しています。 ・ Web ブラウザー機能 ・ イメージパネル ・ PDF 処理機能 ・ 音声ガイド機能 ・ サーチャブル PDF ・ My パネル、My アドレス機能
［商標 / ライセンスについて］	商標およびライセンスについて記載しています。 ・ 商標、著作権について

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、トラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。トラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービスエンジニアにご連絡ください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ **警告**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

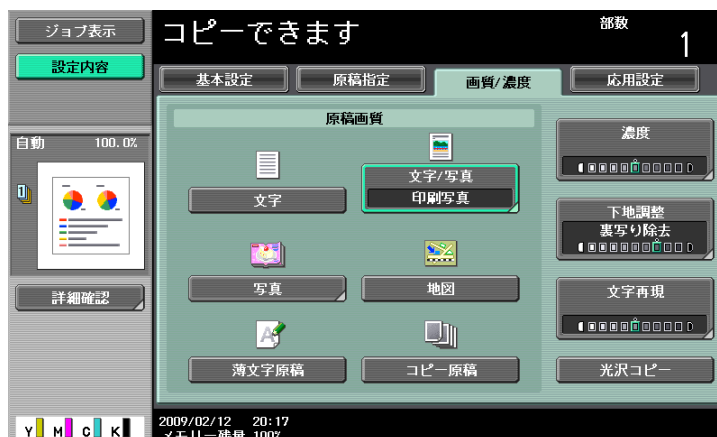
2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

→ この記号は、目的のメニューにアクセスする操作パネルの遷移を表します。

目的の画面を表示しています。

参照

参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

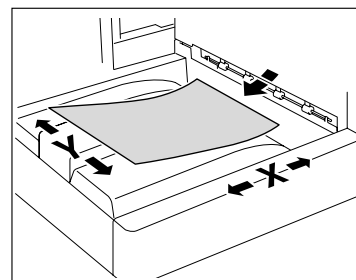
キー記号について

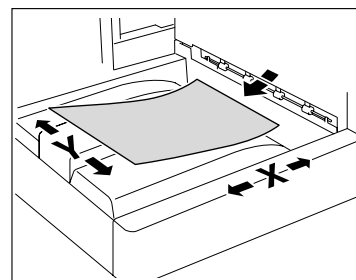
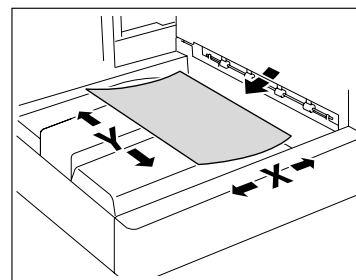
[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2 原稿と用紙の表示について

原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを と表示します。

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを と表示します。

2 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

2 ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能を使用する前に

本機のファクス、スキャン機能を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

2.1 知っておいていただきたいこと

⚠ 注意

- **主電源スイッチ**を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと正常に機能しないことがあります。

2.1.1 送信機能について

機能の種類

本機では、スキャンした画像をネットワークや電話回線を通じて送受信できます。このユーザーズガイドで紹介している機能は以下のとおりです。

機能	送信方法
ネットワークスキャン機能	· E-mail 送信 · FTP 送信 · SMB 送信 · ボックス保存 · WebDAV 送信 · Web サービス
ファクス機能	· G3 ファクスの送受信 · ポーリング
ネットワークファクス機能	· インターネットファクス（I-FAX） · IP アドレスファクス

ファクス機能（G3）使用時の注意

参考

- ファクス機能を使用するには、オプションの **FAX キット FK-502** が必要です。

本機はカラーでファクスを送受信することはできません。

本機を接続することのできる電話回線は以下のとおりです。

- 加入電話回線（ファクス通信網を含む）
- PBX（構内交換機 2 線式）

使用する電話回線について以下の項目を確認してください。

- 外部電話としてビジネスホンを接続することはできません。
- キャッチホンとの併用はできません。
- お客様のお使いの社内ネットワークなどで、デジタル専用線を多重化している場合は、ファクス通信の伝送速度が制限されたり、SuperG3 による通信ができなくなる可能性があります。

ごくまれに、工場出荷時の設定で通信エラーが発生する場合があります。これらの制約は、多重化装置が音声使用を前提に回線の使用帯域を限界まで制限しているためです。なお、ネットワークを構成する装置によってもこれらの制約は異なります。詳しくは、お客様がお使いのネットワーク管理者にお問い合わせください。

ネットワークファクス使用時の注意

ネットワークファクス機能を使用するためには、以下の環境が必要です。

- 本機がネットワークに接続されている<必須>

TCP/IP ネットワークの環境下で使用できます。はじめにネットワークに接続するためのケーブルを接続します。

詳しくは、4-2 ページをごらんください。また、ネットワーク上で使用するためには本機の IP アドレスなどの設定が必要です。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

インターネットファクス使用時の注意

インターネットファクス使用時の注意は以下のとおりです。

- インターネットファクス機能を使用する場合は、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- インターネットファクス機能を使用できる環境は以下のとおりです。
  - 本機がネットワークに接続され、電子メールの送受信ができる
  - 管理者設定の［ネットワークファクス機能設定］でインターネットファクス機能が［ON］に設定されている
- 電子メールの送信を行った場合、ネットワークの状況などにより添付ファイルが破損する場合があります。送信文書の添付ファイルが破損していないか必ず確認してください。
- 送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。「----」はサーバーまでは通常に通信できたことを示しています。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に［OK］が表示されます。重要な内容を送受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。

参照

［ネットワークファクス機能設定］については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

IP アドレスファクス使用時の注意

IP アドレスファクス使用時の注意は以下のとおりです。

- IP アドレスファクス機能を使用する場合は、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- IP アドレスファクスを使用するには、オプションの FAX キット FK-502 が必要です。
- IP アドレスファクス機能を使用する場合、増設回線は使用できません。

2.1.2　ユーザーの認証

本機の使用にあたって、部門名やユーザー名、パスワードを入力するよう設定されている機器があります。使用できる部門名やユーザー名は管理者に確認してください。

参考

- 管理者設定の［認証操作禁止機能］でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。

本体装置認証

ユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］または ID を押します。

外部サーバー認証

ユーザー名、パスワード、サーバー名称を指定し、［ログイン］または ID を押します。

部門認証

部門名とパスワードを入力し、［ログイン］または ID を押します。

2.1.3 ファイル名の制限

ファイル名には以下の制限があります。

- 保存する文書のデータに名前を付けることができます。
- 名称の長さは半角で 30 文字までです。
- 名称は保存したあとから変更することもできます。
- 名称は保存時に指定できますが、指定しないで保存したときはあらかじめ設定された名称が付けられます。
- 名称を指定しないで保存した場合、名称は以下の内容を組み合わせて付けられます。
「SKMBT_C36009102315230」を例に説明します。

項目	説明
S	保存したときのモードを表しています。 C：コピー S：ファクス / スキャン、ボックス P：プリンター
KMBT_C360	データを読込んだデバイス（機器）の名称です。出荷時の設定は「KMBT_（製品名）」となっています。この名称は管理者設定の［管理者 / 本体登録］の［装置名］で変更できます。10 文字以内で設定します。
09102315230	読込みを行った年（西暦の下 2 桁）、月日、時、分を続けて表示します。最後の 1 桁は分の中で続けて読込みした場合に連番がつきます。
_0001	複数ページのデータを読込んだとき、ページを表します。この数字は「文書名」の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。FTP 送信時などにサーバーのファイル名受付の条件がある場合、この部分も考慮して名称を付けてください。
.TIF	指定したデータ形式の拡張子です。この文字は「文書名」の画面では表示されませんが、送信時に自動的にファイル名の一部として付けられます。

参考

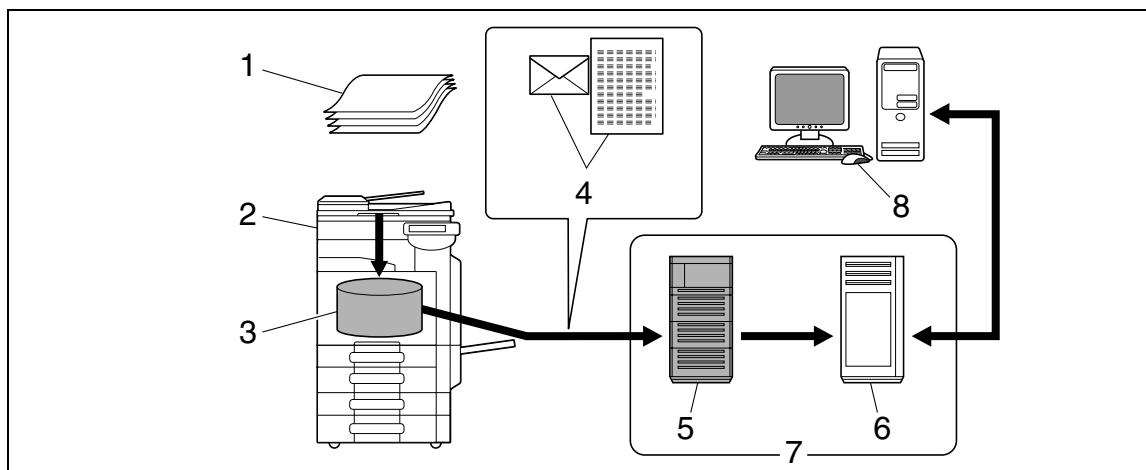
- ファクス / スキャン画面、ボックス画面で保存した文書はすべて「S」となります。

2.2 概要

2.2.1 ネットワークスキャン機能でできること

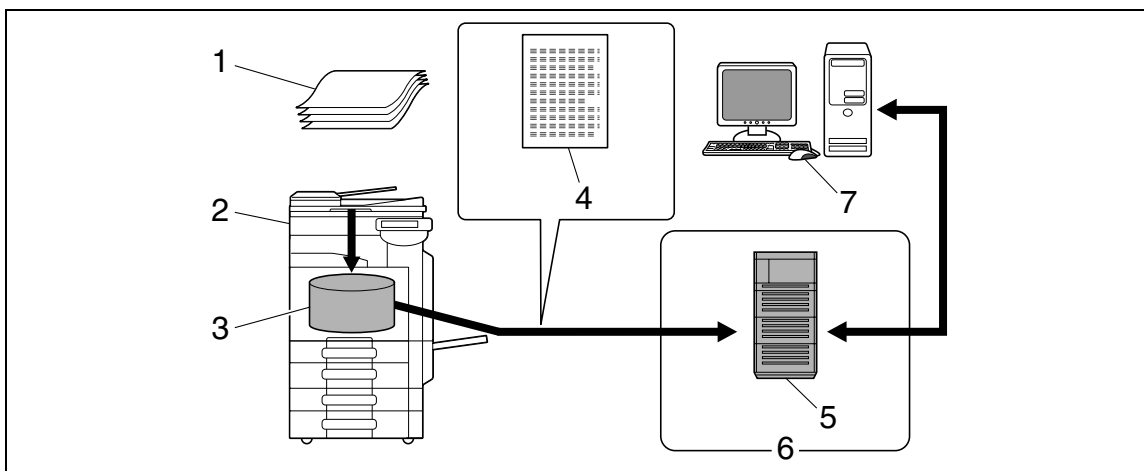
本機の ADF または原稿ガラスから原稿の画像を読取ることを「スキャンする」といいます。スキャン機能ではデータを一時的に本体内部のメモリーに保存することで、ネットワークを通じた送信が可能です。

E-mail 送信

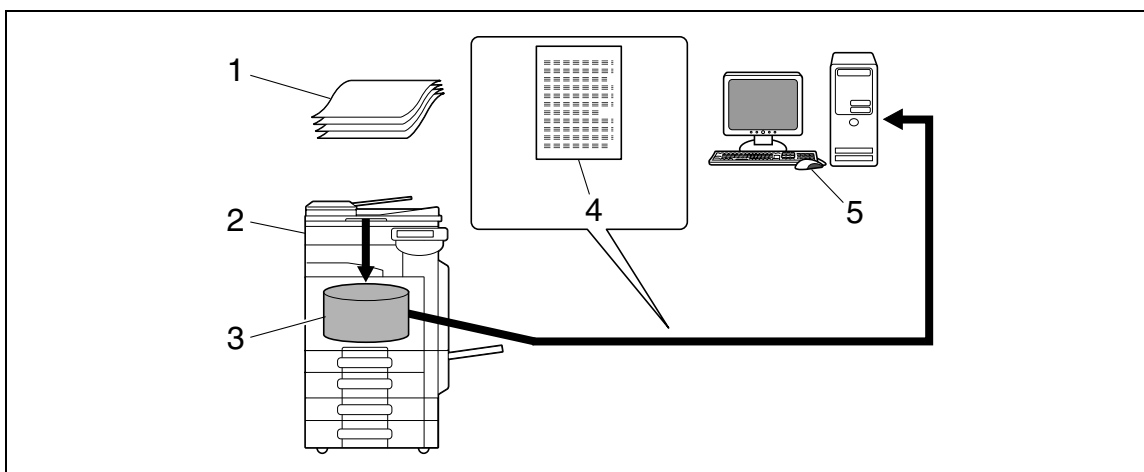
スキャンしたデータを指定した電子メールアドレスに送信できます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、スキャンしたデータを添付ファイルとして送信します。

1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. 電子メール + スキャンデータ
5. SMTP サーバー
6. POP サーバー
7. イントラネット / インターネット
8. メール受信

FTP 送信

スキャンしたデータを指定した FTP サーバーにアップロードします。本機のタッチパネルで FTP サーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

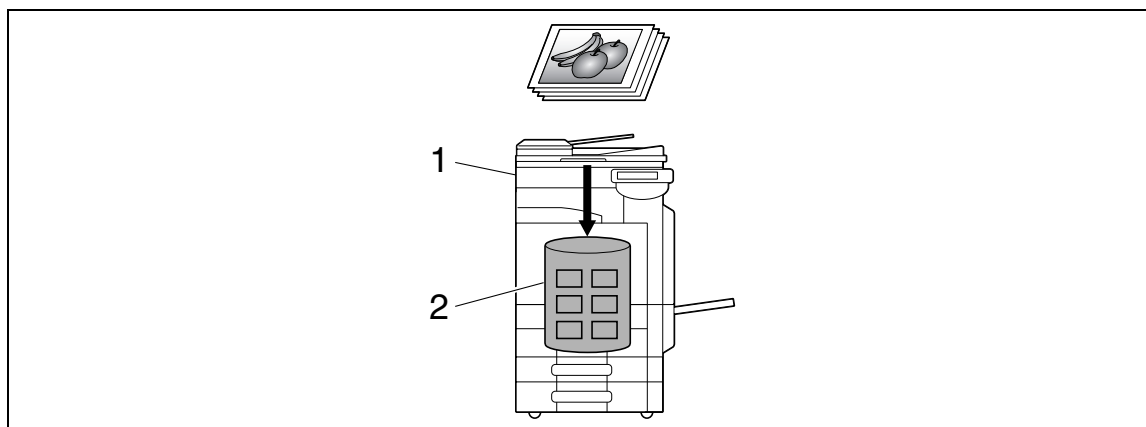
FTP サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。

1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. スキャンデータ
5. FTP サーバー
6. イントラネット / インターネット
7. ダウンロード

SMB 送信

スキャンしたデータを指定したコンピューターの共有フォルダーに送信できます。本機のタッチパネルで対象となるホスト名やファイルパスなどを入力します。

1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. スキャンデータ
5. 共有フォルダーに保存

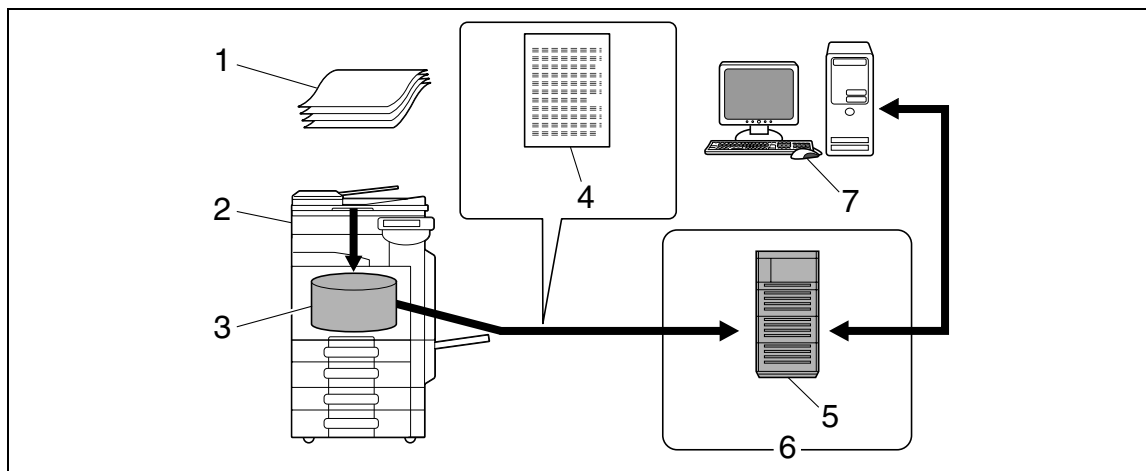
ボックス保存

スキャンしたデータを、本体内部のハードディスクに作成したボックスに保存し、データの再利用ができます。保存時に本機のタッチパネルで文書名を入力できます。

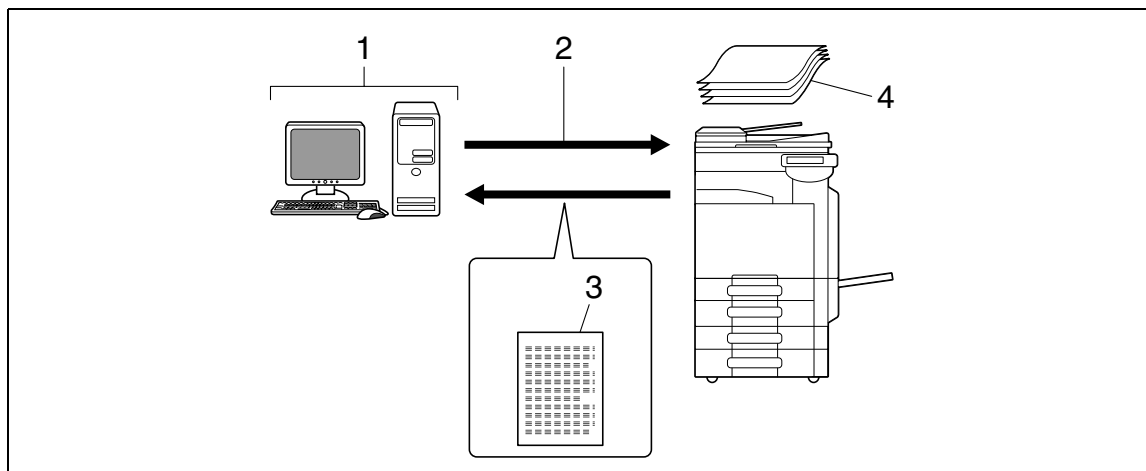
ボックスには他にもファクス受信したデータを保存することもできます。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

1. 本体
2. ハードディスク

WebDAV 送信

スキャンしたデータを指定したサーバーにアップロードします。本機のタッチパネルでサーバーのアドレスやログインパスワードを入力します。

サーバーにアップロードしたデータはネットワーク上のコンピューターからダウンロードできます。

1. 原稿
2. 本体
3. メモリー
4. スキャンデータ
5. サーバー
6. イントラネット / インターネット
7. ダウンロード

Web サービス

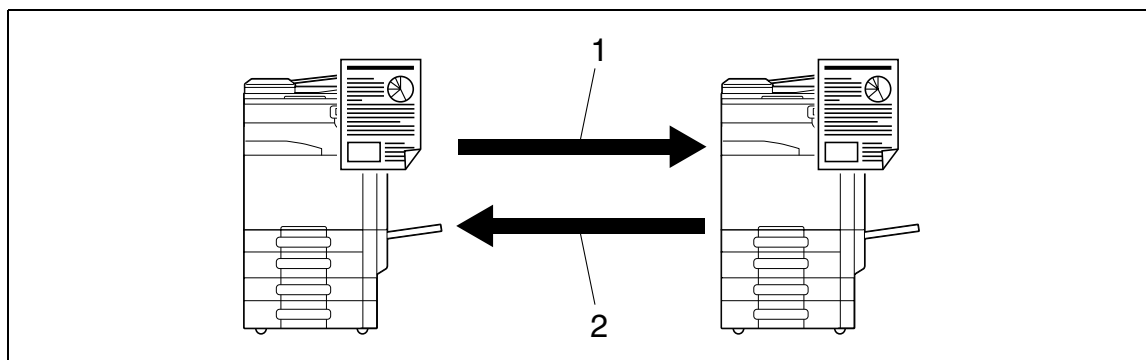
ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista）が本機を認識した状態でドライバーをインストールすると、コンピューターからスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。

1. Windows Vista
2. スキャンの指示
3. スキャンデータ
4. 原稿

参考

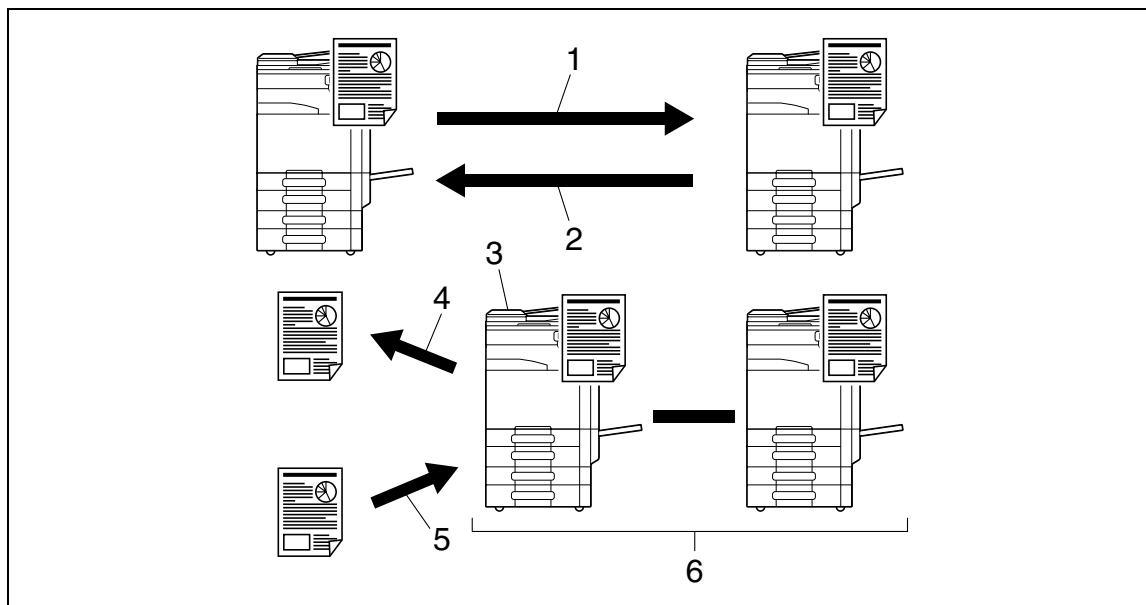
- オプションのイメージコントローラー IC-412 v1.1 を装着している場合には使用できません。

2.2.2 ファクス機能でできること

G3 ファクスの送受信

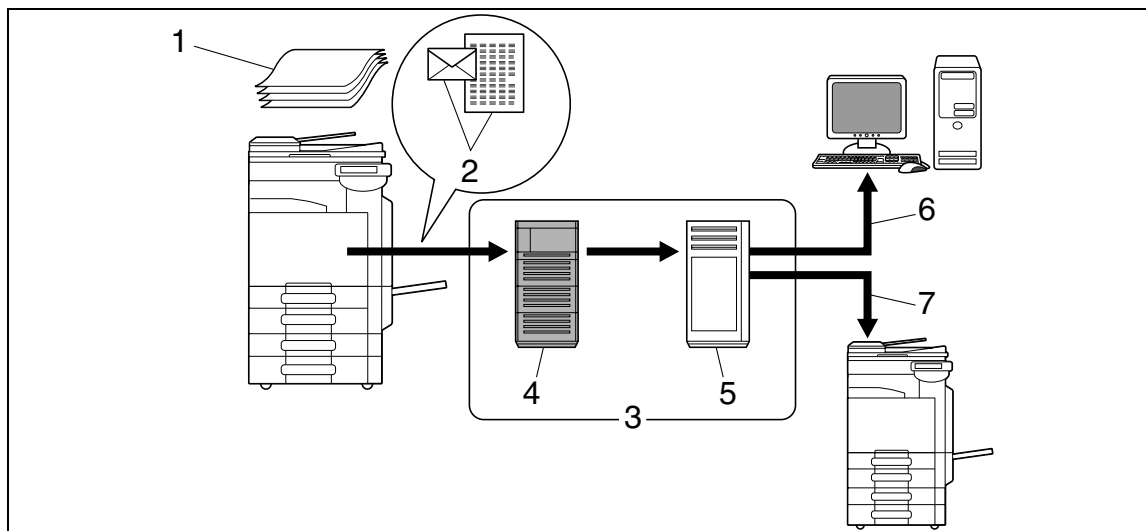
G3 ファクスの送受信ができます。本機のタッチパネルで宛先を指定し、同報で送信すること以外に、スキャン送信で使用できる編集機能の一部を付加して送信できます。

1. 送信
2. 受信

ポーリング

ポーリング指示を送ることで相手先ファクスから原稿を受信したり（ポーリング受信）、相手先からの指示で送信される原稿をあらかじめ登録する（ポーリング送信）ことができます。ポーリング送信ではポーリング送信ボックスを使う方法と、掲示板ボックスを使う方法があります。

1. 受信
2. 送信
3. 掲示板
4. 閲覧
5. 登録
6. ポーリング

2.2.3　ネットワークファクス機能でできること

インターネットファクス

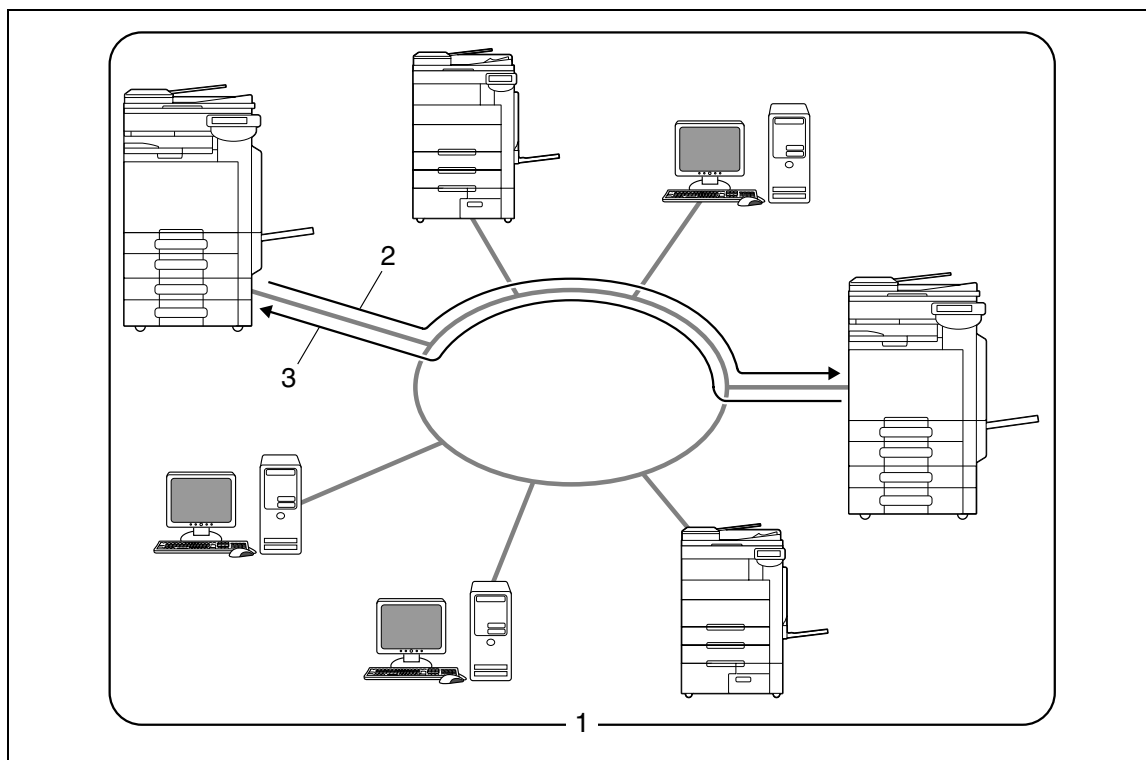
イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由して、読取った原稿を、電子メールの添付ファイル（TIFF 形式）として送受信します。イントラネット / インターネット経由で通信するため、一般のファクス通信に比べて通信コストを大幅に削減できます。相手先の E-mail アドレスを指定して送信します。

1. 原稿
2. 電子メール +TIFF 形式の添付ファイル
3. イントラネット / インターネット
4. SMTP サーバー
5. POP サーバー
6. メール受信
7. インターネットファクス受信

IP アドレスファクス

IP ネットワーク上で通信できるファクスで、相手先ファクスの IP アドレス、ホスト名、電子メールアドレスのいずれかを指定して送信します。

G3 ファクスやインターネットファクスとの違いは以下のとおりです。

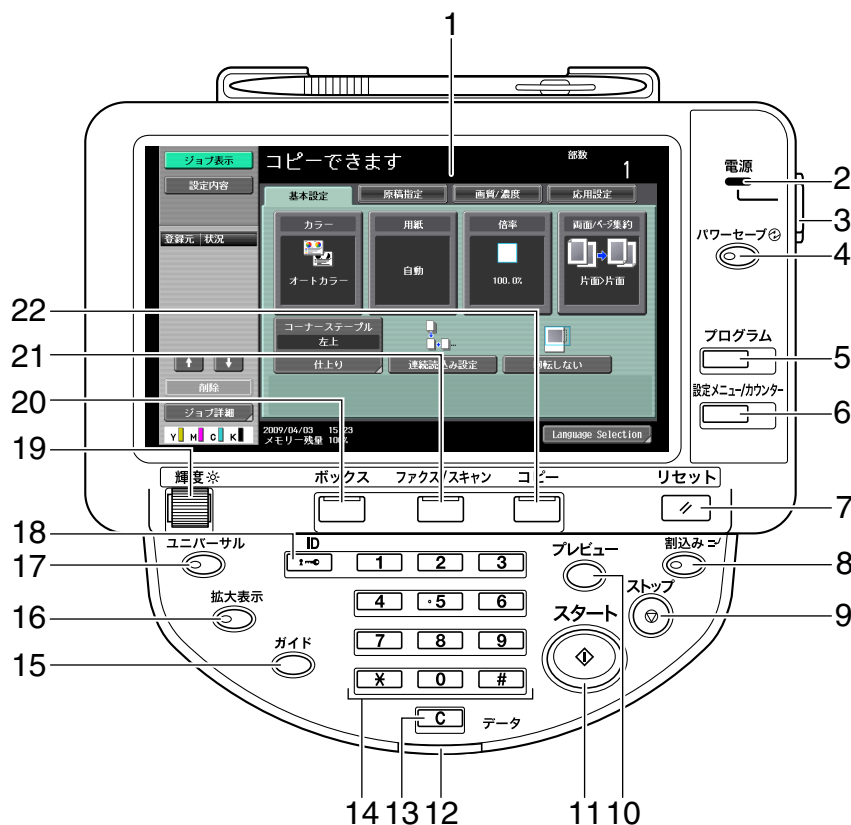
- イメージデータ送受信のプロトコルには SMTP を使用します。
- イントラネット（企業内ネットワーク）でのみ使用できます。
- インターネットファクスのようにメールサーバーは必要ありません。
- カラーでファクスの送受信ができます。（G3 ファクスとの違いのみ）

1. イントラネット
2. 送信
3. 受信

3 操作パネル / 液晶画面

3 操作パネル / 液晶画面

本機を操作するパネルと液晶画面（タッチパネル）のはたらきについて説明します。

3.1 操作パネル

ファクス / スキャンの操作は操作パネルから行います。操作パネルのキーやスイッチについて説明します。

No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。パネルに直接タッチして設定を行います。
2	電源ランプ	主電源が ON のときに青色に点灯します。
3	副電源スイッチ	コピー、プリント、スキャンなど本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
4	パワーセーブ	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は**パワーセーブ**が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に**パワーセーブ**を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
5	プログラム	目的のコピー / スキャン条件を登録（書込み）したり、登録したコピー / スキャン条件を呼出します。
6	設定メニュー / カウンター	設定メニュー画面、セールスカウンター画面を表示します。
7	リセット	操作パネル、またはタッチパネルで入力したすべての設定（登録した設定は除く）がクリアされます。

No	名称	説明
8	**割込み**	割込み機能に切換わります。割込み機能中は**割込み**が緑色に点灯し、タッチパネルに［割込み中です］と表示されます。割込み機能中に**割込み**を押すと割込み機能は解除されます。
9	**ストップ**	スキャン中に**ストップ**を押すと、スキャンが一時停止します。
10	**プレビュー**	複数部数のコピーを行うときに、先に 1 部だけプリントして仕上りを確認できます。スキャンやコピーの前に押すと、タッチパネル上で仕上り表示を確認できます。
11	**スタート**	スキャンを開始します。本機がスキャンを開始できる状態のときは**スタート**が青色に点灯します。**スタート**がオレンジ色に点灯しているときはスキャンを開始できません。 一時停止中のジョブが再開します。
12	**データランプ**	プリントジョブを受信中は、青色に点滅します。データをプリントするときは、青色に点灯します。
13	C（クリアー）	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）がクリアされます。
14	**テンキー**	部数、倍率および各種の設定値を入力します。
15	**ガイド**	ガイド画面に切換わります。各機能の説明や操作方法を画面上で表示できます。
16	**拡大表示**	拡大表示機能に切換わります。PageScope Authentication Manager にて認証を行っている場合、拡大表示画面に切換わりません。
17	**ユニバーサル**	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。
18	**ID**	ユーザー認証および部門管理を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門管理）を入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。ログオフ時にも使用します。
19	**輝度**調整ダイアル	タッチパネルの輝度を調整します。
20	**ボックス**	ボックスモードに切換わります。 ボックスモード中は**ボックス**が緑色に点灯します。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。
21	**ファクス / スキャン**	ファクス / スキャン機能に切換わります。 ファクス / スキャン機能中は**ファクス / スキャン**が緑色に点灯します。
22	**コピー**	コピー機能に切換わります。（初期設定ではコピー機能が選択されています。） コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

⚠ **注意**

- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

3.2　タッチパネル

3.2.1　全体の画面構成

No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。このエリアで各種機能を設定します。キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
4	左エリア	実行中 / 待機中のジョブを表示する［ジョブ表示］、設定中の仕上り状態を表示する［設定内容］などのキーが表示されます。 左エリアの表示と内容については、3-6 ページをごらんください。
5	トナー残量表示	イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各色のトナー残量を表示します。

タッチパネルに表示されるアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は以下のとおりです。

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	画像安定化機能、印刷機能、スキャナー機能に異常が発生していることを示します。 このアイコンを押すと警告コードを確認できる画面に切換わります。
警告表示	警告発生中に警告表示画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切換わります。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあるときに表示されます。 キーを押してメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
POP	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。

アイコン	説明
	給紙トレイにセットされている用紙が残り少ないことを示します。
	オプションの**イメージコントローラー IC-412 v1.1** を装着している場合、このアイコンを押すと**イメージコントローラー IC-412 v1.1** の設定画面が表示されます。
Sec	セキュリティー強化設定が適用されていることを示します。
	外部メモリーが装着されていることを表示します。
	規格外の外部メモリーを差し込まれ、USB 接続が無効であることを示します。
	G3 ファクス /IP アドレスファクス送信時に、受信側が話し中で送信できない場合などのリダイアル待ちであることを示します。

3.2.2　オプションの有無による表示の違い

オプションの **FAX キット FK-502** を装着しているかどうかで、表示される項目が異なります。

FAX キット FK-502 を装着していない場合

ファクス宛先やファクスに関する機能は表示されません。

FAX キット FK-502 を装着している場合

オフフックからダイアルできる［オフフック］が表示されます。また、［直接入力］タブや通信設定では、ファクス送信に関する設定ができます。

3.2.3　左エリアの表示と操作

タッチパネルの左エリアには、ジョブの状態や設定内容を確認できるキーが表示されます。ファクス / スキャンモードで表示される左エリアのキーは以下のとおりです。

No	名称	説明
1	［ジョブ表示］	本機が実行中のジョブやジョブの履歴を確認できます。
2	［設定内容］	選択したボックスの情報や、読込み、印刷、送信の各種設定内容を確認できます。

ジョブ表示

ボックスへの保存や、保存した文書の印刷 / 送信などの動作の指示をジョブと呼びます。［ジョブ表示］を選択すると、現在動作中のジョブが表示されます。

ジョブ表示－削除

実行中のジョブを削除し、動作を中止することができます。ジョブ表示の一覧から削除するジョブを選択し、［削除］を押します。表示されるメッセージを確認して削除してください。

ジョブ表示－ジョブ詳細

［ジョブ詳細］を押すと右側のエリアにジョブの実行中リストと履歴リストが表示され、確認できます。ジョブには以下の 4 種類があります。

項目	説明
［印刷］	コピー、コンピューターからの印刷、受信ファクスの印刷のジョブリストです。
［送信］	スキャン送信、ファクス送信のジョブリストです。
［ファクス受信］	受信ファクスのジョブリストです。
［保存］	ボックスへ文書を保存したジョブリストです。

＜［印刷］の実行中リスト＞

項目	説明
リスト項目	[No.]：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 [登録元]：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 [状態]：ジョブの状態（受信中 / 印刷待ち / 印刷中 / 印刷停止 / 印刷エラー / 蓄積中）です。 [文書名]：印刷時のファイル名です。 ・ ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・ 機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 [登録時間]：ジョブの登録時間です。 [原稿]：原稿枚数です。 [部数]：印刷部数をカウント表示します。
[↑][↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［優先出力］	印刷するジョブの優先度を変更できます。 ・ 管理者設定のジョブ優先順位変更を［禁止］に設定している場合は、優先出力は設定できません。 ・ 印刷中のジョブが割込み可能な設定の場合は、印刷を中断して優先出力ジョブを印刷します。中断されたジョブは、割込んだジョブの印刷が完了したあと自動的に印刷されます。
［蓄積解除］	蓄積されたジョブの設定変更、印刷、削除ができます。
［設定内容］	選択したジョブの設定内容を確認できます。 ［← 前画面］または［次画面 →］を押して確認します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。ジョブを削除するときは［削除］を押します。

＜［印刷］の履歴リスト＞

印刷されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	[No.]：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 [登録元]：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 [文書名]：印刷時のファイル名です。 ・ ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・ 機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 [登録時間]：ジョブの登録時間です。 [原稿]：原稿枚数です。 [部数]：印刷部数をカウント表示します。 [実行結果]：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / 一部のモード解除）を表示します。
[↑][↓]	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、終了時間、原稿枚数、印刷部数を確認できます。

参考
- 設定メニューの［ジョブ履歴サムネイル表示］を［表示する］に設定した場合は、履歴をリストから選択すると、1 ページ目の画像が左エリアに表示されます。

参照
［ジョブ履歴サムネイル表示］については、11-11 ページをごらんください。

<［送信］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［No.］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［宛先種類］：宛先の種別（ファクス、E-mail、ファイル FTP、ファイル SMB、WebDAV、TWAIN、その他）です。 ［状態］：ジョブの状態（送信中 / 送信待ち / ダイアル中 / リダイアル待ち）です。 ［宛先］：相手のファクス番号、E-mail アドレス、ボックス名などを表示します。 ［登録時間］：ジョブの登録時間です。 ［原稿］：原稿枚数です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［タイマー通信ジョブ］	メモリーに蓄積されている送信予約状態を表示します。ジョブを削除するときは［削除］を押します。
［L1］［L2］	FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合に表示されます。選択した回線別のリストを表示します。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［リダイアル］	状態が［リダイアル待ち］のジョブを選択し、リダイアルを実行します。
［設定内容］	選択したジョブの設定内容を確認できます。 ［← 前画面］または［次画面 →］を押して確認します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類、宛先、登録時間、通信、原稿枚数、外部サーバー情報を確認できます。ジョブを削除するときは［削除］を押します。 ・ ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・ 機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 ・ ［詳細］の外部サーバー情報は、外部サーバー認証時に表示されます。 ・ Web サービスで送信したジョブは［TWAIN］と表示されます。 ・ ［通信］は宛先がファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス時のみ表示されます。

<［送信］の履歴リスト>

ファクスの送信またはスキャン送信されたジョブの履歴が表示されます。

ファクスの受信後に転送または中継送信された場合にも、［送信］の履歴リストに表示されます。

項目	説明
リスト項目	［No.］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［宛先種類］：宛先の種別（ファクス、E-mail、ファイル FTP、ファイル SMB、WebDAV、TWAIN、その他）です。 ［宛先］：相手のファクス番号、E-mail アドレス、ボックス名などを表示します。 ［登録時間］：ジョブの登録時間です。 ［原稿］：原稿枚数です。 ［実行結果］：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［通信リスト］	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、宛先種類、登録時間、通信、原稿枚数、外部サーバー情報を確認できます。 ・　ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・　機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 ・　［詳細］の外部サーバー情報は、外部サーバー認証時に表示されます。 ・　Web サービスで送信したジョブは［TWAIN］と表示されます。 ・　［通信］は宛先がファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス時のみ表示されます。

参考

- 設定メニューの［ジョブ履歴サムネイル表示］を［表示する］に設定した場合は、履歴をリストから選択すると、1 ページ目の画像が左エリアに表示されます。

<［ファクス受信］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［No.］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［登録元］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態（受信中 / ダイアル中（ポーリング受信時）/ 印刷待ち / 印刷中 / 印刷停止 / 印刷エラー / メモリー保存中）です。 ［文書名］：受信または保存した文書名を表示します。 ［登録時間］：ジョブの登録時間です。 ［原稿］：受信した原稿枚数です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［リダイアル］	状態が［リダイアル待ち］のジョブを選択し、リダイアルを実行します。

項目	説明
［転送］	メモリー代行受信したファクスを転送します。転送する宛先は登録宛先または直接入力で指定します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、通信時間、原稿枚数を確認できます。ジョブを削除するときは［削除］を押します。 ・ ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・ 機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。

<［ファクス受信］の履歴リスト>

ファクスを受信、転送、中継送信されたジョブの履歴が表示されます。

項目	説明
リスト項目	［No.］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［登録元］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［文書名］：受信または保存した文書名を表示します。 ・ ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・ 機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 ［登録時間］：ジョブの登録時間です。 ［原稿］：原稿枚数です。 ［実行結果］：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / モード解除）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［通信リスト］	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、排出先、登録時間、原稿枚数を確認できます。

参考

- 設定メニューの［ジョブ履歴サムネイル表示］を［表示する］に設定した場合は、履歴をリストから選択すると、1 ページ目の画像が左エリアに表示されます。

<［保存］の実行中リスト>

項目	説明
リスト項目	［No.］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［登録元］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［状態］：ジョブの状態（受信中、メモリー保存中、削除中）です。 ［文書名］：保存した文書名を表示します。 ・　ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・　機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 ［登録時間］：ジョブの登録時間です。 ［原稿］：原稿枚数です。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［削除］	選択したジョブを削除します。
［詳細］	選択したジョブの状態、登録元 / ユーザー名、文書名、保存先ボックス、登録時間、原稿枚数を確認できます。ジョブを削除するときは［削除］を押します。

<［保存］の履歴リスト>

ボックスの保存されたジョブの履歴が表示されます。

ファクスを強制メモリ受信や親展受信した場合も、［保存］の履歴リストに表示されます。

項目	説明
リスト項目	［No.］：ジョブの登録時につけられる識別番号です。 ［登録元］：登録元またはユーザー名 / 部門名を表示します。 ［文書名］：保存した文書名を表示します。 ・　ユーザー認証時、他のユーザーは文書名を確認できません。 ・　機密文書を指定したとき、文書名は表示されません。 ［登録時間］：ジョブの登録時間です。 ［原稿］：原稿枚数です。 ［実行結果］：ジョブの実行結果（正常終了 / エラー消去 / ユーザー消去 / モード解除）を表示します。
［↑］［↓］	ジョブの件数が一度に表示できる件数（7 件）を超えた場合に押し、ページを切換えます。
［消去ジョブ］/［終了ジョブ］/［全ジョブ］	ジョブの種類を切換えて表示します。
［通信リスト］	スキャン送信リスト、ファクス送信リスト、ファクス受信リストを表示します。それぞれのリスト画面で通信管理レポート、送信管理レポート、受信管理レポートを出力できます。
［詳細］	選択したジョブの実行結果、エラー詳細、登録元 / ユーザー名、文書名、保存先ボックス、登録時間、原稿枚数を確認できます。

参考

- 設定メニューの［ジョブ履歴サムネイル表示］を［表示する］に設定した場合は、履歴をリストから選択すると、1 ページ目の画像が左エリアに表示されます。

設定内容－詳細確認 / 登録

［設定内容］を押すと［詳細確認 / 登録］が表示されます。

［詳細確認 / 登録］を押すと以下の設定を確認できます。

- 宛先確認 / 登録
- 読込み設定内容
- 原稿設定内容
- 通信設定内容
- E-mail 設定内容

設定内容－詳細確認 / 登録－宛先確認 / 登録

送信先として登録されている宛先の一覧を表示します。

- 直接入力した宛先を短縮宛先に追加する場合は、宛先を選択して［宛先登録］を押します。
- 表示されている宛先の情報を知りたい場合は、宛先を選択して［宛先詳細］を押します。
- 宛先を削除する場合は、宛先を選択して［削除］を押します。

設定内容－詳細確認 / 登録－読込み設定内容

読込みの基本設定、読込み指定、応用設定の内容が確認できます。［← 前画面］または［次画面 → ］を押して確認します。

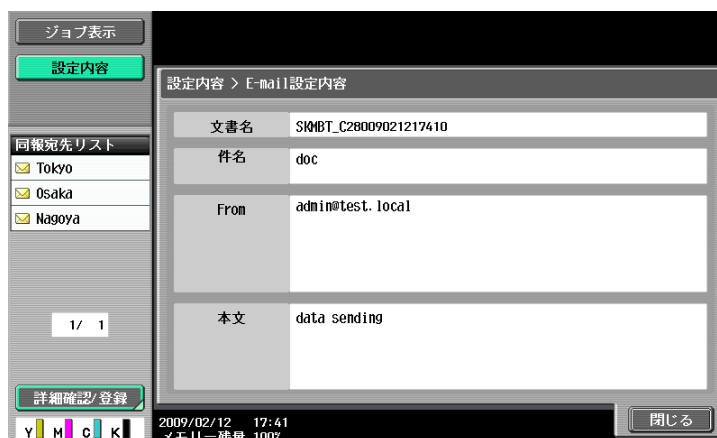
設定内容－詳細確認 / 登録－原稿設定内容

原稿設定の内容が確認できます。

設定内容－詳細確認 / 登録－通信設定内容

回線設定、送受信方法設定の内容を確認できます。［← 前画面］または［次画面 →］を押して確認します。

設定内容－詳細確認 / 登録－ E-mail 設定内容

E-mail 送信を行う場合の文書名、件名、From アドレス、本文内容を確認できます。

4 基本情報の登録

4 基本情報の登録

スキャン、ファクス機能を使用する前に必要な設定や登録について説明します。

4.1 はじめて使用する場合

初めて使用するときは、以下の登録が必要です。

4.1.1 必要な環境と設備

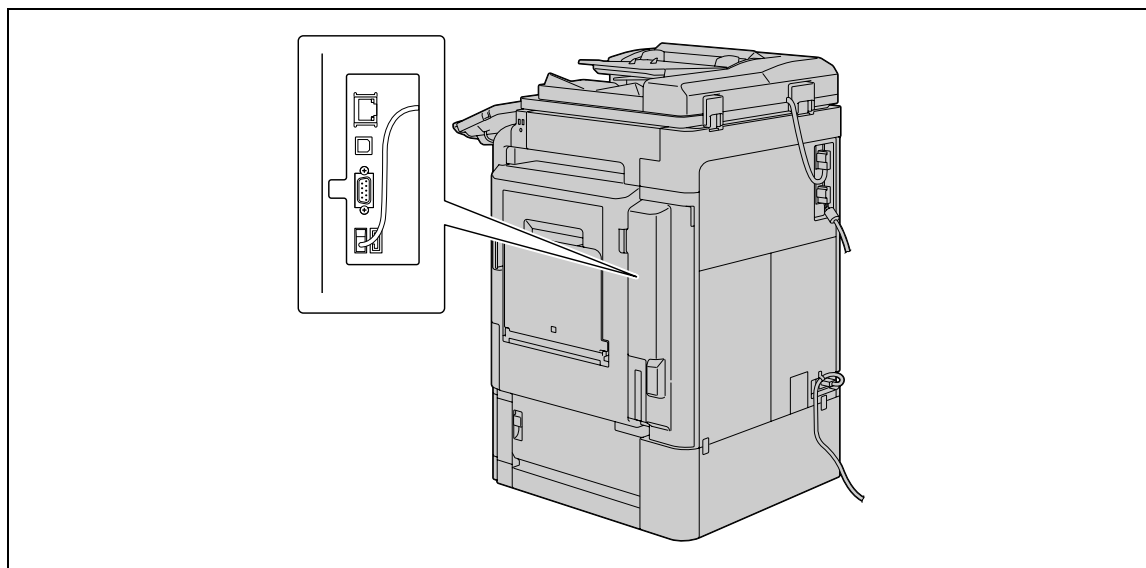
各種機能を使用するために必要な環境と設備は以下のとおりです。

機能		環境と設備
ネットワークスキャン機能		・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
G3 ファクス機能		・ FAX キット FK-502（オプション）の装着 ・ モジュラーケーブルの接続
ネットワークファクス機能	インターネットファクス	・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定
	IP アドレスファクス	・ FAX キット FK-502（オプション）の装着 ・ ネットワークの接続 ・ ネットワークの設定

4.1.2 ネットワークの接続と設定

ネットワークスキャン機能、ネットワークファクス機能のようにイメージデータをネットワーク経由で送信する機能を使用する場合、ネットワークへの接続と設定が必要です。

ネットワークの接続

本機の Ethernet コネクタに、ネットワークに接続された UTP ケーブル（カテゴリー 5 以上推奨）を接続します。

ネットワークの設定

IP アドレスの割り当てや SMTP サーバーの設定などが必要です。詳しい操作の手順は［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

本機のE-mailアドレスの設定

スキャンしたデータをE-mail送信したり、インターネットファクスを使用する場合は、本体にE-mailアドレスを登録する必要があります。このE-mailアドレスはデータを送受信するときに使用します。通常は管理者登録のE-mailアドレスを使用することをおすすめします。

管理者登録のE-mailアドレスが設定されていない場合はE-mail送信ごとに発信元のE-mailアドレスを入力する必要があります。アドレスの入力がないときはE-mail送信はできません。

参考

- ユーザー認証を設定しているときは、ユーザーごとに設定したE-mailアドレスが発信元アドレスとなります。

参照

本機のE-mailアドレスの設定は、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

4.1.3 モジュラーケーブルの接続

電話回線を使用するG3ファクスを送受信する場合は , モジュラーケーブルを接続します。G3ファクスを使用する場合は、オプションのFAXキット FK-502を装着する必要があります。また、2回線を使用する場合はさらにもうひとつFAXキット FK-502を装着する必要があります。この場合はモジュラーケーブルは2本必要です。

電話回線に接続したモジュラーケーブルを所定のコネクタに接続してください。接続するコネクタの位置は［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

4.2 宛先登録

ファクス、スキャンしたデータの送信先（宛先）を登録します。登録方法は以下の種類があります。

- 本機のタッチパネルから設定する
- ネットワーク上のコンピューターから PageScope Web Connection を使う

4.2.1 短縮宛先

短縮宛先には以下の種類があります。短縮宛先の登録方法は、10-2 ページをごらんください。

- E-mail 送信
- ボックス保存
- ファクス送信
- ファイル送信（SMB）
- ファイル送信（FTP）
- ファイル送信（WebDAV）
- IP アドレスファクス送信
- インターネットファクス送信

参考

- Web サービスでは短縮宛先は登録できません。直接入力で宛先を指定してください。

4.2.2 グループ宛先

短縮宛先を組み合わせてグループ宛先として登録できます。複数の宛先に同時に送信するときなどに便利です。

4.3 その他必要に応じて行う設定

使い方に応じて以下の設定もできます。

ファクス / スキャンプログラム

送信先や読込みの設定などをまとめてひとつのプログラムとして設定します。いつも同じ条件でスキャン、送信する場合などに便利です。設定は本機のタッチパネルで行います。

参照

詳しくは、10-20 ページをごらんください。

画面表示の設定

操作パネルの**ファクス / スキャン**を押したときに表示される画面の内容を設定します。

参照

詳しくは、10-25 ページをごらんください。

4.4　Web サービスを使用する場合

ネットワーク上のコンピューター（Windows Vista）からスキャンの指示をしたり、本機から目的別にスキャンを行い、コンピューターに送信できます。ここでは、コンピューター側で事前に必要となる設定について説明します。

4.4.1　Web サービスを使用するために必要な設定

Web サービスを使用するために必要な設定は以下のとおりです。

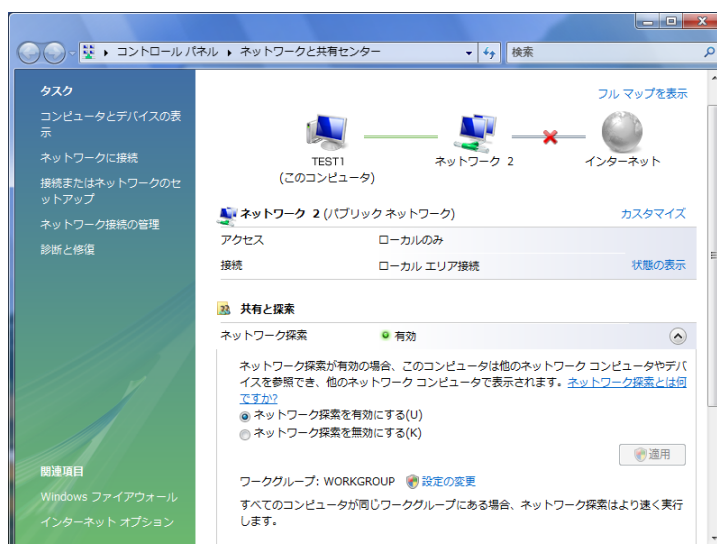
- コンピューターに本機をインストールする
- 本機で Web サービスを行うための設定をする

参考

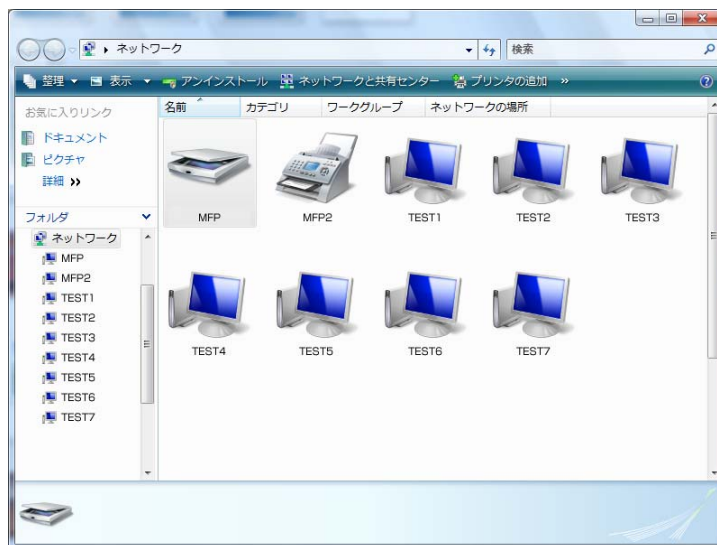
- 本機での Web サービスの設定は、管理者設定で行います。詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

4.4.2　コンピューターに本機をインストールする

インストール前の確認

インストールの前に、［コントロールパネル］－［ネットワークと共有センター］で、［ネットワーク探索］が有効に設定されていることを確認してください。

インストールの手順

1 ［スタート］ボタンから［ネットワーク］を選択します。

ネットワークに接続されている機器が表示されます。

2 本機のスキャナーアイコンを右クリックし、［インストール］を選択します。

➔ コンピューター側の設定によっては、UAC（User Account Control）画面が表示されることがあります。内容を確認し、続行してください。

➔ 本機で Web サービスのスキャン機能とプリンター機能の両方が有効に設定されている場合、本機はプリンターアイコンで表示されます。

➔ ドライバソフトウェアが自動的にインストールされます。確認画面が表示されたら［閉じる］をクリックします。

3 本機の操作パネルで［Web サービス］を選択し、接続先が表示されていることを確認します。

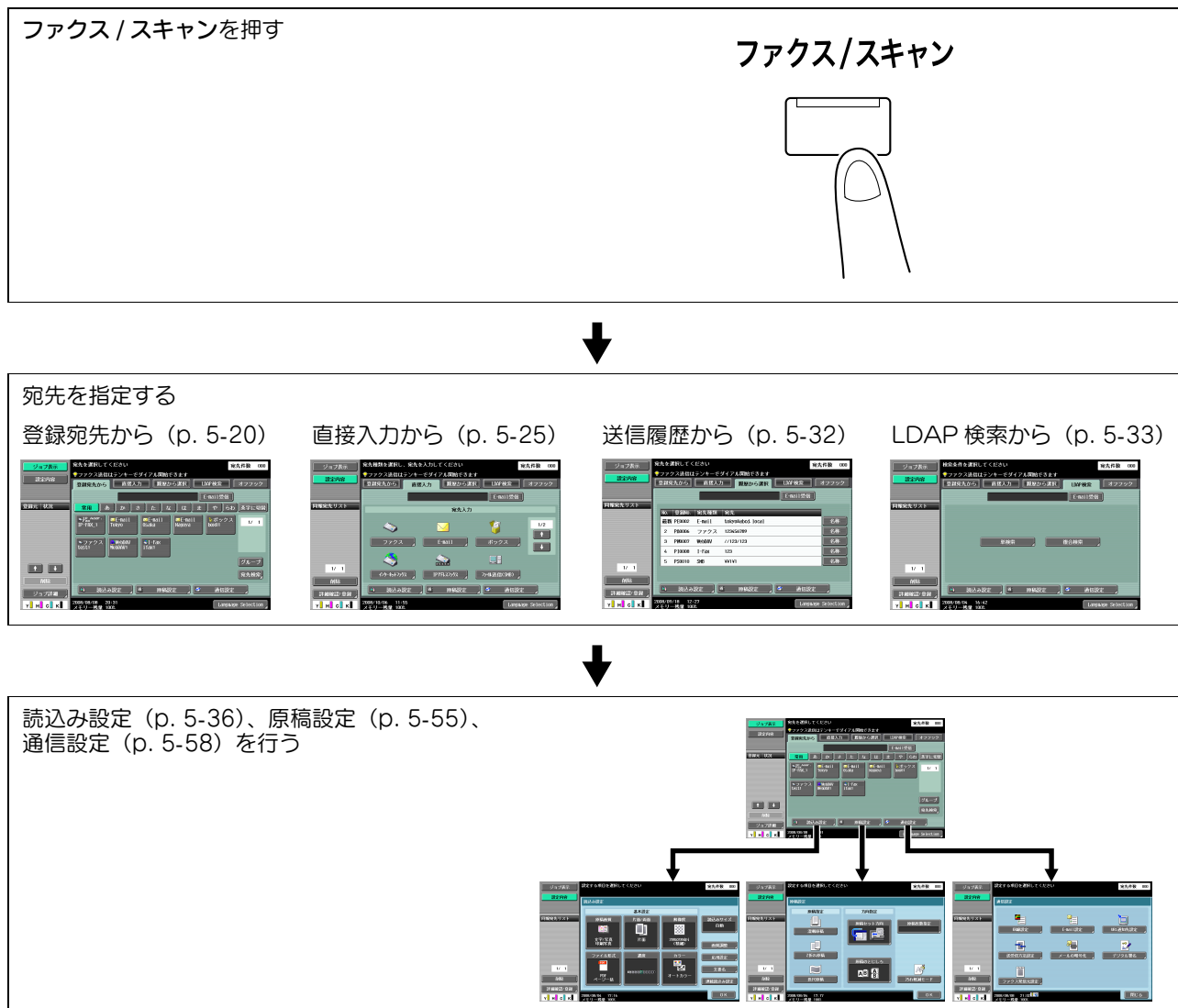
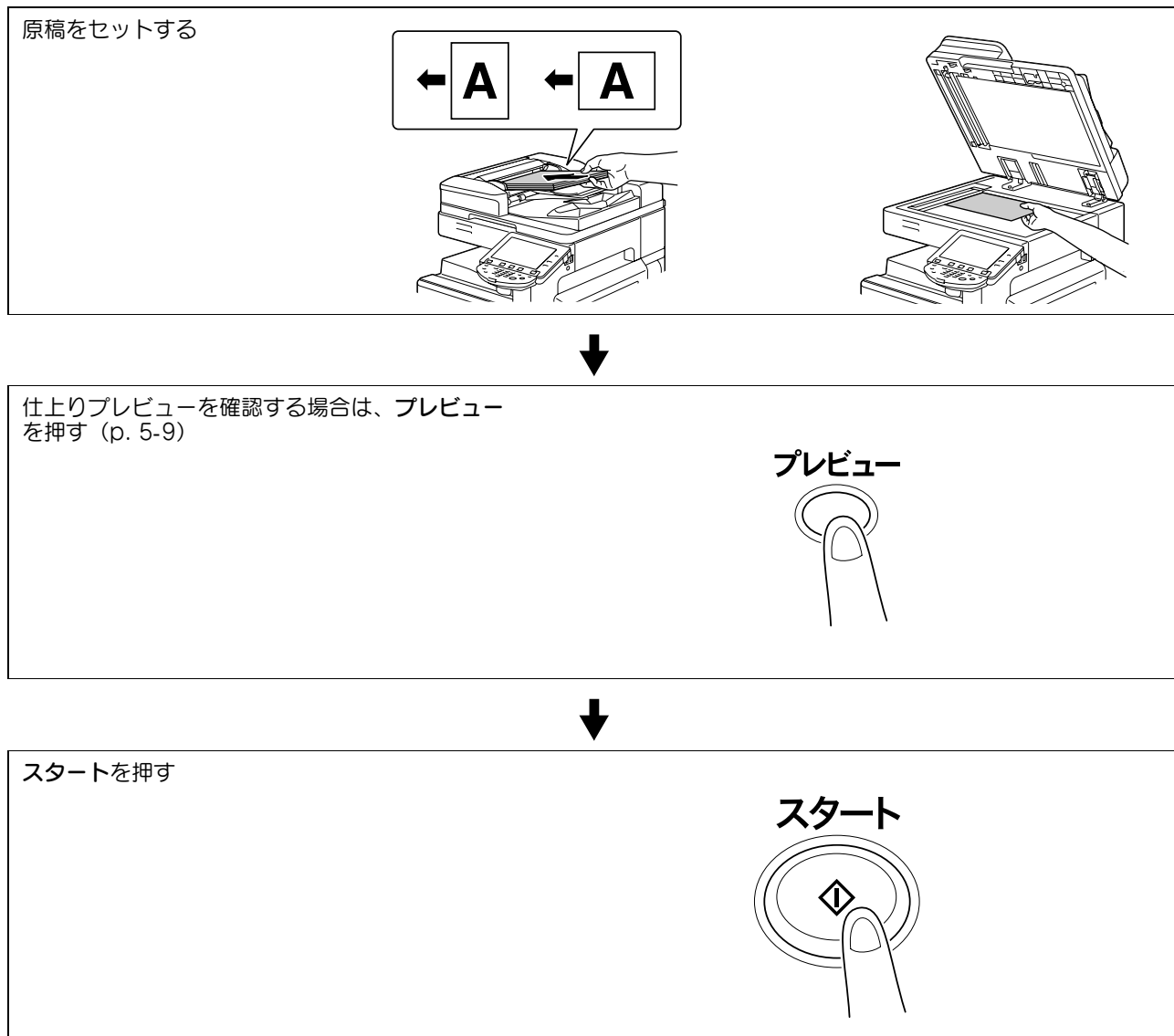
5 送信する

5 送信する

ファクス、スキャンしたデータを送信する方法と設定できる機能について説明しています。

5.1 操作の流れ

5.1.1 スキャン / ネットワークファクス

スキャン送信およびネットワークファクス機能を使う場合の手順の流れを説明します。

ファクス / スキャンを押す

宛先を指定する

登録宛先から（p. 5-20）

直接入力から（p. 5-25）

送信履歴から（p. 5-32）

LDAP 検索から（p. 5-33）

読込み設定（p. 5-36）、原稿設定（p. 5-55）、
通信設定（p. 5-58）を行う

参考

- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［パスワードコピー］を［する］に設定している場合、パスワードが埋め込まれた原稿を読み込むと、パスワード入力を促すメッセージが表示されます。［パスワード］を押し、パスワードを入力して、［OK］を押します。戻った画面で［認証開始］を押すと送信が開始されます。
- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［コピーガード］を［する］に設定している場合、コピーガード地紋が埋め込まれた原稿は送信できません。

5.1.2　　ファクス（G3）

G3 ファクスを使う場合の手順の流れを説明します。

ファクス / スキャンを押す

宛先を指定する

登録宛先から（p. 5-20）

直接入力から（p. 5-25）

送信履歴から（p. 5-32）

読込み設定（p. 5-36）、原稿設定（p. 5-55）、
通信設定（p. 5-58）を行う

原稿をセットする

↓

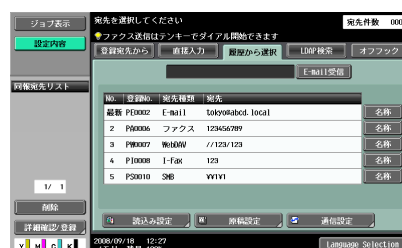
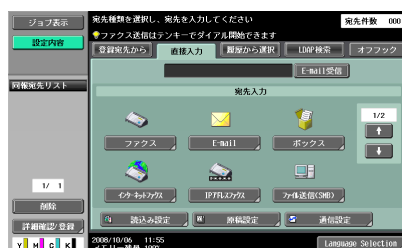
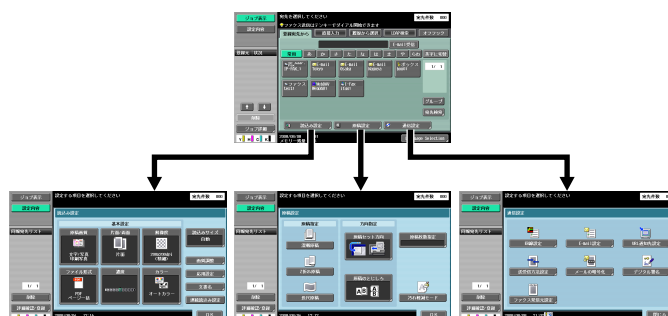
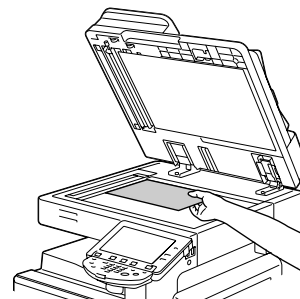
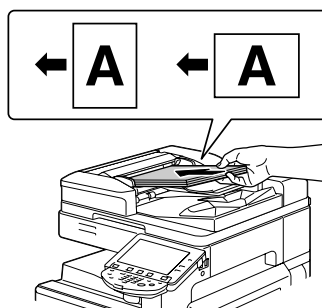
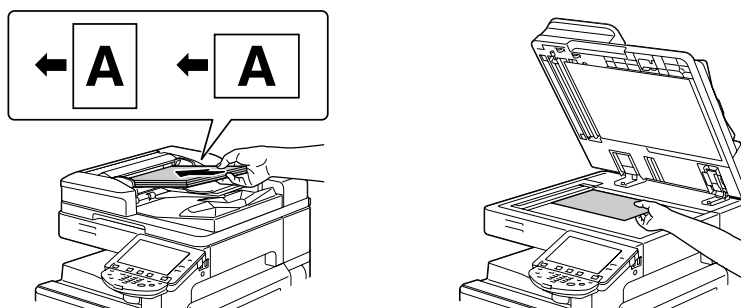
参考

- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［パスワードコピー］を［する］に設定している場合、パスワードが埋め込まれた原稿を読み込むと、パスワード入力を促すメッセージが表示されます。［パスワード］を押し、パスワードを入力して、［OK］を押します。戻った画面で［認証開始］を押すと送信が開始されます。
- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［コピーガード］を［する］に設定している場合、コピーガード地紋が埋め込まれた原稿は送信できません。

5.1.3　プログラムの呼び出し

ファクス / スキャンプログラムを使う場合の手順の流れを説明します。

↓

プログラムを選択し、[OK]を押す

読込み設定(p. 5-36)、原稿設定(p. 5-55)、
通信設定(p. 5-58)を行う

原稿をセットする

仕上りプレビューを確認する場合は、**プレビュー**
を押す(p. 5-9)

スタートを押す

参考

- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［パスワードコピー］を［する］に設定している場合、パスワードが埋め込まれた原稿を読み込むと、パスワード入力を促すメッセージが表示されます。［パスワード］を押し、パスワードを入力して、［OK］を押します。戻った画面で［認証開始］を押すと送信が開始されます。
- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［コピーガード］を［する］に設定している場合、コピーガード地紋が埋め込まれた原稿は送信できません。

参照

プログラム登録の内容と手順は 10-20 ページをごらんください。

5.1.4　　同報送信

同時に複数の宛先に送信する場合の手順の流れを説明します。

ファクス / スキャンを押す

宛先を複数件指定する

登録宛先から（p. 5-20）　直接入力から（p. 5-25）　送信履歴から（p. 5-32）　LDAP 検索から（p. 5-33）

参考

- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［パスワードコピー］を［する］に設定している場合、パスワードが埋め込まれた原稿を読み込むと、パスワード入力を促すメッセージが表示されます。［パスワード］を押し、パスワードを入力して、［OK］を押します。戻った画面で［認証開始］を押すと送信が開始されます。
- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［コピーガード］を［する］に設定している場合、コピーガード地紋が埋め込まれた原稿は送信できません。

5.2　仕上りプレビューを使う

ファクス、スキャン送信で原稿をセットし、宛先を入力したあと、操作パネルの**プレビュー**を押すと仕上り状態を操作パネル上にプレビュー表示できます。プレビュー詳細画面では、読込んだ原稿の向きを確認したり、設定内容を変更できます。

参考

- 暗号化の設定をした場合は、プレビュー画像を表示できません。

5.2.1　プレビュー詳細画面

プレビュー詳細－確認表示

読込んだ画像を表示します。

項目	説明
［前ページ］/［次ページ］	保存されている文書が複数ページある場合、ページを切り替えて表示できます。
［表示サイズ変更］	［ ］/［ ］を押して表示サイズを切り替えて文書の詳細を確認できます。全体表示から［ ］を押すたびに 2 倍、4 倍、8 倍に切り替わります。表示サイズを切り替えて、画像の右側と下側のスクロールバーで表示箇所を移動させます。

項目	説明
［表示ページ回転］	［プレビュー詳細］で［スキャン］を選択している場合 ：現在表示されているページを左に 90 度回転して表示します。 ：現在表示されているページを右に 90 度回転して表示します。 ［一括ページ回転］：保存されている文書が複数ページある場合に選択できます。 ・ 回転したいページの画像を複数選択できます。 ・ ［奇数ページ］：奇数ページの画像を選択します。 ・ ［偶数ページ］：偶数ページの画像を選択します。 ・ ［全ページ］：すべてのページの画像を選択します。 ・ ［回転角度］：［左 90 度］、［右 90 度］、［180 度］から選択し、回転します。 宛先がファクスの場合は、［回転角度］で［左 90 度］を選択すると 180 度で、［右 90 度］を選択すると 0 度で送信されます。 ファイル形式に TIFF または JPEG を選択し、長尺原稿を読込んでいる場合は、回転の設定ができない場合があります。
	［プレビュー詳細］で［ファクス］を選択している場合 ：現在表示されているページを 180 度回転して表示します。 ［一括ページ回転］：保存されている文書が複数ページある場合に選択できます。 ・ 回転したいページの画像を複数選択できます。 ・ ［奇数ページ］：奇数ページの画像を選択します。 ・ ［偶数ページ］：偶数ページの画像を選択します。 ・ ［全ページ］：すべてのページの画像を選択します。 ・ ［回転角度］：［180 度］を押し、回転します。
［ページ削除］	保存されている文書が複数ページある場合に表示されます。 削除したいページの画像を複数選択できます。 ［奇数ページ］：奇数ページの画像を選択します。 ［偶数ページ］：偶数ページの画像を選択します。 全ページを削除することはできません。
［仕上り表示］	済みスタンプ設定をした場合、プレビュー画像の中にアイコンが表示されます。［仕上り表示］を解除すると、アイコンや文字が消え、画像だけが表示されます。
［設定変更］	原稿を読込む前に行った設定の一部を変更できます。詳しくは、5-11 ページをごらんください。

参考

- ページを直接選択すると、選択したページの画像が 180 度回転します。

プレビュー詳細－確認表示－設定変更

原稿を読込む前に行った設定のうち、以下の内容を変更できます。

変更した内容は追加して読込んだ原稿で反映されます。

項目	説明
［基本設定］－［原稿］	片面または両面を選択できます。「表紙＋両面」が設定されている場合は、［表紙＋両面］も表示されます。
［基本設定］－［原稿のとじしろ］	E-mail、ボックス、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）のいずれかの宛先を指定して、ブック連写を選択していないときに選択できます。
［基本設定］－［原稿サイズ］	混載原稿が設定されているときに選択できます。
［応用設定］－［枠消し］	枠消しを設定できます。

プレビュー詳細－状態表示

読込みをさらに続けるかどうかを設定できます。

項目	説明
［読込み終了］	現在表示されている原稿に続き、読込みを続ける場合は［読込み終了］が選択されていない状態にします。

5.2.2　仕上りプレビューを使った送信

原稿をセットしたあとの手順を説明します。ファクス、スキャン送信の流れは、5-2 ページをごらんください。

仕上りプレビューを使った送信のしかた

1 原稿をセットします。

2 宛先を指定します。

3 **プレビュー**を押します。

4 原稿セット方向を選択します。

→ 原稿ガラスにセットした場合

→ ADF にセットした場合

→ 管理者設定の［仕上りプレビュー設定］－［原稿セット方向設定表示］で［しない］を設定しているときには、原稿セット方向を設定する画面は表示されません。［原稿セット方向設定表示］については、11-11 ページをごらんください。

5 **スタート**を押します。

原稿が読込まれ、プレビュー詳細画面が表示されます。

6　プレビュー画像を確認し、必要に応じて画像の回転や設定の変更を行います。

➔ 引き続き原稿を読込む場合は、[状態表示] タブを押して [読込み終了] の選択を解除し、原稿をセットします。

7　**スタート**を押します。

送信が開始されます。

5.3　ファクス / スキャンモードメニューツリー

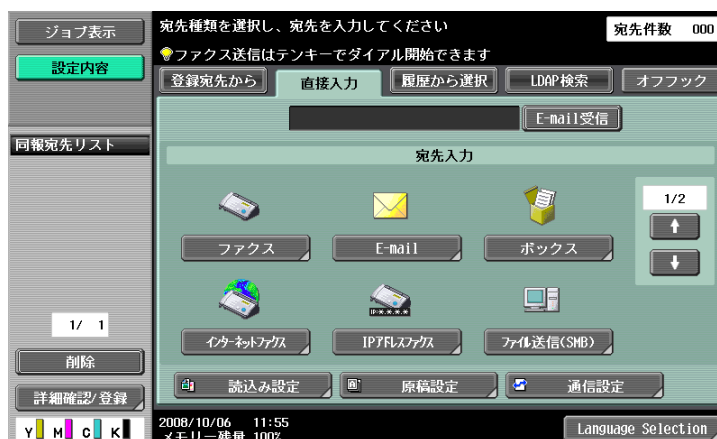
ファクス / スキャンモードで操作できる機能の構成や設定項目は以下のようになっています。

［登録宛先から］タブ

［登録宛先から］で操作できる内容は以下のとおりです。（5-20 ページ）

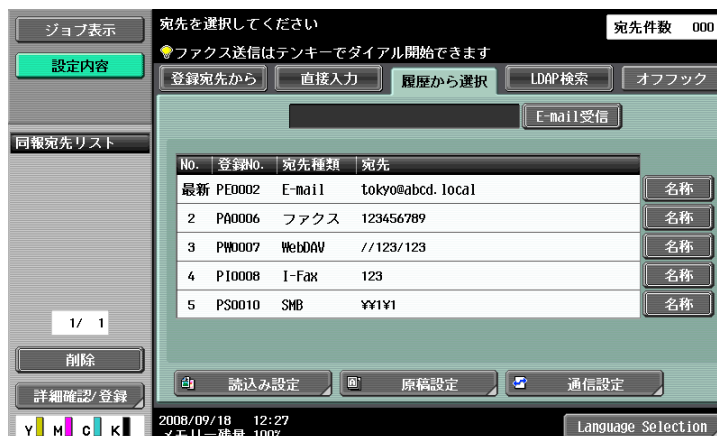
第 1 階層
［宛先検索］（p. 5-21）
［読込み設定］（p. 5-36）
［原稿設定］（p. 5-55）
［通信設定］（p. 5-58）

［直接入力］タブ

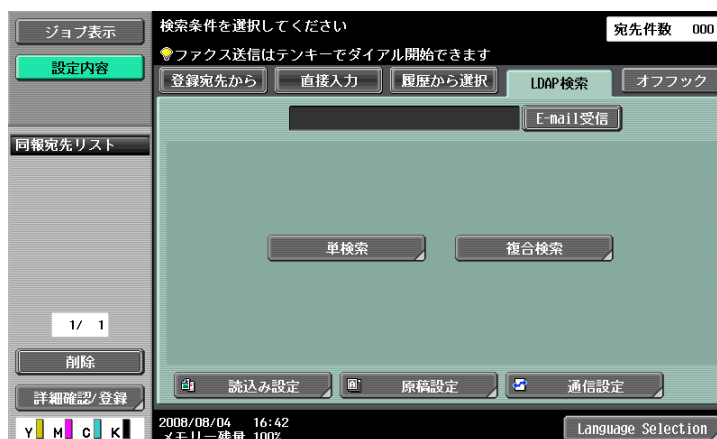
［直接入力］で操作できる内容は以下のとおりです。（5-25 ページ）

第 1 階層
［ファクス］（p. 5-25）
［E-mail］（p. 5-25）
［ボックス］（p. 5-26）
［インターネットファクス］（p. 5-26）
［IP アドレスファクス］（p. 5-27）
［ファイル送信（SMB）］（p. 5-28）
［ファイル送信（FTP）］（p. 5-28）
［ファイル送信（WebDAV）］（p. 5-29）

第 1 階層
[Web サービス]（p. 5-31）
[読込み設定]（p. 5-36）
[原稿設定]（p. 5-55）
[通信設定]（p. 5-58）

[履歴から選択] タブ

[履歴から選択] で操作できる内容は以下のとおりです。（5-32 ページ）

第 1 階層
[履歴]
[読込み設定]（p. 5-36）
[原稿設定]（p. 5-55）
[通信設定]（p. 5-58）

[LDAP 検索] タブ

[LDAP 検索] で操作できる内容は以下のとおりです。（5-33 ページ）

第 1 階層
[単検索]（p. 5-33）
[複合検索]（p. 5-33）
[読込み設定]（p. 5-36）
[原稿設定]（p. 5-55）
[通信設定]（p. 5-58）

［オフフック］

（5-35 ページ）

［読込み設定］

［読込み設定］で設定できる内容は以下のとおりです。（5-36 ページ）

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層
［原稿画質］（p. 5-36）				
［片面 / 両面］（p. 5-37）				
［解像度］（p. 5-37）				
［ファイル形式］（p. 5-38）	［ファイル形式］（p. 5-38）			
	［ページ設定］（p. 5-39）			
	［暗号化］（p. 5-40）			
	［スタンプ合成方法］（p. 5-42）			
	［アウトライン PDF］（p. 5-42）			
［濃度］（p. 5-43）				
［カラー］（p. 5-43）				
［読込みサイズ］（p. 5-44）				
［画質調整］	［下地調整］（p. 5-45）			
	［シャープネス］（p. 5-46）			
［応用設定］	［枠消し］（p. 5-46）			
	［ブック連写］（p. 5-47）			
	［ファイリングナンバー］（p. 5-49）			
	［スタンプ / ページ印字］	［日付 / 時刻］（p. 5-49）	［日付種類］	
			［時刻種類］	
			［印字ページ］	
			［印字位置指定］	
			［文字詳細］	［文字の色］
				［文字サイズ］
				［文字種類］

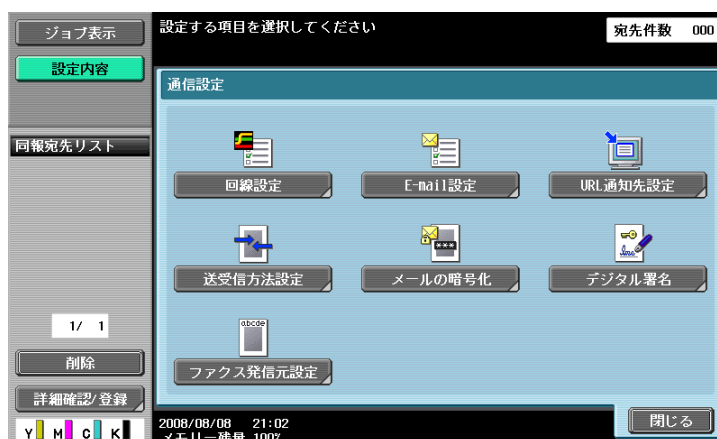
第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	第 5 階層
		[ページ番号]（p. 5-50）	[印字開始ページ番号]	
			[印字開始章番号]	
			[ページ種類]	
			[印字位置指定]	
			[文字詳細]	[文字の色]
				[文字サイズ]
				[文字種類]
		[スタンプ]（p. 5-51）	[定型スタンプ種類]	
			[印字ページ]	
			[文字サイズ]	
			[文字の色]	
			[印字位置指定]	
		[ヘッダー / フッター]（p. 5-51）	[ヘッダー / フッター呼出し]	
			[確認 / 一時変更]	
	[同時印刷]（p. 5-52）	[部数]		
		[片面 / 両面印刷]		
		[ステープル]		
	[済みスタンプ]（p. 5-53）			
[文書名]（p. 5-53）				
[連続読込み設定]（p. 5-54）				

[原稿設定]

[原稿設定] で設定できる内容は以下のとおりです。（5-55 ページ）

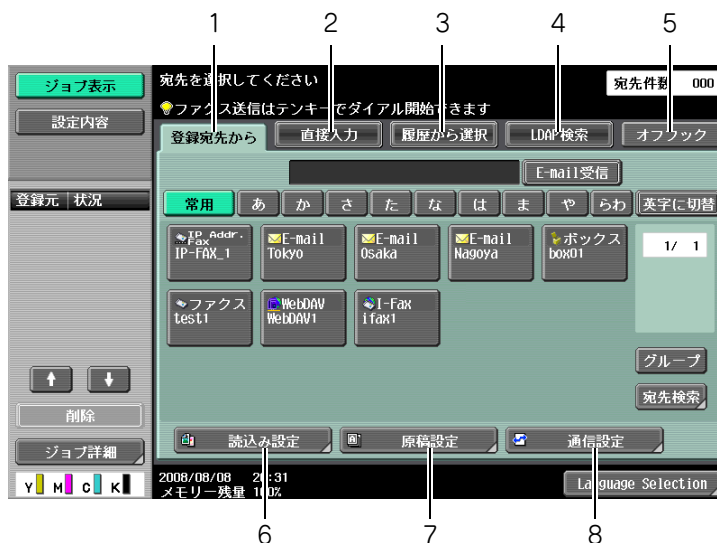
第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
[原稿指定]	[混載原稿]（p. 5-55）		
	[Z 折れ原稿]（p. 5-55）		
	[長尺原稿]（p. 5-55）		
[方向指定]	[原稿セット方向]（p. 5-55）		
	[原稿のとじしろ]（p. 5-56）		
[原稿枚数指定]（p. 5-56）			
[汚れ軽減モード]（p. 5-57）			

［通信設定］

［通信設定］で設定できる内容は以下のとおりです。（5-58 ページ）

<table>
<tr><th>第 1 階層</th><th>第 2 階層</th><th>第 3 階層</th><th>第 4 階層</th></tr>
<tr><td rowspan="5">［回線設定］
（p. 5-58）</td><td colspan="3">［海外通信モード］（p. 5-58）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［ECM OFF］（p. 5-58）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［V34 OFF］（p. 5-58）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［宛先確認送信］（p. 5-59）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［回線指定］（p. 5-59）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">［E-mail 設定］
（p. 5-59）</td><td colspan="3">［文書名］（p. 5-59）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［件名］（p. 5-60）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［From］（p. 5-60）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［本文］（p. 5-60）</td></tr>
<tr><td colspan="4">［URL 通知先設定］（p. 5-61）</td></tr>
<tr><td rowspan="9">［送受信方法設定］
（p. 5-62）</td><td colspan="3">［クイックメモリー送信］（p. 5-62）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ポーリング受信］</td><td colspan="2">［通常］（p. 5-63）</td></tr>
<tr><td colspan="2">［掲示板］（p. 5-63）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［タイマー通信］（p. 5-64）</td></tr>
<tr><td colspan="3">［パスワード送信］（p. 5-64）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［ポーリング送信］</td><td colspan="2">［通常］（p. 5-65）</td></tr>
<tr><td colspan="2">［掲示板］（p. 5-65）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［F コード送信］
（p. 5-66）</td><td colspan="2">［SUB アドレス］</td></tr>
<tr><td colspan="2">［送信 ID］</td></tr>
<tr><td colspan="4">［メールの暗号化］（p. 5-66）</td></tr>
<tr><td colspan="4">［デジタル署名］（p. 5-66）</td></tr>
<tr><td colspan="4">［ファクス発信元設定］（p. 5-67）</td></tr>
</table>

5.4　ファクス / スキャン初期画面

5.4.1　画面構成の説明

ファクス / スキャンを押すと、以下の画面が表示されます。

No.	項目	説明	参照先
1	［登録宛先から］	あらかじめ登録された宛先から送信先を選択します。	p. 5-20
2	［直接入力］	登録されていない宛先を直接入力して指定します。	p. 5-25
3	［履歴から選択］	送信先の履歴から選択します。	p. 5-32
4	［LDAP 検索］	LDAP サーバーから宛先を検索します。	p. 5-33
5	［オフフック］	オフフックしてダイアルできます。	p. 5-35
6	［読込み設定］	スキャン時の読込みの詳細を設定できます。	p. 5-36
7	［原稿設定］	原稿の種類やセット方向の詳細を設定できます。	p. 5-55
8	［通信設定］	通信に関する設定を行います。	p. 5-58

参考

- 管理者モードの［セキュリティー設定］で手動宛先入力を禁止にした場合は、［直接入力］が表示されません。
- 宛先 2 度入力機能（送信）を ON に設定しているときは、［オフフック］は表示されません。宛先 2 度入力機能については、11-21 ページをごらんください。
- LDAP サーバーの設定について詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］の「LDAP 使用設定」をごらんください。
- 各タブの表示位置はユーザー設定の内容によって変わります。詳しくは 10-25 ページをごらんください。

5.5　登録宛先から

登録されている宛先を選択できます。

Me（Scan to Me）

ユーザー認証を設定している場合、［登録宛先から］に［Me］宛先が表示されます。表示される［Me］宛先を押すことで自分自身の E-mail アドレス（ユーザー登録情報の E-mail アドレス）へスキャンデータを簡単に送信できます。

No.	項目	説明
1	［Me］	自分自身の E-mail アドレス（ユーザー登録情報の E-mail アドレス）を選択します。

参考

- ［Me］はユーザー設定の［「登録宛先から」初期表示］が［検索文字］の場合に［登録宛先から］に表示されます。

参照

設定方法については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

Home（Scan to Home）

Active Directory でユーザー認証を設定している場合、タッチパネルに表示される［Home］を押すことで、自分自身の Home フォルダへスキャンデータを簡単に送信できます。

この場合、管理者設定の［Home 宛先有効設定］を［有効］に設定します。

No.	項目	説明
1	［Home］	自分自身の Home フォルダを選択します。

参照

設定方法については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

5.5.1 グループ

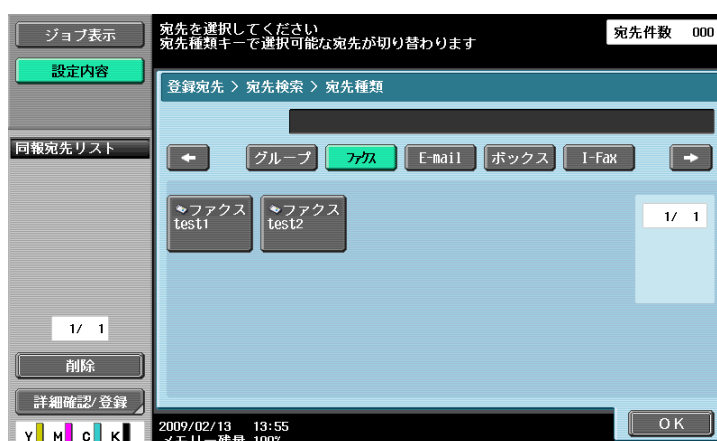
登録されているグループ宛先が表示されます。

5.5.2 宛先検索

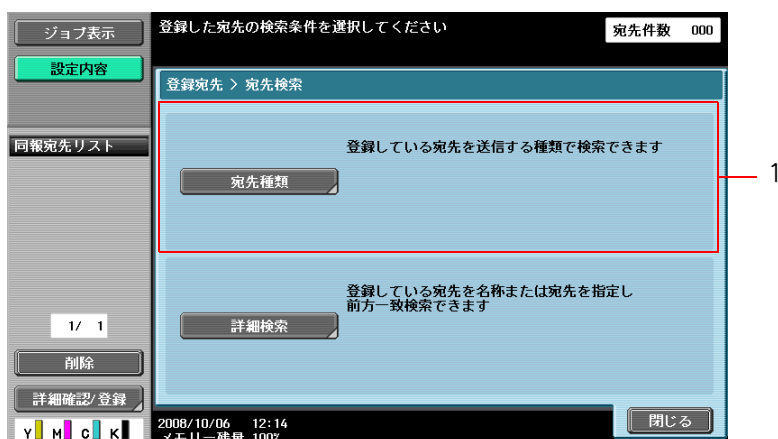
送信したい宛先を検索することができます。登録宛先を検索するには、以下の方法があります。

宛先種類

宛先登録時に設定した宛先種類別に検索できます。

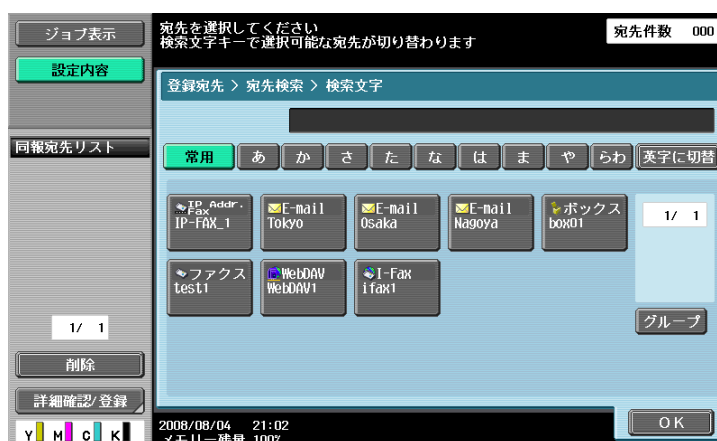
参照

詳しい設定方法は、10-25 ページをごらんください。

短縮宛先の登録については、10-7 ページをごらんください。

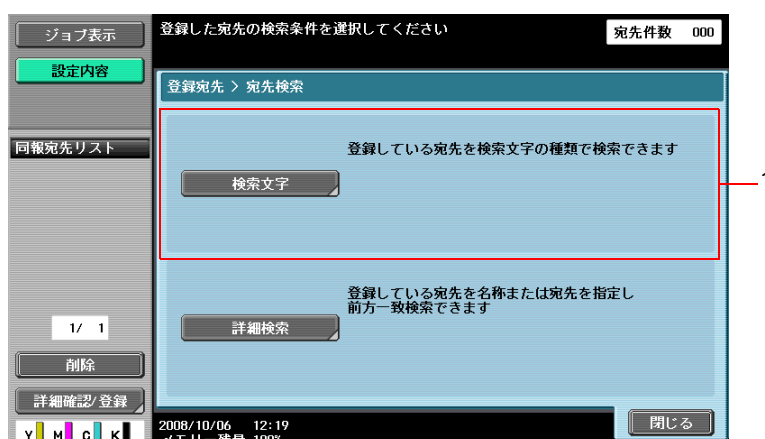
［宛先種類］は、設定メニューの［ユーザー設定］－［画面カスタマイズ設定］－［ファクス / スキャン設定］で［「登録宛先から」初期表示］を［検索文字］に設定している場合、［宛先検索］を押すと表示されます。

No.	項目	説明
1	［宛先種類］	登録した種類別に宛先を表示します。

検索文字

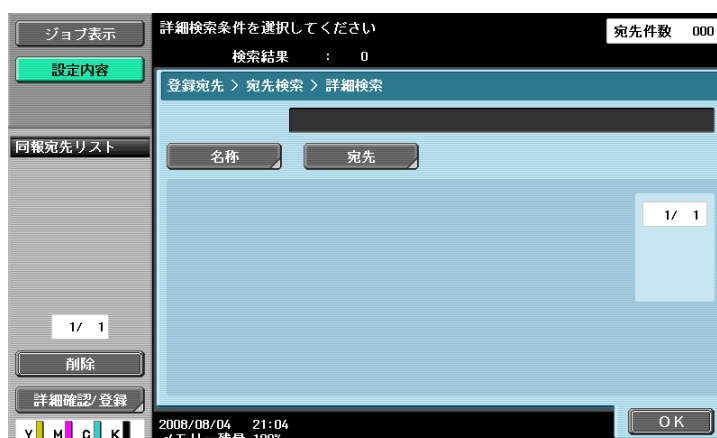
宛先登録時に設定した検索文字別に表示されます。

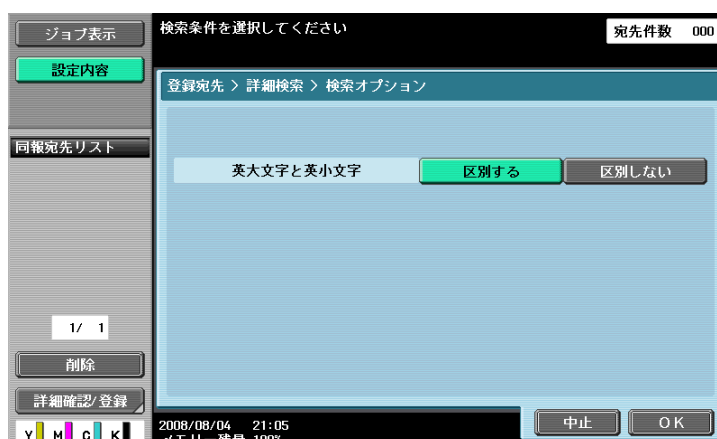
参照

詳しい設定方法は、10-25 ページをごらんください。

短縮宛先の登録については、10-7 ページをごらんください。

［検索文字］は、設定メニューの［ユーザー設定］－［画面カスタマイズ設定］－［ファクス / スキャン設定］で［「登録宛先から」初期表示］を［宛先種類］に設定している場合、［宛先検索］を押すと表示されます。

No.	項目	説明
1	［検索文字］	登録した検索文字別に宛先を表示します。

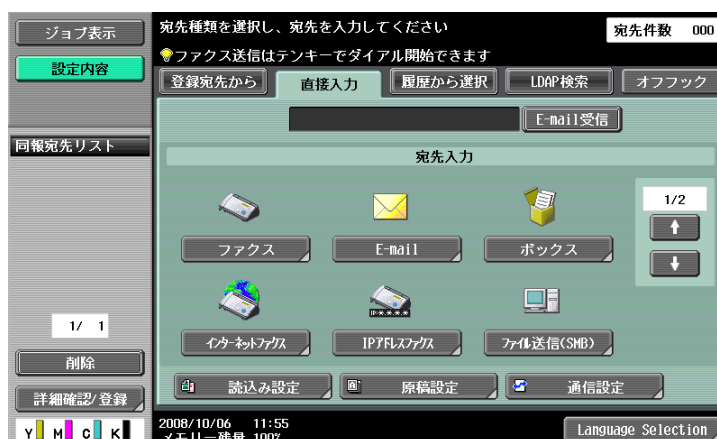
詳細検索

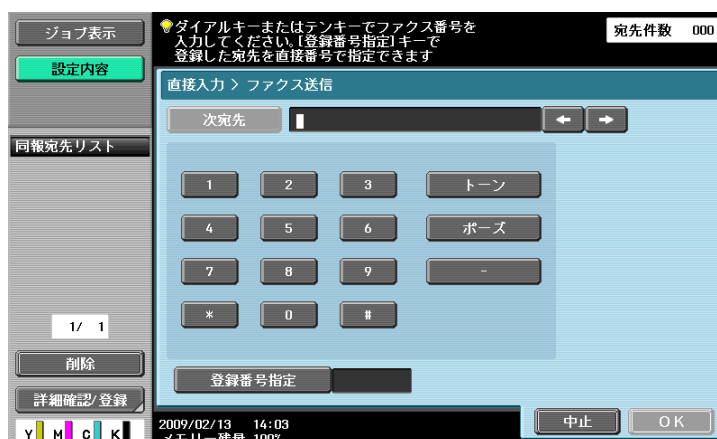
アドレスの名称や内容の一部を入力して、該当するアドレスを検索します。［名称］または［宛先］を選択し、検索文字を入力してください。

検索オプション

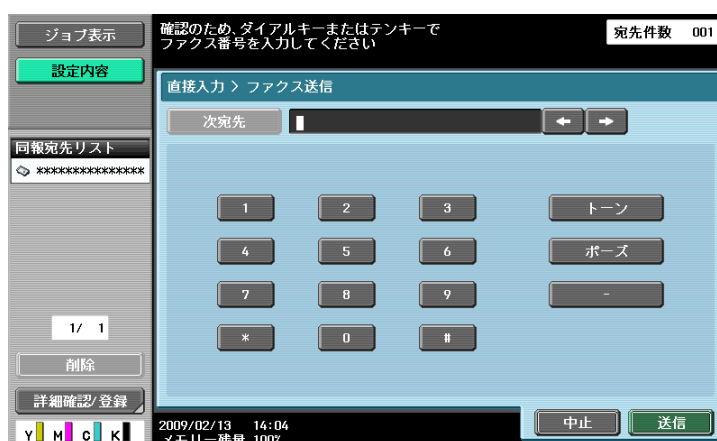
詳細検索で、条件を選択すると検索時のオプション項目が表示されます。検索時に追加したい内容を選択し、［OK］を押します。

参考

- 検索オプション画面の表示や、表示される項目の内容は設定メニューの［検索オプション設定］で設定します。詳しくは、10-27 ページをごらんください。

5.6　　直接入力

登録されていない送信先を直接入力することで指定できます。

5.6.1　　ファクス

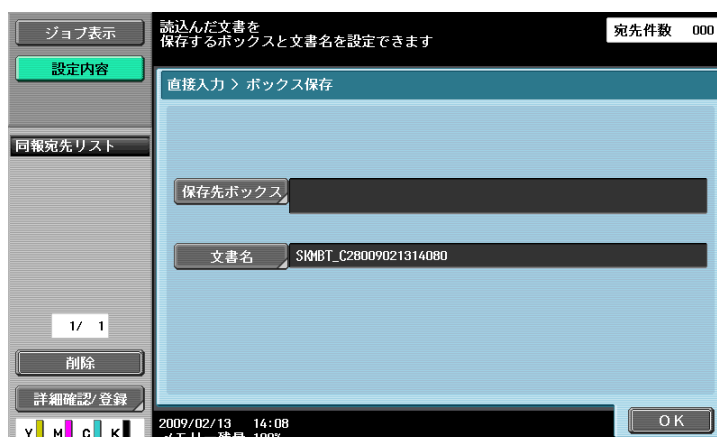
テンキーまたはパネルのキーを使ってファクス番号を入力します。

「宛先 2 度入力機能（送信）」が設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［送信］を押します。

参照

宛先 2 度入力機能については、11-21 ページをごらんください。

5.6.2　　E-mail

パネルから E-mail アドレスを入力します。

5.6.3　ボックス

ボックスの種類を選択し、保存先のボックスを指定します。

参照
ボックスに保存したデータの操作方法については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

5.6.4　インターネットファクス

パネルから E-mail アドレスを入力します。

次宛先

続けて他の宛先を指定するときに押します。

相手機受信能力

インターネットファクスの宛先で受信可能な設定を選択します。受信可能な設定を複数選択できます。

項目	説明
［圧縮形式］	JPEG（カラー）、JPEG（グレースケール）、MMR、MR、MH を選択できます。 高圧縮の順に JPEG、MMR、MR、MH となり、高圧縮の場合、通信時間が短縮できますが、相手機が対応していない場合があります。相手機が対応している圧縮形式を選択します。
［用紙サイズ］	A3、B4、A4 を選択できます。
［解像度］	600 × 600 dpi（超高精細）、400 × 400 dpi（高精細）、200 × 200 dpi（精細）、200 × 100 dpi（普通）を選択できます。

5.6.5 IP アドレスファクス

IP アドレスファクスの宛先を設定します。

［宛先］

宛先の IP アドレス、ホスト名、電子メールアドレスのいずれかを入力します。

入力方法は以下のとおりです。

- IP アドレスで指定
  送信先の IP アドレスを直接指定します。
- ネットワーク上のホスト名で指定
  送信先のホスト名を指定します。
- 電子メールアドレスで指定（1）
  メールアドレスの形式を使用して指定もできます。
  入力例：
  IPv4 アドレス形式の場合：ipaddrfax@[192.168.0.101]
  IPv6 アドレス形式の場合：ipaddrfax@[IPv6:2004:2740:1003:1:250:70ff:fe00:1567]
  - メールアドレス形式の場合、アットマークのあとに続く IP アドレスを括弧 "[ ]" で挟む必要があります。
  - IPv6 アドレスでの指定の場合、最初の括弧 "[" のすぐあとに、"IPv6:" の入力が必要です。
- 電子メールアドレス形式（2）
  入力例：ipaddrfax@test.local
  - アットマークのあとに続く "test.local" は、自装置ドメイン名であり、E-mail アドレスとしてのドメイン名ではありません。
  - メールアドレス形式（2）の場合、自装置ドメイン名の名前解決ができる DNS サーバーが必要です。

［ポート番号］

送信に使用するポート番号をテンキーで入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。

［相手先機種］

相手先の機種がカラー機の場合、［カラー機］を選択します。

［次宛先］

続けて他の宛先を指定するときに押します。

5.6.6 ファイル送信（SMB）

ファイル送信（SMB）の宛先を指定します。

［ホスト名］

パネルから送信先のホスト名（大文字で入力）または IP アドレスを指定します。

［ファイルパス］

パネルから送信先のフォルダーのパスを大文字で入力します。

［ユーザー名］

パネルからログインするユーザー名を入力します。

［パスワード］

パネルからログインパスワードを入力します。

［参照］

接続先のコンピューターのフォルダー構成を確認できます。送信先のフォルダーを直接指定することもできます。

［次宛先］

続けて他の宛先を指定するときに押します。

5.6.7 ファイル送信（FTP）

ファイル送信（FTP）の宛先を指定します。

［ホスト名］

パネルから送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。

［ファイルパス］

パネルから送信先のフォルダーのパスを指定します。

［ユーザー名］

パネルからログインするユーザー名を入力します。［共通名］を押すと「anonymous」が入力されます。

［パスワード］

ログインパスワードを入力します。

［詳細指定］

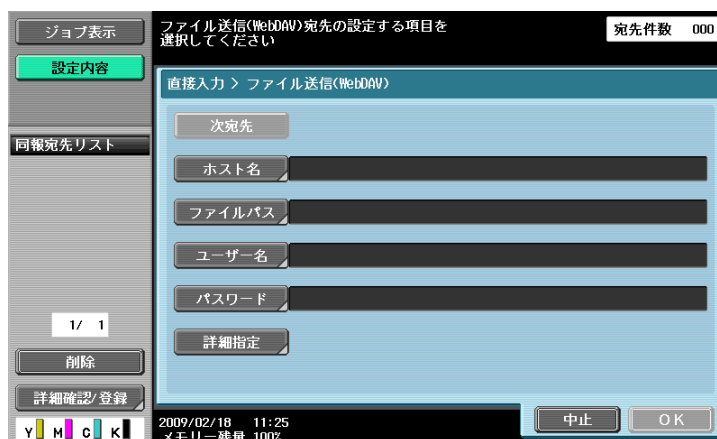
さらに詳細な設定を行います。

項目	説明
［ポート番号］	ポート番号を入力します。
［PASV］	PASV モードを使用するかどうかを設定します。
［プロキシ］	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

［次宛先］

続けて他の宛先を指定するときに押します。

5.6.8 ファイル送信（WebDAV）

ファイル送信（WebDAV）の宛先を指定します。

［ホスト名］

パネルから送信先のホスト名または IP アドレスを指定します。

［ファイルパス］

パネルから送信先のフォルダーのパスを指定します。

［ユーザー名］

パネルからログインするユーザー名を入力します。

［パスワード］

パネルからログインパスワードを入力します。

［詳細指定］

さらに詳細な設定を行います。

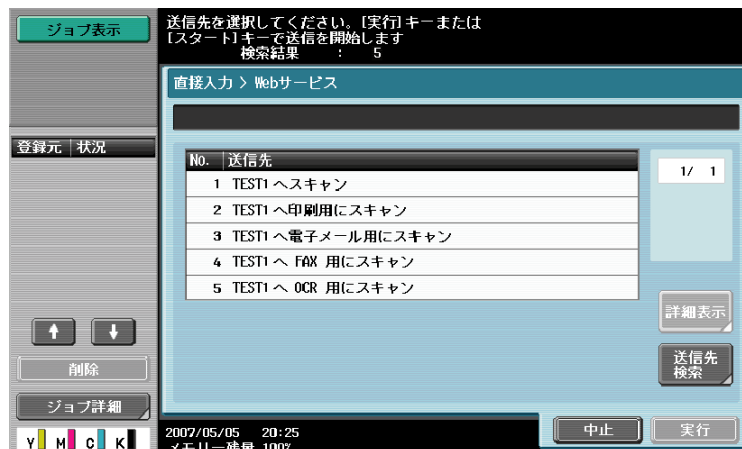
項目	説明
［ポート番号］	ポート番号を入力します。
［プロキシ］	プロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。
［SSL 設定］	送信に SSL を使用するかどうかを設定します。

［次宛先］

続けて他の宛先を指定するときに押します。

5.6.9 Web サービス

あらかじめ登録したネットワーク上のコンピューターにスキャンしたデータを送信します。

本機を Web サービススキャナーとして登録しているネットワーク上のコンピューターが送信先として表示されます。宛先を選択してください。

参照

事前に必要な設定については、4-6 ページをごらんください。

コンピューターからスキャンを本機に指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は 14-5 ページをごらんください。

[詳細表示]

送信先の名称と URL が表示されます。

[送信先検索]

送信先の名称に含まれるキーワードをパネルから入力し、送信先を検索します。

5.7　　履歴から選択

過去に送信した宛先から、最新の 5 件が表示されています。この履歴から宛先を選択できます。

過去に送信した宛先履歴が残ります。

履歴のリストから 1 件または複数件を押して選択します。

参考

- Web サービスを使用して送信した場合は、履歴に表示されません。

［名称］

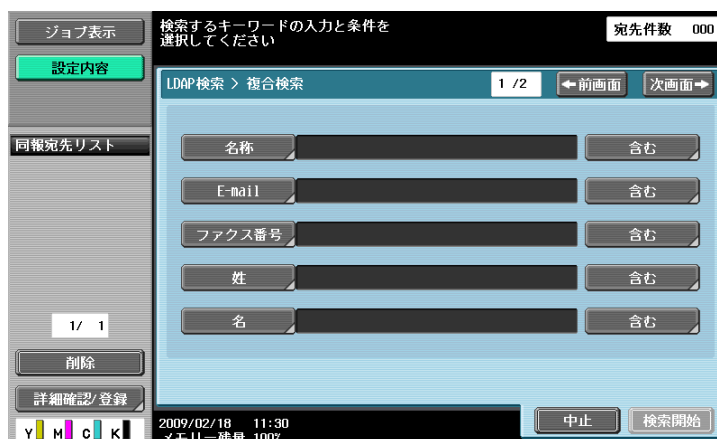
登録宛先を使用して送信した場合、履歴のリストに［名称］が表示されます。［名称］を押すと履歴のリストの［宛先］が［名称］に切り替わり、登録名が表示されます。

5.8 LDAP 検索

5.8.1 単検索

検索するキーワードを入力し、[検索開始]を押すと、指定した LDAP サーバー内で該当するアドレスが検索されます。

5.8.2 複合検索

複数の検索条件を設定し、目的のアドレスを検索します。

[名称]

パネルから名称を入力します。

[E-mail]

パネルから E-mail アドレスを入力します。

[ファクス番号]

パネルからファクス番号を入力します。

[姓]

パネルから姓を入力します。

[名]

パネルから名を入力します。

［都市名］

パネルから都市名を入力します。

［会社名］

パネルから会社名を入力します。

［組織名］

パネルから組織名を入力します。

［含む］/［同じ］/［始まる］/［終わる］

入力した検索条件の設定を含む / 同じ / 始まる / 終わるから選択できます。

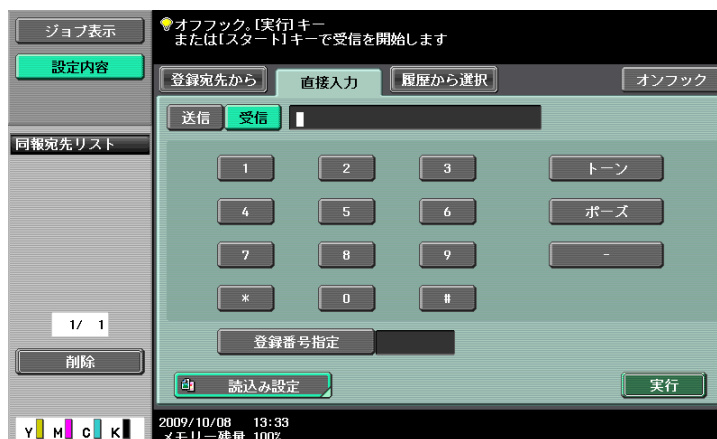
5.9 オフフック（G3）

手動でファクス送信するときに使用します。

参考

- オフフックを使用するときは、メモリー送信を行うことはできません。
- 宛先 2 度入力機能（送信）を ON に設定しているときは、オフフックは使用できません。
- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［コピーガード］または［パスワードコピー］を［する］に設定している場合、［オフフック］は表示されません。

手動送信

原稿をセットし、必要に応じて読込みの設定を行います。［オフフック］を押すとオンフックの状態になり、相手先を指定する画面が表示されます。

［送信］を押し、相手先を指定して［実行］を押します。

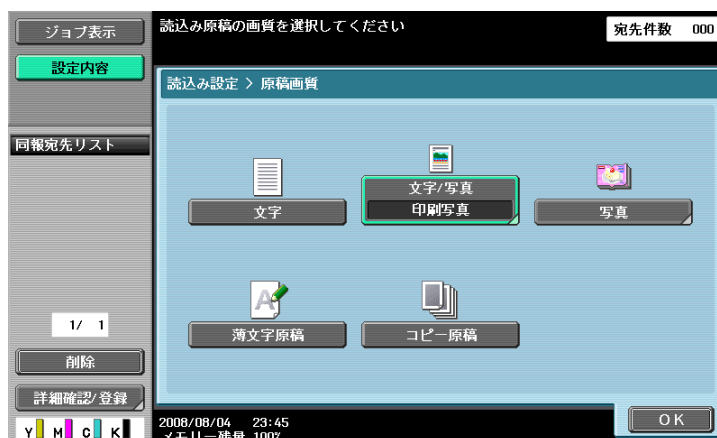
参考

- 宛先の設定方法は、登録宛先から / 直接入力 / 履歴から選択 / プログラム宛先から選択できます。

5.10 読込み設定

［読込み設定］を押すと、スキャン時の詳しい内容を設定できます。

5.10.1 原稿画質

原稿の内容に合わせて選択します。選択できる画質は以下のとおりです。

［文字］

文字だけで構成されている原稿です。

［文字 / 写真］

文字と写真（ハーフトーン）が混ざっている原稿です。

［文字 / 写真］または［写真］を選択したときは、写真の種類も指定できます。

項目	説明
［印画紙写真］	印画紙にプリントされた写真のときに指定します。
［印刷写真］	本や雑誌など印刷された写真のときに指定します。

［写真］

写真（ハーフトーン）だけの原稿です。

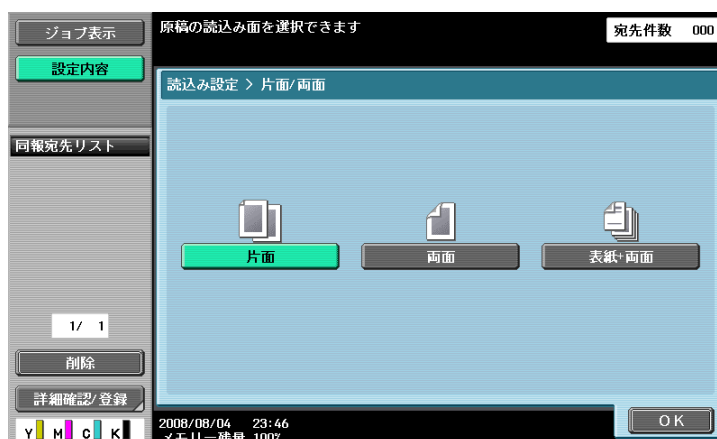
［薄文字原稿］

文字が全体的に薄い原稿です。

［コピー原稿］

コピーやプリンターで出力した均一な濃度の原稿です。

5.10.2 片面 / 両面

原稿の片面をスキャンするか両面をスキャンするか選択します。

［片面］

原稿の片面をスキャンします。

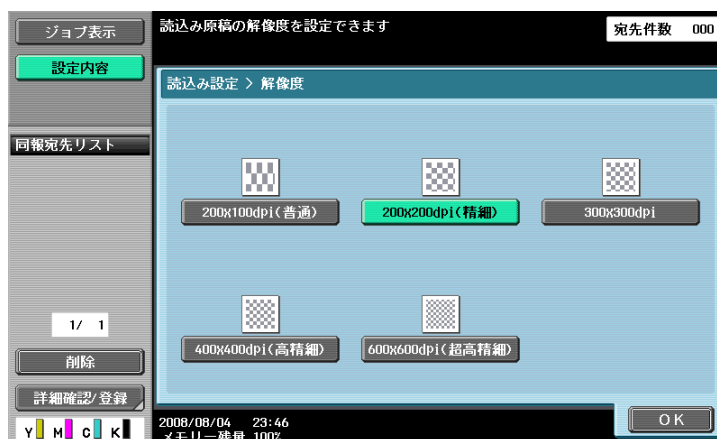
［両面］

原稿の両面をスキャンします。

［表紙 + 両面］

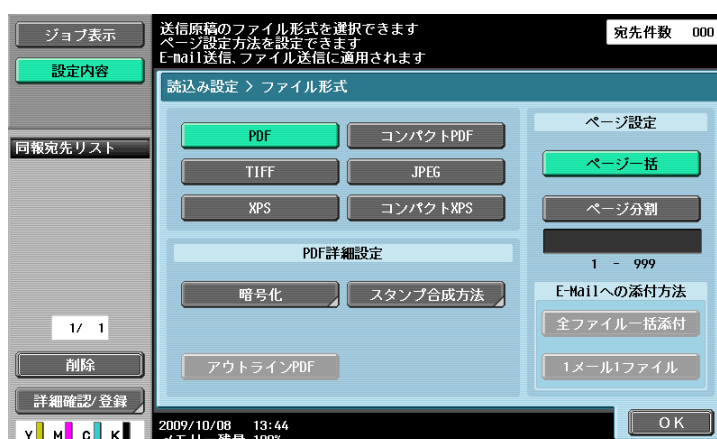
原稿の最初のページを表紙として片面だけスキャンし、残りのページを両面スキャンします。

5.10.3 解像度

スキャンする解像度を選択します。

参考

- G3 ファクス / インターネットファクス送信時に［300 × 300dpi］、または［200 × 100dpi］を選択したときは、自動的に 200 × 200dpi に変換されて送信されます。
- コンパクト PDF、コンパクト XPS 選択時に、IP アドレスファクス送信での相手先を選択した場合、または、同報宛先に IP アドレスファクス送信での相手先が含まれる場合は、400 × 400dpi、600 × 600dpi は、300 × 300dpi に変換されて送信されます。

5.10.4 ファイル形式

スキャンしたデータを保存するファイル形式を選択します。

ファイル形式

選択できるファイル形式は以下のとおりです。

項目	説明
[PDF]	PDF 形式で保存します。
[コンパクト PDF]	PDF 形式よりも圧縮したデータで保存します。
[TIFF]	TIFF 形式で保存します。
[JPEG]	JPEG 形式で保存します。
[XPS]	XPS 形式で保存します。
[コンパクト XPS]	XPS 形式よりも圧縮したデータで保存します。

保存するファイル形式は［カラー］の設定によって指定できない場合があります。［ファイル形式］と［カラー］の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	［オートカラー］	［フルカラー］	［グレースケール］	［白黒 2 値］
[PDF]	○	○	○	○
[コンパクト PDF]	○	○	○	－
[TIFF]	○	○	○	○
[JPEG]	○	○	○	－
[XPS]	○	○	○	○
[コンパクト XPS]	○	○	○	－

参考

- ボックス保存時にファイル形式を選択しても、データをダウンロードするときはファイル形式の指定が必要です。
- TIFF ファイルをカラーで保存する場合、圧縮形式を設定できます。詳しくは、10-27 ページをごらんください。
- ［JPEG］を選択した場合、ページ設定は、ページ分割の［1 ページごと］が自動的に選択されます。
- コンパクト PDF、コンパクト XPS 選択時に、IP アドレスファクス送信での相手先を選択した場合、または、同報宛先に IP アドレスファクス送信での相手先が含まれる場合は、400 × 400dpi、600 × 600dpi は、300 × 300dpi に変換されて送信されます。

ページ設定

複数ページをスキャンして送信するときのデータのまとめかたを指定できます。

項目	説明
［ページ一括］	スキャンした全ての原稿をまとめてひとつのファイルを作成します。ファイル形式で［JPEG］と同時に選択できません。
［ページ分割］	指定したページごとに分割してファイルを作成します。 テンキーで 1 ファイルに保存するページ数を入力します。
［E-Mail への添付方法］	ページ分割を選択した場合、E-mail 送信時のファイル添付方法を設定します。 ［全ファイル一括添付］：全てのファイルを 1 通のメールに添付します。 ・　1 通のメールに添付できるファイル数は 300 ファイルです。300 ファイルを超える場合、複数のメールを送信します。 （例）分割して作成されたファイル数が 350 ファイルの場合 1 件目のメール：300 ファイル添付 ２件目のメール：50 ファイル添付 ・　［全ファイル一括添付］を選択した場合、1 メールのサイズは 200MB 以内に制限されます。制限容量以上のメールサイズの場合、複数のメールを送信します。 （例）制限容量が 200MB、メールサイズが 250MB の場合 1 件目のメール：197MB ２件目のメール：53MB 管理者設定の［E-mail 送信（SMTP）］で［バイナリー分割］を設定している場合、バイナリー分割の設定が優先されます。 ・　管理者設定の［E-mail 送信（SMTP）］でサーバー容量を設定している場合、設定しているサイズでメールを分割するため、複数のメールになる場合があります。 （例）メールサイズが 1.5MB（5 ファイル添付）、サーバー容量設定が 1MB の場合 1 件目のメール：0.9MB（3 ファイル添付） ２件目のメール：0.7MB（2 ファイル添付） ［1 メール 1 ファイル］：1 通のメールに 1 ファイルずつ添付します。 ・　［1 メール 1 ファイル］を選択した場合、1 メールのサイズは 400MB 未満に制限されます。400MB 以上のサイズのメールは送信できません。 管理者設定の［E-mail 送信（SMTP）］で［バイナリー分割］を設定している場合、バイナリー分割の設定が優先されます。

参考

- ボックスへの保存時は、分割指定されたことを記憶し、［ページ一括］で保存されます。
- ページ分割指定は、E-mail、FTP、SMB 宛先への送信時に有効になります。

暗号化

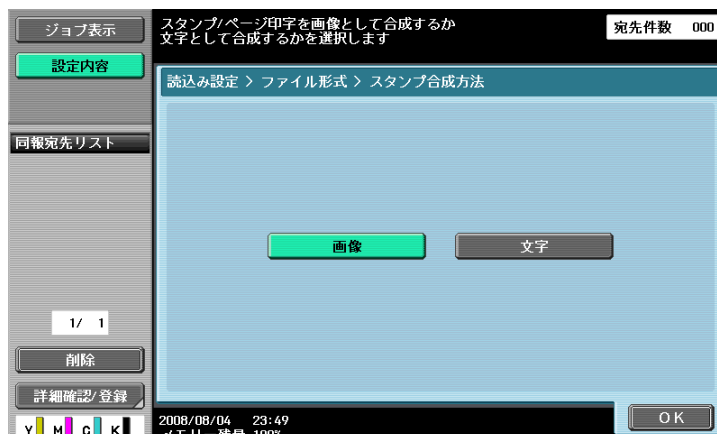
ファイル形式で［PDF］または［コンパクト PDF］を選択したときは暗号化のレベルを設定できます。

項目	説明
［パスワード］	暗号化されたデータを開くときに必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。パスワードは確認のため 2 回入力してください。
［文書の権限］	文書の権限を変更するために必要なパスワードを入力します（入力範囲：32 文字以内）。パスワードは確認のため 2 回入力してください。

項目		説明
［詳細設定］	［暗号化］で文書の権限を設定した場合は、権限の詳細を設定できます。	
	［印刷許可レベル］	データの印刷を許可する / 許可しないを選択します。暗号化レベルを［高レベル］に設定した場合は、［低解像度のみ許可］が表示されます。 ・［低レベル］を選択した場合 ・［高レベル］を選択した場合
	［変更許可レベル］	詳細設定画面で［次画面 →］を押すと変更許可レベルの詳細を選択できます。［変更許可レベル］ではデータの署名、入力、注釈などの文書変更に関する許可レベルを選択します。 ・［低レベル］を選択した場合 ・［高レベル］を選択した場合

スタンプ合成方法

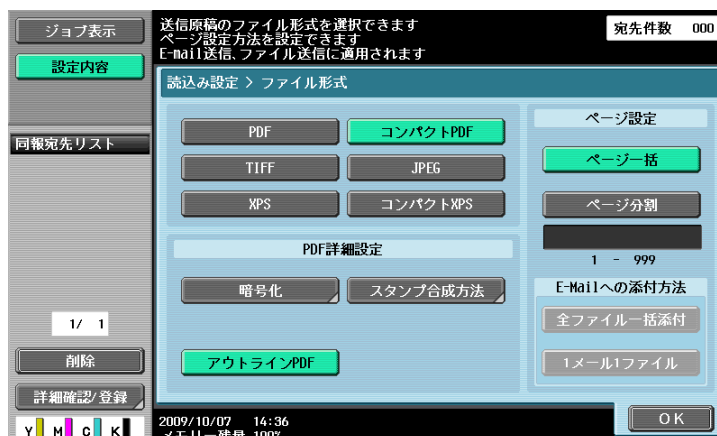
スタンプ / ページ印字で追加される内容の合成方法を選択できます。

- 文字として合成できるのは日付 / 時刻、ページ番号、ヘッダー / フッターです。
- スタンプは画像として合成されます。

項目	説明
［画像］	文字列を画像として挿入します。
［文字］	文字列をテキストとして挿入します。

アウトライン PDF

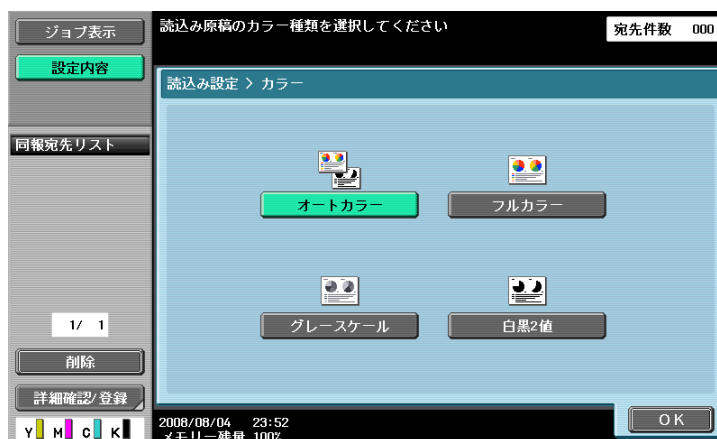
ファイル形式で［コンパクト PDF］を選択したときに設定できます。文字をアウトライン処理するため、滑らかに表示させることができます。また、Adobe Illustrator などのソフトウェアで編集できます。

参照

アウトライン PDF 作成時のアウトライン処理の精度を設定できます。詳しくは、10-27 ページをごらんください。

5.10.5 濃度

スキャン時の濃さを調整します。

- 濃さを調整するときは［うすく］または［こく］を押します。
- ［ふつう］を押すと設定が初期値に戻ります。

5.10.6 カラー（E-mail/BOX/SMB/FTP/WebDAV/IP/I-FAX）

カラーでスキャンするか白黒でスキャンするかを設定します。

カラーは［ファイル形式］の設定によって指定できない場合があります。［ファイル形式］と［カラー］の設定の組み合わせは以下のとおりです。

	［オートカラー］	［フルカラー］	［グレースケール］	［白黒 2 値］
［PDF］	○	○	○	○
［コンパクト PDF］	○	○	○	－
［TIFF］	○	○	○	○
［JPEG］	○	○	○	－
［XPS］	○	○	○	○
［コンパクト XPS］	○	○	○	－

参考

- TIFF ファイルをカラーで保存する場合、圧縮形式を設定できます。詳しくは、10-27 ページをごらんください。
- ［JPEG］を選択した場合、ページ設定は、ページ分割の［1 ページごと］が自動的に選択されます。

［オートカラー］

原稿の色を自動的に判別し、原稿に合わせてスキャンします。

［フルカラー］

フルカラーでスキャンします。

［グレースケール］

白黒写真などのハーフトーンが多いときに選択します。

［白黒 2 値］

線画など、白黒の境がはっきりしているときに選択します。

5.10.7 読込みサイズ

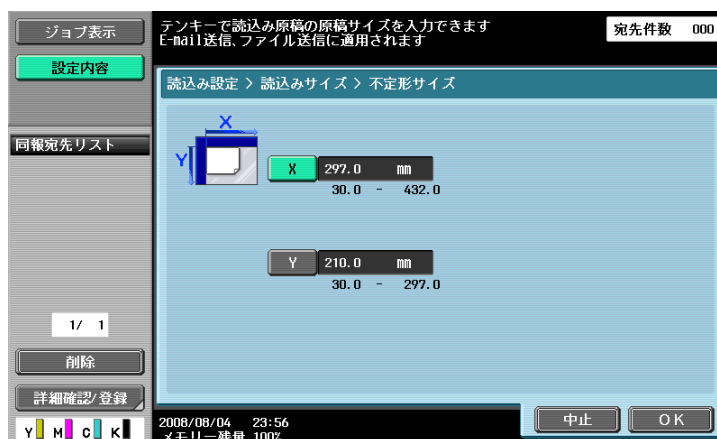
スキャンする用紙サイズを設定します。

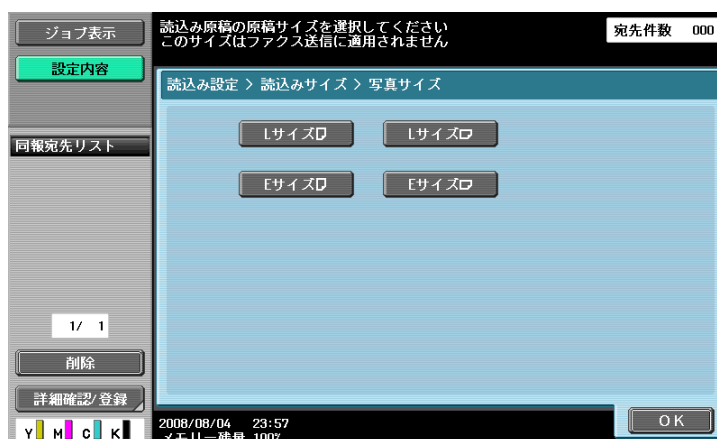
定型

スキャン時に 1 枚目の原稿サイズを自動的に検知する場合は［自動］を押します。A4、B5 など決まったサイズでスキャンする場合はサイズを選択します。

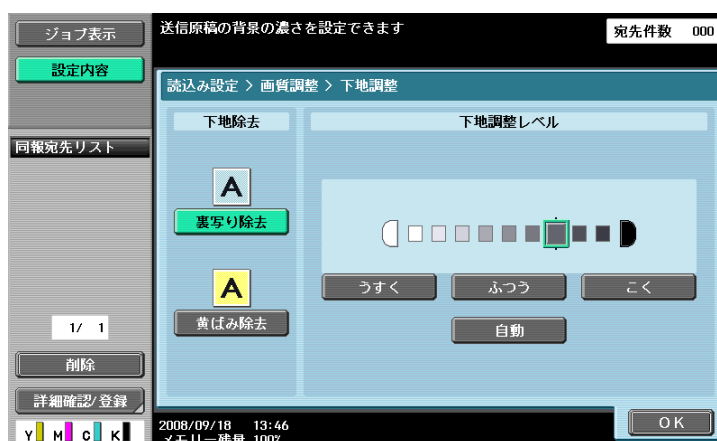
［不定形サイズ］

規格サイズにはない不定形サイズの寸法を入力して設定します。

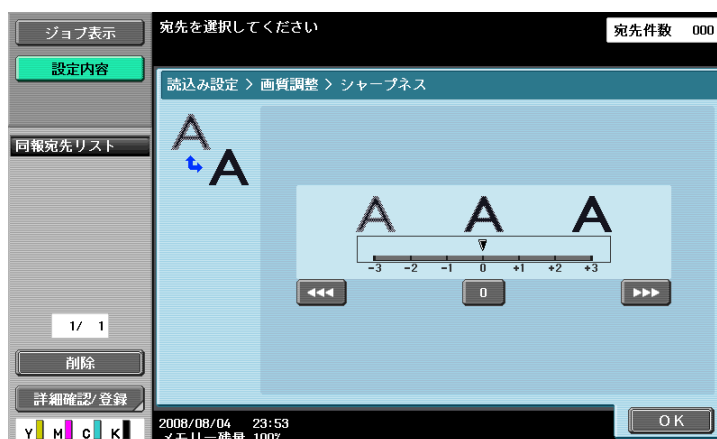
- X 方向：30.0 ～ 432.0 mm の範囲で設定します。
- Y 方向：30.0 ～ 297.0 mm の範囲で設定します。

［写真サイズ］

写真専用のサイズを選択します。

5.10.8 画質調整－下地調整

スキャン時に裏写りや原稿の下地の濃さを調整します。

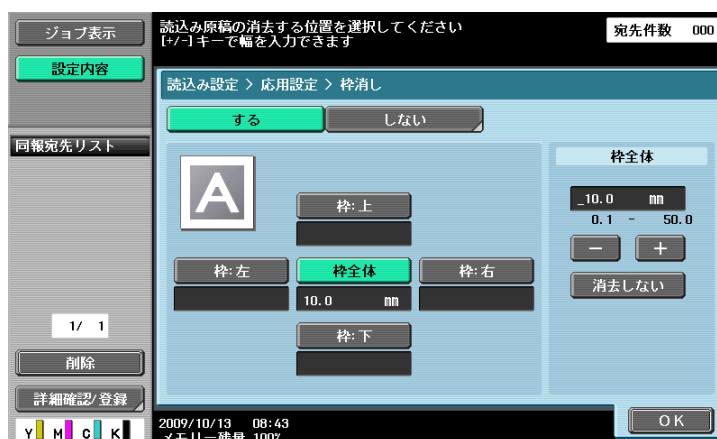
- ［裏写り除去］または［黄ばみ除去］を選択し、［下地調整レベル］で調整します。
- 自動で調整するときは、［自動］を押します。

項目	説明
［裏写り除去］	スキャンする原稿が両面原稿の場合、裏面が読み取られてしまうことがあります。このような裏写りを調整できます。
［黄ばみ除去］	スキャンする原稿に色が付いた用紙の場合、下地の色をスキャンして画像全体が濃くなることがあります。このような下地の濃さを調整できます。

5.10.9　画質調整－シャープネス

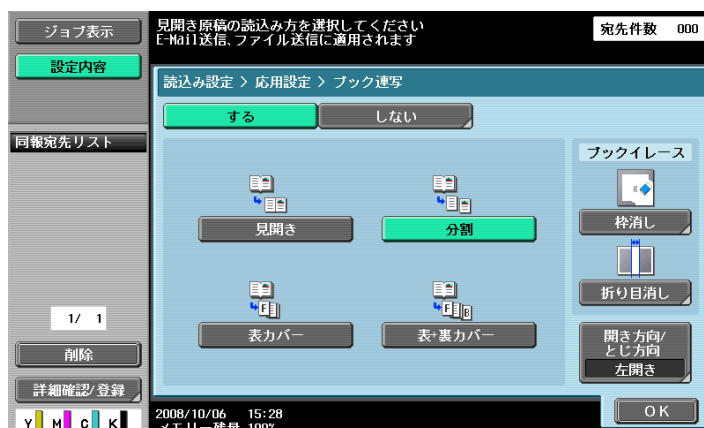
スキャン時に、文字などの境界をくっきりさせることができます。

5.10.10 応用設定－枠消し

枠消しを設定する場合に選択します。

- すべて同じ幅で消去する場合は、［枠全体］を押して数値を指定します（入力範囲：0.1 ～ 50.0 mm）。
- 上、左、右、下と個別に指定する場合は、該当するキーを押して数値を指定します。
- 消去しないときは［消去しない］を押します。

参考

- ブック連写の［枠消し］で枠の消去幅を設定すると、消去の［枠消し］でも同じ数値が設定されています。

5.10.11 応用設定－ブック連写

見開きの原稿をスキャンするときに選択します。スキャンの方法のほかに、とじ方向や不要部分の消去などを設定できます。

参考

- 原稿のサイズは見開きの大きさを指定してください。
- ファクス送信時、クイックメモリー送信機能とは同時に選択できません。

［見開き］

見開きを 1 ページとしてスキャンします。

［分割］

見開きを左右 2 ページとしてスキャンします。

［表カバー］

1 ページ目を表紙としてスキャンします。

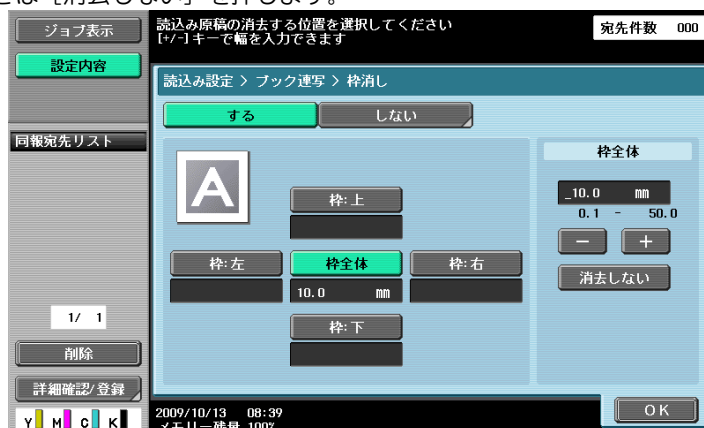
［表 + 裏カバー］

1 ページ目を表紙、2 ページ目を裏表紙、3 ページ目以降を本文としてスキャンします。

［ブックイレースー枠消し］

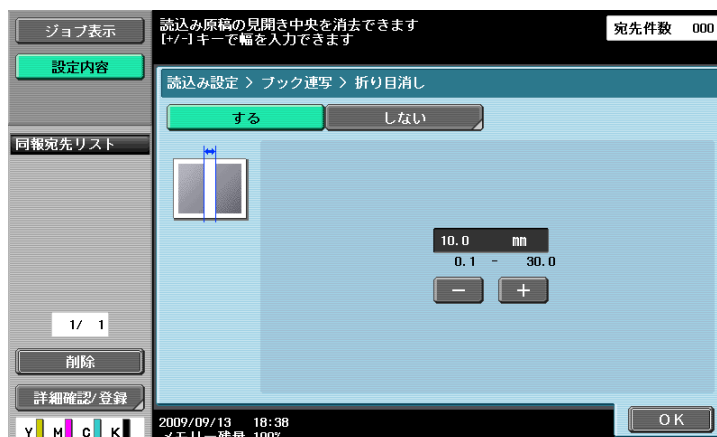
見開き原稿で枠消しを設定したい場合に選択します。

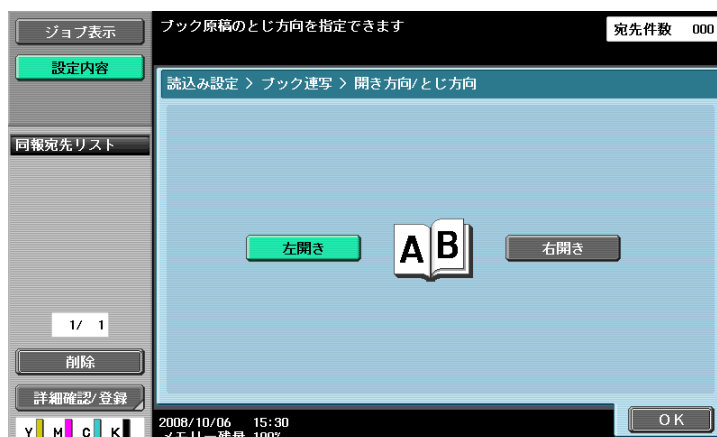
- すべて同じ幅で消去する場合は、［枠全体］を押して数値を指定します（入力範囲：0.1 ～ 50.0 mm）。
- 上、左、右、下と個別に指定する場合は、該当するキーを押して数値を指定します。
- 消去しないときは［消去しない］を押します。

参考

- ブック連写の［枠消し］で枠の消去幅を設定すると、消去の［枠消し］でも同じ数値が設定されています。

［ブックイレース］－［折り目消し］

原稿中央のとじ部分の影を消去します。

- 数値をテンキーまたは［-］［+］を押して入力します（入力範囲：0.1 ～ 30.0 mm）。

［開き方向 / とじ方向］

分割 / 表カバー / 表＋裏カバーを選択した場合は［開き方向 / とじ方向］を押してとじ方向を選択します。

5.10.12 応用設定－ファイリングナンバー

スキャンして保存した文書データに日付 / 時刻やファイリング番号の画像を付加して印刷、送信できます。

ファイリングナンバーボックス選択

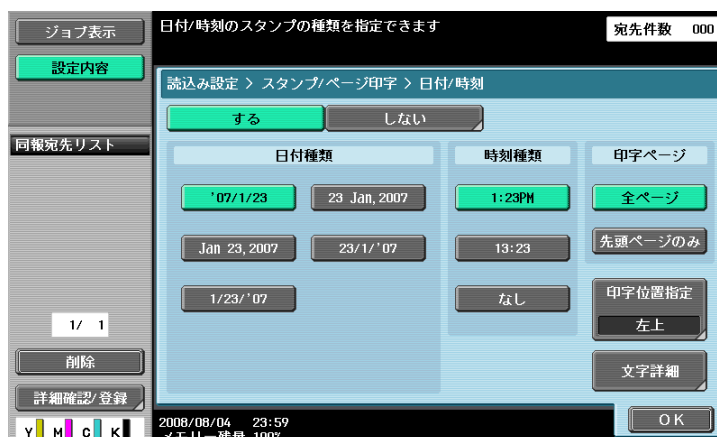
ファイリングナンバーを利用するには、スキャンしたデータを一度ファイリングナンバーボックスに保存する必要があります。ファイリングナンバーはボックスごとに設定されているため、保存先のボックスを選択してください。

参考

- ファイリングナンバーボックスはあらかじめ登録が必要です。詳しくは［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

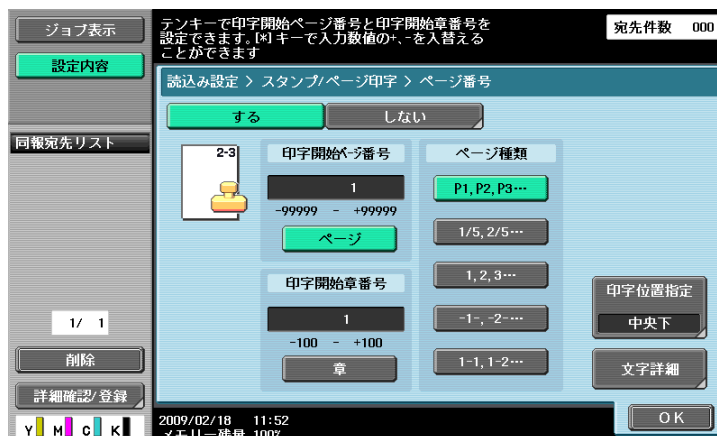
5.10.13 応用設定－スタンプ / ページ印字

日付 / 時刻

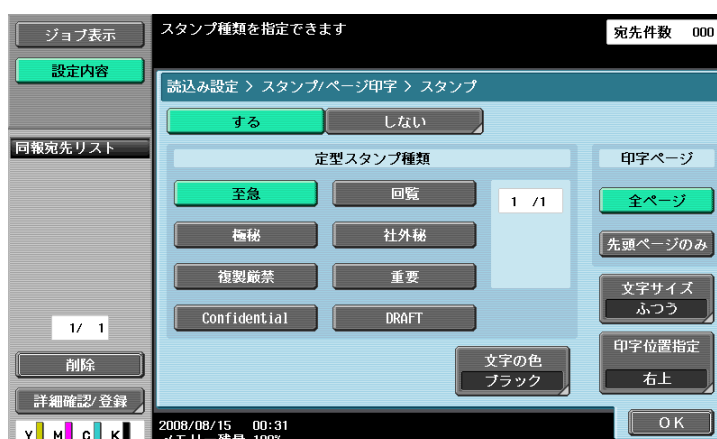
ページに印刷した日付と時刻を印刷します。

項目		説明
［日付種類］		日付の表示方法を選択します。
［時刻種類］		時刻追加のあり / なし、表示方法を選択します。
［印字ページ］		印字するページを全ページ / 先頭ページのみから指定します。
［印字位置指定］	［印字位置］	印字位置を選択します。
	［微調整］	印字位置の微調整を行う場合は、［位置調整］を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。

項目		説明
[文字詳細]	[文字の色]	印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。
	[文字サイズ]	印刷する文字のサイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。
	[文字種類]	印刷する文字の種類をゴシック体 / 明朝体から選択します。

ページ番号

文書のすべてのページにページ番号を追加します。

項目		説明
[印字開始ページ番号]		ページの開始番号を指定します。
[印字開始章番号]		章の開始番号を指定します。
[ページ種類]		ページ番号の表示種類を選択します。
[印字位置指定]	[印字位置]	印字位置を選択します。
	[微調整]	印字位置の微調整を行う場合は、[位置調整] を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。
[文字詳細]	[文字の色]	印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。
	[文字サイズ]	印刷する文字のサイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。
	[文字種類]	印刷する文字の種類をゴシック体 / 明朝体から選択します。

スタンプ

ページに［至急］など決まった文字列を印刷します。

項目		説明
［定型スタンプ種類］		至急、回覧、複製厳禁などスタンプを選択します。
［印字ページ］		印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。
［文字の色］		印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。
［文字サイズ］		印刷する文字のサイズを小さめ / ふつうから選択します。
［印字位置指定］	［印字位置］	印字位置を選択します。
	［微調整］	印字位置の微調整を行う場合は、［位置調整］を押します。印字の左右、上下の位置調整を 0.1 ～ 50.0 mm の範囲で指定します。

ヘッダー / フッター

すべてのページにヘッダーまたはフッターを挿入します。ヘッダー、フッターの印字内容は、あらかじめ管理者設定で登録が必要です。［確認 / 一時変更］を押すと、登録した設定内容を変更して印字できます。

参照

ヘッダー / フッターの登録については、11-10 ページをごらんください。

項目	説明
［ヘッダー / フッター呼出し］	登録した内容から、印字したいヘッダー / フッターを選択します。
［確認 / 一時変更］	確認 / 一時変更できる内容が表示されます。

項目			説明
	［ヘッダー設定、フッター設定］		ヘッダー / フッターの印刷を行うかどうかを設定します。［印刷する］を押すと、文字列、日付 / 時刻、その他（部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号）の設定ができます。
		［文字列］	パネルからヘッダー / フッターの文字列を設定します。
		［日付 / 時刻］	ヘッダー / フッターの日付 / 時刻を設定します。
		［その他］	ヘッダー / フッターの部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号を設定します。 ・　シリアル番号は本機につけられているシリアル番号を指しています。設定についてはサービス実施店にお問い合わせください。
	［印字ページ］		印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。
	［文字詳細］	［文字の色］	印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。
		［文字サイズ］	印字する文字サイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。
		［文字種類］	印刷する文字の種類をゴシック体 / 明朝体から選択します。

5.10.14 応用設定－同時印刷

送信と同時に印刷を行うかどうかを設定します。また、印刷時の各種設定を行います。

参考

- ステープル機能を利用する場合は、オプションの**フィニッシャー FS-527** または**フィニッシャー FS-529** が必要です。

［部数］

印刷部数をテンキーで入力します。入力できる範囲は 1 ～ 9999 です。

［片面 / 両面印刷］

片面または両面を選択します。

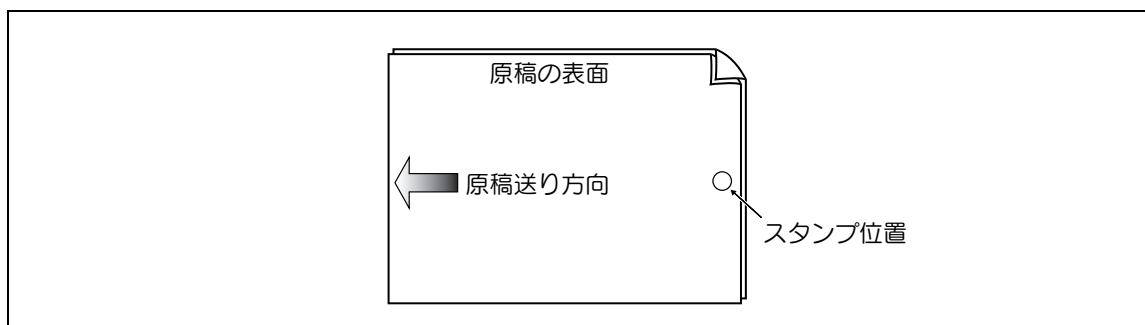
［ステープル］

ステープルのあり / なしを選択します。

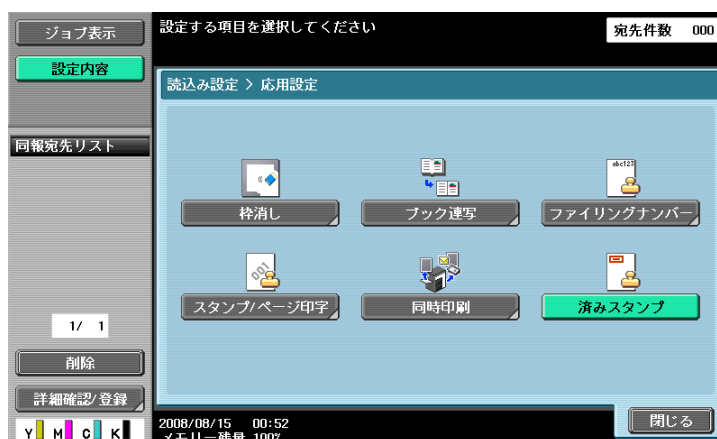
項目	説明
［位置指定］	ステープルの種類を選択すると、位置を指定できます。

5.10.15 応用設定－済みスタンプ（G3/IP/I-FAX）

済みスタンプとは

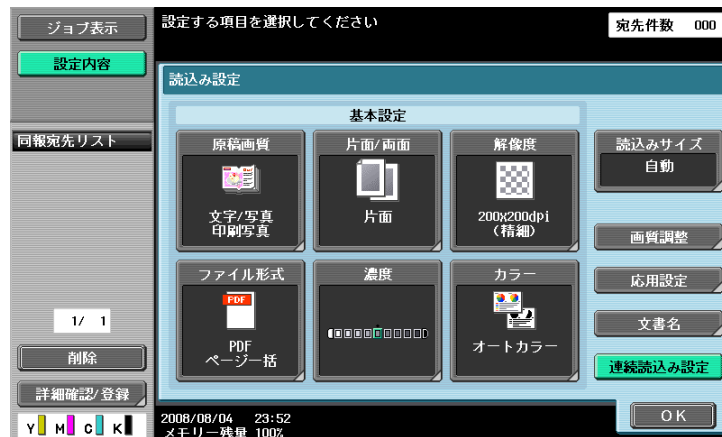
ADF を使用して送信する場合、読取った原稿に済みスタンプを押して 1 枚ずつ読取られたかどうかを確認できます。両面原稿を送信した場合はおもて面だけに済みスタンプが付けられます。

- 済みスタンプを設定すると、直径 4 mm のピンク色の印が図の位置に付きます。
- 済みスタンプを使用するには、オプションの **FAX 済みスタンプユニット SP-501** が必要です。
- スタンプのインクは消耗品です。スタンプが薄くなった場合はサービス実施店にお問い合わせください。
- 混載原稿を選択している場合は図の位置に済みスタンプが押されない場合があります。
- 原稿が正しく送られているかどうかは、送信結果レポートや設定確認画面の送信結果で確認してください。
- クイックメモリー送信を選択している場合、済みスタンプを選択するとクイックメモリー送信は解除されます。

済みスタンプをつける

応用設定画面で［済みスタンプ］を選択します。

5.10.16 文書名（E-mail/BOX/SMB/FTP/WebDAV/I-FAX）

パネルから文書名を入力します。

5.10.17 連続読込み設定

原稿の枚数が多く ADF にセットしきれない場合や、原稿ガラス上にセットする場合、片面原稿や両面原稿が混在している場合など原稿の種類ごとに読込みを数回に分割することができます。［連続読込み設定］を押し、表示を反転させると設定できます。

5.11 原稿設定

異なるサイズの原稿の混載や、Z 折れ原稿など、原稿のセットの種類を設定します。

参考

- 原稿指定と方向指定の機能は同時に組み合わせて設定できます。

5.11.1 原稿指定－混載原稿

異なるサイズの原稿を同時に ADF にセットするときに選択します。1 枚ずつサイズを検知しながらスキャンするため、スキャンする速度は遅くなります。

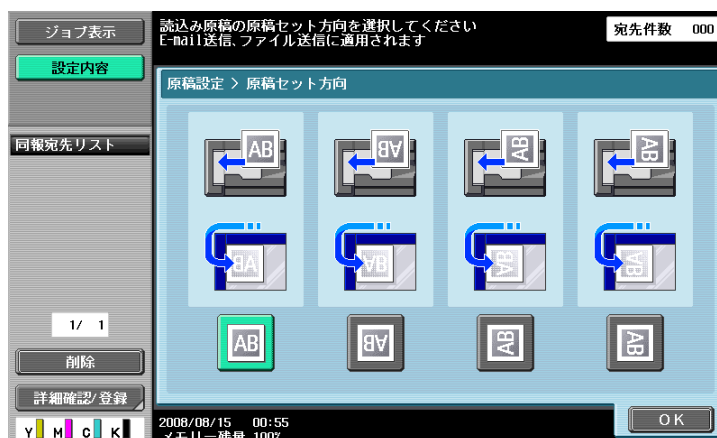
5.11.2 原稿指定－ Z 折れ原稿

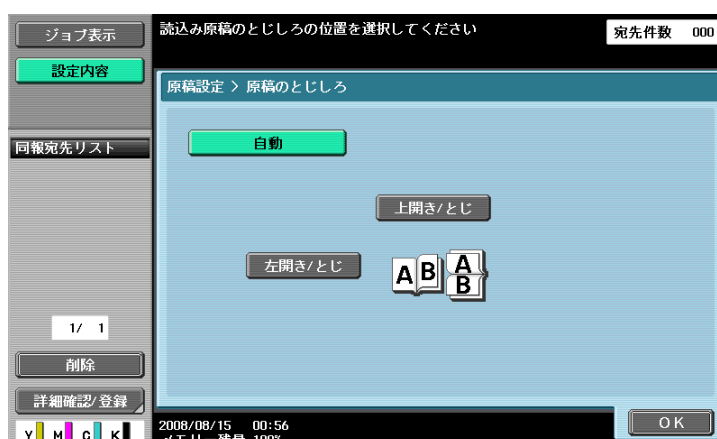
Z 折れした原稿のサイズを ADF に通した長さで検知します。

5.11.3 原稿指定－長尺原稿

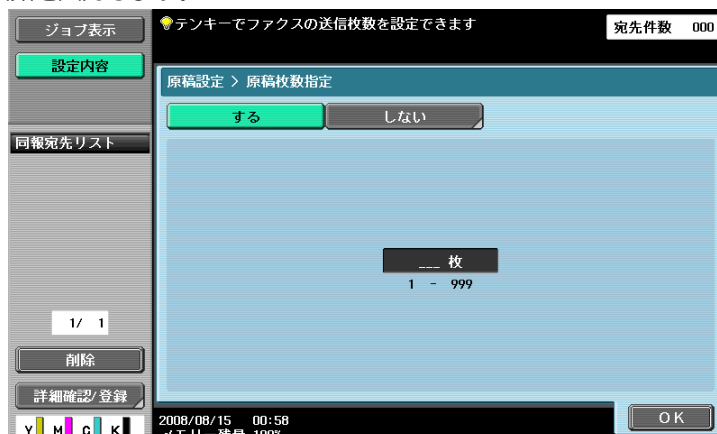
定型サイズ（A3 または 11 × 17）よりも通紙方向が長い原稿をセットするときに設定します。

5.11.4 方向指定－原稿セット方向

原稿の上下の位置を選択します。スキャンしたあとに上下が正しくなるよう、データを処理します。

5.11.5 方向指定－原稿のとじしろ

原稿についているパンチ穴あけやステープルどめなどのとじしろの位置を指定します。また、両面原稿をスキャンするとき、とじしろの位置が逆にならないよう補正します。

項目	説明
［自動］	297 mm 以下のサイズは長辺をとじる、297 mm を超えるサイズは短辺をとじる、と判断します。
［上開き / とじ］	原稿の上側にとじしろがある原稿
［左開き / とじ］	原稿の左側にとじしろがある原稿

5.11.6 原稿枚数指定（G3）

クイックメモリー送信を行うときに発信元記録の［ページ数］の部分に総ページ数を記載して「P. ページ数 / 総ページ数」の形式で送信できます。クイックメモリー送信を選択したあと、［原稿枚数指定］を押してテンキーで原稿枚数を入力します。

以下の機能とは同時に選択できません。
- メモリー送信
- 表紙 + 両面（読込み設定－片面 / 両面）
- 枠消し
- ブック連写
- 読込みサイズ
- 混載原稿
- ポーリング送信
- ポーリング受信
- 掲示板
- タイマー通信

参考
- 設定したページ数と実際に読取られたページ数が異なる場合は、設定したページ数が印字されます。
- メモリー送信の場合は総ページ数が自動的に付けられるためこの機能は設定できません。

5.11.7　汚れ軽減モード

原稿を ADF にセットする場合、スリットガラスの汚れが画像に及ぼす影響を軽減できます。

参考

- 汚れ軽減モードを設定すると、読取り速度は遅くなります。
- スリットガラスの汚れがひどいときは清掃してください。詳しくは、[ユーザーズガイド コピー機能編] をごらんください。

5.12 通信設定

5.12.1 回線設定（G3）

ファクス送信の回線に関する設定を行います。

海外通信モード

通信状態の悪いところへ通信する場合、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。

以下の機能とは併用できません。

- ポーリング送信
- ポーリング受信
- 掲示板

ECM OFF

ECM モードを解除して送信します。

ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。雑音が多い場合は ECM OFF 時に比べて通信時間が若干長くなることがあります。送信が終了すると自動的に ECM ON の状態に戻ります。

以下の機能とは併用できません。

- ポーリング受信
- ポーリング送信
- V34 OFF
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信

参考

- 本機では ECM OFF を設定しない限り、ECM モードで送信されます。

V34 OFF

V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。

このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。

以下の機能とは併用できません。

- ポーリング受信
- ポーリング送信
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信
- ECM OFF

宛先確認送信

送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。

参考

- 宛先確認送信は、相手先に自局のファクス番号の登録が必要です。

回線指定

FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合、［回線 1］または［回線 2］を指定して送信できます。送信する回線を指定してください。［指定なし］を選択した場合は、回線 1/ 回線 2 のうちから、空いている回線を使用して送信します。両方の回線が空いているときは、回線 1 が優先して使用されます。

参考

- ［複数回線使用設定］の［回線 2 通信設定］が［受信専用］となっている場合は回線が指定できません。
- 2 つの回線を外線、内線に使い分ける場合は、使用する回線を必ず指定してください。［指定なし］を選択すると、正しく送信されない場合があります。

5.12.2 E-mail 設定（E-mail/I-FAX）

E-mail 設定について

E-mail 送信時の文書名、件名、From、本文内容を設定します。

［文書名］

保存されるファイルの名称が表示されます。この文書名は［読込み設定］の［文書名］でも設定でき、あとに設定したほうの文書名が反映されます。入力できるのは半角 30 文字（全角 15 文字）までです。

［件名］

設定メニューで指定した内容が自動的に表示されます。［直接入力］を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 64 文字（全角 32 文字）までです。

［From］

設定メニューで指定した管理者の E-mail アドレスが表示されます。

参考

- インターネットファクスの場合は装置 E-mail アドレスが使用されます。
- 管理者設定の［環境設定］－［ユーザー操作禁止設定］－［変更禁止設定］で［From アドレス変更］を禁止に設定すると、直接入力ができなくなります。

［本文］

設定メニューで指定した本文が表示されます。［直接入力］を押すと内容を変更できます。入力できるのは半角 256 文字（全角 128 文字）までです。

5.12.3 URL 通知先設定（FTP/SMB/WebDAV）

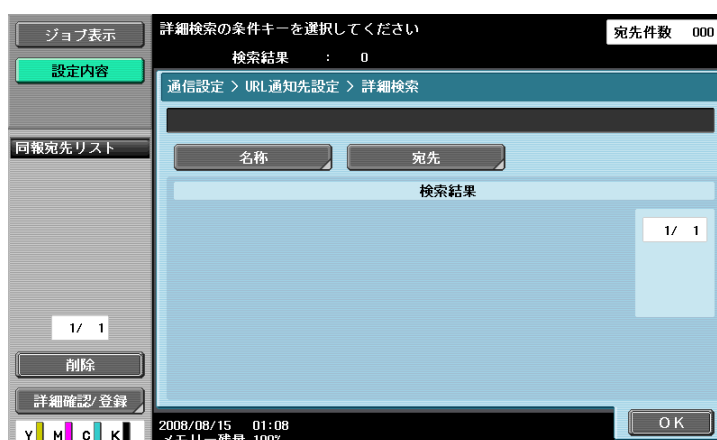
URL 通知とは

ジョブの終了を通知する E-mail アドレスを設定します。

参考

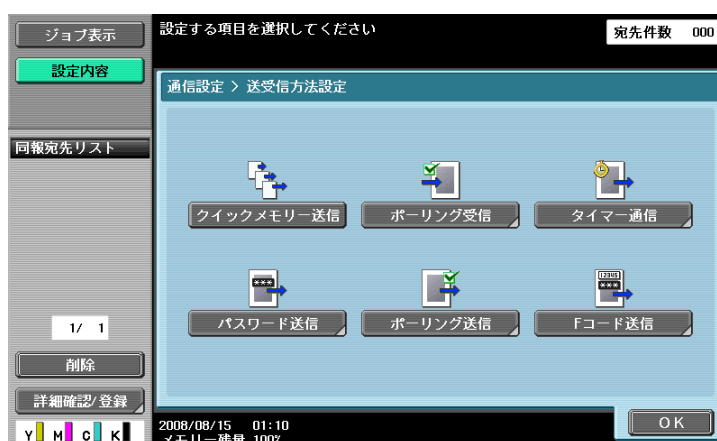
- URL 通知先設定で有効な送信先は、ファイル送信（本体ボックス）、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）です。
- E-mail 送信、インターネットファクス、G3 ファクス時には設定しても機能しません。

［詳細検索］

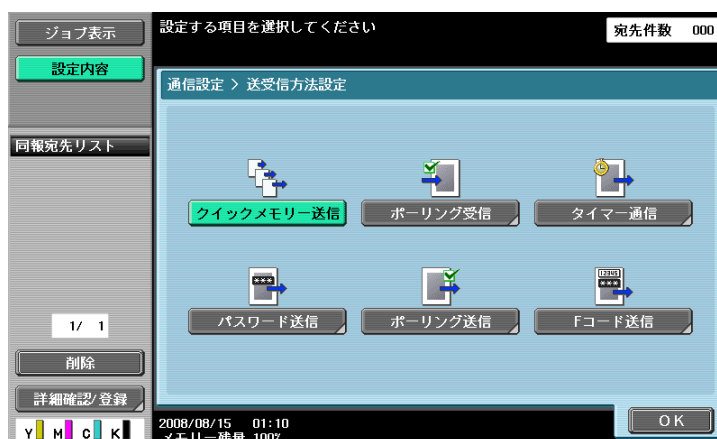
通知先の E-mail アドレスを登録先から検索できます。アドレスの名称や内容の一部を入力して、該当するアドレスを検索します。［名称］または［宛先］を選択し、検索文字を入力してください。

［直接入力］

パネルから E-mail アドレスを入力します。

5.12.4　送受信方法設定（G3）

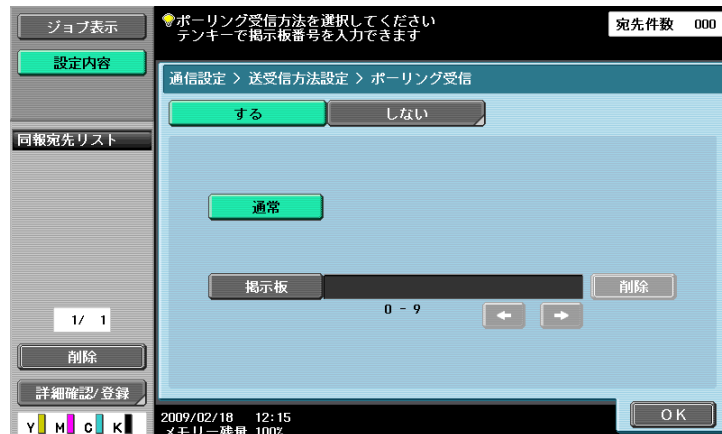
送受信の方法を設定できます。

クイックメモリー送信

原稿を 1 ページ読取ると同時にファクス送信を始める方法です。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信できます。

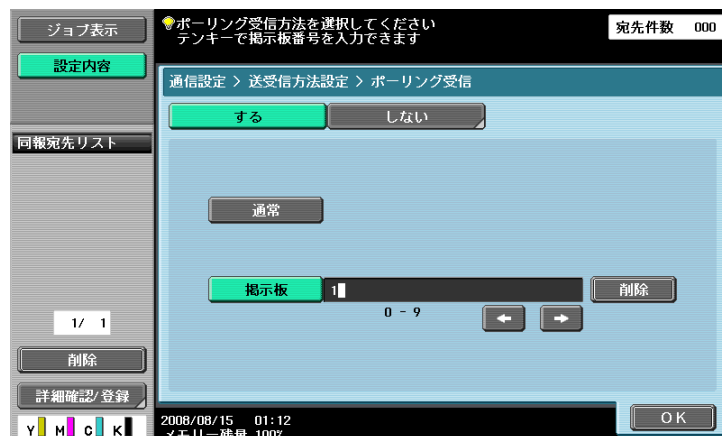
参考

- オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時、管理者設定の［セキュリティー詳細］－［コピーガード］または［パスワードコピー］を［する］に設定している場合、［クイックメモリー送信］は表示されません。

ポーリング受信－通常

送信側にセットされている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。通信料金を受信側で負担したいときなどに便利です。

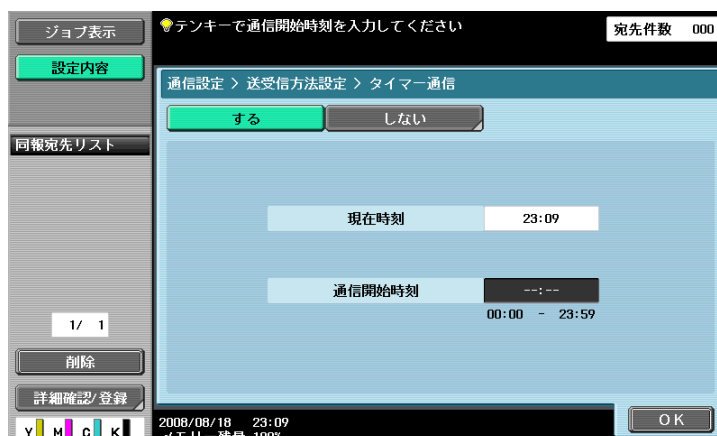
［通常］を選択したあと相手先を選択します。

ポーリング受信－掲示板

送信側にセットされている掲示板の文書を受信側からの指示で送信させる機能です。

掲示板の文書を受信する場合は［掲示板］を選択したあとテンキーで掲示板番号を入力し、相手先を選択します。

以下の機能とは併用できません。
- クイックメモリー送信
- メモリー送信
- 枠消し
- 読込みサイズ
- 原稿枚数指定
- 混載原稿
- Z 折れ原稿
- 長尺原稿
- 原稿のとじしろ
- ポーリング送信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- パスワード送信
- F コード送信
- V34 OFF
- 連続読込み設定

参考
- 掲示板番号には、9 桁までの数字を入力できます。

タイマー通信

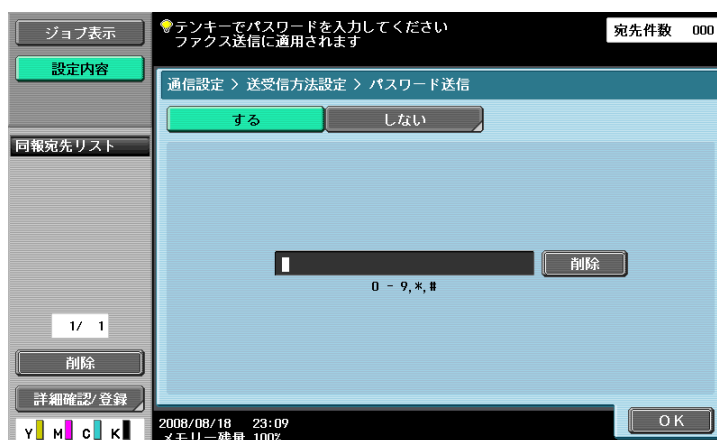
送信の時刻を指定できます。早朝や深夜などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。通信の開始時刻をテンキーで指定します。

参考

- 時、分で設定します。
- 日付の指定はできません。

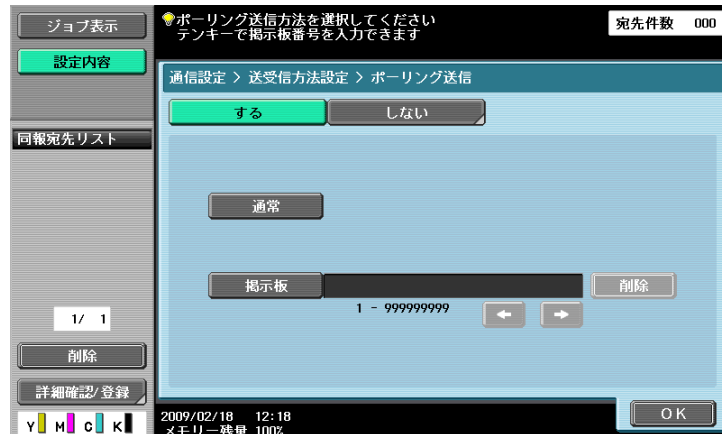
パスワード送信

送信文書にパスワードをつけて送信します。相手先が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。

この機能は、相手先が閉域受信（パスワード）機能をもつ弊社機種のときだけ使用できます。

テンキーでパスワードを入力してください。

ポーリング送信－通常

ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させるための文書を保存します。

［通常］を選択して原稿を読込むと、ポーリング送信ボックスに自動的に保存されます。

参照

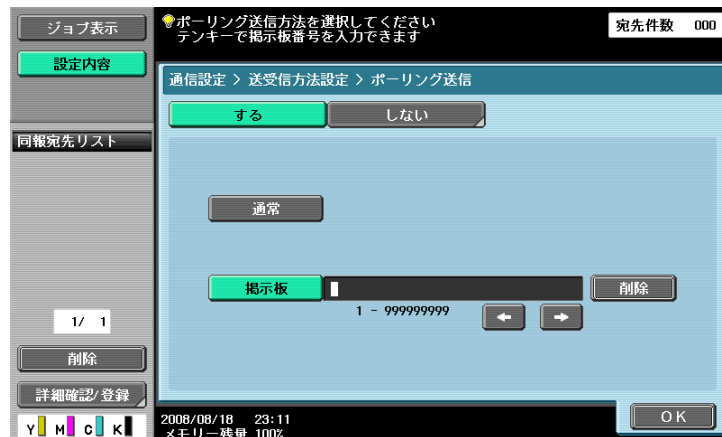
ポーリング送信ボックスの文書の削除、確認方法は［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

参考

- ユーザー認証を設定している場合、蓄積文書の操作を禁止されているユーザーがログインするとポーリング送信を行うことはできません。

ポーリング送信－掲示板

掲示板の文書を受信側からの指示で送信させるため、掲示板に文書を登録します。

［掲示板］を選択したあとテンキーで掲示板番号を入力し、原稿を読込みます。あらかじめ作成した掲示板ボックスに自動的に保存されます。

以下の機能とは併用できません。

- クイックメモリー送信
- メモリー送信
- 原稿枚数指定
- ポーリング送信
- タイマー送信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- パスワード送信
- F コード送信
- V34 OFF

参考

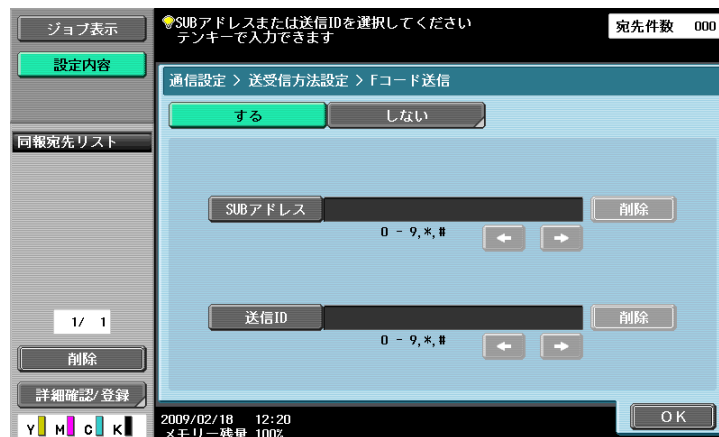
- 掲示板番号には、あらかじめボックス登録で作成した掲示板ボックスのボックス番号 1 ～ 999999999 を入力します。
- ひとつの掲示板に登録できる文書は 1 文書だけです。
- 本機では掲示板を 10 個まで登録できます。

参照

掲示板ボックスの文書の削除、確認方法は［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

F コード送信

SUB アドレスや送信 ID を入力することで、相手先の特定のボックス宛に送信します。特定のボックスには、以下の種類があります。

- 親展送信
  - 相手機の親展受信ボックスに送信します。SUB アドレスにボックス番号、送信 ID に親展送信パスワードを入力します。
- 中継送信
  - 相手機が中継配信機能を持っている場合に、中継配信ボックスに送信します。SUB アドレスに中継ボックス番号、送信 ID に中継送信のパスワードを入力します。

参考

- F コードを使用するためには、相手先が F コード機能を持っている必要があります。

5.12.5 メールの暗号化（E-mail）

管理者設定の［ネットワーク設定］－［E-mail 設定］の［S/MIME 通信設定］で［使用する］を設定しているときに表示されます。送信する E-mail の暗号化を行うかどうかを設定します。

参照

S/MIME 通信設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

5.12.6 デジタル署名の追加（E-mail）

管理者設定の［ネットワーク設定］－［E-mail 設定］の［S/MIME 通信設定］で［使用する］を設定しているときに表示されます。送信する E-mail にデジタル署名を付加するかどうかを設定します。

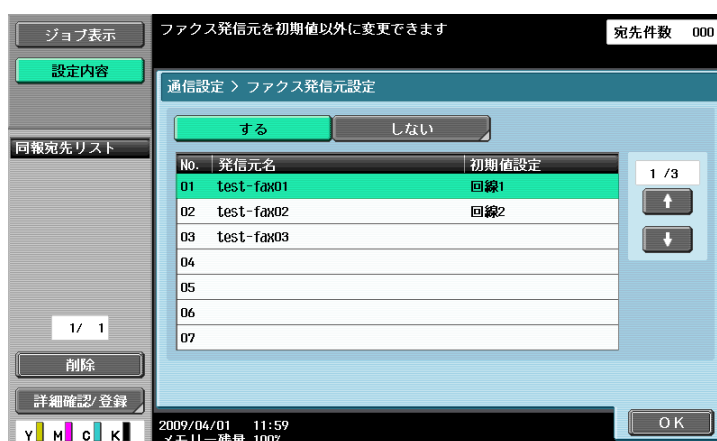
参考

- S/MIME 通信設定の内容によって、選択できない場合や常に署名するように設定されている場合があります。

参照

S/MIME 通信設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

5.12.7 ファクス発信元設定（G3/IP/I-FAX）

送信時に発信元の情報をつけるかどうかを設定します。発信元名のリストから選択してください。

参考

- 発信元の情報として原稿に付加される内容は、管理者設定の［発信元 / ファクス ID 登録］で登録します。詳しくは、11-14 ページをごらんください。
- 発信元情報のつけかたは、管理者設定の［発信元 / 受信情報］で登録します。詳しくは、11-15 ページをごらんください。
- FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合にしている場合は、ファクス発信元設定を回線ごとに設定できます。詳しくは、11-19 ページをごらんください。

5.13　リダイアル（G3/IP）について

同じ宛先にもう一度ダイアルする動作をリダイアルといいます。

受信側が話し中などで送信できない場合、一定時間が経過してから再度ダイアルします。

5.13.1　オートリダイアル

受信側が話し中などで送信ができなかった場合は、回線パラメーター設定で設定されているオートリダイアル回数にしたがって自動的にリダイアルされます。

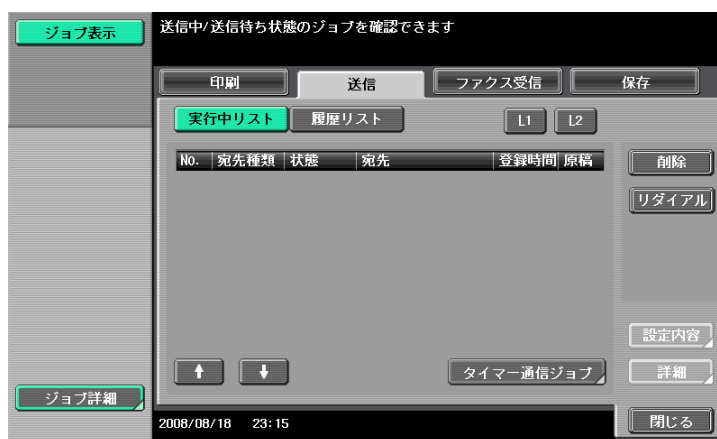
リダイアルされるまで、送信のジョブはリダイアル待機の予約ジョブとして扱われます。

参考

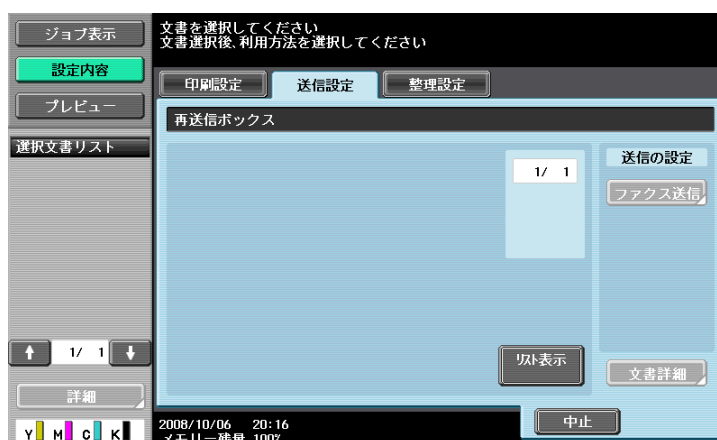
- オートリダイアルの回数は出荷時に3分おきに3回行われるように設定されています。オートリダイアル回数の設定については、11-17 ページをごらんください。

5.13.2　手動リダイアル

リダイアル待ちのジョブをジョブ詳細画面からリダイアルできます。

［ジョブ表示］－［ジョブ詳細］から［送信］タブを押し、リダイアル待ちのジョブを選択し、［リダイアル］を押します。

5.13.3　再送信（G3）

回線パラメーター設定で設定されたオートリダイアル回数を過ぎても送信できないジョブは、再送信ボックスに保存されます。再送信ボックスを開き、手動でリダイアルすることができます。

［送信設定］を押し、再送信したいジョブを選択して、［ファクス送信］を押します。

参考

- ジョブを再送信ボックスに保存するには、あらかじめ管理者設定で再送信設定を行う必要があります。再送信設定については 11-26 ページをごらんください。
- 再送信ボックスについて詳しくは［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

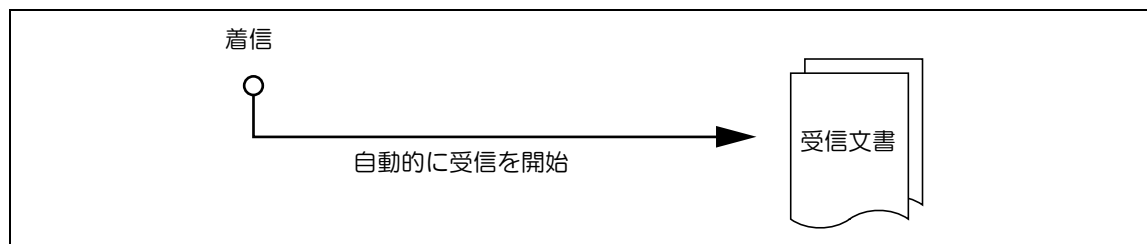
6 受信する（G3/IP/I-FAX）

6　受信する（G3/IP/I-FAX）

ファクス受信の種類やそれぞれの操作について説明しています。

6.1　受信する（G3：外部電話を接続しない）

6.1.1　自動受信（ファクス専用）

電話回線をファクス専用として使う場合に設定します。設定されている回数分のリング信号を検知すると、自動的に受信を開始します。

参考

- 自動受信で使用するには、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、受信方式を［自動受信］に設定する必要があります。

ファクス専用で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続していない
- 回線パラメーター設定－受信方式：［自動受信］に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：［OFF］に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：［OFF］に設定

参照

回線パラメーター設定については、11-17 ページをごらんください。

6.2 受信する（G3：外部電話を接続する）

6.2.1 自動受信（TEL/FAX 自動切換え）

外部電話機を本機に接続して電話としても使う場合に設定します。ファクス優先で使うことが多い場合はこのモードに設定しておくと便利です。

着信後、相手がファクスなのか電話なのかを自動的に検知して送信側に対して音声メッセージを流します。

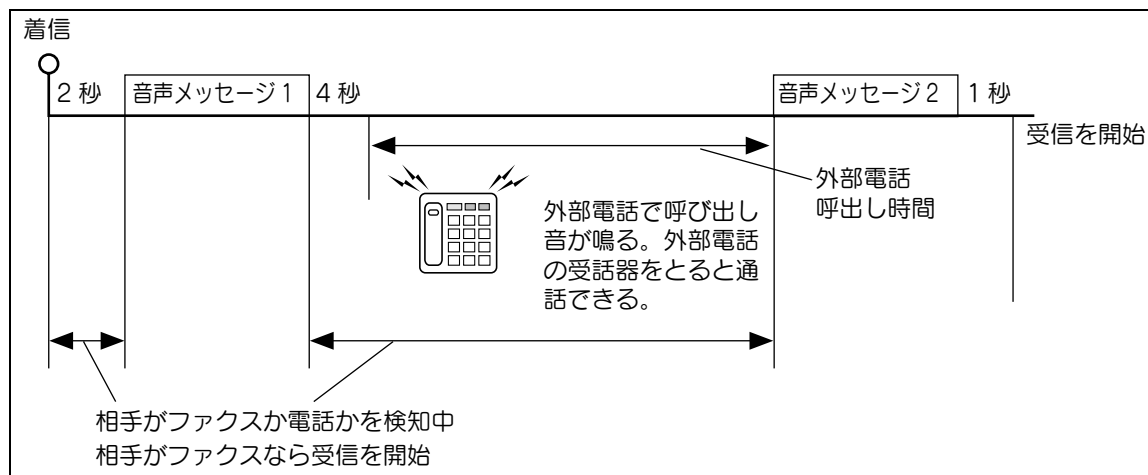
参考

- TEL/FAX 自動切換えで使用するには、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［TEL/FAX 自動切換え］を ON に設定する必要があります。

相手がファクスのとき

受信を開始します。送信側には音声メッセージが流れます。

相手が電話のとき

外部電話から呼び出し音が鳴ります。受話器をとると通話できます。送信側では音声メッセージが流れます。

音声メッセージ 1：「電話の方はしばらくお待ちください。ファクスの方はスタートボタンを押してください。」

音声メッセージ 2：「ただいま近くにおりません。ファクスに切換えます。」

自動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 回線パラメーター設定－受信方式：［自動受信］に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：［ON］に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：［OFF］に設定

参考

- 外部電話の受話器を上げたとき、「ピー」という音が聞こえたり、無音のときはファクスからの送信です。受話器を上げたまま**スタート**を押すと受信できます。

自動受信の状態で留守番電話機能設定を使う場合

外出時などに外部電話機の留守番電話機能を ON にする場合、外部電話機側の呼出音設定回数が、［回線パラメーター設定］－［外部 TEL 呼出時間］よりも多く設定されている場合、本機がファクス受信を開始してしまい、留守番電話機能が正しく機能しません。［外部 TEL 呼出時間］の設定が、外部電話機の呼出音設定回数より多くなるように設定してください。

参照

回線パラメーター設定については、11-17 ページをごらんください。

参考

- 外部電話機の呼出音設定回数を変更するには、外部電話機のマニュアルをごらんください。

6.2.2　外部電話機の留守番電話機能を設定するときは

外部電話機を本機に接続している場合に設定します。ファクス優先で使用している場合で、常に外部電話の留守番機能を設定している場合は、このモードに設定しておくと便利です。

着信すると外部電話機の留守番電話メッセージが流れ、相手先がファクスであれば自動的に受信を開始します。

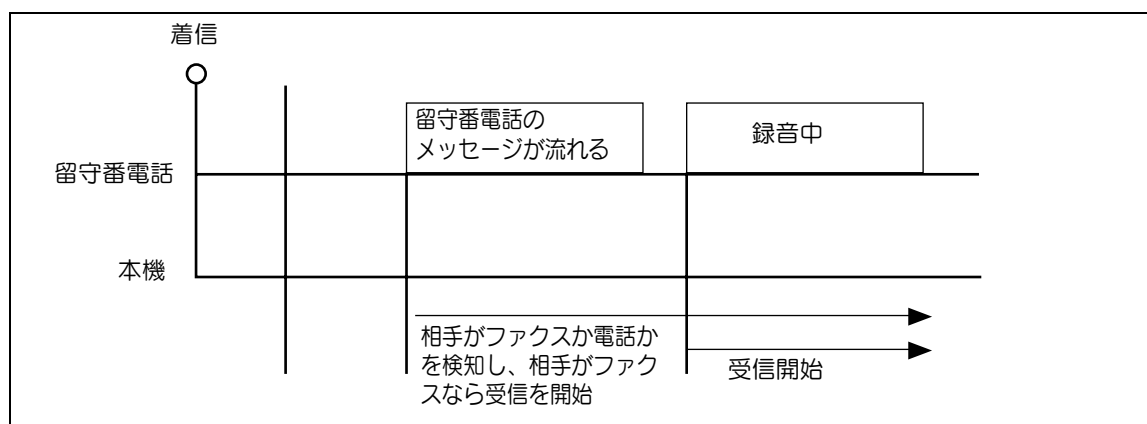
参考

- 留守番設定がされていないなど、留守番電話が応答しない場合は約 20 秒後に受信を開始します。
- 留守番電話機能を設定するには、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［留守番電話接続設定］を ON に設定する必要があります。

相手がファクスのとき

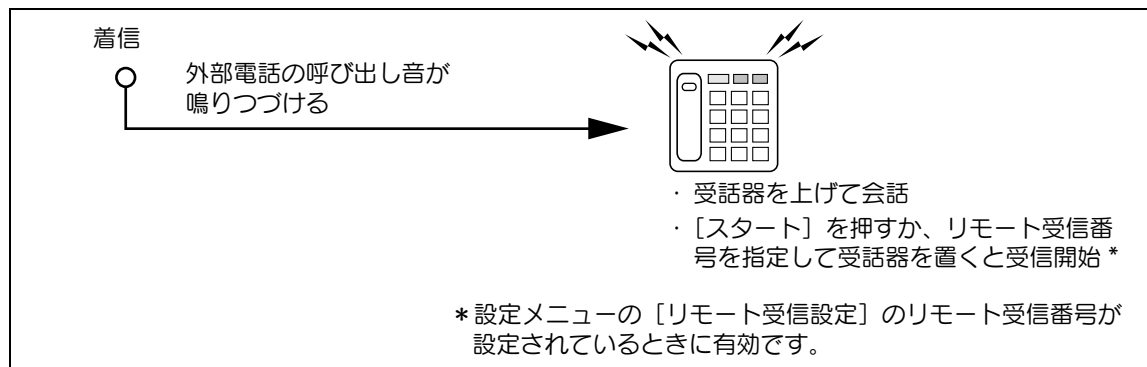
留守番電話から本機に自動的に切換わり、受信を開始します。

相手が電話のとき

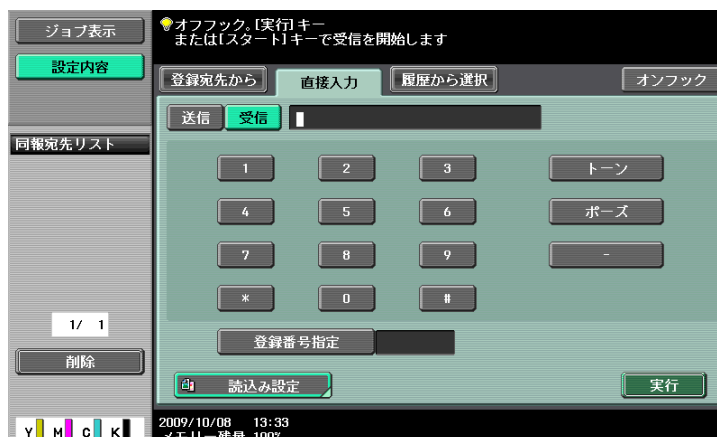
送信側に留守番電話のメッセージが流れます。

留守番電話機能を使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 ON）
- 回線パラメーター設定－受信方式：［自動受信］に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：［OFF］に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：［ON］に設定

6.2.3　手動受信（電話専用）

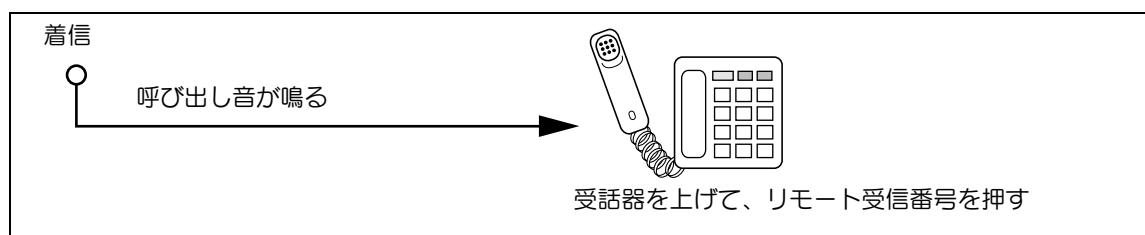
外部電話機を本機に接続している場合で、電話として使用することが多い場合はこのモードに設定しておくと便利です。

参考

- 電話専用で使用するには、設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［受信方式］を手動受信に設定する必要があります。

本機のパネルで手動受信する場合は、外部電話機のベルが鳴ったらファクス / スキャン画面の［オフフック］を押し、［受信］になっていることを確認します。オフフック画面で［実行］を押してください。

手動受信で使用する場合、以下の設定をしていることを想定しています。

- 外部電話：接続している（留守番機能 OFF）
- 回線パラメーター設定－受信方式：［手動受信］に設定
- 回線パラメーター設定－ TEL/FAX 自動切換え：［OFF］に設定
- 回線パラメーター設定－留守番電話接続設定：［OFF］に設定

リモート受信

外部電話機でリモート受信番号を入力することで、外部電話機から本機に受信の指示をすることができる機能です。リモート受信を行うには、あらかじめ設定メニューの［回線パラメーター設定］で、［受信方式］を手動受信に設定し、リモート受信するためのリモート受信番号（2 桁）を設定する必要があります。

外部電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて相手がファクスであることを確認します。続けて 2 桁のリモート受信番号をダイアルし、受話器を戻します。

参照

リモート受信設定については、11-26 ページをごらんください。

参考

- リモート受信番号はテンキーの 0 ～ 9、＊、＃を使って入力します。
- ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でトーンに切換える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

6.3　受信する（I-FAX）

電子メールの受信には、自動取得と手動取得の 2 種類があります。本機が電子メールを受信すると、メールの本文と添付ファイルが自動的に印刷されます。

設定メニューで［強制メモリー受信設定］を有効にしている場合は強制メモリー受信ボックスに保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。

参照

強制メモリー受信ボックスからの印刷については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

参考

- 添付ファイルの最大ページ数は 3000 ページ、本文は最大 20KByte まで受信できます。

自動取得

POP サーバーに対して、一定の間隔で電子メールが届いているかを確認します。

参考

- 電子メールを確認する間隔を 1 ～ 60 分の範囲で変更できます。設定方法については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
- お買い上げ時の時間は 15 分に設定されています。

手動取得

POP サーバーに対して、本機のキーを押して電子メールが届いているかを確認します。

ファクス / スキャン画面で［E-mail 受信］を押してください。

6.4　受信する（IP）

本機が IP アドレスファクスを受信すると、自動的に印刷されます。

設定メニューで［強制メモリー受信設定］を有効にしている場合は強制メモリー受信ボックスに保存されます。保存した文書は必要に応じて印刷することができます。

参照

強制メモリー受信ボックスからの印刷については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

6.5 メモリー代行受信

6.5.1 メモリー代行受信とは

用紙づまりや消耗品ぎれなどで受信した文書を印刷できない場合は、印刷できる状態になるまで受信した文書がメモリーに保存されています。この機能をメモリー代行受信といいます。

- 用紙づまりなどのトラブル処理が終了すると、保存されていた受信文書が自動的に印刷されます。
- メモリーがいっぱいになっているときは代行受信できない場合があります。

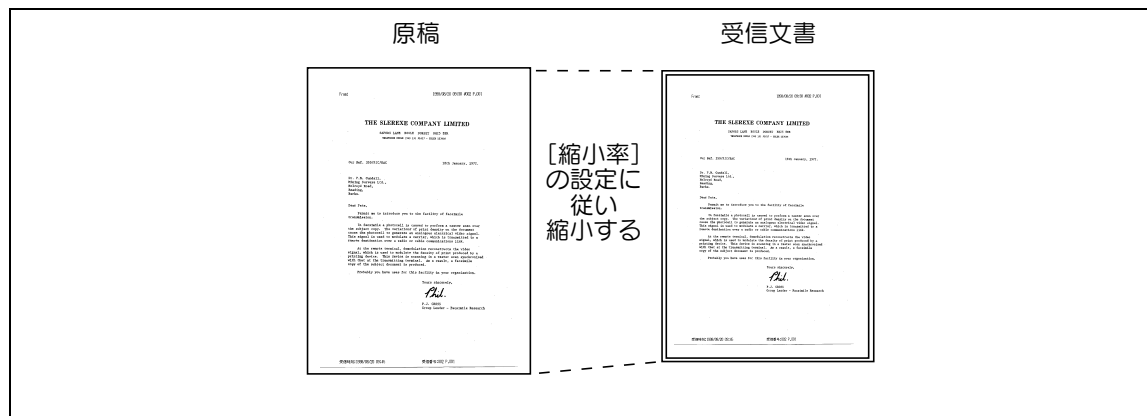
6.5.2 メモリー代行受信したジョブの転送（G3）

トラブル処置ができない場合など、メモリー代行受信したジョブを別の宛先に転送することができます。
［ジョブ表示］－［ジョブ詳細］画面から［ファクス受信］タブを押します。転送したいジョブを選択して［転送］を押してください。宛先を指定して［実行］を押すと転送できます。

6.6 受信時の記録

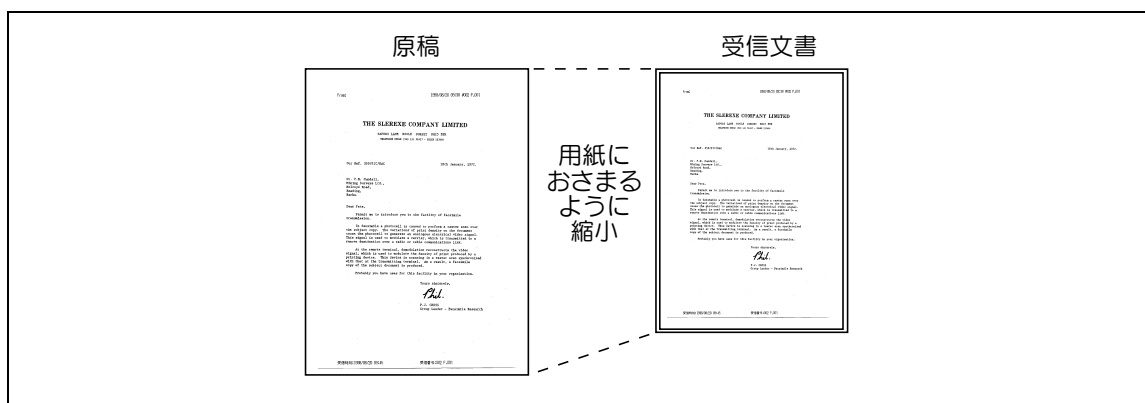
受信文書を記録する場合は、受信した文書の用紙サイズと、用紙トレイにセットされている用紙サイズを比較し、設定された縮小率で縮小して記録する、用紙におさまるように縮小して記録するのいずれかで記録されます。なお、等倍で記録するように設定している場合は、受信した文書の用紙サイズにかかわらず、等倍で記録されます。

6.6.1 縮小して記録するとき

定形サイズの文書を受信した場合は、そのサイズの用紙に設定された縮小率で縮小して記録されます。（初期値は 96%）

参照

縮小率の設定については、11-19 ページをごらんください。

6.6.2　用紙におさまるように縮小して記録するとき

定形サイズより長い文書を受信した場合は、受信文書の幅と長さから最適な用紙サイズを決定し、そのサイズの用紙に記録されます。最適な用紙サイズが用紙トレイにセットされていない場合は、近いサイズの用紙に縮小して記録されます。

最適な用紙サイズの決定と、用紙選択の基準は次のとおりです。

Step 1：最適な用紙を選択する

受信文書の幅と長さから、最適な用紙サイズを次の原則で決定されます。

受信原稿の幅	受信情報の記録位置	受信文書の長さ			
A4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 154	155 ～ 314	315 ～ 386	387 ～
	［原稿外］	0 ～ 146	147 ～ 306	307 ～ 378	379 ～
選択される用紙サイズ		A5	A4	B4	A3
B4 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 195	196 ～ 395	396 ～	
	［原稿外］	0 ～ 186	187 ～ 386	387 ～	
選択される用紙サイズ		B5	B4	A3	
A3 幅	［OFF］または［原稿内］	0 ～ 226	227 ～		
	［原稿外］	0 ～ 217	218 ～		
選択される用紙サイズ		A4	A3		

Step 2：実際にプリントする用紙を選択する

Step1 で決定した最適な用紙サイズが、本機にセットされているかがチェックされます。

- 最適な用紙がセットされている：
  記録が開始されます。
- 最適な用紙がセットされていない、または該当する用紙トレイの［ATS 許可］（自動トレイ切換え機能）が［許可しない］になっている：
  次に最適な用紙を表の上から順にチェックされます。このとき、設定メニューの［ページ分割記録］が［ON］に設定されている場合は、ページ分割をして記録するように用紙がチェックされます。
- ［ATS 許可］については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

［ページ分割記録］が［OFF］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

- ［ページ分割記録］が［OFF］のときでも長尺原稿または高解像度で受信した場合は、ページ分割記録される場合があります。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	A4 ▯	B5 ▭	A3 ▭	A4 ▭	B4 ▭
	A4 ▭	B4 ▭	B4 ▭	A4 ▭	B4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯	A3 ▭	A4 ▭	A4 ▯	A3 ▭	
	B5 ▯		A4 ▯			
	B5 ▭		A3 ▭			
	B4 ▭					
	A3 ▭					

［ページ分割記録］が［ON］のとき：
上段から順に記録紙が選択されます。

- ［ページ分割記録］が［ON］のときでも受信文書の画像幅より選択された記録紙の幅が短い場合には用紙幅に合わせて縮小されます。

最適記録用紙	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
記録紙選択順序（上段から下段）	A5 ▯	A4 ▭	B5 ▯	B4 ▭	A4 ▯	A3 ▭
	A5 ▭	B4 ▭	B5 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A4 ▯
	A4 ▭	A3 ▭	B4 ▭	B5 ▭	B4 ▭	A4 ▭
	A4 ▯		A4 ▭	A3 ▭	A3 ▭	
	B5 ▭		A4 ▯	A4 ▯		
	B5 ▯		A3 ▭	A4 ▭		
	B4 ▭					
	A3 ▭					

B5 ▭、B5 ▯、A4 ▭、A4 ▯ の場合にはページを分割して記録されます。

プリント時の制約

プリント時の制約は以下のとおりです。

- 実際にプリントする用紙が、Step 1 で決定された用紙より小さい場合は、縮小してプリントされます。
- ［ページ分割記録］が［OFF］の場合は、実際にプリントする用紙の方向と、Step 1 で決定された用紙の方向が一致しない場合は、自動的に 90 度回転してプリントされます。
- 異なるサイズが混在した文書をプリントする場合は、1 ページごとにこれらの処理が行われます。
- Step 1、Step 2 で決定された用紙サイズが、複数の用紙トレイにセットされている場合は、［給紙トレイ自動選択］で設定された設定に従い、用紙トレイが選択されます。
- 必要な用紙サイズが手差しトレイのみにセットされている場合は、手差しトレイから給紙してプリントされます。ただし手差しトレイが、［給紙トレイ自動選択］で［自動選択トレイ］に設定されていない場合は、手差しトレイからは給紙されません。
- ［ページ分割記録］が［ON］の場合、設定メニューの［送信 / 受信設定］が次のように設定されているときはページ分割されません。

- ［給紙トレイ固定］でトレイが設定されているとき
- ［縮小率］が［等倍］のとき
- ［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］または［サイズ優先］のとき
- ［受信原稿両面印刷］が［ON］のとき

- プリントできる用紙がセットされていない場合は、用紙をセットするようにメッセージが表示されます。

- ［記録用紙優先選択］が［サイズ優先］に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、通常の用紙選択を行い記録されます。
- ［記録用紙優先選択］が［サイズ固定］に設定されているとき、最適な用紙サイズとして A4、B4、A3 のいずれか 1 種類が選択されます。そのサイズがない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
- ［給紙トレイ固定］が［自動］以外に設定されているとき、［給紙トレイ固定］で指定されている用紙トレイ（手差しトレイを除く）の用紙に記録されます。受信文書よりサイズが小さい場合は、縮小して記録されます。設定されている用紙トレイに用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。
- ［記録用紙優先選択］が［自動選択］以外に、［給紙トレイ固定］も［自動］以外に設定されているとき、［給紙トレイ固定］の設定が優先されます。

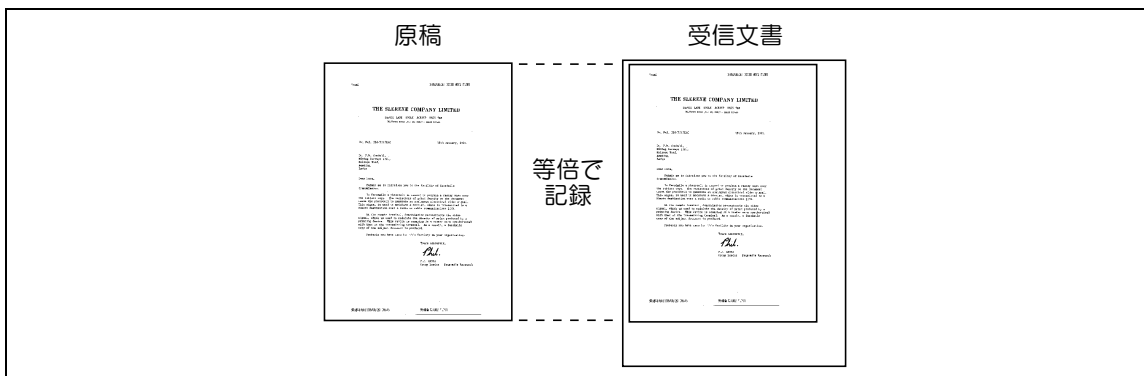
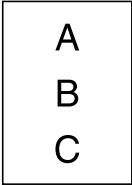
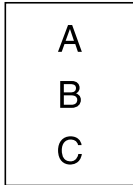
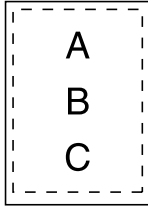
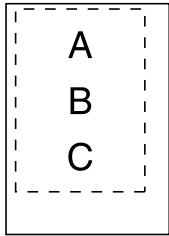
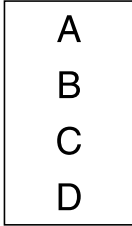
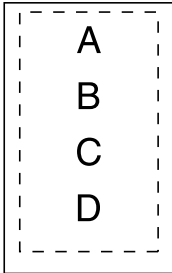
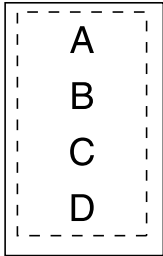
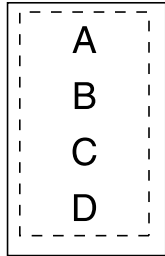
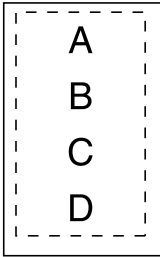
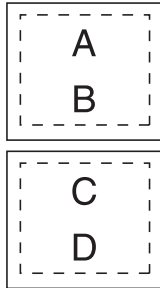
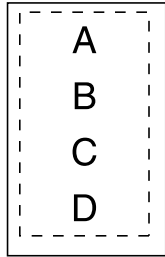
参照

［ページ分割記録］については、11-19 ページをごらんください。

［給紙トレイ自動選択］については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

［給紙トレイ固定］、［縮小率］、［記録用紙優先選択］、［受信原稿両面印刷］については、11-19 ページをごらんください。

6.6.3 等倍で記録するとき

設定メニューで［縮小率］が［等倍］に設定されている場合は、同じサイズの用紙に等倍で記録されます。
同じサイズの用紙がセットされていない場合は、大きいサイズの用紙に記録されます。

参考

- ページ分割をすることはできません。
- A3 サイズより大きな画像は記録できません。
- 最適なサイズの用紙がない場合は、用紙が補給されるまでメッセージが表示されます。

6.6.4　受信時の記録方法

受信文書の用紙サイズと実際に記録される文書の関係は次のとおりです。

受信した用紙のサイズ		［縮小率］の設定		［給紙トレイ固定］でトレイを指定
		等倍	96 ～ 87 %	
定形サイズ（A3 ～ A5） A B C		A B C 同じサイズの用紙に等倍で記録	A B C 同じサイズの用紙に縮小して記録	A B C 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
長尺印刷（定形サイズより長め） A B C D	ページ分割記録OFF	A B C D 同じサイズ、または、大きめの用紙に等倍で記録	A B C D 最適なサイズの用紙に縮小して記録	A B C D 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録
	ページ分割記録ON	A B C D 同じサイズ、または、大きめの用紙に等倍で記録	A B / C D 用紙によっては分割して記録	A B C D 指定されている用紙トレイの用紙に縮小して記録

参考

- ［受信原稿両面印刷］が［ON］の場合、用紙の両面に記録することができます。詳しくは、11-19 ページをごらんください。

6.7 受信情報

受信した日付、時刻、受信番号、ページ番号が受信した文書に自動的に印刷されます。受信した情報は設定メニューの［発信元 / 受信情報］で設定した内容にしたがって以下の場所に印刷されます。

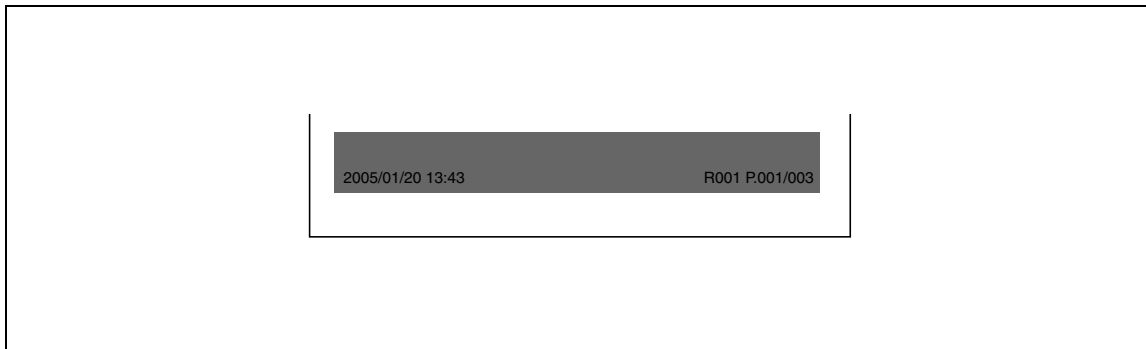
参考

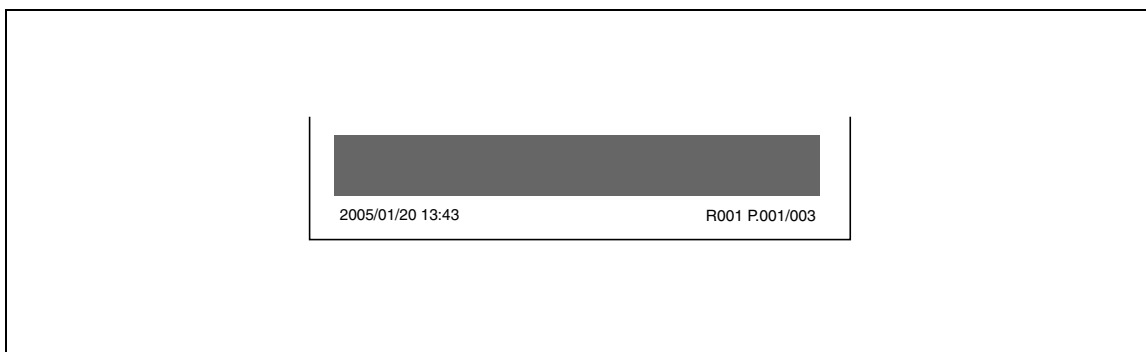
- IP アドレスファクスでカラー送信する場合は、原稿内にのみ印刷されます。

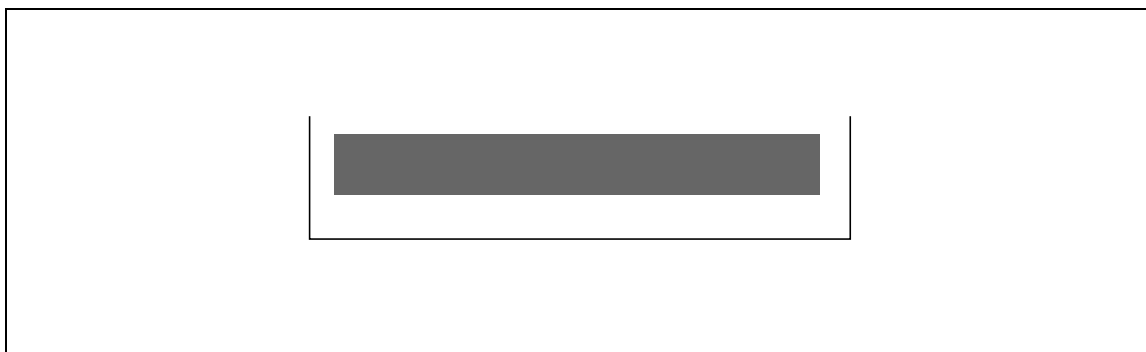
参照

受信情報の設定については 11-15 ページをごらんください。

原稿内に印刷

画像の一部にかかるように受信情報が印刷されます。

原稿外に印刷

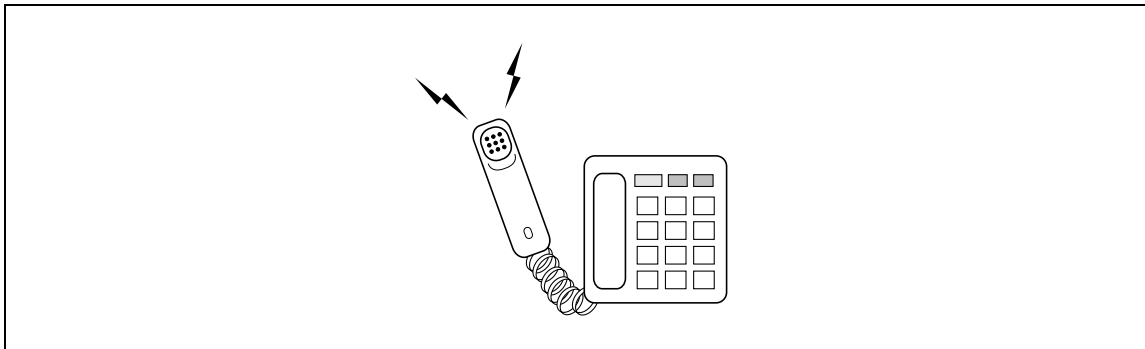
画像の外側に受信情報が印刷されます。

印刷されない

［OFF］に設定すると、受信情報は印刷されません。

7 電話をかける / 受ける（G3）

7 電話をかける / 受ける（G3）

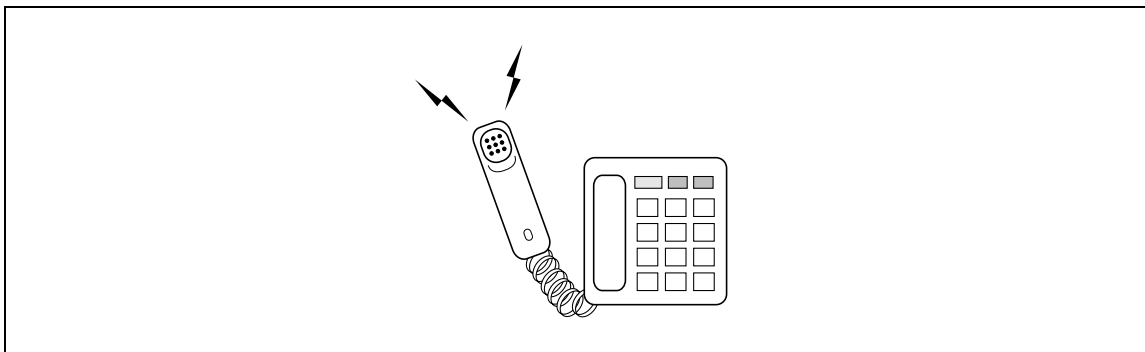
本機に外部電話機を接続している場合のかけかた、受けかたを説明します。

7.1 電話をかける

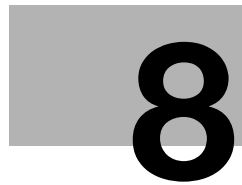
外部電話機の受話器を上げ、相手先を指定します。通話が終了したら受話器を戻します。

7.2 電話を受ける

電話の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げて通話します。通話が終了したら受話器を戻します。

- 「ポー、ポー」または「ピー」という音がするか、無音の場合は、相手がファクスです。**スタート**を押すか外部電話でリモート受信番号（2 桁）を指定すると受信できます。ファクスが受信を開始したら受話器を元に戻してください。

参考

- ダイアル（パルス）回線でリモート受信をしたいときは、外部電話でパルスをトーンに切り替える必要があります。この機能を持たない外部電話ではリモート受信ができません。詳しくは、電話機のマニュアルをごらんください。

参照

リモート受信については、6-5 ページをごらんください。

8 便利な機能（G3/IP/I-FAX）

8　便利な機能（G3/IP/I-FAX）

便利なファクスの送受信機能について説明します。

8.1　強制メモリー受信（G3/IP/I-FAX）

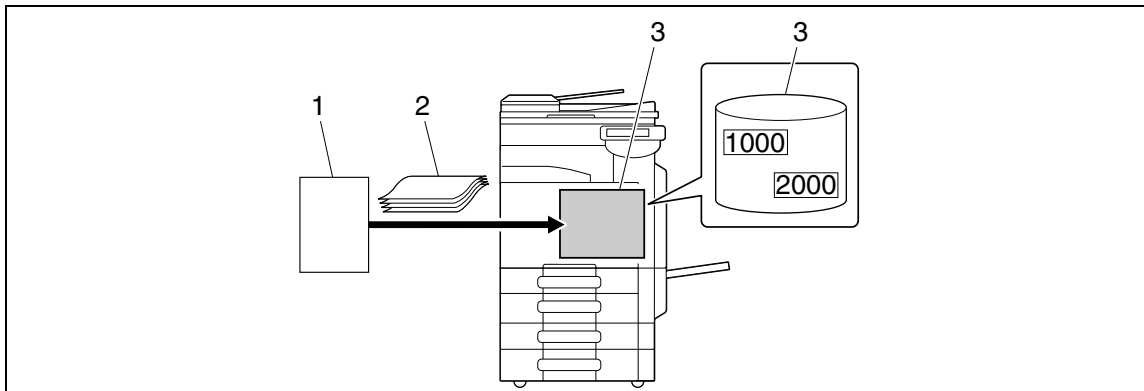
受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じて印刷することができます。この機能を強制メモリー受信といいます。

受信した文書は強制メモリー受信ボックスに保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。

参照

ボックス内の文書の印刷 / 削除については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

8.2　　PC-FAX 受信（G3）

ファクスとして受信した文書のデータを本機に内蔵されているハードディスクのボックスに保存する機能です。保存したデータは印刷、送信ができます。保存先のボックスは強制メモリー受信ボックスまたは指定した任意のボックスとなります。

1. 送信側
2. 原稿
3. ハードディスク

PC-FAX 受信を行うと、以下の機能は使用できません。

- 強制メモリー受信
- 転送ファクス
- TSI 受信振分け

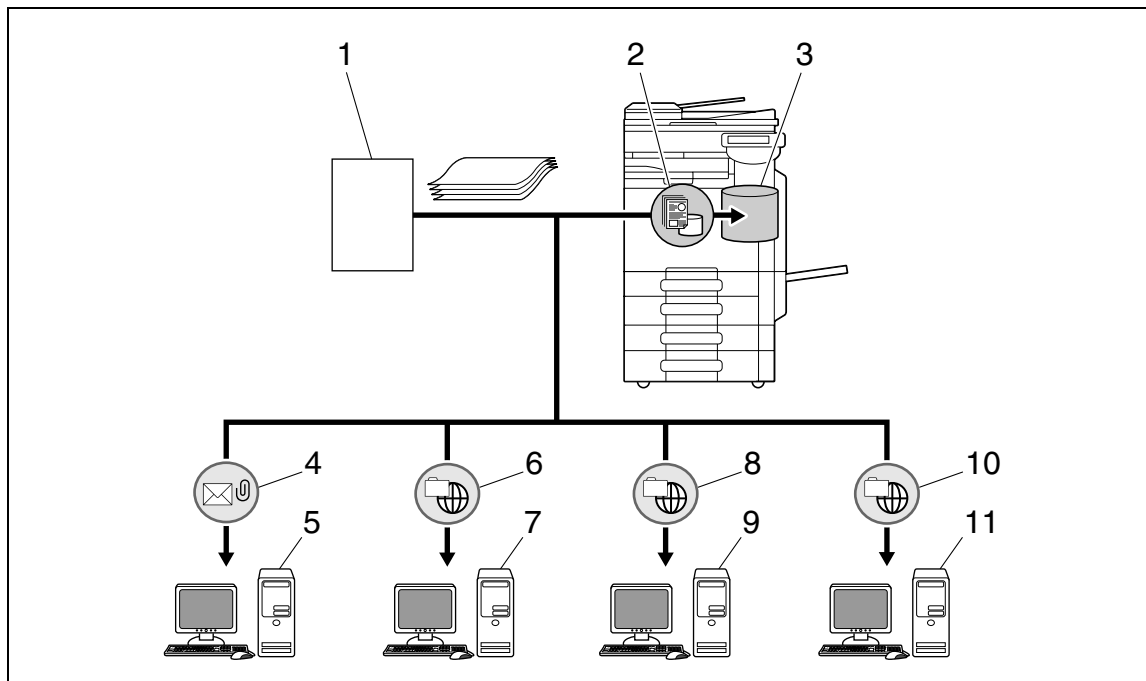
参照

ボックス内の文書の印刷 / 送信 / 削除については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

PC-FAX 受信設定については、11-27 ページをごらんください。

8.3 TSI 受信振分け（G3）

送信者のファクス ID（TSI）で受信した文書を、送信者ごとに用意した振分け先に自動的に配信します。
振分け先には以下の宛先を指定できます。

- ボックス宛先
- E-mail 宛先
- FTP 宛先
- SMB 宛先
- WebDAV 宛先

1. 送信側
2. ボックス保存
3. ボックス
4. E-mail 配信
5. メールサーバー
6. FTP 配信
7. FTP サーバー
8. 共有フォルダー配信
9. SMB サーバー
10. WebDAV 配信
11. WebDAV サーバー

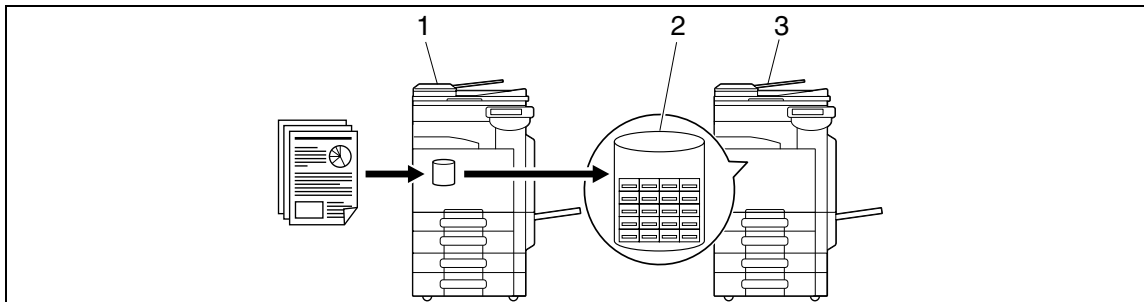
参考

- 正常に配信が終了しなかった場合、受信文書はプリントされます。
- 振り分け先の TSI は 128 か所まで登録できます。

参照

TSI 受信振分け設定については、11-27 ページをごらんください。

8.4 親展通信（G3）

特定の人との間で送受信したい原稿を親展ボックスを使って通信する機能です。相手機の親展ボックス宛に原稿を送ることを親展送信、自局の親展ボックスに原稿を受信することを親展受信といいます。この機能は相手先が F コード機能を持つ機種の場合に使用できます。

1. 送信
2. 親展ボックス
3. 受信

親展受信に必要な設定

親展受信を行うには、本機に親展受信用のボックスを作成します。共有 / 個人 / グループボックスを HDD 内に作成するとき、親展受信の設定を行います。

参照

ボックス登録時の親展受信設定については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

親展受信する

親展受信をすると、親展ボックスに文書が保存されます。ボックスを参照して印刷の操作をしてください。不要な文書は削除することもできます。

参照

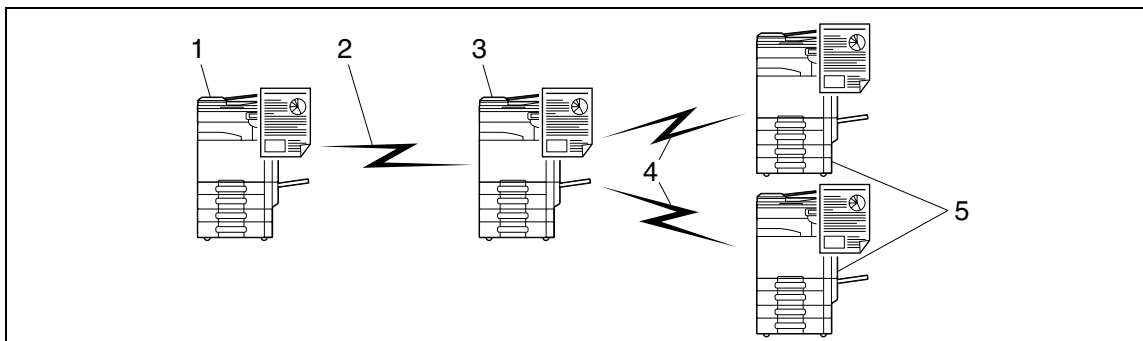
ボックス内の文書の印刷 / 削除については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

親展送信する

相手先の親展受信ボックスの番号とパスワードを入力し、送信します。
親展送信については、5-66 ページをごらんください。

8.5　中継配信（G3）

8.5.1　中継配信とは

送信するファクス文書をいったん中継配信局に保存し、中継局からさらに送信先に送信する機能です。遠方の相手先への同報が頻繁に発生する場合、中継配信局と配信先を地域別にグループ化しておけば、個別に送信するよりも全体の通信コストを削減することができます。

1. 中継指示局
2. 市外電話
3. 中継配信局
4. 市内電話
5. 中継配信先

- 中継依頼をして文書を送信するファクスを［中継指示局］といいます。
- 中継指示局からファクスを受け取り、中継を行うファクスを［中継配信局］といいます。
- 中継配信機能は、中継配信局が F コード機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

以下の機能とは併用できません。
- ポーリング送信
- ポーリング受信
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信
- パスワード送信

8.5.2　中継配信を行うには

本機は、中継指示局として使用することも、中継配信局としても使用することができます。

本機を中継指示局としてファクスを送る場合は、8-7 ページをごらんください。

本機を中継配信局として使用するには、中継配信を行うための文書を保存する中継ボックスと、配信先の設定が必要です。

配信先の設定は、グループ宛先をあらかじめ設定しておきます。

参照
中継ボックスの作成については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

8.5.3 中継配信局にファクスを送る

［通信設定］－［送受信方法設定］で［F コード送信］を選択し、以下の内容を入力します。

［SUB アドレス］：中継配信局の中継ボックス番号をテンキーで入力します。

［送信 ID］：中継パスワードを入力します。

8.6　ポーリング送信 / 受信（G3）

8.6.1　ポーリング送信

受信側のポーリング指示で原稿を送信するために、あらかじめ内蔵ハードディスクに文書を保存しておく機能です。ポーリング送信ボックスへの文書保存方法は、5-65 ページをごらんください。

- ポーリング送信を指示した文書は、システムボックスのポーリング送信ボックスに保存されます。
- ポーリング送信は 1 文書のみ登録できます。
- 自動的にメモリー送信が設定されます。

以下の機能とは併用できません。

- クイックメモリー送信
- 原稿枚数指定
- ポーリング受信
- タイマー通信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- F コード送信
- パスワード送信
- V34 OFF
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信

8.6.2　ポーリング受信

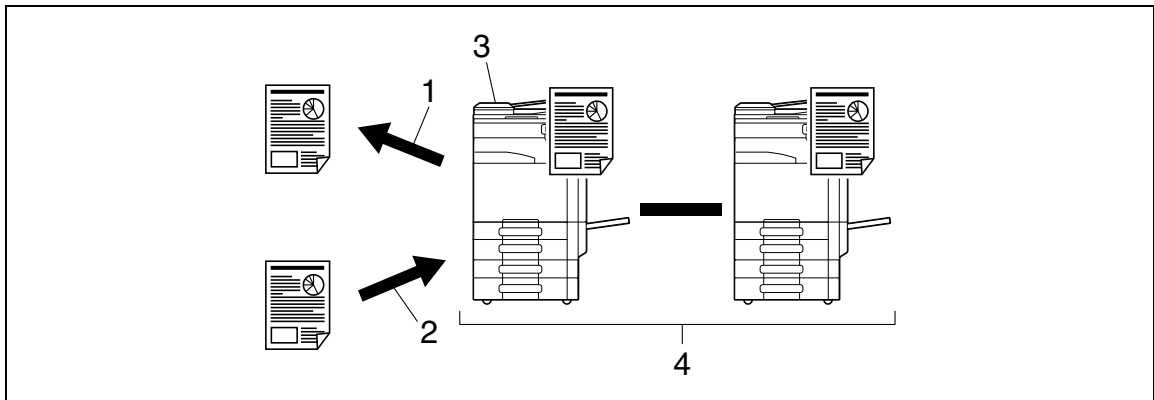
送信側に保存されている文書や、ポーリング送信予約された文書を受信側からの指示で送信させる機能です。電話料金を受信側で負担したいときなどに便利です。ポーリング受信の方法は、5-63 ページをごらんください。

以下の機能とは併用できません。

- クイックメモリー送信
- 枠消し
- 読込みサイズ
- 原稿枚数指定
- 混載原稿
- Z 折れ原稿
- 長尺原稿
- 原稿のとじしろ
- 親展送信
- 中継依頼
- ポーリング送信
- 海外通信モード
- ECM OFF
- パスワード送信
- V34 OFF
- 掲示板登録
- 掲示板ポーリング受信

8.7 掲示板（G3）

本機に掲示板を登録し、閲覧したい文書を掲示するように登録しておくことができます。掲示板を登録するには、掲示板ボックスを登録し、ボックスモードで文書を保存します。

掲示板から文書を取り出したり、プリントするときには掲示板ボックスにアクセスしてプリント、削除などの操作ができます。

1. 閲覧
2. 登録
3. 掲示板
4. ポーリング

参照
掲示板ボックスの登録、操作については［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

8.8　増設回線を使用した送受信（G3）

FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合、2 つ目の回線に個別の設定をし、回線 1 と違った使いかたができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 回線パラメーター設定：ダイアル方式、着信回数、回線モニター音を設定できます。
- 機能設定：PC-FAX 送信、ナンバーディスプレイ、ネームディスプレイ、発信者情報の表示を設定できます。
- 複数回線使用設定：送信専用、受信専用など役割を割り振ることができます。
- ファクス ID：増設回線に個別のファクス ID を割り当てることができます。

参考

- これらの機能は管理者設定の［ファクス設定］－［増設回線設定］で設定できます。詳しくは、11-31 ページをごらんください。

8.9　ファクス転送（G3）

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた宛先に転送することができます。設定できる機能は以下のとおりです。

- 転送も行い、本機でも受信したファクス文書をプリントするよう設定できます。
- FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合は、転送を行う回線を指定できます。

参考

- これらの機能は管理者設定の［ファクス設定］－［機能設定］－［転送ファクス設定］で設定できます。詳しくは、11-25 ページをごらんください。

9 レポート / リストの見かた

9 レポート / リストの見かた

レポート / リストのプリント方法と見かたについて説明します。

9.1 レポート / リストの種類

本機から印刷されるレポート、リストには以下の種類があります。

9.1.1 レポート

自動的に印刷されるレポート、印刷方法を設定できるレポート、必要に応じて印刷の指示をするレポートがあります。

レポート名	説明
［通信管理レポート］ （G3/I-FAX/IP）	送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が送信、受信それぞれ別のページに記録されます。 通信管理レポートは自動的にプリントされるだけでなく、必要に応じて送信だけの記録、受信だけの記録、送受信の記録それぞれをプリントすることができます。 設定メニューの管理者設定で、プリントする間隔を［毎日］/［100 通信ごと］/［100/ 毎日］から選択できます。 通信管理レポートの出力設定を［毎日］または［100/ 毎日］に設定した場合は、レポートを出力する時刻を設定できます。 ［ジョブ表示］＞［ジョブ詳細］＞［送信］＞［履歴リスト］＞［通信リスト］＞［ファクス送信リスト］または［ファクス受信リスト］の順に押すと、以下のレポートをプリントできます。 ・ 送信管理レポート ・ 受信管理レポート ・ 通信管理レポート
［送信結果レポート］ （G3/I-FAX/IP）	送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。
［ポーリング送信結果レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［送信結果レポート］が［常時］または［エラー時のみ］に設定されている場合、ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。
［ポーリング受信結果レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［送信結果レポート］が［常時］または［エラー時のみ］に設定されている場合に、ポーリング受信の結果が自動的にプリントされます。
［順次ポーリング受信結果レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［順次通信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、複数の宛先へのポーリングの結果が自動的にプリントされます。
［同報送信結果レポート］ （G3/I-FAX/IP）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［順次通信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、順次同報送信が終了すると自動的にプリントされます。
［通信予約レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、送信予約をすると自動的にプリントされます。
［ポーリング送信予約レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、ポーリング送信予約をすると自動的にプリントされます。
［同報送信予約レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、順次同報送信を予約すると自動的にプリントされます。
［1 宛先ポーリング受信予約レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、一つの宛先にポーリングを予約すると自動的にプリントされます。
［順次ポーリング受信予約レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［予約レポート］が［ON］に設定されている場合に、複数の宛先にポーリングを予約すると自動的にプリントされます。

レポート名	説明
［親展受信レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［親展受信レポート］が［ON］に設定されている場合に、親展受信をすると自動的にプリントされます。
［ポーリング送信結果レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［掲示板送信結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、掲示板送信の結果が自動的にプリントされます。
［中継結果レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［中継結果レポート］が［ON］に設定されている場合に、中継配信の結果が自動的にプリントされます。
［中継依頼受付レポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［中継依頼受付レポート］が［ON］に設定されている場合に、中継受信の結果が自動的にプリントされます。
［PC-FAX 送信エラーレポート］ （G3）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［PC-FAX 送信エラーレポート］が［ON］に設定されている場合に、PC-FAX 送信でエラーが起こると自動的にプリントされます。
［ネットワークファクス受信エラーレポート］ （I-FAX/IP）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［ネットワークファクス受信エラーレポート］が［ON］に設定されている場合、ネットワークファクスを正常に受信できなかったときにプリントされます。
［MDN メッセージ印刷］ （I-FAX）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［MDN メッセージ］が［ON］に設定されている場合、送信側からの開封確認に相手機応答したときに、相手機から受信した MDN メッセージが自動的にプリントされます。 （MDN = Message Disposition Notifications の略）
［DSN メッセージ印刷］ （I-FAX）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［DSN メッセージ］が［ON］に設定されている場合、受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。（DSN = Delivery Status Notifications の略）
［正常受信メール本文］ （I-FAX）	設定メニューの［レポート出力設定］で、［正常受信メール本文印刷］が［ON］に設定されている場合、受信した電子メールの本文がプリントされます。

9.1.2 リスト

リストは、必要に応じてプリントの指示をします。

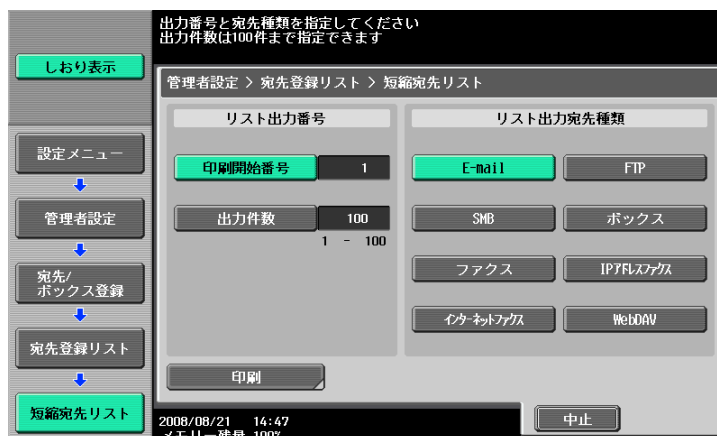
リスト名	説明
［短縮宛先リスト］	短縮宛先の登録内容をプリントできます。
［グループ宛先リスト］	グループダイアルの登録内容をプリントできます。
［プログラム宛先リスト］	プログラム宛先の登録内容をプリントできます。
［設定値リスト］	設定メニューのファクス設定の内容をプリントできます。
［件名 / 本文リスト］	登録された E-mail の件名、本文の内容をプリントできます。

9.2 共通のリスト

9.2.1 ［短縮宛先リスト］

登録した短縮宛先のリストをプリントできます。

プリントのしかた

1 管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［短縮宛先リスト］を選択し、出力する開始番号、出力件数、宛先の種類を設定して［印刷］を押します。

2 出力する給紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。

出力例

短縮宛先リスト

P 1
2007/10/02 04:49
Serial No. 1
TC: 5

ファクス　　＊ 検索文字

No.	*	名称	G3FAX	回線設定 相手先機種 ポート番号 SIPファクス送信 参照許可レベル／参照可能グループ
0006	etc	1	1	 モノクロ機 *** OFF レベル0
0007	TUV	Tokyo Office	000111222333	 モノクロ機 *** OFF レベル0
0008	JKL	Kyoto Office	222333444555	 モノクロ機 *** OFF レベル0

プリントされる項目

プリントされる項目は、短縮宛先の種類によって異なります。

ファクス

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[G3FAX]	登録されているファクス番号です。
[回線設定]	回線設定が指定されている場合に * が記載されます。
[相手先機種]	登録されている相手先機種（モノクロ機 / カラー機）です。
[ポート番号]	登録されているポート番号です。
[SIP ファクス送信]	本機は SIP ファクスには対応していません。
[参照許可レベル／参照可能グループ]	登録されている参照可能レベルです。

インターネットファクス

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[I-Fax アドレス]	登録されているインターネットファクスのアドレスです。
[圧縮形式]	登録されている圧縮形式です。
[用紙サイズ]	登録されている用紙サイズです。
[解像度]	登録されている解像度です。
[参照許可レベル／参照可能グループ]	登録されている参照可能レベルです。

IP アドレスファクス

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[IP アドレス]	登録されている IP アドレス、ホスト名、電子メールアドレスです。
[相手先機種]	登録されている相手先機種（モノクロ機 / カラー機）です。
[ポート番号]	登録されているポート番号です。
[参照許可レベル／参照可能グループ]	登録されている参照可能レベルです。

SMB

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[ホストアドレス]	登録されている PC 宛先です。
[ファイルパス]	登録されているファイルパスです。

項目	説明
[ユーザー ID]	登録されているユーザー ID です。
[パスワード]	登録されているパスワードです（パスワードは［********］で表示されます）。
[参照許可レベル／参照可能グループ]	登録されている参照可能レベルです。

E-mail

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[E-mail 宛先]	登録されている E-mail 宛先です。
[参照許可レベル／参照可能グループ]	登録されている参照可能レベルです。

FTP

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[ホストアドレス]	登録されている PC 宛先です。
[ファイルパス]	登録されているファイルパスです。
[ユーザー ID]	登録されているユーザー ID です。
[パスワード]	登録されているパスワードです（パスワードは［********］で表示されます）。
[anonymous]	anonymous が設定されているかいないかが表示されます。
[PASV]	PASV が設定されているかいないかが表示されます。
[プロキシ]	プロキシが設定されているかいないかが表示されます。
[ポート番号]	登録されているポート番号です。
[参照許可レベル／参照可能グループ]	登録されている参照可能レベルです。

WebDAV

項目	説明
[No.]	短縮番号です。
[＊]（検索文字）	登録されている検索文字です。
[名称]	登録されている宛先名です。
[ホストアドレス]	登録されている PC 宛先です。
[ファイルパス]	登録されているファイルパスです。
[ユーザー ID]	登録されているユーザー ID です。
[パスワード]	登録されているパスワードです（パスワードは［********］で表示されます）。
[プロキシ]	プロキシが設定されているかいないかが表示されます。
[SSL 設定]	SSL 設定がされているかいないかが表示されます。
[ポート番号]	登録されているポート番号です。

項目	説明
［参照許可レベル／参照可能グループ］	登録されている参照可能レベルです。

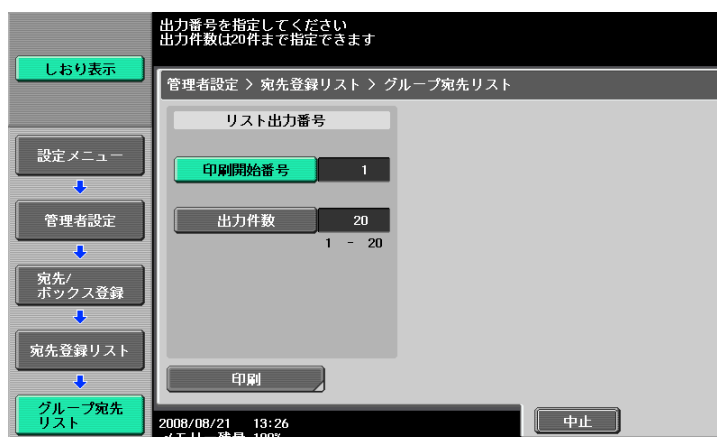
ボックス

項目	説明
［No.］	短縮番号です。
［＊］（検索文字）	登録されている検索文字です。
［名称］	登録されている宛先名です。
［ボックス番号］	登録されているボックス番号です。
［参照許可レベル／参照可能グループ］	登録されている参照可能レベルです。

9.2.2　［グループ宛先リスト］

登録したグループ宛先のリストをプリントできます。

プリントのしかた

1　管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［グループ宛先リスト］を選択し、出力する開始番号、出力件数を設定して［印刷］を押します。

2　出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。

出力例

グループ宛先リスト

P 1
2008/08/11 12:24
Serial No. 1
TC: 85

No.	名称	短縮No.	参照可能ﾚﾍﾞﾙ	登録件数
001	gr01	0001 0002 0004	レベル0	003
No.	名称	短縮No.	参照可能ﾚﾍﾞﾙ	登録件数
002	gr02	0002 0003 0005	レベル0	003

プリントされる項目

項目	説明
[No.]	グループ番号です。
[名称]	登録されているグループ名です。
[短縮宛先 No]	グループに登録されている短縮宛先 No. です。
[参照可能レベル]	登録されている参照可能レベルです。
[登録件数]	グループに登録されている短縮 No. の数です。

9.2.3　[プログラム宛先リスト]

登録したプログラム宛先のリストをプリントできます。

プリントのしかた

1 管理者設定の [宛先 / ボックス登録] − [宛先登録リスト] から [プログラム宛先リスト] を選択し、出力する開始番号、出力件数、宛先の種類を設定して [印刷] を押します。

2　出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。

出力例

プログラム宛先リスト

P 1
2008/08/11 12:30
Serial No. 1
TC: 86

短縮宛先

No.	名称	短縮宛先
001	test1	E0001

項目	設定
参照可能ﾚﾍﾞﾙ	レベル0
ファイル形式	PDF
ページ設定	ページ分割
ページ分割	1ﾍﾟｰｼﾞごと
片面/両面	片面
原稿画質	写真
カラーモード	自動
解像度	400dpi
下地調整：裏写り除去	0
原稿ｾｯﾄ向	上向き
両面開き方向/とじ方向	自動
読込みサイズ	自動
特殊原稿	指定なし
ﾌﾞｯｸ指定	指定なし
連続読込み設定	指定なし
上枠消し量	なし
下枠消し量	なし
右枠消し量	なし
左枠消し量	なし
ブックイレース	なし

No.	名称	短縮宛先
002	test2	A0004

項目	設定
SIPﾌｧｸｽ送信	OFF
相手先機種	ﾓﾉｸﾛ機
参照可能ﾚﾍﾞﾙ	レベル0
ファイル形式	PDF
片面/両面	片面
原稿画質	文字/写真
濃度	+1
解像度	普通
下地調整：裏写り除去	0
両面開き方向/とじ方向	指定なし
読込みサイズ	自動
混載原稿	指定なし
連続読込み設定	指定なし
上枠消し量	なし
下枠消し量	なし
右枠消し量	なし
左枠消し量	なし
ブックイレース	なし
済みｽﾀﾝﾌﾟ	指定なし
通信時刻	指定なし
パスワード送信	指定なし
V34 OFF	指定なし
ECM OFF	指定有り
海外通信モード	指定なし
回線選択	指定なし
宛先確認送信	しない

プリントされる項目

項目	説明
［No.］	プログラム宛先番号です。
［名称］	登録されているプログラム名です。
［短縮宛先］	短縮宛先 No. です。

9.3 G3/IP/I-FAX 共通のレポート / リスト

9.3.1 ［通信管理レポート］

送信や受信の記録が記載されたレポートです。送受信を合わせて最大 700 通信分が、送信、受信それぞれ別のページに記録されます。通信管理レポートは自動的にプリントされるだけではなく、必要に応じて送信だけの記録（送信管理レポート）、受信だけの記録（受信管理レポート）、送受信の記録（通信管理レポート）をプリントすることができます。

出力例

通信管理レポート

P 1
2008/08/11 12:45
Serial No. 1
TC: 91

送信

番号	相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
001	Fax4	08-11 12:35	00:00:41	001/001	OK	L1
002	Fax4	08-11 12:40	00:00:32	001/001	OK	L1
003	Kyoto Office	08-11 12:42	00:00:33	001/001	OK	L1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

通信管理レポート

P 2
2008/08/11 12:45
Serial No. 1
TC: 91

受信

番号	相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
001		08-11 12:38	00:00:32	001/001	OK	L1
002		08-11 12:43	00:00:30	001/001	OK	L1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

プリントされる項目

項目	説明
［番号］	送信、受信それぞれに連番が付けられます。
［相手先］	次のいずれかが記載されます。情報がない場合はブランクとなります。 送信管理レポート：短縮宛先またはプログラム宛先の登録名 受信管理レポート：短縮宛先の登録名または相手の電話番号
［開始時刻］	通信を開始した時刻が記載されます。
［時間］	通信の所要時間が記載されます。
［枚数］	通信した枚数が記載されます。メモリー送信の場合は、送信できたページ数と全体のページ数が分数形式で記されます。

項目	説明
[備考]	次のいずれかが記載されます。 [L1]：主回線（G3 のみ） [L2]：副回線（G3 のみ） [TMR]：タイマー通信 [POL]：ポーリング [ORG]：原稿サイズ指定 [FME]：枠消し送信 [MIX]：混載モード送信 [CALL]：手動通信 [CSRC]：遠隔診断 [FWD]：転送 [PC]：PC-FAX [BND]：原稿のとじしろ [SP]：特殊原稿 [FCODE]：F コード指定 [RTX]：再送信 [RLY]：中継 [MBX]：親展 [BUL]：掲示板 [SIP]：本機は SIP ファクスには対応していません。 [IPADR]：IP アドレスファクス [I-FAX]：インターネットファクス
[結果]	[OK]：通信が正常に終了した場合に記載されます。 [S-OK]：通信を中止した場合に記載されます。 [PW-OFF]：通信中に操作電源スイッチが OFF された場合に記載されます。 [TEL]：電話がかかってきた場合に記載されます。 [NG]：通信エラーが発生した場合に記載されます。 [継続]：送信エラーが発生して、再送信待ちの状態（エラーページリダイアル）に移った場合に記載されます。 [無応答]：相手が応答しなかった場合に記載されます。 [拒否]：着信拒否登録した番号から受信した場合に記載されます。 [話中]：相手が話し中で通信できなかった場合に記載されます。 [メモリーフル]：受信中にファクスファイルメモリーが一杯になって、受信できなかった場合に記載されます。 [LOVR]：受信ページ長が制限をこえた場合に記載されます。（IP アドレスファクス / インターネットファクス） [POVR]：受信ページオーバー。受信ページ数が 3000 ページを超えた場合に記載されます。（IP アドレスファクス / インターネットファクス） [FIL]：ファイルエラー。受信したファイルがサポートされていない場合に記載されます。（IP アドレスファクス / インターネットファクス） [DC]：デコードエラー。受信したファイルのデコードでエラーが発生した場合に記載されます。（IP アドレスファクス / インターネットファクス） [MDN]：MDN 応答がエラーの場合に記載されます。（インターネットファクス） [DSN]：DSN 応答がエラーの場合に記載されます。（インターネットファクス）

参考

- 備考欄は、ユーザー認証時にユーザー名、部門管理時に部門名をプリントできます。詳しくは、11-29 ページをごらんください。
- オプションの設定によって記載されない項目があります。

9.3.2　［送信結果レポート］

送信結果が自動的にプリントされます。設定メニューの管理者設定で、プリントするタイミングを、常時 / エラー時のみ /OFF から選択できます。

送信結果レポート

P 1
2008/08/11 12:51
Serial No. 1
TC: 93

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
1	08-11 12:50	00:00:33	000/001	S-OK	L1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.3.3　［同報送信結果レポート］

順次同報送信が終了したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定できます。また、［同報結果レポート出力］でレポート出力タイミング（全宛先一括 /1 宛先毎）を指定できます。

同報送信結果レポート

P 1
2008/08/11 12:55
Serial No. 1
TC: 94

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
Fax4	08-11 12:54	00:00:32	001/001	OK	L1
Kyoto Office	08-11 12:55	00:00:07	000/001	話中	L1

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.3.4　［設定値リスト］

本機で設定しているファクスの設定値リストをプリントできます。

プリントのしかた

➔ 管理者設定の［ファクス設定］－［設定値リスト］を選択し、出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。

［FAX 設定リスト］

FAX設定リスト

P 1
30/03/2009 09:46
Serial No. A0P0010000011
TC: 81

FAX初期画面設定

項目	設定	項目	設定
基本画面表示	登録宛先から	アドレス帳初期表示	常用
オートリセットまでの時間	1 分	受信中画面表示	しない
FAX初期画面設定	OFF	送信中画面表示	しない

発信元/ファクスID登録

項目	設定
発信元名	あああ
ファクスID	

発信元/受信情報

項目	設定	項目	設定
発信元情報	原稿外	相手先印字	ON
受信情報	OFF		

回線パラメーター設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20pps	受信方式	自動受信
着信回数設定	2 回	オートリダイアル回数	3 回
オートリダイアル間隔	3 分	TEL/FAX自動切換え	OFF
留守番電話接続設定	OFF	回線モニター音	OFF
回線モニター音レベル	16		

送信/受信設定

項目	設定	項目	設定
ボックス番号エラー動作	印刷	受信印刷出力設定	一括印刷
記録用紙優先選択	自動選択		
パワーセーブ移行-ファクス	即時	インチ系用紙優先選択	OFF
記録用紙サイズ	A4	縮小率	96
ページ分割記録	OFF	給紙トレイ固定	自動
ポーリング送信後文書	削除する	受信原稿両面印刷	OFF
着信拒否時の動作	回線切断	受信印刷部数	1
回線別受信設定	OFF	回線別発信元設定	OFF

レポート出力設定

項目	設定	項目	設定
通信管理レポート	100通信ごと		
備考欄印字設定	通常印字	送信結果レポート	エラー時のみ
順次通信結果レポート	ON	予約レポート	ON
親展受信レポート	ON	掲示板送信結果レポート	ON
送信結果レポート画面	表示しない	同報結果レポート出力	全宛先一括
中継結果レポート	ON	中継依頼受付レポート	ON
PC-FAX送信エラーレポート	OFF		
ﾈｯﾄﾜｰｸﾌｧｸｽ受信ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ	ON	正常受信ﾒｰﾙ本文印刷	ON
MDNﾒｯｾｰｼﾞ	ON	DSNﾒｯｾｰｼﾞ	OFF

PBX接続設定

項目	設定
PBX接続機能	しない

FAX設定リスト

P 2
30/03/2009 09:46
Serial No. A0P0010000011
TC: 81

機能ON/OFF設定

項目	設定	項目	設定
ナンバーディスプレイ機能	OFF	Fコード送信機能	ON
宛先確認表示機能	OFF	中継受信機能	ON
中継印刷	OFF	宛先2度入力機能(送信)	OFF
宛先2度入力機能(登録)	OFF		

転送ファクス設定

項目	設定
転送ファクス設定	しない
転送条件	不達時のみ印刷
転送先	未登録

ダイアルイン設定

項目	設定	項目	設定
ダイアルイン設定	しない	FAX番号	未登録
電話番号	未登録	PC-FAX番号	未登録

リモート受信設定

項目	設定
リモート受信設定	しない

強制メモリー受信設定

項目	設定
強制メモリー受信設定	しない

閉域受信設定

項目	設定
閉域受信設定	しない

PC-FAX受信設定

項目	設定	項目	設定
PC-FAX受信設定	許可しない	受信出力先	***
受信後印刷	***	パスワードチェック	***

再送信設定

項目	設定	項目	設定
再送信設定	しない	ファイル保持時間	***

FAX設定リスト

P 3
2008/08/11 13:03
Serial No. 1
TC: 95

増設回線設定

項目	設定	項目	設定
ダイアル方式	20pps	着信回数設定	2 回
回線モニター音	OFF	PC－FAX送信設定	指定なし
ナンバーディスプレイ機能	OFF	複数回線使用設定	送受信兼用

項目	設定
ファクスID	

FAX設定リスト

P 4
2008/08/11 15:11
Serial No. 1
TC: 138

インターネットファクス自機受信能力設定

項目	設定
圧縮形式	MH/MR/MMR/JPEG(ｸﾞﾚｰｽｹｰﾙ)/JPEG(ｶﾗｰ)
用紙サイズ	A4/B4/A3
解像度	普通/精細/高精細

I-Fax拡張設定

項目	設定	項目	設定
MDN要求	する	DSN要求	しない
MDN応答	する	MDN/DSN応答監視時間	24

件名リスト

No.	件名
01	Message from MFP
02	Photo data

本文リスト

No.	本文
01	This is a message from the MFP.
02	Photo data attached.

[中継一覧]

FAX設定リスト

P 5
2008/08/11 13:03
Serial No. 1
TC: 95

中継一覧

No.	ｸﾞﾙｰﾌﾟNo.	送信ID
000000003	001	123

［送信者別（TSI）受信ボックス］

FAX設定リスト

P 6
2008/08/11 13:03
Serial No. 1
TC: 95

送信者別(TSI)受信ボックス

No.	送信者(TSI)	振分け先
001	123	B000000002
002	124	B000000002

備考: E:E-mail F:FTP S:SMB G:Group B:Box

［親展・掲示板一覧］

FAX設定リスト

P 7
2008/08/11 13:03
Serial No. 1
TC: 95

親展・掲示板一覧

No.	名前	送信ID	種別
000000004	bbox		掲示板
000000005	bbox2		掲示板
000000006	box1	1234	親展Box

9.4　　G3 ファクスで出力されるレポート

9.4.1　　［ポーリング送信結果レポート］

ポーリング送信の結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定できます。

ポーリング送信結果レポート

P 1
2008/08/11 13:18
Serial No. 1
TC: 104

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	08-11 13:18	00:00:27	001/001	OK	L1 POL

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.2　　［ポーリング受信結果レポート］

ポーリング受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［送信結果レポート］で常時 / エラー時のみ /OFF を設定できます。

ポーリング受信結果レポート

P 1
2008/08/11 13:19
Serial No. 1
TC: 105

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
Fax4	08-11 13:18	00:00:33	001/001	OK	L1 POL

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.3　　［順次ポーリング受信結果レポート］

複数の宛先へのポーリング受信の結果が自動的にプリントされます。

設定メニューの［順次通信結果レポート］で ON/OFF を設定できます。

順次ポーリング受信結果レポート

P 1
2008/08/11 13:21
Serial No. 1
TC: 109

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
Fax4	08-11 13:20	00:00:35	001/001	OK	L1 POL
Kyoto Office	08-11 13:21	00:00:04	000/000	話中	L1 POL

備考　L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果　OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.4 ［通信予約レポート］

タイマー通信を指定したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。

通信予約レポート

P 1
2008/08/11 13:21
Serial No. 1
TC: 107

相手先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
Fax4	08-11 13:21	08-11 23:00	001	TMR

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

9.4.5 ［ポーリング送信予約レポート］

ポーリング送信予約をしたとき（本機のポーリング送信ボックスに文書が保存されたとき）に自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。

ポーリング送信予約レポート

P 1
2008/08/11 13:13
Serial No. 1
TC: 102

相手先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
	08-11 13:13	----- --:--	001	

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

9.4.6 ［同報送信予約レポート］

順次同報送信を予約したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定することができます。

同報送信予約レポート

P 1
2008/08/11 13:24
Serial No. 1
TC: 110

相手先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
Kyoto Office	08-11 13:23	08-11 23:00	001	TMR
Fax4	08-11 13:23	08-11 23:00	001	TMR

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

9.4.7 ［1 宛先ポーリング受信予約レポート］

1 宛先へのポーリング受信を予約したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。

1宛先ポーリング受信予約レポート

P 1
2008/08/11 13:25
Serial No. 1
TC: 111

相手先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
Fax4	08-11 13:25	08-11 23:00	000	TMR POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混戦モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

9.4.8 ［順次ポーリング受信予約レポート］

複数の宛先へのポーリング受信を予約したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［予約レポート］で ON/OFF を設定できます。

順次ポーリング受信予約レポート

P 1
2008/08/11 13:26
Serial No. 1
TC: 115

相手先	作成時刻	開始時刻	枚数	備考
Kyoto Office	08-11 13:26	08-11 23:00	000	TMR POL
Fax4	08-11 13:26	08-11 23:00	000	TMR POL

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混戦モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

9.4.9 ［親展受信レポート］

親展受信をしたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［親展受信レポート］で ON/OFF を設定できます。

親展受信レポート

P 1
2008/08/11 13:31
Serial No. 1
TC: 117

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	08-11 13:31	00:00:32	001/001	OK	L1 MBX BoxNo.6

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混戦モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.10 ［掲示板送信結果レポート］（ポーリング送信結果レポート）

掲示板に登録されている文書をポーリング送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［掲示板送信結果レポート］で ON/OFF を設定できます。

ポーリング送信結果レポート

P 1
2008/08/11 13:36
Serial No. 1
TC: 118

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	08-11 13:35	00:00:26	001/001	OK	L1 BUL BoxNo.4

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.11 ［中継結果レポート］

中継配信局として中継配信先に送信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［中継結果レポート］で ON/OFF を設定できます。

中継結果レポート

P 1
2008/08/11 13:42
Serial No. 1
TC: 120

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
Fax4	08-11 13:41	00:00:31	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.3

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.12 ［中継依頼受付レポート］

本機を中継配信局として使用しているとき、中継指示局から文書を受信したときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［中継依頼受付レポート］で ON/OFF を設定できます。

中継依頼受付レポート

P 1
2008/08/11 13:41
Serial No. 1
TC: 119

相手先	開始時刻	時間	枚数	結果	備考
	08-11 13:40	00:00:31	001/001	OK	L1 RLY BoxNo.3

備考 L1:主回線 L2:副回線 TMR:タイマー通信 POL:ポーリング ORG:原稿サイズ指定 FME:枠消し送信
MIX:混載モード送信 CALL:手動送信 CSRC:CSRC FWD:転送 PC:PC-FAX
BND:両面とじ方向 SP:特殊原稿 FCODE:Fコード指定 RTX:再送信 RLY:中継 MBX:親展 BUL:掲示板
SIP:SIPファクス IPADR:IPアドレスファクス I-FAX:インターネットファクス

結果 OK:通信OK終了 S-OK:通信中止 PW-OFF:電源OFF TEL:電話からの受信 NG:その他のエラー
継続:継続 無応答:無応答 拒否:着信拒否 話中:話中 メモリーフル:メモリーフル
LOVR:受信長オーバー POVR:受信ページオーバー FIL:ファイルエラー DC:デコードエラー
MDN:MDN応答エラー DSN:DSN応答エラー

9.4.13 ［PC-FAX 送信エラーレポート］

PC-FAX 送信でエラーがおきたときに自動的にプリントされます。

設定メニューの［PC-FAX 送信エラーレポート］で ON/OFF を設定できます。

PC-FAX送信エラーレポート

P 1
2007/04/27 08:39
Serial No. A02E010901004
TC: 203

相手先	作成時刻	開始時刻	要因	名称
1	04/27 08:39	--:--	ﾕｰｻﾞ認証失敗	Public

送信できませんでした
状態を確認して、再度送信してください

9.5 インターネットファクスで出力されるレポート

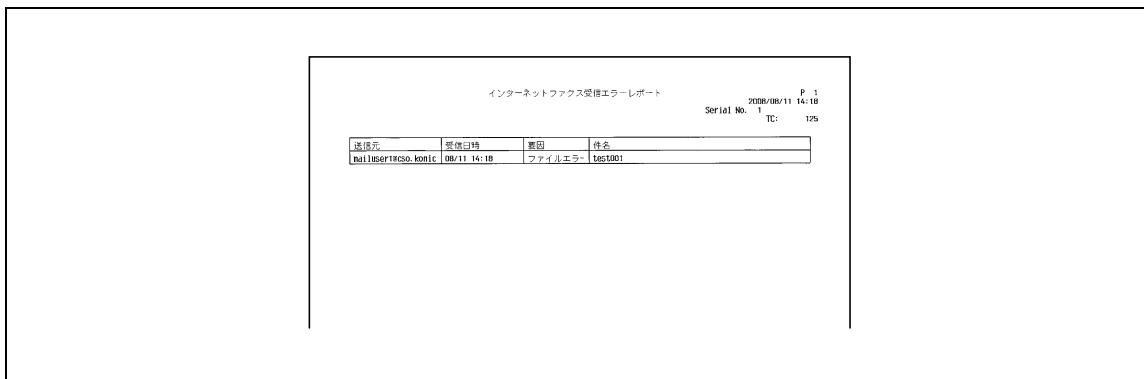
9.5.1 ［インターネットファクス受信エラーレポート］

インターネットファクス、IP アドレスファクスが正常に受信できなかったときにプリントされます。

設定メニューの［ネットワークファクス受信エラーレポート］で ON/OFF を設定できます

インターネットファクス受信エラーレポート

P 1
2008/08/11 14:18
Serial No. 1
TC: 125

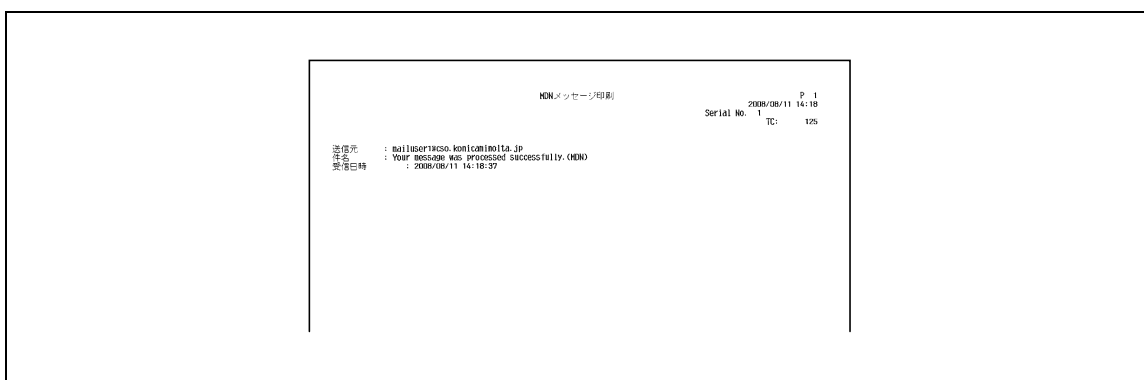
送信元	受信日時	要因	件名
mailuser1@cso.konic	08/11 14:18	ファイルエラー	test001

9.5.2 ［MDN メッセージ印刷］

本機から開封確認要求を行うと、相手機はメールを開封（印刷）した直後、MDN 応答メッセージを本機に送信します。本機は MDN 応答メッセージを受信し、自動的にプリントします。

設定メニューの［MDN メッセージ］で印刷するかどうかを設定できます。

MDNメッセージ印刷

P 1
2008/08/11 14:18
Serial No. 1
TC: 125

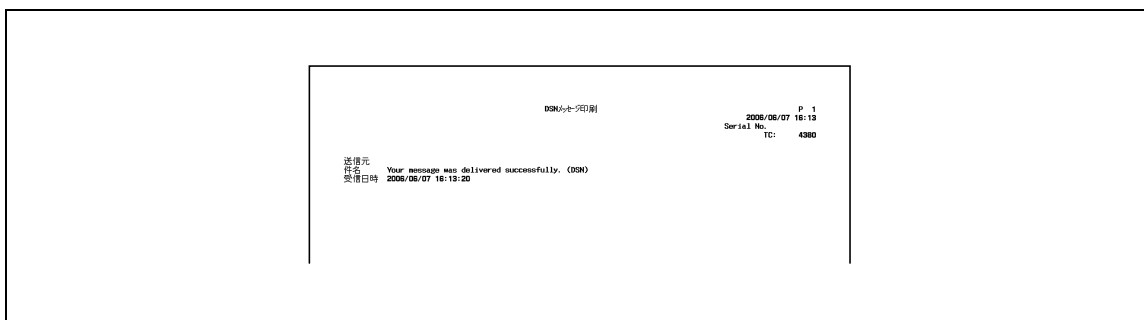
送信元 : mailuser1@cso.konicaminolta.jp
件名 : Your message was processed successfully.(MDN)
受信日時 : 2008/08/11 14:18:37

9.5.3 ［DSN メッセージ印刷］

受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる DSN メッセージを受信すると、自動的にプリントされます。（DSN = Delivery Status Notifications の略）

設定メニューの［DSN メッセージ］で印刷するかどうかを設定できます。

DSNﾒｯｾｰｼﾞ印刷

P 1
2006/06/07 16:13
Serial No.
TC: 4380

送信元
件名 Your message was delivered successfully. (DSN)
受信日時 2006/06/07 16:13:20

9.5.4　［正常受信メール本文印刷］

受信した電子メールの本文を自動的にプリントするかどうかを設定します。

設定メニューの［正常受信メール本文印刷］で印刷するかどうかを設定できます。

正常受信メール本文印刷

P 1
2008/08/11 14:55
Serial No. 1
TC: 135

件名	test01
受信日時	2008/08/11 14:55:45
送信元	mailuser1@cso.konicaminolta.jp
文書名	SKMBT_C65208081114430.tif
本文	Test test test

参考

- 電子メール本文の印刷は、受信した電子メールのヘッダに「Content-XCIAJWNETFAX:IGNORE」が記述されている場合や、本文が無い場合は、［正常受信メール本文印刷］が［ON］に設定されていてもプリントしません。
- プリント不可の添付ファイルを受信した場合、［ネットワークファクス受信エラーレポート］の設定に従います。

9.5.5　［件名・本文リスト］

登録した E-mail の件名、本文のリストをプリントできます。

プリントのしかた

➔ 管理者設定の［宛先 / ボックス登録］－［宛先登録リスト］から［件名 / 本文リスト］を選択し、出力する用紙トレイ、片面 / 両面を設定して［実行］を押します。

出力例

件名・本文リスト

P 1
2008/08/11 15:05
Serial No. 1
TC: 137

件名リスト

No.	件名
01	Message from MFP
02	Photo data

本文リスト

No.	本文
01	This is a message from the MFP.
02	Photo data attached.

9.6　IP で出力されるレポート

9.6.1　［ネットワークファクス受信エラーレポート］

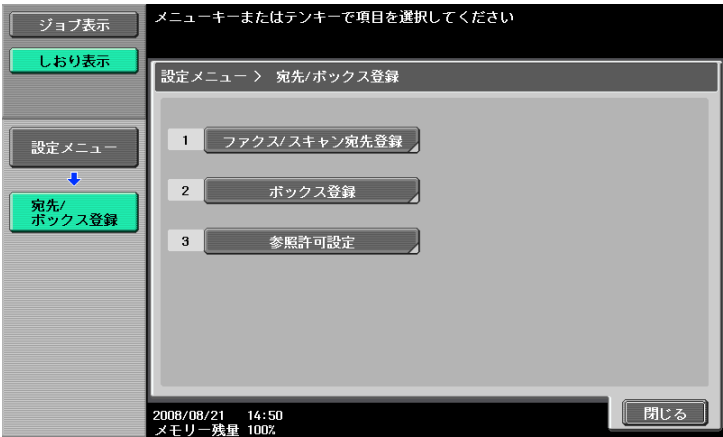
詳しくは、9-21 ページをごらんください。

10 ユーザーモード設定

10　ユーザーモード設定

10.1　ユーザーモードのメニューツリー

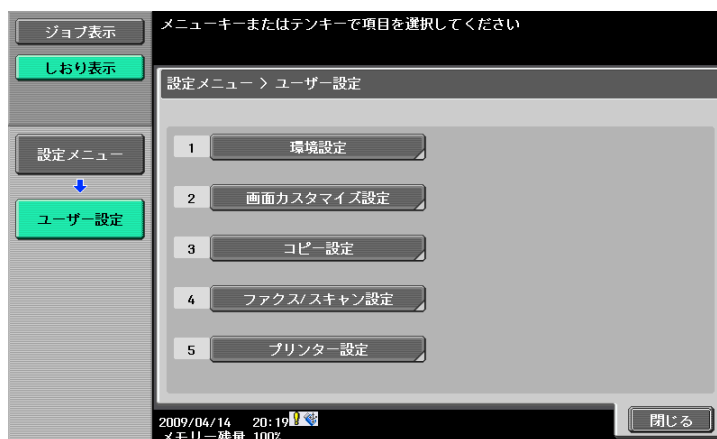
設定メニュー（ユーザーモード）で設定できる項目は以下のようになっています。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

10.1.1 ［宛先 / ボックス登録］

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	
1［ファクス / スキャン宛先登録］	1［短縮宛先（共有）］	1［E-mail 送信］（p. 10-7）	1/2	［登録番号］
				［登録名］
				［E-mail 宛先］
			2/2	［検索文字］
				［アイコン］
		2［ボックス保存］（p. 10-8）	［登録番号］	
			［登録名］	
			［ボックス］	
			［検索文字］	
			［アイコン］	
		3［ファクス送信］（p. 10-9）	1/2	［登録番号］
				［登録名］
				［ファクス番号］
				［回線設定］
			2/2	［検索文字］
				［アイコン］

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	
		4［ファイル送信(SMB)］(p. 10-11)	1/3	［登録番号］
				［登録名］
				［ユーザーID］
				［パスワード］
			2/3	［ホストアドレス］
				［ファイルパス］
				［参照］
			3/3	［検索文字］
				［アイコン］
		5［ファイル送信(FTP)］(p. 10-13)	1/3	［登録番号］
				［登録名］
				［ホストアドレス］
				［ファイルパス］
			2/3	［ユーザーID］
				［パスワード］
				［anonymous］
				［PASV］
				［プロキシ］
				［ポート番号］
			3/3	［検索文字］
				［アイコン］

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層	
		6［ファイル送信 (WebDAV)］(p. 10-14)	1/3	［登録番号］
				［登録名］
				［ユーザー ID］
				［パスワード］
			2/3	［ホストアドレス］
				［ファイルパス］
			3/3	［プロキシ］
				［SSL 設定］
				［ポート番号］
				［検索文字］
				［アイコン］
		7［IP アドレスファクス送信］(p. 10-16)	1/2	［登録番号］
				［登録名］
				［宛先］
			2/2	［ポート番号］
				［相手先機種］
				［検索文字］
				［アイコン］
		8［インターネットファクス送信］(p. 10-17)	1/2	［登録番号］
				［登録名］
				［E-mail 宛先］
			2/2	［相手機受信能力］
				［検索文字］
				［アイコン］
	3［グループ宛先］(p. 10-18)	［登録名］		
		［宛先］		
		［アイコン］		
		［設定内容］		
	4 ［E-mail 設定］	1［件名］(p. 10-19)		
		2［本文］(p. 10-19)		
	5［着信拒否宛先］(p. 10-22)			

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
3［参照許可設定］	1［宛先レベル設定］（p. 10-23）	1［短縮宛先］（p. 10-23）	
		2［グループ宛先］（p. 10-23）	
		3［プログラム宛先］（p. 10-24）	

10.1.2 ［ユーザー設定］

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
2［画面カスタマイズ設定］	2［ファクス / スキャン設定］（p. 10-25）	1/2	［基本画面表示］
			［プログラム初期表示］
			［アドレス帳初期表示］
			［ショートカットキー 1］
			［ショートカットキー 2］
		2/2	［「登録宛先から」初期表示］
			［宛先種類初期表示］
	5［ファクス動作中画面］（p. 10-26）	［送信中画面表示］	
		［受信中画面表示］	
	8［検索オプション設定］（p. 10-27）		
4［ファクス / スキャン設定］（p. 10-27）	1/2	［JPEG 圧縮方法］	
		［白黒 2 値圧縮方法］	
		［TWAIN 操作ロック時間］	
		［ファクス / スキャン初期設定］	
	2/2	［コンパクト PDF/XPS 圧縮方法］	
		［カラー TIFF 形式］	
		［図形のアウトライン化］	

10.1.3　プログラム

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
［ページ一覧］			
［プログラム登録］（p. 10-20）	［登録名］		
	［宛先］		
	［URL 通知先］		
［設定内容］（p. 10-21）	［宛先確認］		
	［読込み設定内容］		
	［原稿設定内容］		
	［通信設定内容］		
	［E-mail 設定内容］		
	［URL 通知先設定内容］		
［削除］（p. 10-21）			

10.2　宛先 / ボックス登録

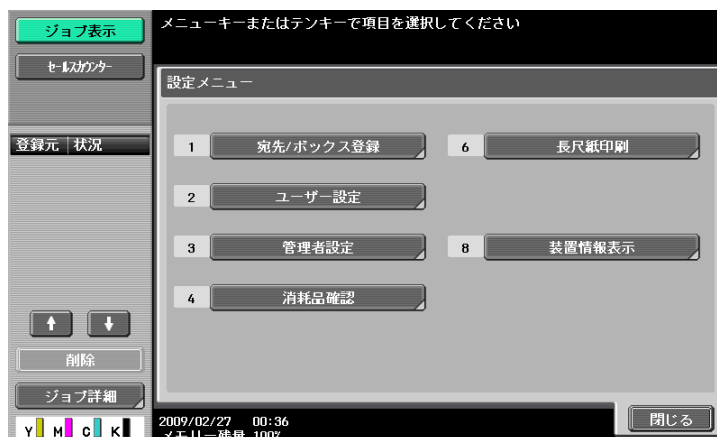
短縮宛先では最大 2000 件の宛先を登録できます。

参考

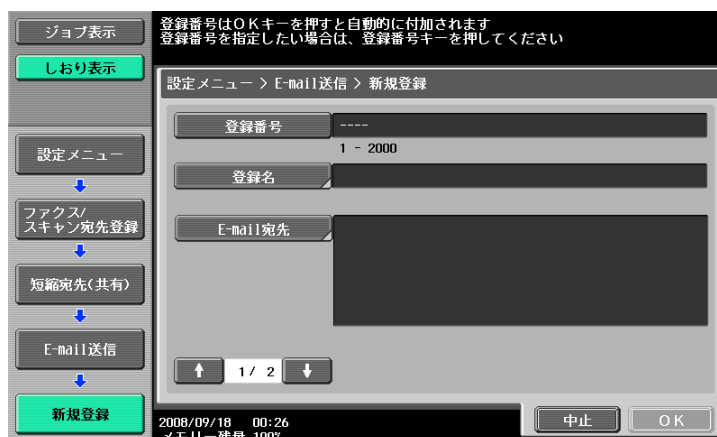
- 管理者設定で［登録宛先変更］が禁止されている場合は、管理者設定の［宛先 / ボックス登録］で登録作業を行ってください。

10.2.1　宛先 / ボックス登録画面を表示させる

宛先 / ボックス登録画面を表示させるには、操作パネルの**設定メニュー / カウンター**を押し、表示された設定メニューから［宛先 / ボックス登録］を押します。

参考

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［1 宛先 / ボックス登録］の場合はテンキーの 1 を押します。

10.2.2　短縮宛先登録－ E-mail 送信

E-mail 宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面

2/2 画面

項目	説明
［登録番号］	［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
［登録名］	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
［E-mail 宛先］	パネルから送信先の E-mail アドレスを入力します。
［検索文字］	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

- ユーザー認証を設定している場合、［登録宛先から］に表示される［Me］を押すことで自分自身の E-mail アドレス（ユーザー登録情報の E-mail アドレス）へスキャンデータを簡単に送信できます。詳しくは、5-20 ページをごらんください。
- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.3 短縮宛先登録－ボックス保存

ボックス保存の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

ボックス保存の宛先を登録するには、あらかじめボックス登録をしておく必要があります。詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

項目	説明
［登録番号］	［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
［登録名］	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
［ボックス］	保存先のボックスを 1 個選択します。
［検索文字］	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・　アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.4　短縮宛先登録－ファクス送信

ファクスの宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面

2/2 画面

項目	説明
［登録番号］	［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。

項目		説明
［登録名］		短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
［ファクス番号］		相手先のファクス番号をテンキーから 38 桁以内で入力します。 ・　PBX 接続設定が有効な場合、内線から外線に発信するときは、より確実にダイアルするために、「0」などの外線番号のあとに［ポーズ］を押します。画面には［P］と表示されます。 ・　PBX 接続設定が有効な場合は、［外線］が表示されます。選択すると［E-］と表示されます。 ・　［宛先 2 度入力機能（登録）］が設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［OK］を押します。 **参照** 宛先 2 度入力機能については、11-21 ページをごらんください。
［回線設定］		送信時の回線について設定します。
	［海外通信モード］	通信状態の悪いところへ通信する場合、情報を送る速さ（伝送速度）をゆっくりとしたスピードに設定して送信します。
	［ECM OFF］	ECM モードを解除し、通信時間を短縮して送信します。 ECM モードは、ITU-T（国際電気通信連合）で定められた誤り再送方式の通信です。ECM モードをもつファクス間の通信では、送信したデータに誤りがないことを確認しながら通信するため、電話回線の雑音などによる画像の乱れを防止できます。
	［V34 OFF］	V34 とは、スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式です。相手機または本機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によってはスーパー G3 モードで通信できない場合があります。 このような場合は V34 を OFF に設定して送信することをおすすめします。送信が完了すると本機は自動的に V34 モードに戻ります。
	［宛先確認送信］	送信時に、指定したファクス番号と相手先のファクス番号情報（CSI）を比較して、一致した場合にだけ送信します。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止できます。 ・　宛先確認送信は、相手先に自局のファクス番号の登録が必要です。
	［回線指定］	FAX 拡張キットを 2 つ装着している場合、［回線 1］または［回線 2］を指定して送信できます。送信する回線を指定してください。
［検索文字］		検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］		アイコンを選択します。 ・　アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.5 短縮宛先登録－ファイル送信（SMB）

ファイル送信（SMB）の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面

2/3 画面

3/3 画面

項目	説明
［登録番号］	［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
［登録名］	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

項目	説明
［ユーザー ID］	送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角・全角文字で 127 バイト以内で入力します。 ・ ユーザー認証を設定している場合、ユーザー登録情報のユーザー ID とパスワードを利用することで、ファイル送信（SMB）宛先新規登録画面にパスワードの登録を避け、セキュリティーを高めることができます。この場合、新規登録画面ではユーザー ID とパスワードを設定しないままにしておきます。また、管理者設定の［送信宛先制限］を［制限する］に設定します。設定方法については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
［パスワード］	送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 14 文字以内で入力します。
［ホストアドレス］	送信先のコンピューターのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。 ホスト名の場合は半角 255 文字以内で入力します。 ・ ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。 ・ IP アドレスを入力してから［ホスト名入力］を押すと、入力した IP アドレスはクリアされます。 ・ ホスト名、ファイルパスは大文字で入力します。 ・ IPv6 アドレスを使用して SMB 送信を行う場合は、ダイレクトホスティングを［使用する］に設定します。詳しくは、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
［ファイルパス］	保存先のファイルパスをパネルから半角・全角文字で 255 バイト以内で入力します。
［参照］	ネットワーク上のコンピューターを検出し、送信先として共有フォルダーを登録できます。 ・ 本機が所属しているネットワーク（サブネット）上に、以下の数を超えるワークグループおよびコンピューターが存在する場合、正しく参照できない可能性があります。 ワークグループ：512 コンピューター：512 また、IPv6 環境では参照できません。
［検索文字］	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

- Active Directory でユーザー認証を設定している場合、タッチパネルに表示される［Home］を押すことで、自分自身の Home フォルダへスキャンデータを簡単に送信できます。詳しくは、5-21 ページをごらんください。
- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.6 短縮宛先登録－ファイル送信（FTP）

ファイル送信（FTP）の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面

2/3 画面

3/3 画面

項目	説明
［登録番号］	［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
［登録名］	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。

項目	説明
［ホストアドレス］	送信先のサーバーのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。 ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。 ・ ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。 ・ IP アドレスを入力してから［ホスト名入力］を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。 ・ ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
［ファイルパス］	保存先のファイルパスをパネルから半角・全角文字で 127 バイト以内で入力します。
［ユーザー ID］	送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角・全角文字で 63 バイト以内で入力します。
［パスワード］	送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 63 文字以内で入力します。
［anonymous］	ホスト名へのログイン時にユーザー ID を設定しないときは［ON］を押します。
［PASV］	PASV モードの ON/OFF を選択します。
［プロキシ］	プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。
［ポート番号］	ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。
［検索文字］	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.7 短縮宛先登録－ファイル送信（WebDAV）

ファイル送信（WebDAV）の宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/3 画面

2/3 画面

3/3 画面

項目	説明
[登録番号]	[登録番号] を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに [OK] を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
[登録名]	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
[ユーザー ID]	送信先のコンピューターにログインするユーザー ID をパネルから半角・全角文字で 63 バイト以内で入力します。
[パスワード]	送信先のコンピューターにログインするパスワードをパネルから半角 63 文字以内で入力します。
[ホストアドレス]	送信先のサーバーのホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレスのいずれかの方式で入力します。 ホスト名の場合は半角 63 文字以内で入力します。 ・ ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。 ・ IP アドレスを入力してから [ホスト名入力] を押すと、入力した IP アドレスは保持され、文字入力画面に表示されます。 ・ ホスト名入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは [ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。
[ファイルパス]	保存先のファイルパスをパネルから半角・全角文字で 142 バイト以内で入力します。
[プロキシ]	プロキシサーバー使用の ON/OFF を選択します。
[SSL 設定]	SSL 使用の ON/OFF を選択します。
[ポート番号]	ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。
[検索文字]	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は [常用（よく使う宛先）] を同時に指定すれば検索性がよくなります。

項目	説明
[アイコン]	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考
- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.8 短縮宛先登録－ IP アドレスファクス送信

IP アドレスファクスの宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面

2/2 画面

項目	説明
[登録番号]	[登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
[登録名]	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
[宛先]	送信先の機器のホストアドレスをホスト名 /IPv4 アドレス /IPv6 アドレス / 電子メールアドレスのいずれかの方式で入力します。 ホスト名、メールアドレスの場合は、半角 317 文字以内で入力します。 ・ ホスト名を入力してから IP アドレス入力に切り替えると、ホスト名はクリアされます。 ・ ホスト名、電子メールアドレス入力を行うときは、事前に DNS 設定が正しく行われているか確認してください。詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

項目	説明
［ポート番号］	ポート番号を入力します（入力範囲：1 ～ 65535）。
［相手先機種］	相手先の機種に応じて［カラー機］または［モノクロ機］を選択します。
［検索文字］	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.9 短縮宛先登録－インターネットファクス送信

インターネットファクス宛先を登録できます。［新規登録］を押すと新しく宛先を登録できます。

1/2 画面

2/2 画面

項目	説明
［登録番号］	［登録番号］を押し、短縮宛先の登録番号を 1 ～ 2000 の範囲で入力します。入力せずに［OK］を押した場合は、空いているもっとも若い番号が登録されます。
［登録名］	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
［E-mail 宛先］	パネルから送信先の E-mail アドレスを入力します。

項目	説明
［相手機受信能力］	圧縮形式、用紙サイズ、解像度について相手機が受信可能な項目を選択します。
［検索文字］	検索文字をかな、英字から選択します。よく使用する宛先の場合は［常用（よく使う宛先）］を同時に指定すれば検索性がよくなります。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。

参考

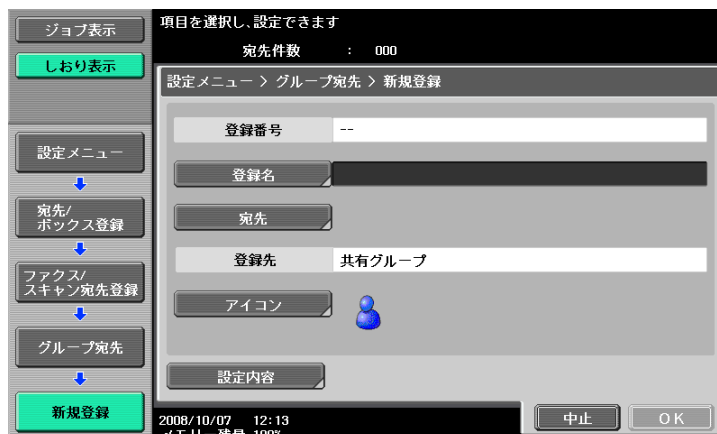
- 登録した宛先を確認するときは、登録名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、登録名を選択し［編集］を押します。
- 登録した宛先を削除するときは、登録名を選択し［削除］を押します。

10.2.10 グループ宛先登録

複数の短縮宛先をグループ化して、グループ宛先に登録することができます。

グループ宛先は、ファクス / スキャン機能で 100 グループ（00 ～ 99）まで登録できます。

ひとつのグループ宛先には短縮宛先を 500 か所まで登録できます。

［新規登録］を押すとグループ宛先を登録できます。

項目	説明
［登録名］	短縮宛先の登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
［宛先］	宛先の種類を選択し、その中からグループに登録する宛先を選択します。
［アイコン］	アイコンを選択します。 ・ アイコンは、オプションの機能コード「CAA」の有効時に使用できるイメージパネル機能で使用します。
［設定内容］	グループに登録した短縮宛先の一覧を確認できます。

10.2.11 E-mail 設定－件名（E-mail/I-FAX）

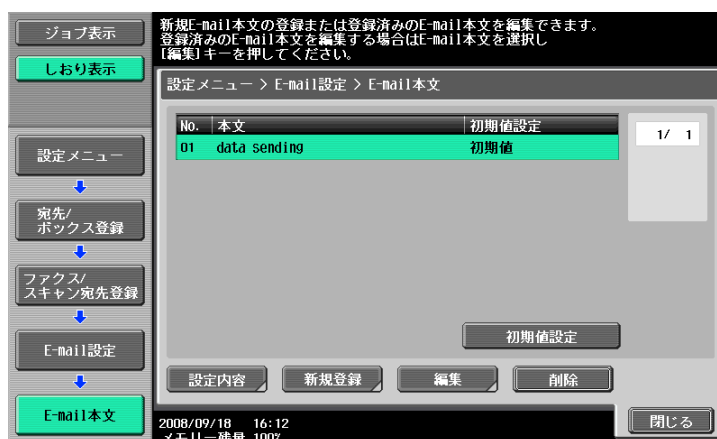
E-mail 送信およびインターネットファクスの件名（Subject）を 10 個まで登録できます。送信時に登録した内容から選択できます。［新規登録］を押すと新しく件名を登録できます。

項目	説明
［件名］	件名を半角 64 文字（全角 32 文字）以内で入力します。

参考

- 登録した件名を確認するときは、件名を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した件名の設定内容を変更するときは、件名を選択し［編集］を押します。
- 登録した件名を削除するときは、件名を選択し［削除］を押します。
- 初期値に設定したい件名は、件名を選択し［初期値設定］を押します。

10.2.12 E-mail 設定－本文（E-mail/I-FAX）

E-mail 送信およびインターネットファクスの本文（Subject）を 10 個まで登録できます。送信時に登録した内容から選択できます。［新規登録］を押すと新しく本文を登録できます。

項目	説明
［本文］	本文を半角 256 文字（全角 128 文字）以内で入力します。

参考

- 登録した本文を確認するときは、本文を選択し［設定内容］を押します。
- 登録した本文の設定内容を変更するときは、本文を選択し［編集］を押します。
- 登録した本文を削除するときは、本文を選択し［削除］を押します。
- 初期値に設定したい本文は、本文を選択して［初期値設定］を押します。

10.2.13 ファクス / スキャンプログラム

頻繁に送信する宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定を組み合わせてプログラム宛先に登録できます。プログラム宛先にこれらを登録しておくと、**プログラム**を押すだけで、登録されている宛先と読込み設定、原稿設定、通信設定の機能を呼び出して使うことができます。

参考

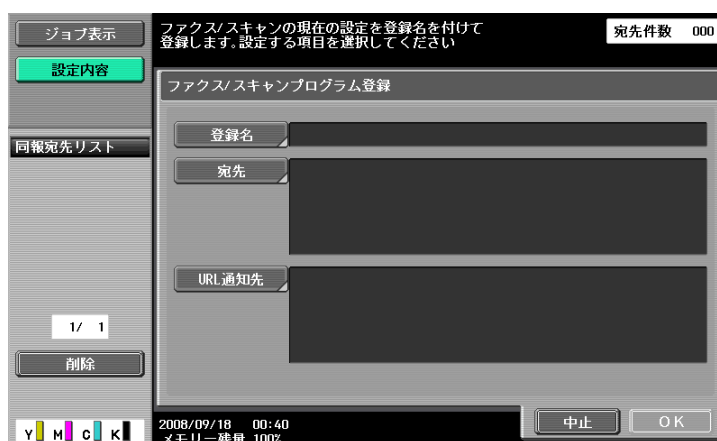
- プログラムには、通常のプログラム 400 個と一時的に使用する［一時プログラム］を 10 個登録することができます。
- プログラムが 410 件登録されている場合は、不要なプログラムを削除してから登録してください。

プログラム登録

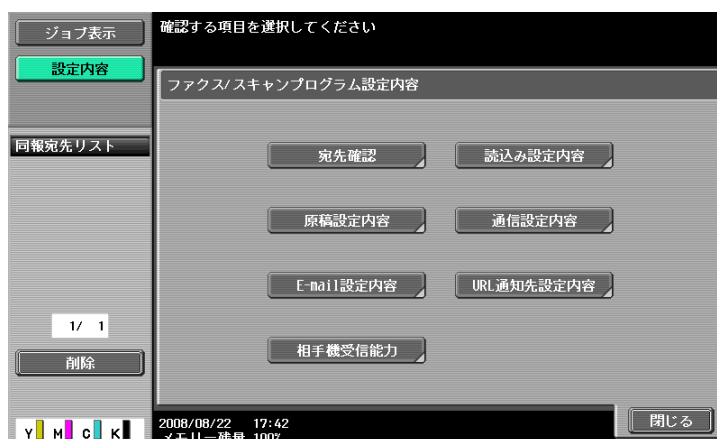
1 操作パネルの**ファクス / スキャン**を押してからプログラム登録したい読込み設定、原稿設定、通信設定を行います。

2 **プログラム**を押します。

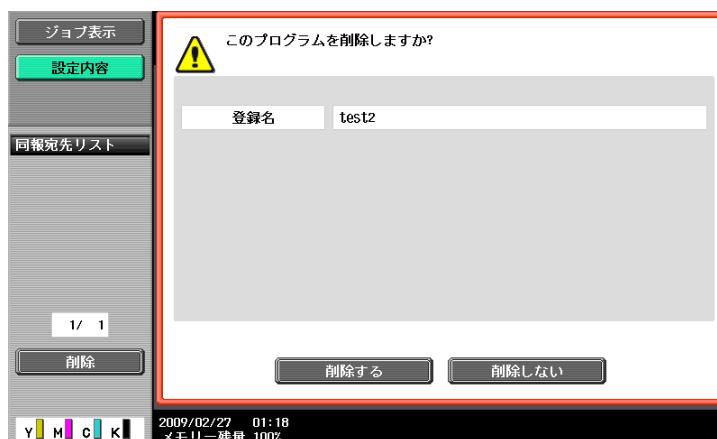
3 登録されていないキーを選択して［プログラム登録］を押します。

プログラム登録画面が表示されます。

項目	説明
［登録名］	プログラムの登録名をパネルから半角 24 文字（全角 12 文字）以内で入力します。
［宛先］	宛先を 1 か所選択できます。登録宛先または直接入力で宛先を選択してください。 ・［宛先 2 度入力（登録）］が設定されている場合は、［直接入力］でファクス宛先を指定すると、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［OK］を押します。 ・宛先 2 度入力機能については、11-21 ページをごらんください。
［URL 通知先］	ファイル送信（本体ボックス）、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（WebDAV）時のジョブの終了を E-mail で通知する場合に設定できます。登録宛先または直接入力で宛先を選択してください。

設定内容

すでに登録したプログラムの内容を確認するときに押します。確認したら［閉じる］を押します。

項目	説明
［宛先確認］	設定されている宛先を確認できます。
［読込み設定内容］	設定されている読込み設定内容を確認できます。
［原稿設定内容］	設定されている原稿設定内容を確認できます。
［通信設定内容］	設定されている通信設定内容を確認できます。
［E-mail 設定内容］	設定されている E-mail 設定内容を確認できます。
［URL 通知先設定内容］	設定されている URL 通知先設定内容を確認できます。
［相手機受信能力］	設定されている相手機受信能力を確認できます。

削除

すでに登録したプログラムを削除するときに押します。削除するときは［削除する］を押します。

10.2.14 着信拒否宛先登録（G3）

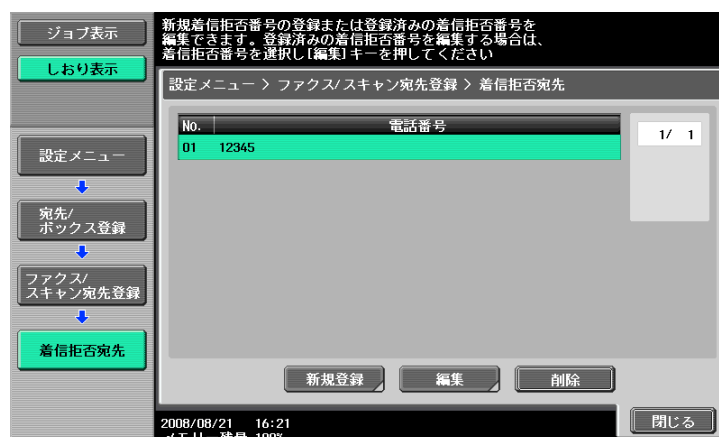
着信拒否したい相手先の番号をあらかじめ登録しておき、迷惑ファクスを受信しないように設定できます。

登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合は受信しません。

NTT とナンバーディスプレイ機能の契約が必要になります。契約完了後に機能を設定してください。

参考

- 着信拒否宛先を登録するには、設定メニューの［ナンバーディスプレイ機能］を［ON］に設定しておく必要があります。［ナンバーディスプレイ機能］については、11-21 ページをごらんください。

［新規登録］を押すと着信拒否宛先を登録できます。

項目	説明
［電話番号］	着信拒否したい電話番号を 38 桁以内で入力します。
［着信履歴一覧から選択］	過去の着信履歴から選択する場合に押します。履歴から登録したい番号を選択し、［OK］を押します。

参考

- 登録した宛先の設定内容を変更するときは、電話番号を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。
- 登録した宛先を削除するときは、電話番号を選択し［削除］を押します。

10.2.15 ボックス登録－親展ボックス（G3）

親展受信のためのボックスは、共有 / 個人ボックス登録時に親展受信の設定を行います。

参照

詳しくは、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

10.2.16 ボックス登録－掲示板ボックス（G3）

参照

掲示板ボックス登録については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

10.2.17 ボックス登録－中継ボックス（G3）

参照

中継ボックス登録については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

10.2.18 参照許可設定－宛先レベル設定

短縮宛先の参照許可レベルを設定します。設定を行うレベルのユーザーとしてログインし、宛先のレベルを変更します。

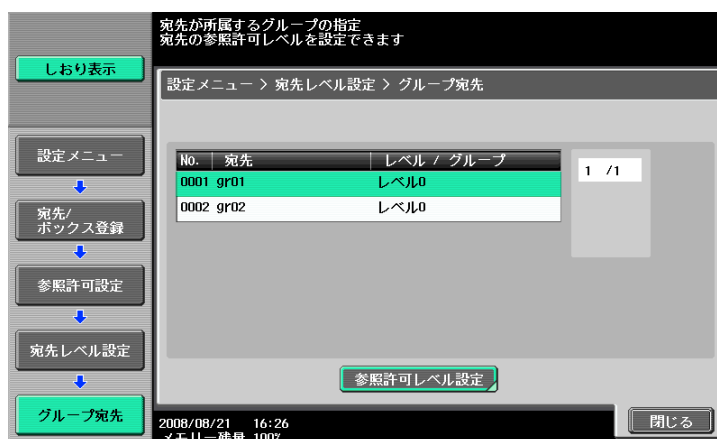
参考

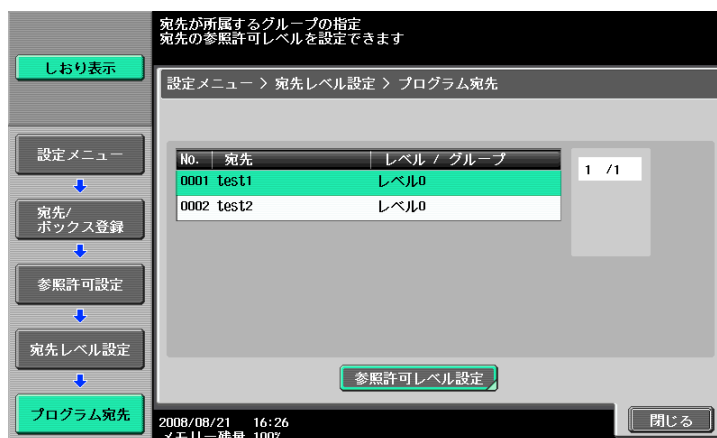
- 登録された宛先レベルは「0」になっています。
- ログインしたユーザーレベルよりも高いレベルやグループを設定することはできません。
- 宛先にグループを設定する場合は、あらかじめ管理者設定でグループの登録が必要です。参照許可グループについて詳しくは、［ユーザーズガイドコピー機能編］をごらんください。

短縮宛先

レベルを変更する宛先を選択し、［参照許可グループ設定］または［参照許可レベル設定］を押し、設定を行います。

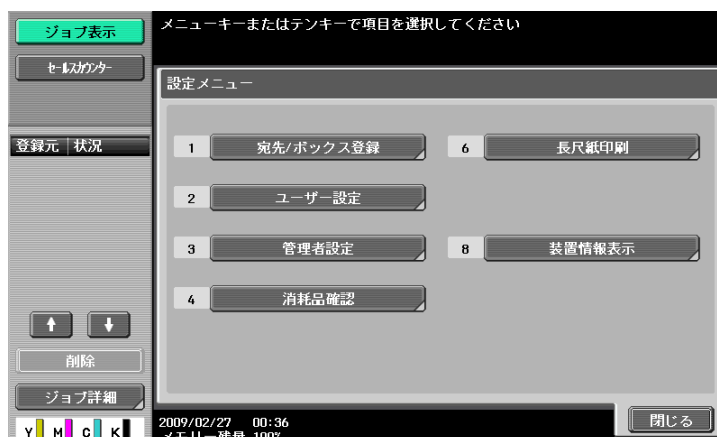
グループ宛先

レベルを変更する宛先を選択し、［参照許可グループ設定］または［参照許可レベル設定］を押し、設定を行います。

プログラム宛先

レベルを変更する宛先を選択し、［参照許可グループ設定］または［参照許可レベル設定］を押し、設定を行います。

10.3　ユーザー設定

10.3.1　ユーザー設定画面を表示させる

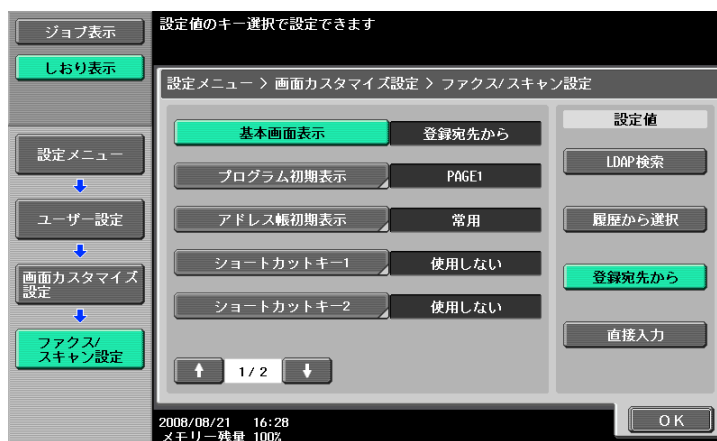
ユーザー画面を表示させるには、操作パネルの**設定メニュー / カウンター**を押し、表示された設定メニューから［ユーザー設定］を押します。

参考

- 設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。［2 ユーザー設定］の場合はテンキーの 2 を押します。

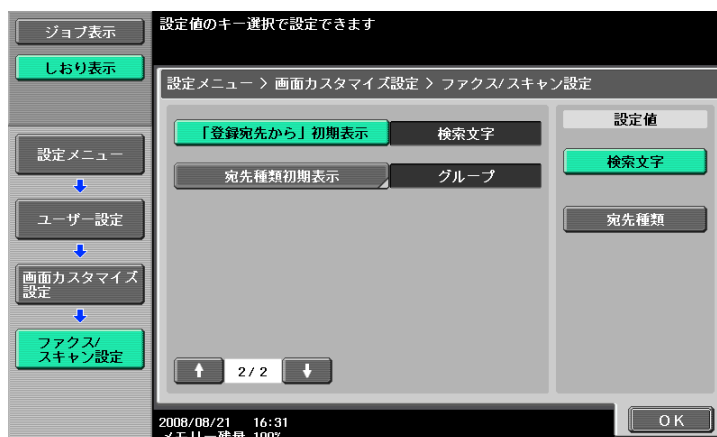
10.3.2　画面カスタマイズ設定－ファクス / スキャン設定

ファクス / スキャン画面のカスタマイズを行います。

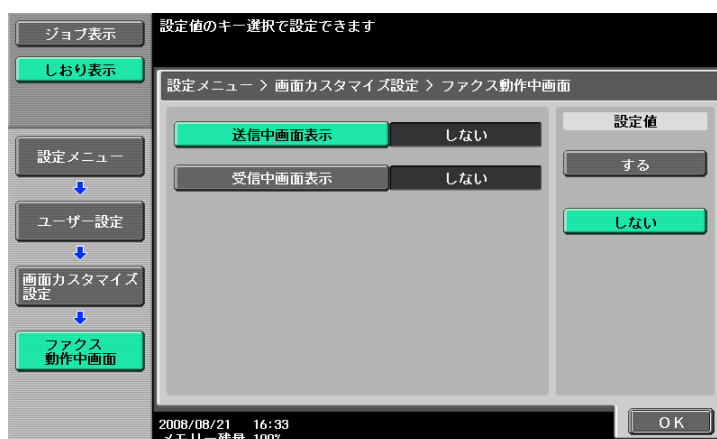
ファクス / スキャン画面の初期表示を設定します（初期値：登録宛先から）。

1/2 画面

項目	説明
［基本画面表示］	ファクス / スキャン画面の初期表示を設定します（初期値：登録宛先から）。
［プログラム初期表示］	ファクス / スキャンプログラム画面の初期表示を設定します（初期値：PAGE1）。
［アドレス帳初期表示］	［登録宛先から］に表示する検索文字の種類を選択します（初期値：常用）。

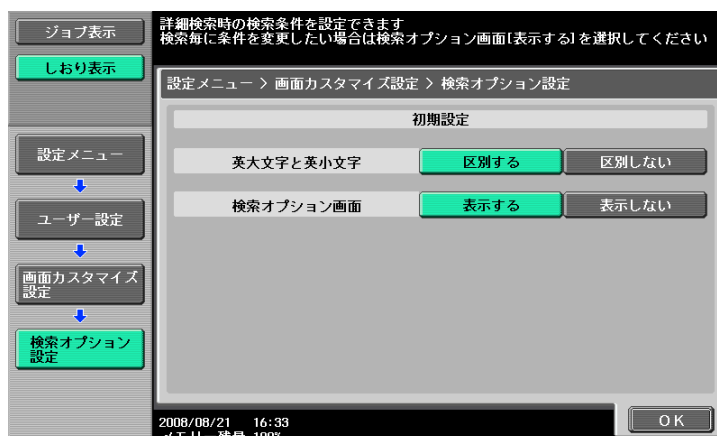
項目	説明
［ショートカットキー 1］/［ショートカットキー 2］	画面の下のファクス / スキャンの読込み設定、原稿設定、通信設定の各種機能へのショートカットキーを 2 個まで登録できます。 ・ ショートカットキーは 2 種類設定できます。オプションの**イメージコントローラー IC-412 v1.1** を装着しているとき、設定できるショートカットキーは 1 種類です。 ・ ショートカットキーを消去するときは［使用しない］を押します。 ・ ショートカットキー 1 と 2 を設定すると、ファクス / スキャン画面の［Language Selection］は表示されません。

2/2 画面

項目	説明
［「登録宛先から」初期表示］	登録宛先の表示方法を検索文字 / 宛先種類から選択します。
［宛先種類初期表示］	［「登録宛先から」初期表示］で［宛先種類］を選んだ場合に、［登録宛先から］で初期表示される宛先種類を選択します。

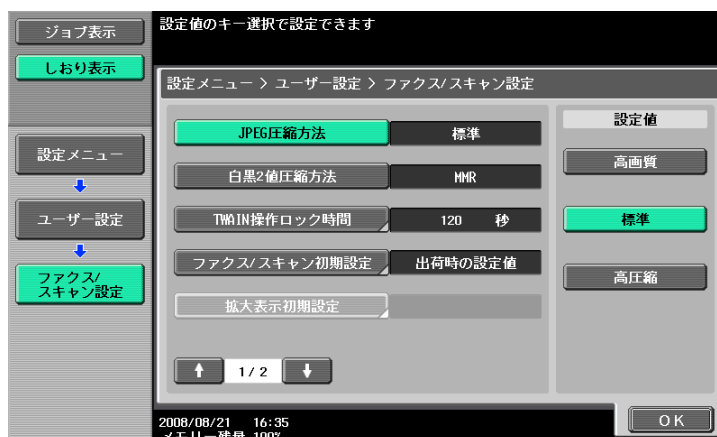
10.3.3　画面カスタマイズ設定－ファクス動作中画面（G3/IP/I-FAX）

ファクス動作中画面のカスタマイズを行います。

項目	説明
［送信中画面表示］	送信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。
［受信中画面表示］	受信中のメッセージを表示する / しないを設定します（初期値：しない）。

10.3.4 画面カスタマイズ設定－検索オプション設定

登録宛先の詳細検索を行うとき、検索オプション画面の表示内容を設定します。
(E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/G3/IP/I-FAX)

項目	説明
[英大文字と英小文字]	英大文字と小文字を検索時に区別する / 区別しないを選択します。
[検索オプション画面]	詳細検索時に検索オプション画面を表示する / 表示しないを選択します。 [表示する] を選択すると、検索オプション画面が表示されます。

10.3.5 ファクス / スキャン設定

1/2 画面

項目	説明
[JPEG 圧縮方法] (E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス/IP)	画像をフルカラーで保存するときの圧縮方法を設定します。 ・ [高画質]：データサイズが大きくなりますが、高画質になります。 ・ [標準] (初期値)：データサイズ、画質ともに [高画質] と [高圧縮] の中間になります。 ・ [高圧縮]：データサイズが小さくなりますが、低画質になります。
[白黒 2 値圧縮方法]	画像を白黒 2 値で送信するときの符号化方式の能力を設定します。 ・ [MH]：データサイズが大きくなります。 ・ [MMR] (初期値)：データサイズが小さくなります。 保存したデータをコンピューターで開くとき、アプリケーションによっては MMR 圧縮のデータを開けないことがあります。

項目	説明
[TWAIN 操作ロック時間]	プッシュスキャンを除くスキャン操作による装置の操作ロック自動解除時間を設定します。(初期値:120 秒) ・ TWAIN を使用してアプリケーションソフトから本機をスキャナーとして使用する場合は、専用のドライバーソフトウェア **KONICA MINOLTA TWAIN** をインストールしてください。詳しくは、**bizhub C360/C280/C220** シリーズ CD 内の TWAIN ドライバーのマニュアルをごらんください。 ・ オプションの**イメージコントローラー IC-412 v1.1** を装着しているとき、この機能は使用できません。
[ファクス / スキャン初期設定]	ファクス / スキャン画面の初期設定値(**リセット**を押したときの設定値)を設定します。

2/2 画面

項目	説明
[コンパクト PDF/XPS 圧縮方法](E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV)	コンパクト PDF 形式およびコンパクト XPS 形式で保存するときの圧縮方法を設定します。 ・ [高画質]:データサイズが大きくなりますが、高画質になります。 ・ [標準](初期値):データサイズ、画質ともに[高画質]と[高圧縮]の中間になります。 ・ [高圧縮]:データサイズが小さくなりますが、低画質になります。
[カラー TIFF 形式](E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV)	TIFF 形式のデータをカラーで保存する場合の圧縮方式を選択します。 [TIFF(modified TAG)]を選択して保存したデータをアプリケーションで開くことができない場合、[TIFF(TTN2)](初期値)に変更してください。
[図形のアウトライン化](E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV)	アウトライン PDF 作成時のアウトライン処理の精度を設定します。 スキャンした文書の文字と画像を分離し、画像をアウトライン処理するレベルを[OFF]~[HIGH]で設定します。 [LOW]、[MIDDLE]、[HIGH]の順でアウトライン処理のレベルが次第に高くなります。 [OFF]設定時は、画像はアウトライン化しません。

11 管理者モード設定

11 管理者モード設定

管理者モードでファクス / スキャン関連の設定を行います。

11.1 はじめに設定してください

11.1.1 E-mail

E-mail 送信やインターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］もあわせてごらんください。

- 管理者 E-mail アドレス
- TCP/IP 設定
- E-mail 送信（SMTP）

参照
詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

11.1.2 ボックス

ボックス保存を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ボックスへの保存方法は、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

- ボックス登録

参照
設定手順は、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

11.1.3 SMB 送信

ファイル送信（SMB）を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］もあわせてごらんください。

- TCP/IP 設定
- SMB クライアント設定

参照
詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

11.1.4 FTP 送信

ファイル送信（FTP）を行うときは、以下の項目をはじめに設定してください。ここでは基本的な項目を紹介していますが、詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］もあわせてごらんください。

- TCP/IP 設定
- FTP 設定

参照
詳しくは［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

11.1.5 G3 ファクス

G3 ファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

- 発信元 / ファクス ID 登録
  - 11-14 ページをごらんください。
- 回線パラメーター設定
  - 11-17 ページをごらんください。

11.1.6　インターネットファクス

インターネットファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

- ネットワークファクス機能設定
- 発信元 / ファクス ID 登録
  - 11-14 ページをごらんください。
- 本体 E-mail アドレス
  - 設定手順は、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
- 本体登録
  - 設定手順は、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
- TCP/IP 設定
- E-mail 設定

参照
ネットワークファクス機能設定、TCP/IP 設定、E-mail 設定については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

11.1.7　IP アドレスファクス

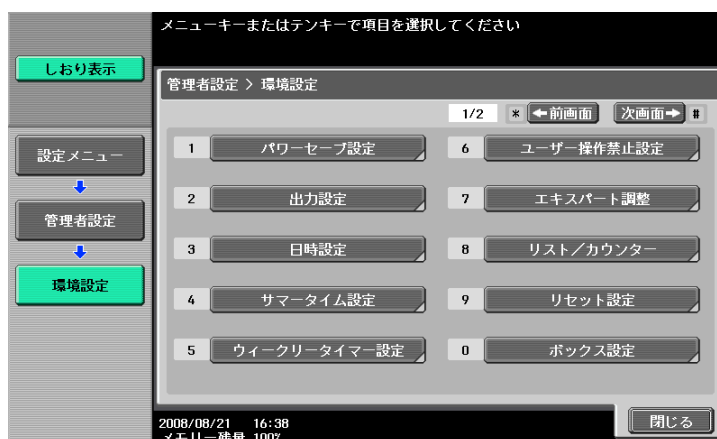
IP アドレスファクスを使用するときは、以下の項目をはじめに設定してください。

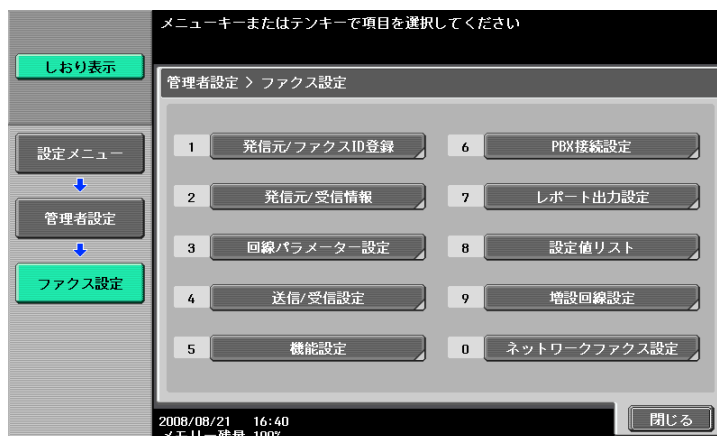
- ネットワークファクス機能設定
- 発信元 / ファクス ID 登録
  - 11-14 ページをごらんください。
- TCP/IP 設定
- SMTP 送受信設定

参照
ネットワークファクス機能設定、TCP/IP 設定、SMTP 送受信設定については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。

11.2 管理者モードのメニューツリー

管理者設定で操作できる設定項目は以下のとおりです。このメニューツリーではネットワークスキャン、G3 ファクス、ネットワークファクスに関連する項目を記載しています。

11.2.1 ［環境設定］

<table>
<tr><th colspan="2">第 1 階層</th><th>第 2 階層</th><th colspan="2">第 3 階層</th><th>第 4 階層</th></tr>
<tr><td rowspan="6">1/2</td><td>1［パワーセーブ設定］</td><td colspan="4">［パワーセーブ移行］（p. 11-13）</td></tr>
<tr><td>2［出力設定］</td><td>1［受信印刷出力設定］</td><td colspan="3">［ファクス］（p. 11-13）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">6［ユーザー操作禁止設定］</td><td rowspan="2">3［変更禁止設定］（p. 11-8）</td><td rowspan="2">1/2</td><td colspan="2">［登録宛先変更］</td></tr>
<tr><td colspan="2">［From アドレス変更］</td></tr>
<tr><td>4［操作禁止設定］（p. 11-9）</td><td colspan="3">［複数宛先禁止］</td></tr>
<tr><td>9［リセット設定］</td><td>3［モードリセット］</td><td colspan="2">［次ジョブ］</td><td>［送信後設定解除］（p. 11-9）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2/2</td><td rowspan="2">2［スタンプ設定］</td><td colspan="4">1［ヘッダー / フッター設定］（p. 11-10）</td></tr>
<tr><td colspan="4">2［ファクス送信設定］（p. 11-14）</td></tr>
<tr><td>9［仕上りプレビュー設定］</td><td colspan="4">［原稿セット方向設定表示］（p. 11-11）</td></tr>
</table>

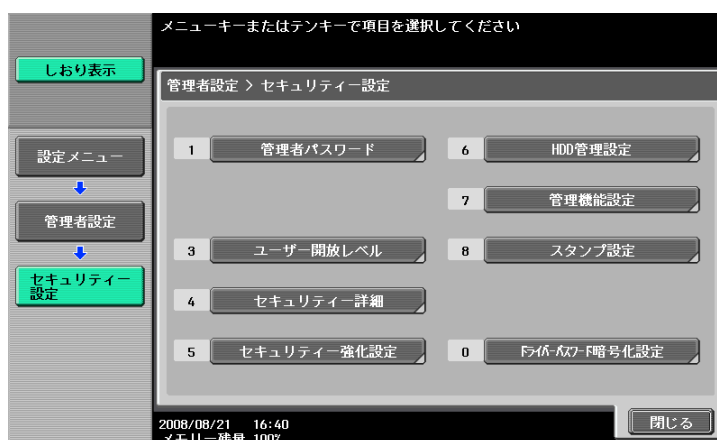
11.2.2 ［ファクス設定］

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
1［発信元 / ファクス ID 登録］（p. 11-14）	［発信元］		
	［ファクス ID］		
2［発信元 / 受信情報］（p. 11-15）	［発信元情報］		
	［相手先印字］		
	［受信情報］		
3［回線パラメーター設定］（p. 11-17）	1/3	［ダイアル方式］	
		［受信方式］	
		［着信回数設定］	
		［オートリダイアル回数］	
		［オートリダイアル間隔］	
	2/3	［TEL/FAX 自動切換え］	
		［外部 TEL 呼出モニター音］	
		［外部 TEL 呼出時間］	
		［留守番電話接続設定］	
		［回線モニター音］	
	3/3	［回線モニター音レベル］	
4［送信 / 受信設定］（p. 11-19）	1/3	［受信原稿両面印刷］	
		［インチ系用紙優先選択］	
		［記録用紙優先選択］	
		［記録用紙サイズ］	
		［ボックス番号エラー動作］	
	2/3	［着信拒否時の動作］	
		［給紙トレイ固定］	
		［縮小率］	
		［ページ分割記録］	
		［ポーリング送信後文書］	
	3/3	［受信印刷部数］	
		［回線別受信設定］ *1	
		［回線別発信元設定］ *1	

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
5［機能設定］	1［機能 ON/OFF 設定］（p. 11-21）	1/2	［F コード送信機能］
			［中継受信機能］
			［中継印刷］
			［宛先確認表示機能］
			［ナンバーディスプレイ機能］
		2/2	［宛先 2 度入力機能（送信）］
			［宛先 2 度入力機能（登録）］
	2［ダイアルイン設定］（p. 11-23）		
	3［強制メモリー受信設定］（p. 11-23）		
	4［閉域受信設定］（p. 11-24）		
	5［転送ファクス設定］（p. 11-25）	［ファクス回線 1］*2	
		［ファクス回線 2］*2	
	6［リモート受信設定］（p. 11-26）		
	7［再送信設定］（p. 11-26）		
	8 ［PC-FAX 受信設定］（p. 11-27）	［ファクス回線 1］*2	
		［ファクス回線 2］*2	
	9 ［TSI 受信振分け設定］（p. 11-27）	［ファクス回線］*1	［該当ボックスなし設定］
			［受信後印刷］
			［TSI 受信振分け先登録］
		［ファクス回線 2］*1	［該当ボックスなし設定］
			［受信後印刷］
			［TSI 受信振分け先登録］
6 ［PBX 接続設定］（p. 11-28）			
7［レポート出力設定］（p. 11-29）	1/3	［通信管理レポート］	
		［送信結果レポート］	
		［順次通信結果レポート］	
		［予約レポート］	
		［親展受信レポート］	
	2/3	［掲示板送信結果レポート］	
		［中継結果レポート］	
		［中継依頼受付レポート］	
		［PC-FAX 送信エラーレポート］	
		［同報結果レポート出力］	
	3/3	［送信結果レポート画面］	
		［ネットワークファクス受信エラーレポート］（p. 11-37）	
		［MDN メッセージ］（p. 11-37）	
		［DSN メッセージ］（p. 11-38）	
		［正常受信メール本文印刷］（p. 11-38）	
8［設定値リスト］（p. 11-31）			

第 1 階層	第 2 階層	第 3 階層	第 4 階層
9［増設回線設定］（p. 11-31）	1［回線パラメーター設定］（p. 11-31）	［ダイアル方式］	
		［着信回数設定］	
		［回線モニター音］	
	2［機能設定］（p. 11-32）	［PC-FAX 送信設定］	
		［ナンバーディスプレイ機能］	［ネームディスプレイ機能］
			［着信中の発信者情報表示］
	3［複数回線使用設定］（p. 11-32）		
	4［ファクス ID］（p. 11-33）		
0［ネットワークファクス設定］	1［白黒 2 値圧縮方法］（p. 11-39）		
	2［カラー / モノクロ多値圧縮方法］（p. 11-39）		
	4［インターネットファクス自機受信能力］（p. 11-40）		
	5［インターネットファクス拡張設定］（p. 11-41）		
	6［ IP アドレスファクス動作設定］（p. 11-42）		

参考

- 「*1」印は、FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合に表示されます。
- 「*2」印は、FAX キット FK-502 を 2 つ装着し、管理者設定の［回線別受信設定］が［ON］の場合に表示されます。［回線別受信設定］については 11-19 ページをごらんください。

11.2.3 ［セキュリティー設定］

第 1 階層	第 2 階層	
4［セキュリティー詳細］（p. 11-11）	1/4	［手動宛先入力］
	2/4	［FAX 送信禁止］
		［個人情報非表示］
		［通信履歴表示］
	3/4	［イニシャライズ］
		［ジョブ履歴サムネイル表示］
		［コピーガード］
		［パスワードコピー］

11.3　管理者設定（E-mail/Box/SMB/FTP/WebDAV）

E-mail 送信、ボックス保存、ファイル送信（SMB）、ファイル送信（FTP）、ファイル送信（WebDAV）で行う管理者設定について説明します。

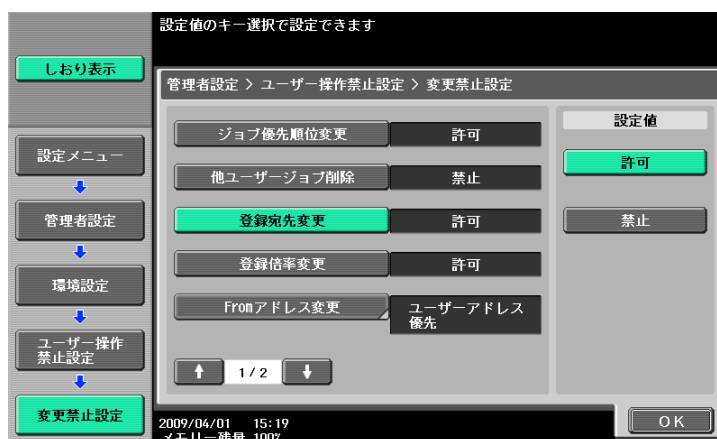
11.3.1　管理者設定画面を表示させる

管理者設定画面を表示させるには、操作パネルの**設定メニュー / カウンター**を押し、表示された設定メニューから［管理者設定］を押します。続けて管理者設定パスワードを入力し、［OK］を押します。

11.3.2　環境設定－ユーザー操作禁止設定

ユーザーモードで操作を禁止する項目を設定します。

変更禁止設定

1/2 画面

項目	説明
［登録宛先変更］	宛先の登録や変更操作の許可 / 禁止を設定します。
［From アドレス変更］（E-mail）	From アドレスの変更操作について設定します。 ・［許可］：From アドレスを変更できます。 ・［管理者アドレス］：管理者の E-mail アドレスが、From アドレスに設定されます。 ・［ユーザーアドレス優先］：ユーザーの E-mail アドレスが、From アドレスに設定されます。ユーザーの E-mail アドレスが設定されていない場合は、管理者アドレスが設定されます。またユーザー認証時には、［許可］から［ユーザーアドレス優先］に設定が自動的に変更されます。

操作禁止設定

項目	説明
［複数宛先禁止］	複数宛先の指定禁止をする / しないを設定します。

11.3.3 環境設定－リセット設定－モードリセット－次ジョブ－送信後設定解除

送信時に設定していた読込み設定などの内容を、送信後に解除するかどうかを設定します。

- ［全て解除］：すべての設定を解除します。
- ［宛先のみ解除］：宛先の設定のみを解除します。
- ［ユーザーに確認］：解除するかどうかをパネル上で確認するメッセージが表示されます。

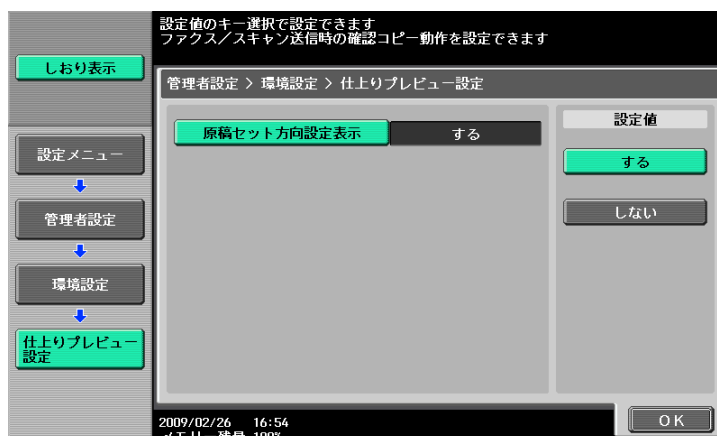
11.3.4 環境設定－スタンプ設定－ヘッダー / フッター設定

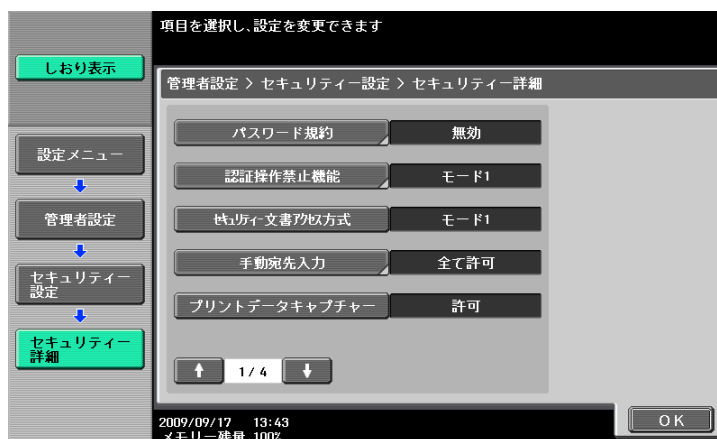
すべてのページに挿入するヘッダー / フッターの設定を行います。ここで設定したヘッダー / フッターはファクス / スキャン、および印刷に使用できます。

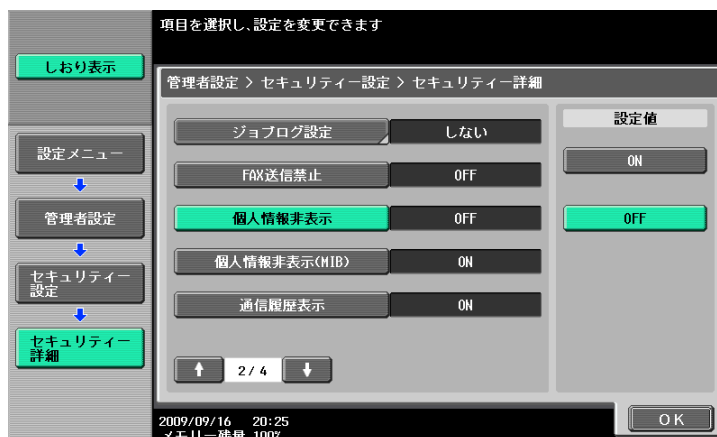
ヘッダー / フッター設定画面で［登録］を押すと登録画面が表示され、新しいヘッダー / フッターを登録できます。

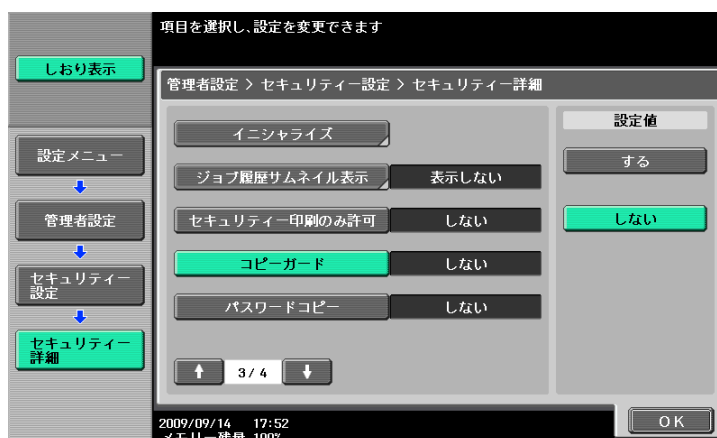
項目		説明
［登録名］		ヘッダー / フッターの登録名をパネルから半角 16 文字（全角 8 文字）以内で設定します。
［ヘッダー設定、フッター設定］		ヘッダー / フッターの印刷を行うかどうかを設定します。［印刷する］を押すと、文字列、日付 / 時刻、その他（部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号）の設定ができます。
	［文字列］	パネルからヘッダー / フッターの文字列を設定します。
	［日付 / 時刻］	ヘッダー / フッターの日付 / 時刻の内容を設定します。
	［その他］	ヘッダー / フッターの部数管理番号、ジョブ番号、シリアル番号の内容を設定します。 ・　シリアル番号は本機につけられているシリアル番号を指しています。設定についてはサービス実施店にお問い合わせください。
［印字ページ］		印字するページを全ページ / 先頭ページのみから選択します。
［文字詳細］	［文字の色］	印字色をブラック / レッド / ブルー / グリーン / イエロー / シアン / マゼンタから選択します。
	［文字サイズ］	印字する文字サイズを 8pt/10pt/12pt/14pt から選択します。
	［文字種類］	印刷する文字の種類をゴシック体 / 明朝体から選択します。

11.3.5 環境設定－仕上りプレビュー設定－原稿セット方向設定表示

仕上りプレビューを使って送信する場合に、**プレビュー**を押したあと原稿セット方向を選択する画面を表示するかしないかを設定します。

11.3.6 セキュリティー設定－セキュリティー詳細

1/4 画面

項目	説明
［手動宛先入力］	手動入力の許可 / 禁止を設定します。 G3 ファクスのみ手動入力を許可し、その他の送信方法では、手動入力を禁止することもできます。 ・［全て許可］：すべての送信方法で手動入力を許可します。 ・［個別管理］：G3 ファクスのみ手動入力を許可し、その他の送信方法では、手動入力を禁止します。（本機は SIP ファクスには対応していません。） ・［禁止］：［直接入力］タブが表示されなくなり、宛先を直接入力できなくなります。

2/4 画面

項目	説明
［個人情報非表示］	ジョブ表示画面の履歴リストで、宛先を表示するかどうかを設定します。 ［ON］を選択すると、宛先が表示されなくなります。
［通信履歴表示］	通信履歴を表示するかどうかを設定します。［OFF］を選択すると、履歴が表示されなくなります。

3/4 画面

項目	説明
［イニシャライズ］	データクリアする対象を選択できます。 対象を選択後［OK］を押すと、データクリア確認の画面が表示されます。 ［はい］を選択し［OK］を押すと、データがクリアされます。
［ジョブ履歴サムネイル表示］	［ジョブ表示］－［ジョブ詳細］を押して表示されるそれぞれのタブの［履歴リスト］でジョブ履歴を選択時に、各ジョブの 1 ページ目を左エリアに表示するかどうかを設定します。
［コピーガード］	コピーガード地紋が埋め込まれた原稿の作成および検知をするかどうかを設定します。 ・　オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時に設定できます。
［パスワードコピー］	パスワードが埋め込まれた原稿の作成および検知をするかどうかを設定します。 ・　オプションの**セキュリティーキット SC-507** 装着時に設定できます。

11.4　管理者設定（G3）

G3 ファクス送信で行う管理者設定について説明します。ここで説明されている内容はネットワークファクスも共通です。

11.4.1　環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行

パワーセーブ状態への移行条件を設定します。

- ［通常］：パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後一定時間後にパワーセーブ状態に移行します。
- ［即時］（初期値）：パワーセーブ中に受信した場合、プリント完了後すぐにパワーセーブ状態に移行します。

11.4.2　環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス

受信文書のプリント方法を設定します。

- ［一括印刷］（初期値）：文書をすべて受信してからプリントを開始します。
- ［同時印刷］：文書を 1 ページ受信するごとにプリントを行います。

11.4.3　環境設定－ユーザー操作禁止設定

変更禁止設定－登録宛先変更

参照
設定手順は、11-8 ページをごらんください。

操作禁止設定－複数宛先禁止

参照
設定手順は、11-9 ページをごらんください。

11.4.4　環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定

読込み時に設定したスタンプの設定をファクス送信時に解除するかどうかを設定します。

- ［解除する］：ファクス送信原稿はスタンプの設定が適用されずに送信されます。
- ［解除しない］：ファクス送信原稿にもスタンプの設定が適用されて送信されます。

11.4.5　環境設定－仕上りプレビュー設定－原稿セット方向設定表示

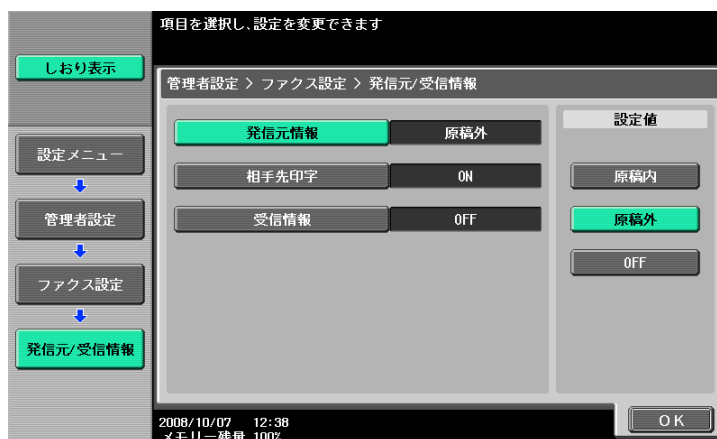
参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

11.4.6　ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録

相手先の受信文書に記載される発信元およびファクス ID を登録します。

項目	説明
［発信元］	相手機の受信文書に発信元情報として印字するための自局名称を複数登録できます。半角 30 文字（全角 15 文字）以内で入力します。 ・ 新しく発信元を登録するときは、［新規登録］を押します。 ・ 発信元の表示は 20 種類まで設定できます。 ・ 登録した発信元の設定内容を変更するときは、発信元を選択し［編集］を押します。編集画面では、登録番号は変更できません。 ・ 登録した発信元を削除するときは、発信元を選択し［削除］を押します。 ・ 初期値に設定したい発信元は、選択して［初期値設定］を押します。 ・ FAX キット FK-502 を 2 つ装着し、管理者設定の［回線別発信元設定］が［ON］の場合は、回線ごとの初期値に設定を設定できます。初期値に設定したい発信元を選択して［回線 1 初期値設定］または［回線 2 初期値設定］を押します。［回線別発信元設定］については、11-19 ページをごらんください。増設回線のファクス ID を設定する場合は、11-33 ページをごらんください。
［ファクス ID］	登録したファクス ID は相手先の受信文書に発信元情報として印字されます。テンキー、＊、＃、[+]、スペースを使用して 20 文字以内で入力します。 ・ FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合は、それぞれの回線にファクス ID を登録します。増設回線のファクス ID を設定する場合は 11-33 ページをごらんください。

11.4.7 ファクス設定－発信元 / 受信情報

相手先の受信文書に印字される情報の位置を設定します。

項目	説明
［発信元情報］	本機から送信するファクス文書に付加する発信元情報の位置を指定します。付加した発信元情報は、画像の一部として、相手先の受信文書に印字されます。［OFF］を選択すると、発信元情報を付加しません。
［相手先印字］	発信元情報として付加する項目を設定します。
［受信情報］	本機で受信する文書に印字される受信情報（受信時刻と受信番号）の位置を指定します。［OFF］を選択すると、受信情報が印字されません。

発信元情報または受信情報の印字位置は以下のとおりです。

- ［原稿内］：画像の一部にかかるように発信元情報または受信情報が付加されて送信されます。

- ［原稿外］：画像の外側に発信元情報または受信情報が付加されて送信されます。

- ［OFF］：発信元情報または受信情報が付加されません。

相手先印字の印字方法は以下のとおりです。

- ［ON］：発信元情報として、発信元名称、宛先のファクス番号 (To:xxxxx)、送信開始日時、通信番号、ページ数を付加します。

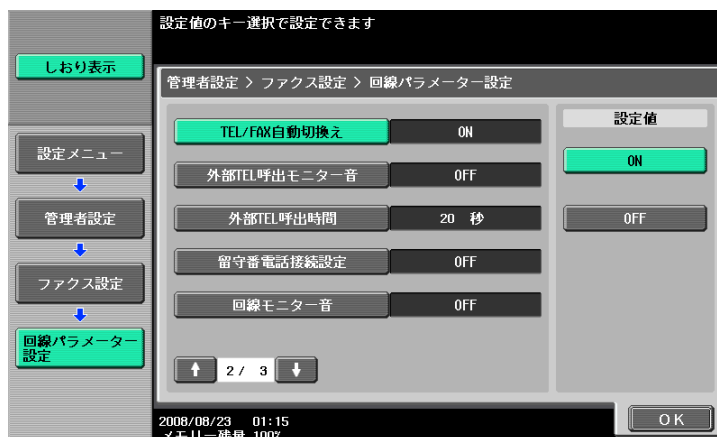
- ［OFF］：発信元情報として、発信元名称、本機のファクス ＩＤ、送信開始日時、通信番号、ページ数を付加します。

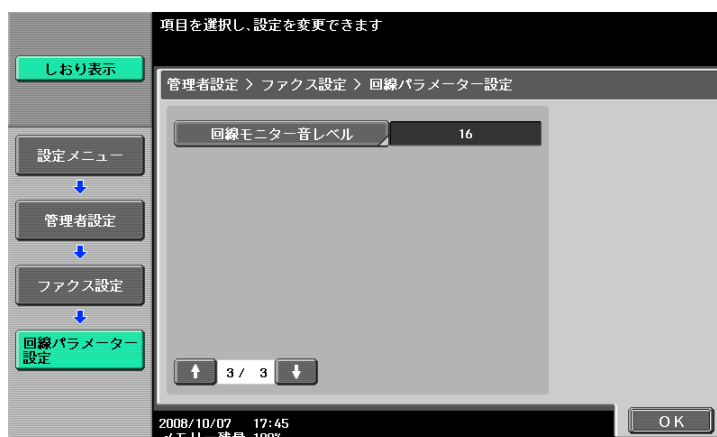
11.4.8 ファクス設定－回線パラメーター設定

発信や着信に関する項目を設定します。

1/3 画面

項目	説明
［ダイアル方式］	ダイアル方式を PB/10pps/20pps から設定します。
［受信方式］	受信方式を設定します。 ・ ［自動受信］：自動で受信します。 ・ ［手動受信］：外部電話機を接続している場合など、電話がかかる機会が多い場合やリモート受信機能を使う場合に設定します。 参照 自動受信については、6-2 ページをごらんください。 手動受信については、6-2 ページをごらんください。
［着信回数設定］	着信するまでの呼出し信号の回数を 0 ～ 15 回の範囲で設定します（初期値：2 回）。
［オートリダイアル回数］	相手が話し中などで応答できない場合にリダイアルする回数を 0 ～ 7 回の範囲で設定します（初期値：3 回）。
［オートリダイアル間隔］	リダイアルの間隔を 1 ～ 15 分の範囲で設定します（初期値：3 分）。

2/3 画面

項目	説明
［TEL/FAX 自動切換え］	外部電話機を接続している場合、電話とファクスの自動切り替えを行うかどうかを設定します。 ・［ON］：ファクスを優先して使う場合に設定します。着信すると、相手が電話かファクスかを自動的に検知します。ファクスの場合は受信を開始し、電話の場合は接続している外部電話のベルが鳴ります。 ・［OFF］：自動切換えを行いません。 参照 TEL/FAX 自動切換えについては、6-3 ページをごらんください。
［外部 TEL 呼出モニター音］	TEL/FAX 自動切換えを ON に設定しているときに表示されます。 ・［ON］：相手が電話の場合に本機のスピーカーから疑似呼出し音が聞こえます。 ・［OFF］：疑似呼出し音は聞こえません。
［外部 TEL 呼出時間］	外部電話機を接続している場合、着信してから音声メッセージ 1 が流れたあとに外部電話機を呼出す時間を設定します。この時間を過ぎても相手先の応答がない（受話器がとられない）場合は、音声メッセージ 2 が流れ、自動的にファクスを受信します。 相手が電話機の場合、外部電話機を呼出す時間の長さを［↑前候補］［↓次候補］を押して設定します。 参照 音声メッセージの内容は、6-3 ページをごらんください。
［留守番電話接続設定］	外部電話機の留守番電話機能を設定する場合、ON に設定します。 ・［ON］：留守番電話機が先に応答し、相手先がファクスの場合は自動的にファクス受信に切換わります。 ・［OFF］：留守番電話機は応答しません。
［回線モニター音］	通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。

3/3 画面

項目	説明
［回線モニター音レベル］	スピーカーの音量を 0 ～ 31 の範囲で設定します（初期値：16）。

11.4.9 ファクス設定－送信 / 受信設定

ポーリング送信時のファイルの扱いや、受信時のプリント方法を設定します。

1/3 画面

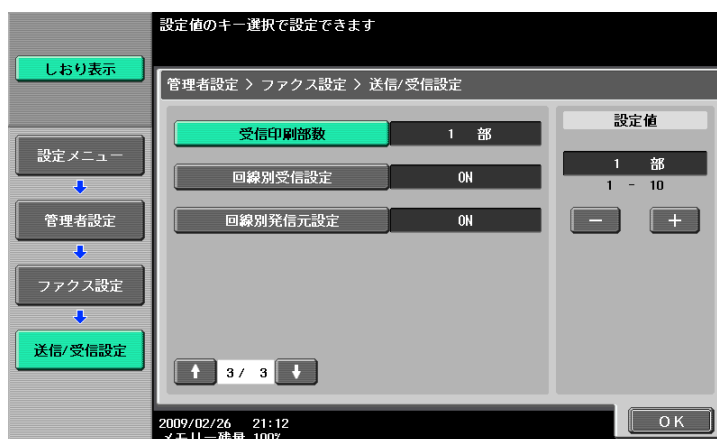
項目	説明
［受信原稿両面印刷］	ON に設定すると、受信原稿が用紙の両面にプリントされます。 ・［ページ分割記録］が ON に設定されている場合は、このキーは表示されません。
［インチ系用紙優先選択］	ON に設定すると受信原稿の記録用紙にインチ系用紙を優先的に選択します。
［記録用紙優先選択］	・［自動選択］：自動的に記録紙を選択します。 ・［サイズ固定］：設定したサイズを記録用紙として使用します。 ・［サイズ優先］：優先サイズとして設定した記録用紙を使用します。優先サイズが設定されていない場合はもっとも近いサイズに記録されます。
［記録用紙サイズ］	受信文書を出力する用紙サイズを設定します。初期設定は［インチ系用紙優先選択］の内容によって異なります。 **参照** 記録用紙サイズの設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。

項目	説明
［ボックス番号エラー動作］	ボックスを使用したファクス受信の場合、登録されていないボックス番号が指定された場合の動作を設定します。 ・［印刷］：受信した文書を印刷します。 ・［通信エラー］：通信エラーとして処理します。 ・［ボックス自動生成］：指定された番号のボックスを自動的に作成し、文書を保存します。 ［パスワード規約］が ON に設定されているときは、自動生成を選択できません。

2/3 画面

項目	説明
［着信拒否時の動作］	着信拒否宛先に登録した番号から着信した場合の動作を設定します。 ・ ナンバーディスプレイ機能を［ON］に設定している場合に設定できます。
［給紙トレイ固定］	受信文書の出力に使用する用紙トレイを固定したい場合に、トレイを指定します。 トレイの種類は装着しているオプションによって異なります。
［縮小率］	受信した原稿の出力倍率を等倍 /87 ～ 96% の範囲で設定します。 ・ 記録時の縮小率を［等倍］に設定した場合は、［記録用紙優先選択］および［給紙トレイ固定］機能は［自動］に設定されます。または［ページ分割記録］は［OFF］に設定されます。
［ページ分割記録］	ON に設定すると、定形サイズよりも長い原稿を受信した場合に、ページを分割して記録します。 ・［ページ分割記録］は［受信原稿両面印刷］が ON に設定されていると表示されません。
［ポーリング送信後文書］	ポーリング送信が終了した原稿を削除するかどうかを設定します。

3/3 画面

3/3 画面（FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合）

項目	説明
［受信印刷部数］	受信した文書をプリントする部数を 1 ～ 10 の範囲で設定します（初期値：1）。
［回線別受信設定］	受信設定を回線別に行うかどうかを設定します。 FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合に表示されます。
［回線別発信元設定］	発信元設定を回線別に行うかどうかを設定します。 FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合に表示されます。

11.4.10 ファクス設定－機能設定

機能 ON/OFF 設定

1/2 画面

項目	説明
［F コード送信機能］	F コード送信機能を使用するかどうかを設定します。 ・　F コード送信機能を使用する送信方法には、親展送信と中継送信があります。 参照 親展送信については 8-5 ページをごらんください。 中継送信については 8-6 ページをごらんください。

項目	説明
［中継受信機能］	ON に設定すると、中継配信局として、受信した文書を中継配信先に送信できるようになります。中継配信機能を利用するには、中継ボックスを登録する必要があります。 **参照** 中継ボックスの登録方法については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。
［中継印刷］	中継指示局から受信した文書をプリントする / しないを設定します。
［宛先確認表示機能］	ファクス送信時に、指定した宛先一覧を表示するかどうかを設定します。
［ナンバーディスプレイ機能］	ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、ネームディスプレイ機能を使用する場合は着信中の発信者情報としてナンバーを使用するかネームを使用するかも選択できます。 ・ ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するには、事前に NTT への申し込みが必要です。 ・ ナンバーディスプレイ機能を ON にしないと、ネームディスプレイ機能を設定することはできません。 ・ 登録されているファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

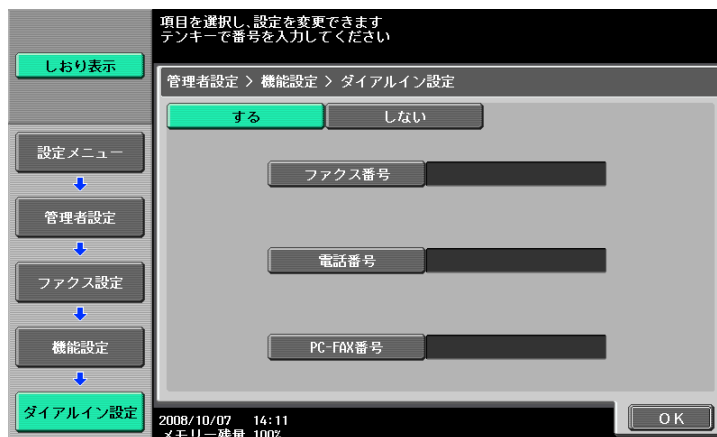
2/2 画面

項目	説明
［宛先 2 度入力機能（送信）］（G3）	直接入力でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先間違いを防ぐことができます。 ・ 宛先 2 度入力機能（送信）を設定すると、［オフフック］で宛先を指定することができなくなります。また、［履歴から選択］でファクス宛先を指定することができなくなります。
［宛先 2 度入力機能（登録）］（G3）	プログラム登録、転送ファクス設定や短縮宛先登録でファクス宛先を指定する場合、確認のため宛先をもう一度入力する画面が表示されます。2 回入力することで、宛先の登録間違いを防ぐことができます。

ダイアルイン設定

ダイアルイン機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を設定します。

ダイアルインとは、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号を別に持つことができる機能です。ファクス用の番号に着信するとファクスとして動作し、電話用の番号に着信するとファクスとしては動作しません。ダイアルイン機能を使うためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。

ファクス番号、電話番号、PC-FAX 番号を 11 桁以内で入力してください。

⚠ **注意**
- ダイアルイン設定の変更を有効にするには、本機の主電源を OFF にしたあと、ON にしてください。主電源を OFF/ON にするときには、OFF にしたあと、約 10 秒たってから ON にしてください。すぐに ON にすると正常に機能しないことがあります。

項目	説明
［ファクス番号］	ファクス用の電話番号を入力します。
［電話番号］	電話用の電話番号を入力します。
［PC-FAX 番号］	PC-FAX 用の電話番号を入力します。

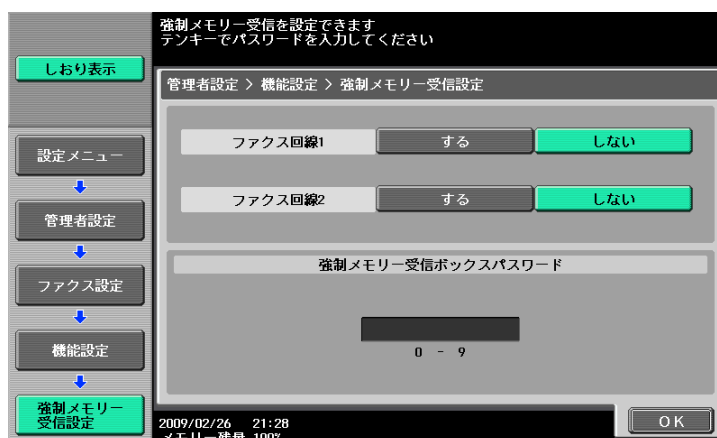
参考
- 本機のダイアルイン機能はモデムダイアルインに限定されています。
- ［PC-FAX 番号］は、「PC-FAX 受信設定」が ON に設定されているときに表示されます。

強制メモリー受信設定

強制メモリー受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、プリント時に使用するパスワードを設定します。

［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでパスワードを設定します。（8 桁以内）

FAX キット FK-502 を 2 つ装着し、管理者設定の［回線別受信設定］が［ON］の場合は、以下の画面が表示されます。

［する］を押してから、テンキーでパスワードを設定します。（8 桁以内）

強制メモリー受信を設定すると、以下の項目は設定できません。

- PC-FAX 受信設定
- TSI 受信振分け設定
- 転送ファクス設定

参考

- 強制メモリー受信ボックスに保存された文書を印刷する方法については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。
- 転送先には、登録されたグループ宛先を指定することもできます。

閉域受信設定

閉域受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、閉域受信に使用するパスワードを設定します。

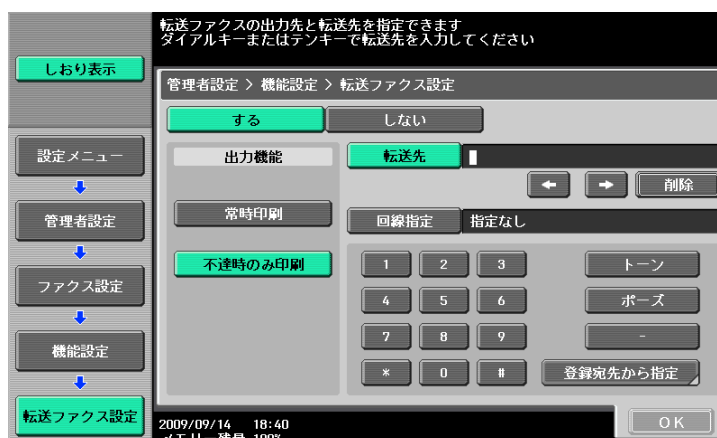
［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでパスワードを設定します。（4 桁以内）

参考

- 閉域受信は、相手機がパスワード送信機能をもつ機種の場合にだけ使用できます。

転送ファクス設定

受信した文書を、あらかじめ設定しておいた相手に転送することができます。設定する項目は以下のとおりです。

FAX キット FK-502 を 2 つ装着し、管理者設定の［回線別受信設定］が［ON］の場合に、［ファクス回線 1］または［ファクス回線 2］を選択して、回線ごとに設定ができます。［回線別受信設定］については、11-19 ページをごらんください。

項目	説明
［出力機能］	［常時印刷］：受信文書が転送され、本機でもプリントされます。 ［不達時のみ印刷］：受信文書が転送され、転送できなかった場合に本機でプリントされます。
［転送先］	転送先のファクス番号を 38 桁以内で入力できます。登録宛先から選択することもできます。
［回線指定］	FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合は、転送を行う回線を指定することができます。

転送ファクス設定を設定すると、以下の項目は設定できません。

- PC-FAX 受信設定
- TSI 受信振分け設定
- 強制メモリー受信設定

［宛先 2 度入力機能（登録）］が設定されている場合は、［OK］を押したあとにもう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。ファクス番号を入力し、［OK］を押します。

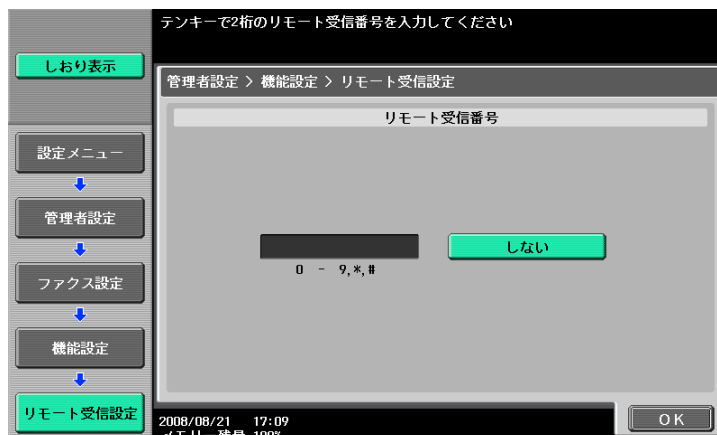
参照

宛先 2 度入力機能については、11-21 ページごらんください。

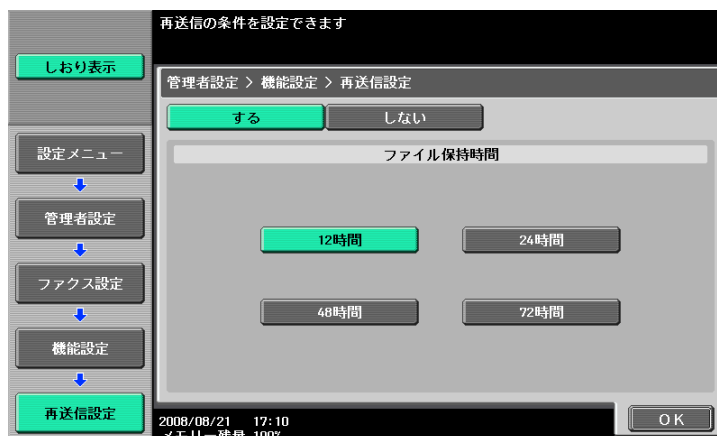
リモート受信設定

リモート受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、受信に使用する番号を設定します。

［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでリモート受信番号を設定します（2 桁）。

参照

リモート受信については、6-5 ページをごらんください。

再送信設定

通信エラーや相手機が電話中などの理由で、オートリダイアルでも送信できなかった文書を再送信ボックスに一時的に保存します。再送信機能を使用する場合は、ファイルを保存する時間を選択してください。

参考

- 再送信ボックスに保存された文書をファクス送信、印刷する方法については［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

PC-FAX 受信設定

PC-FAX 受信機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は、以下の内容を設定します。

FAX キット FK-502 を 2 つ装着し、管理者設定の［回線別受信設定］が［ON］の場合に、［ファクス回線 1］または［ファクス回線 2］を選択して、回線ごとに設定ができます。［回線別受信設定］については、11-19 ページをごらんください。

参考

- ダイアルイン設定が ON になっていると、［許可する］のあとに［ダイアルインのみ］が表示されます。ダイアルインの番号で受信したときのみ PC-FAX 受信の設定を行うことができます。
- ファクス受信文書は TIFF 形式でボックスに保存されます。

参照

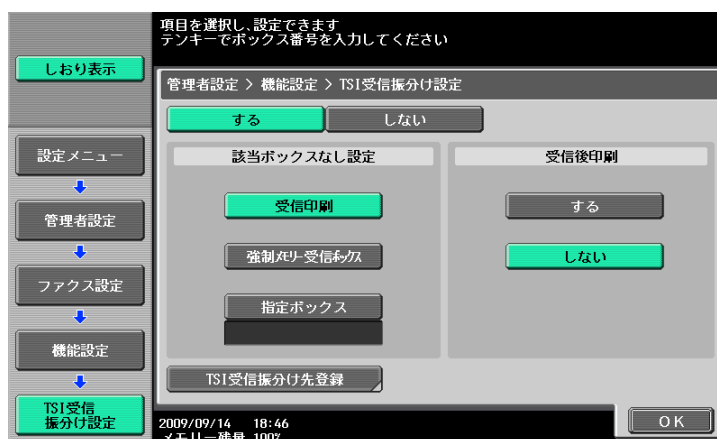
PC-FAX 受信については、8-3 ページをごらんください。

項目	説明
［受信出力先］	受信先を強制メモリー受信ボックスまたは指定ボックスに設定できます。［指定ボックス］を選択した場合は、F コードの SUB アドレスで指定した番号のボックスに保存されます。
［受信後印刷］	受信後にプリントを行うかどうかを設定します。
［パスワードチェック］	通信パスワード（7 桁以内）を設定できます。

TSI 受信振分け設定

TSI 受信振分け機能を使用するかどうかを設定します。使用する場合は以下の項目を設定します。

FAX キット FK-502 を 2 つ装着し、管理者設定の［回線別受信設定］が［ON］の場合に、［ファクス回線 1］または［ファクス回線 2］を選択して、回線ごとに設定ができます。［回線別受信設定］については、11-19 ページをごらんください。

参照

TSI 受信振分けの機能説明については、8-4 ページをごらんください。

項目		説明
［該当ボックスなし設定］		該当ボックスが存在しない場合の処置を設定します。 ［受信印刷］：受信した文書を印刷します。 ［強制メモリー受信ボックス］：強制メモリー受信ボックスに保存されます。 ［指定ボックス］：本機のボックスに保存されます。［指定ボックス］を押し、テンキーでボックス番号を入力して指定します。
［受信後印刷］		受信後に印刷を行うかどうかを設定します。
［TSI 受信振分け先登録］		受信を振分ける相手先を登録します。 受信振分け先は 128 か所まで登録できます。設定したい番号を選択して、［編集］を押します。
	［TSI 受信振分け設定］	受信したファクスは、他の機器や本機のボックスに振り分けることができます。［送信者（TSI）］では、送信者のファクス ID を入力します。 ［振分け先］では、振分け先を指定します。他の機器に振り分ける場合、相手先は［登録宛先から指定］で指定します。本機のボックスに振り分ける場合は［ボックス番号指定］で指定します。 ・　親展受信が設定されているボックス、中継ボックスは振分け先の対象とはなりません。

参考
- 転送先には、登録されたグループ宛先を指定することもできます。

11.4.11 ファクス設定－ PBX 接続設定

PBX 回線の接続方法を設定します。

PBX 接続モードが有効の場合に、外線へのアクセスコードを設定します。アクセスコードとは、0 発信の「0」のように外線に接続するための番号のことです。

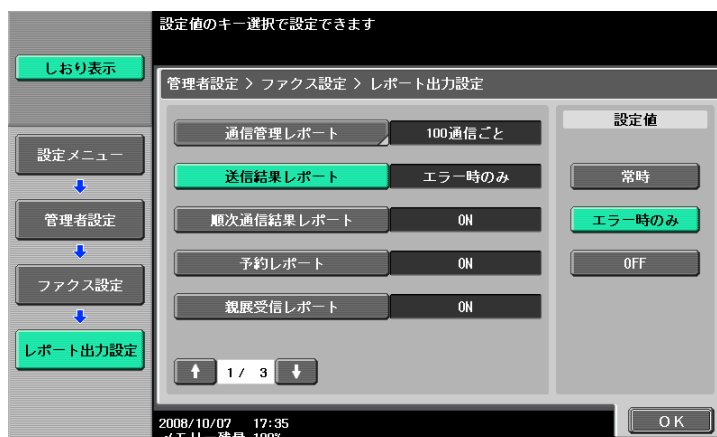
短縮宛先やプログラム宛先に登録されているファクス番号の前に、ここで設定した外線番号がダイアルされます。

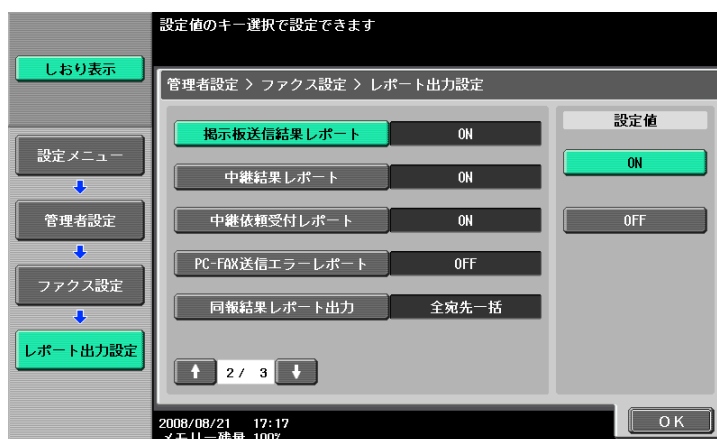
［しない］を押して入力された内容をクリアしてから、テンキーでアクセスコードを設定します（0 ～ 9999）。

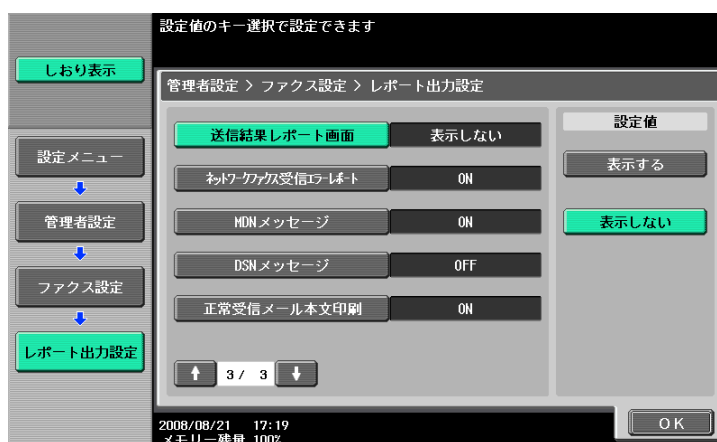
参考
- PBX 接続設定を行う場合は、ナンバーディスプレイ機能は OFF に設定してください。

11.4.12 ファクス設定－レポート出力設定

レポートの出力方法を設定します。

1/3 画面

項目		説明
［通信管理レポート］		通信管理レポートの出力設定を行います。出力する場合は以下の内容を設定できます。
	［出力設定］	出力するタイミングを設定します。 ［毎日］：毎日決まった時刻に出力します。 ［100 通信ごと］：100 通信ごとに出力します。 ［100/ 毎日］：毎日決まった時刻に最新の 100 通信を出力します。
	［出力時刻設定］	出力設定で［毎日］または［100/ 毎日］を選択したときに設定できます。出力する時刻を指定します。
	［備考欄印字設定］	通信管理レポートの備考欄のプリント種類を設定します。 ユーザー認証 / 部門管理をしている場合に［備考欄印字設定］を表示します。 ［通常印字］：回線の状態や送信時の設定をプリントします。詳しくは、9-10 ページをごらんください。 ［ユーザー名印字］：ユーザー認証のユーザー名をプリントします。 ［部門名印字］：部門管理の部門名をプリントします。
［送信結果レポート］		送信結果レポートの出力設定を行います。出力する条件を選択します。
［順次通信結果レポート］		順次通信結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。
［予約レポート］		予約レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。
［親展受信レポート］		親展受信レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。

2/3 画面

項目	説明
［掲示板送信結果レポート］	掲示板送信結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。
［中継結果レポート］	中継結果レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。
［中継依頼受付レポート］	中継依頼受付レポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。
［PC-FAX 送信エラーレポート］	PC-FAX 送信エラーレポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。
［同報結果レポート出力］	同報結果レポートの出力設定を行います。出力の方法を選択します。 ・［1 宛先毎］選択時は、リダイアルを行っても送信できない場合にのみ、同報送信結果レポートを出力します。送信が正常に終了した場合は出力しません。

3/3 画面

項目	説明
［送信結果レポート画面］	送信結果レポート画面の表示設定を行います。表示するかどうかを選択します。

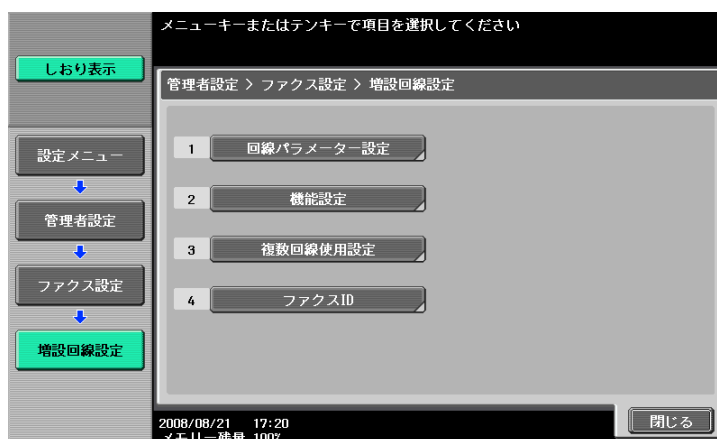
11.4.13 ファクス設定－設定値リスト

ファクス関連の設定値リストを出力します。出力する用紙のトレイを選択し、[実行] を押します。

参考

- 設定値リストの出力例は 9-12 ページをごらんください。

11.4.14 ファクス設定－増設回線設定

FAX キット FK-502 を 2 つ装着している場合、2 つ目の回線の各種設定を行います。

回線パラメーター設定

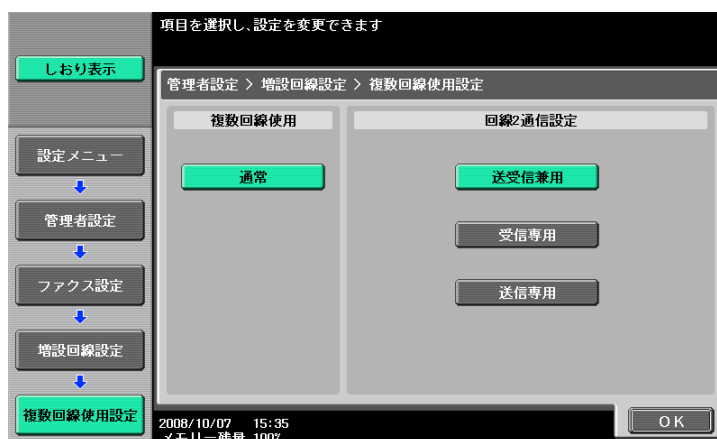
項目	説明
[ダイアル方式]	増設回線のダイアル方式を PB/10pps/20pps から設定します。

項目	説明
［着信回数設定］	着信するまでの呼出し信号の回数を 0 ～ 15 回の範囲で設定します（初期値：2 回）。
［回線モニター音］	増設回線の通信時に回線上の音をスピーカーから聞くときに ON に設定します。

機能設定

項目	説明
［PC-FAX 送信設定］	PC-FAX で送信する時にどの回線から送信するのかを設定します。
［ナンバーディスプレイ機能］	増設回線でナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するかどうかを設定します。また、ネームディスプレイ機能を使用する場合は着信中の発信者情報としてナンバーを使用するかネームを使用するかも選択できます。 ・ ナンバーディスプレイ機能、ネームディスプレイ機能を使用するには、事前に NTT への申し込みが必要です。 ・ ナンバーディスプレイ機能を ON にしないと、ネームディスプレイ機能を設定することはできません。 ・ 登録されているファクス番号が着信中の発信者番号と一致する場合、登録名またはファクス番号が表示されます。

複数回線使用設定

増設回線の通信方法を送受信兼用 / 受信専用 / 送信専用から選択します。

ファクス ID

増設回線のファクス ID を登録します。登録したファクス ID は相手先の受信文書に発信元情報として印字されます。テンキー、＊、＃、[+]、スペースを使用して 20 文字以内で入力します。

11.4.15 セキュリティー設定－セキュリティー詳細

手動宛先入力

 参照

設定手順は、11-11 ページをごらんください。

FAX 送信禁止

ファクス送信を禁止するかどうかを設定できます。［ON］を選択すると、ファクス / スキャン画面でファクス機能が表示されなくなります。

個人情報非表示

参照

設定手順は、11-11 ページをごらんください。

通信履歴表示

参照

設定手順は、11-11 ページをごらんください。

イニシャライズ

参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

ジョブ履歴サムネイル表示

参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

コピーガード

参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

パスワードコピー

参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

11.5 管理者設定（IP/I-FAX）

インターネットファクス、IP アドレスファクスで行う管理者設定について説明します。

11.5.1 環境設定－パワーセーブ設定－パワーセーブ移行

参照

設定手順は、11-13 ページをごらんください。

11.5.2 環境設定－出力設定－受信印刷出力設定－ファクス

参照

設定手順は、11-13 ページをごらんください。

11.5.3 環境設定－ユーザー操作禁止設定

変更禁止設定－登録宛先変更

参照

設定手順は、11-8 ページをごらんください。

変更禁止設定－ From アドレス変更

From アドレスは装置に設定したアドレスとなります。

参照

設定手順は、11-8 ページをごらんください。

操作禁止設定－複数宛先禁止

参照

設定手順は、11-9 ページをごらんください。

11.5.4 環境設定－スタンプ設定－ファクス送信設定

参照

設定手順は、11-14 ページをごらんください。

11.5.5 環境設定－仕上りプレビュー設定－原稿セット方向設定表示

参照

設定手順は、11-11 ページをごらんください。

11.5.6 ファクス設定－発信元 / ファクス ID 登録

参考

- 発信元情報は、インターネットファクス /IP アドレスファクスでは、［原稿外］は使用できません。［原稿外］に設定されていても原稿内に付加されます。

参照

設定手順は、11-14 ページをごらんください。

11.5.7 ファクス設定－発信元 / 受信情報

参考

- 受信情報は、IP アドレスファクスのカラーモードでは、［原稿外］は使用できません。［原稿外］に設定されていても原稿内に付加されます。

参照

設定手順は、11-15 ページをごらんください。

11.5.8 ファクス設定－回線パラメーター設定（IP）

オートリダイアル回数

参照

設定手順は、11-17 ページをごらんください。

オートリダイアル間隔

参照

設定手順は、11-17 ページをごらんください。

11.5.9 ファクス設定－送信 / 受信設定

参考

- ［記録用紙サイズ］の設定を有効にするには、［給紙トレイ固定］を［自動］に設定してください。
- トレイの種類は、装着しているオプションにより異なります。
- カラーモードで受信する場合は、IP アドレスファクスでは常に等倍で、インターネットファクスでは適切な記録紙に縮小して記録されます。
- カラーモードで受信する場合は、ページ分割記録は使用できません。

参照

設定手順は、11-19 ページをごらんください。

11.5.10 ファクス設定－機能設定

機能 ON/OFF 設定－宛先確認表示機能

参照

設定手順は、11-21 ページをごらんください。

強制メモリー受信設定

参照

設定手順は、11-23 ページをごらんください。

11.5.11 ファクス設定－レポート出力設定

通信管理レポート

参照

設定手順は、11-29 ページをごらんください。

送信結果レポート

参照
設定手順は、11-29 ページをごらんください。

順次通信結果レポート

参照
設定手順は、11-29 ページをごらんください。

同報結果レポート出力

参照
設定手順は、11-29 ページをごらんください。

送信結果レポート画面

参照
設定手順は、11-29 ページをごらんください。

ネットワークファクス受信エラーレポート

ネットワークファクス受信エラーレポートの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。

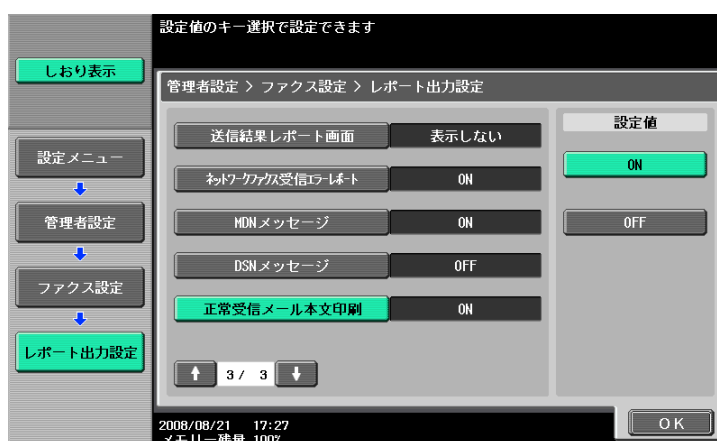
MDN メッセージ（I-FAX）

インターネットファクスの MDN メッセージの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。

DSN メッセージ（I-FAX）

インターネットファクスの DSN メッセージの出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。

正常受信メール本文印刷（I-FAX）

正常受信メールの本文の出力設定を行います。出力をするかどうかを選択します。

11.5.12 ファクス設定ー設定値リスト

参照

設定手順は、11-31 ページをごらんください。

11.5.13 ファクス設定－ネットワークファクス設定

インターネットファクス、IP アドレスファクスの機能を設定します。

白黒 2 値圧縮方法

ファイル形式に TIFF を選択して送信する場合の本機送信能力を設定します。

- ［MMR］（初期値）：データサイズが小さくなります。
- ［MR］：MMR と MH の中間のデータサイズになります。
- ［MH］：データサイズが大きくなります。

カラー / モノクロ多値圧縮方法

ファイル形式に JPEG、PDF を選択して送信する場合の本機送信能力を設定します。

- ［JPEG（カラー）］（初期値）：データがカラーの JPEG 形式で圧縮されます。
- ［JPEG（グレースケール）］：データがモノクロの JPEG 形式で圧縮されます。
- ［指定なし］：カラー、グレースケールの送信能力は無効となり、白黒 2 値圧縮方法で指定された圧縮方法に従って圧縮されます。

参考

- コンパクト PDF は本機固定値で圧縮されるため、この設定は反映されません。
- ［指定なし］を選択した場合、どのようなファイル形式を指定しても、TIFF 形式に変換されて、送信されます。

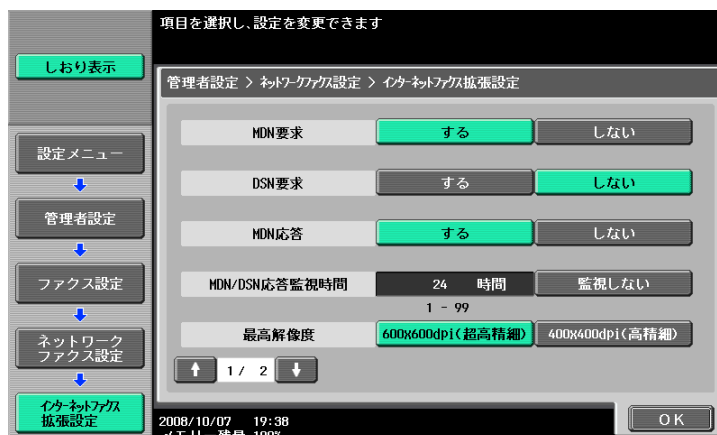
インターネットファクス自機受信能力（I-FAX）

インターネットファクス機能が使用できる場合に表示されます。相手機からの MDN 要求時に、自機の能力として設定した内容が送信されます。圧縮形式、用紙サイズ、解像度の内容を設定してください。

項目	説明
［圧縮形式］	本機が受信できる圧縮形式を設定します。
［用紙サイズ］	本機が受信できる用紙サイズを設定します。
［解像度］	本機が受信できる解像度を設定します。

インターネットファクス拡張設定（I-FAX）

インターネットファクス機能が使用できる場合に表示されます。インターネットファクスの詳しい内容を設定できます。

1/2 画面

項目	説明
［MDN 要求］	送信時に相手機に MDN の要求を行うかどうかを設定します。 ・ MDN 要求と DSN 要求を同時に［する］に設定した場合、MDN 要求の設定が優先されます。
［DSN 要求］	送信時に相手機に DSN の要求を行うかどうかを設定します。
［MDN 応答］	受信時に相手機からの MDN 要求に応答するかどうかを設定します。
［MDN/DSN 応答監視時間］	MDN、DSN の応答監視を行うかどうかを設定します。行う場合は時間数を入力します。
［最高解像度］	本機の最高解像度能力を設定します。

2/2 画面

項目	説明
［Content-Type 情報付加］	インターネットファクス送信時に Content-Type 情報を付加するかどうかを設定します。 ［する］を選択した場合、MIME の Content-Type ヘッダにサブタイプとして「application=faxbw」が付加されます。

IP アドレスファクス動作設定

IP アドレスファクスの動作モードを設定します。

項目	説明
［モード 1］	IP アドレスファクス通信が可能なコニカミノルタ機、および CIAJ が定める Direct SMTP 規格に適合したマシンとの間で通信できます。ただしカラーの送信は、コニカミノルタ機専用の方式になります。
［モード 2］	IP アドレスファックス通信が可能なコニカミノルタ機、および CIAJ が定める Direct SMTP 規格に適合したマシンとの間で通信できます。カラーの送信は、Direct SMTP 規格に適合した通信モード（Profile-C フォーマット）です。
［カラー原稿の送受信］	モード 2 を選択時に設定が可能です。Direct SMTP 規格のカラー受信ができないマシンに送信する場合は、［許可しない］を選択してください。

参考
- モード 2 に設定する場合、事前に送信する相手機が、Direct SMTP 規格のカラー受信が可能かどうかご確認ください。
- CIAJ は、情報通信ネットワーク産業協会（Communications and Information network Association of Japan）の略称です。

11.5.14 セキュリティー設定－セキュリティー詳細

手動宛先入力

参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

FAX 送信禁止

参照
設定手順は、11-33 ページをごらんください。

個人情報非表示

参照
設定手順は、11-11 ページをごらんください。

12 PageScope Web Connection

12 PageScope Web Connection

デバイス管理用ユーティリティー PageScope Web Connection の機能について説明します。

12.1 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンターコントローラーに内蔵されている HTTP サーバーが提供する、デバイス管理用ユーティリティーです。ネットワーク上のコンピューターで Web ブラウザーを起動し、本機の設定変更や状態確認ができます。本機の操作パネルで行う設定の一部を手元のコンピューターから操作でき、漢字の入力もスムーズに行うことができます。

12.1.1 動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピューター側のアプリケーション	Web ブラウザー： <Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/Vista の場合 > ・ Microsoft Internet Explorer 6/7/8（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Macintosh MacOS 9.x/MacOS X の場合 > ・ Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） <Linux の場合 > ・ Netscape Navigator 7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） ・ Mozilla Firefox 1.0 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player： ・ 表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグインが必要 ・ データ管理ユーティリティー（フォント / マクロデータの管理）を利用する場合、Ver.9.0 以降のプラグインが必要

12.1.2 アクセス方法

✔ PageScope Web Connection は、Web ブラウザーを起動して使用します。

✔ ユーザー認証機能が有効の場合は、ユーザー名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、12-10 ページをごらんください。

✔ 本機の IP アドレスの設定については、[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編] をごらんください。

✔ PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、12-8 ページをごらんください。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］を押します。http:// <本機の IP アドレス> /

（例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合

- http://192.168.1.20/

IPv6 が［使用する］に設定されていて、Internet Explorer 6 以外のブラウザーを使用している場合

- IPv6 アドレスを [ ] で囲んでアクセスします。
  - http://[本機の IPv6 アドレス]/

（例）本機の IPv6 アドレスが fe80::220:6bff:fe10:2f16 の場合

- http://[fe80::220:6bff:fe10:2f16]/
- IPv6 が［使用する］に設定されていて、Internet Explorer を使用している場合は、あらかじめ hosts ファイルに「fe80::220:6bff:fe10:2f IPv6_MFP_1」といった追記をする編集をし、ドメイン名による URL 指定を行います。
  トップメニュー画面またはログイン画面が表示されます。

12.1.3 Web ブラウザーのキャッシュ機能について

Web ブラウザーにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザーでキャッシュ機能を無効にしてください。

参考

- Web ブラウザーのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザーのヘルプをごらんください。
- キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の OFF/ON が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

Netscape Navigator の場合

1 ［編集］メニューから［設定］を選択します。

2 左側の［カテゴリ］で［詳細］－［キャッシュ］を選択します。

3 ［キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較］で［ページにアクセスするたび］を選択します。

Mozilla Firefox の場合

1 ［ツール］メニューから［オプション］を選択します。

2 ［プライバシー］をクリックし、［消去設定］をクリックします。

3 ［消去するデータ］で［キャッシュ］にチェックを付け、［消去の設定］で［Firefox の終了時にプライバシー情報を消去する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

12.1.4 オンラインヘルプ機能について

PageScope Web Connection にログイン後、? をクリックすると、設定中の機能に関するオンラインヘルプを表示させることができます。

参考

- オンラインヘルプを表示させるためには、お使いのコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

12.2 ログインとログアウト

12.2.1 ログインとログアウトの流れ

PageScope Web Connection でアクセスすると、本機でユーザー認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザー認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザーとしてログインした画面が表示されます。ログイン後、別のユーザーとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

ユーザー認証、部門管理を行っていない場合

パブリックユーザーとして自動的にログインします。

パブリック　ログイン画面へ　?

スキャン準備完了
印刷準備完了

トップメニューへ

▼装置情報
▶構成要素
▶オプション
▶消耗品情報
▶カウンター
▶サポート情報
▶機能制限情報
▶ネットワーク設定情報
▶印刷設定情報
▶情報の印刷

装置情報

装置名 MFP
設置場所
エンジンシリアル番号 11
装置タイプ 印刷/コピー/スキャン/ファクス

トナー	状態	
イエロー		100%
マゼンタ		100%
シアン		100%
ブラック		100%

給紙トレイ

選択	トレイ	用紙サイズ	用紙種類	用紙残量
⦿	手差し	A4 LEF	普通紙	無し
○	トレイ1	A4 LEF	普通紙	あり
○	トレイ2	A4 LEF	普通紙	あり
○	トレイ3	A4 LEF	普通紙	あり
○	トレイ4	A4 LEF	普通紙	あり

詳細

排紙トレイ
トレイ1 / トレイ2 / サドルトレイ / トレイ3

管理者情報
管理者名 admin
内線番号
管理者アドレス admin@test.local

管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

管理者としてログインしなおします。

ユーザー認証、部門管理を行っている場合

PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者におたずねください。

ユーザー認証、部門認証画面が表示されます。必要事項を入力してログインします。

他のユーザーまたは管理者としてログインするときは、いったんログアウトします。

ログインしなおします。

KONICA MINOLTA
PAGE SCOPE Web Connection

言語 OS言語 (OS Language) (Dummy)
ログイン 登録ユーザー
ユーザー名
パスワード
管理者
表示形式 Flash HTML
Flash形式でご覧頂くには Flash Playerが必要です。 Get ADOBE FLASH PLAYER
ユーザー補助 警告時、ダイアログ表示する
ログイン

データ管理ユーティリティーの起動
データ管理ユーティリティーを利用するには Flash Playerが必要です。
コピープロテクトデータの管理
スタンプデータの管理
フォント/マクロデータの管理 (*1)
(*1) WindowsのInternet Explorer環境、Flash Player Ver9以上でのみ実行可能です。

12.2.2 ログアウト

画面右上の［ログアウト］または［ログイン画面へ］をクリックすると、ログアウトを確認する画面が表示されます。［OK］をクリックするとログイン画面に戻ります。

参考

- 本機の認証設定によって、表示されるログイン画面が異なります。
- パブリックユーザーでログインした場合は［ログイン画面へ］が表示されます。登録ユーザーまたは管理者としてログインした場合は［ログアウト］が表示されます。
- ログインした状態で操作が一定期間行われずにタイムアウトとなった場合や、ユーザーモードログイン中に本機の操作パネルで認証設定が変更された場合は、自動的にログアウトされます。
- ユーザーモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間設定については、12-24 ページをごらんください。

12.2.3 ログイン

PageScope Web Connection はログインのしかたによって、ユーザーモードと管理者モードがあります。ユーザー認証やボックス管理者の設定によって、管理者またはボックス管理者としてユーザーモードにログインすることもできます。

参考

- 操作パネルからの設定でボックス管理者が認められている場合に、ボックス管理者としてログインできます。ボックス管理者の設定や権限、パスワードの設定などについては、[ユーザーズガイド ボックス機能編]をごらんください。
- 管理者としてユーザーモードにログインした場合は、管理者モードでは行えないジョブ削除を行うことができます。
- ログイン画面からデータ管理ユーティリティーを起動できます。データ管理ユーティリティーについて、詳しくは[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編]をごらんください。

ログイン時の選択項目

ログイン時には、必要に応じて項目を選択できます。

項目	説明
[言語]	表示させる言語を選択します。
[表示形式]	Flash または HTML を選択します。 · 読み上げソフトを使用する場合は、[HTML]を選択することを推奨します。 · IPv6 環境の場合は、[HTML]を選択してください。 · [Flash]を選択する場合は、Flash Player が必要です。
[ユーザー補助]	[警告時、ダイアログ表示する]にチェックを付けると、ログイン後の操作中、警告時にダイアログが表示されます。

参考

- [表示形式]で[Flash]を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
- ステータスのアイコンやメッセージ
- [情報表示]−[装置情報]の[給紙トレイ]の状態
- [ジョブ確認]の状態

パブリックユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っていない場合はパブリックユーザーとしてログインします。ログイン画面で［パブリックユーザー］を選択し、［ログイン］をクリックします。

登録ユーザーとしてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、登録ユーザー名とパスワードを利用してログインする必要があります。

➔　ログイン画面でユーザー名とパスワードを入力し、［ログイン］をクリックします。

参考

- 部門管理を行っている場合は、部門名と部門パスワードも入力します。
- ［ユーザー一覧］をクリックすると、一覧からユーザー名を選択できます。
- 外部サーバー認証が設定されている場合は、サーバーを選択します。
- 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［管理者］－［管理者（ユーザーモード）］を選択し、管理者パスワードを入力します。
- 管理者設定の［認証操作禁止機能］でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザーがロックされて使用できなくなります。操作禁止状態の解除については管理者にお問い合わせください。
- ［ユーザー一覧］は、［ユーザー名一覧］が［表示する］設定のときのみ利用できます。詳しくは、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

管理者モードへログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

1 ［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

2 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。

➔ 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［管理者（ユーザーモード）］を選択し、管理者パスワードを入力します。

➔ 管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。

➔ 本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。

➔ 管理者設定の［認証操作禁止機能］でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

➔ 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。

➔ 機能の説明（ヘルプ）を表示させることができます。ヘルプを表示させたい場合は、表示設定で［する］を選択します。

［オンマウスで表示］：マウスのカーソルを合わせると、ヘルプを表示します。

［オンフォーカスで表示］：項目を選択すると、ヘルプを表示します。

管理者モードの表示モード

［環境設定］－［表示設定］で管理者モードの表示モードを［タブ表示］、［リストボックス表示］から選択することができます。本書では、［リストボックス表示］に設定して説明しています。

どちらの表示モードに設定しても、設定できる項目は同じです。

初期設定では、［タブ表示］で表示されます。

［タブ表示］では、アイコンをクリックしてメニューを切換えます。

［リストボックス表示］では、リストボックスからメニューを切換えます。
ドロップダウンリストから目的のメニューを選択し、［表示］をクリックします。

ボックス管理者としてログイン

本機でユーザー認証を行っている場合は、管理者としてユーザーモードにログインし、ジョブ削除を行うことができます。また、操作パネルでボックス管理者が認められている場合に、ボックス管理者としてユーザーモードにログインすることができます。

➔ ログイン画面で［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

➔ ボックス管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［ボックス管理者］を選択し、ボックス管理者のパスワードを入力します。

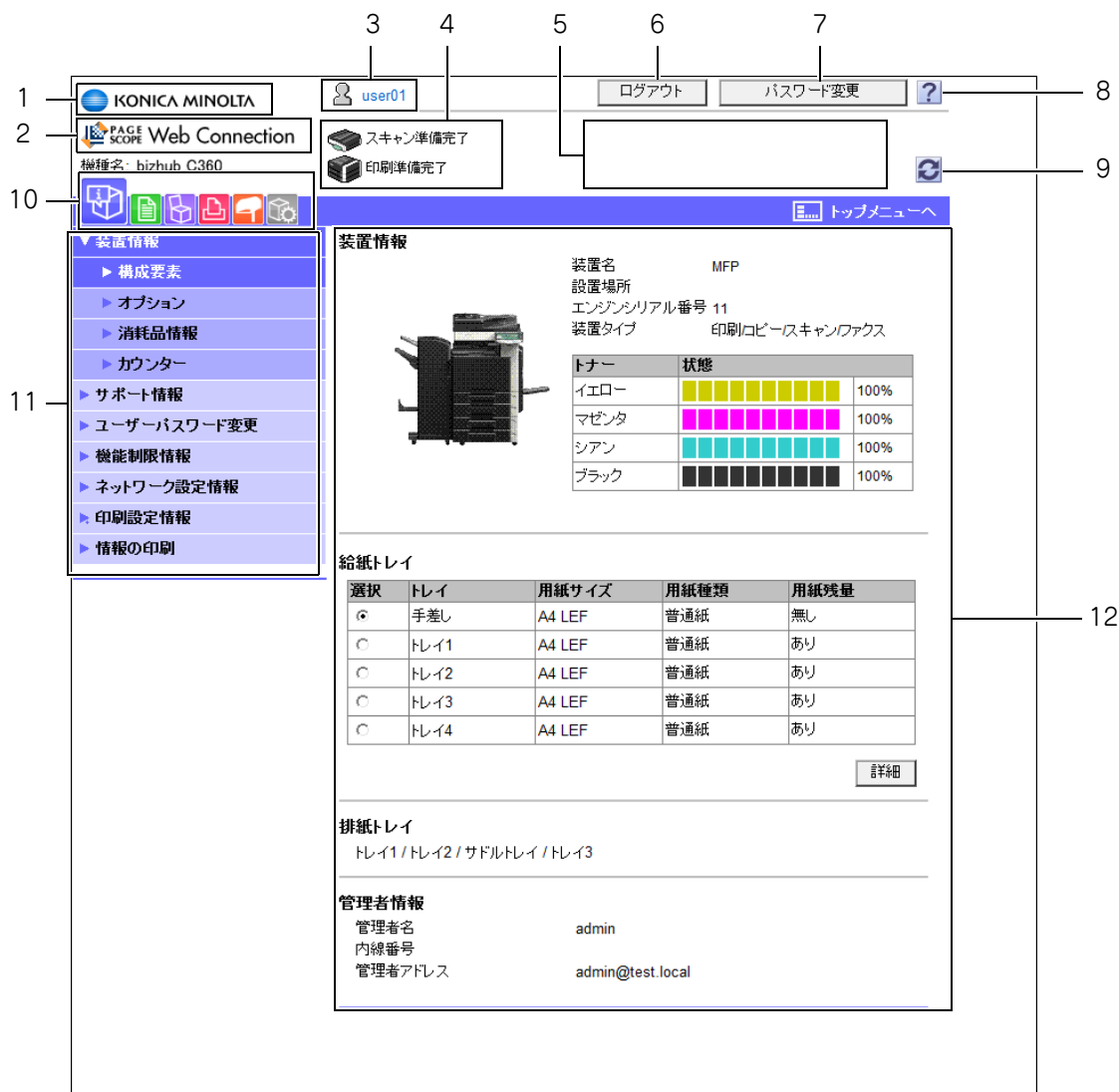
参考

- 管理者としてユーザーモードにログインする場合は、［管理者］－［管理者（ユーザーモード）］を選択し、管理者パスワードを入力します。
- 管理者設定の［認証操作禁止機能］でモード 2 が選択されている場合、誤ったパスワードを一定回数入力すると、管理者モードにログインできなくなります。認証操作設定について詳しくは［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
- 本機の設定によって、表示されるパスワード入力の画面が異なります。
- 機能の説明（ヘルプ）を表示させることができます。ヘルプを表示させたい場合は、表示設定で［する］を選択します。
  - ［オンマウスで表示］：マウスのカーソルを合わせると、ヘルプを表示します。
  - ［オンフォーカスで表示］：項目を選択すると、ヘルプを表示します。

12.3 画面の構成

PageScope Web Connection にログイン後、表示される画面は、以下のように構成されています。ここでは、情報表示－装置情報画面を例に説明します。

参考

- 本機に装着されているオプションや本機の設定によって、PageScope Web Connection の画面表示が異なります。

No.	項目	説明
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://www.konicaminolta.com/
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインユーザー名	現在ログインしているモードアイコンとユーザー名（パブリック、管理者、ボックス管理者、登録ユーザー名、部門名）が表示されます。ユーザー名をクリックすると、ログインしているユーザー名が表示されます。

No.	項目	説明
4	ステータス表示	本機プリンター部分と本機スキャナー部分の状態が、アイコンとメッセージで表示されます。エラーが発生している場合にアイコンをクリックすると、その状態に関連した情報（消耗品情報画面、給紙トレイ画面、ユーザー登録情報画面）が表示され、状況を確認できます。
5	メッセージ表示	本機の動作状態が表示されます。
6	［ログイン画面へ］/［ログアウト］	現在のモードからログアウトし、ログインしなおすときにクリックします。パブリックユーザーでログインした場合は［ログイン画面へ］が表示されます。登録ユーザーまたは管理者としてログインした場合は［ログアウト］が表示されます。
7	［パスワード変更］	クリックすると、ユーザーパスワード変更画面へジャンプします。登録ユーザーでログインしたユーザーモード画面でのみ表示されます。
8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページから、設定中の機能に関するオンラインヘルプを表示させることができます。設定方法は、12-23 ページをごらんください。
9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	アイコン	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードでは、以下のアイコンが表示されます。 ・　情報表示 ・　ジョブ確認 ・　ボックス ・　ダイレクトプリント ・　宛先登録 ・　カスタマイズ設定
11	メニュー	選択されたアイコンにおける情報および設定が表示されます。アイコンの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
12	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

12.4 ユーザーモードの概要

ユーザーモードにログインすると、以下の機能を設定できます。

12.4.1 情報表示

参照

ユーザーモードに関する説明は、PageScope Web Connection のオンラインヘルプまたは、アプリケーション CD-ROM に収録されている PageScope Web Connection のマニュアルでも確認することができます。オンラインヘルプについて詳しくは、12-3 ページをごらんください。

項目	説明
[装置情報]	本機の構成要素、オプション、消耗品情報、カウンターを確認できます。
[サポート情報]	製品に関するサポート情報を確認できます。
[ユーザーパスワード変更]	ログインしているユーザーのパスワードを変更できます。
[機能制限情報]	ユーザーや部門の操作制限情報を確認できます。
[ネットワーク設定情報]	本機のネットワーク設定を確認できます。
[印刷設定情報]	本機のプリンターコントローラーに関連した設定情報を確認できます。
[情報の印刷]	フォント情報や設定情報などを印刷できます。

12.4.2 ジョブ確認

項目	説明
［実行中リスト］	実行中 / 実行待ちのジョブを確認できます。
［履歴リスト］	実行済みのジョブを確認できます。
［通信リスト］	完了した送受信のジョブを確認できます。

12.4.3 ボックス

参照
ボックス操作の手順については、［ユーザーズガイド ボックス機能編］をごらんください。

項目	説明
［ボックスを開く］	現在作成されているボックス（共有 / 個人 / グループ）を開き、保存されている文書を印刷、送信、ダウンロードなどの操作をしたり、ボックスの設定を変更できます。
［ボックスを作成する］	新しくボックスを作成できます。

項目	説明
［システムボックスを開く］	オプションの FAX キット FK-502 が装着されている場合に表示されます。システムボックス（掲示板ボックス / ポーリング送信ボックス / 強制メモリー受信ボックス / 中継ボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更できます。
［システムボックスを作成する］	オプションの FAX キット FK-502 が装着されている場合に表示されます。新しく掲示板ボックスと中継ボックスを作成できます。

12.4.4　ダイレクトプリント

項目	説明
［ダイレクトプリント］	コンピューターに保存されているファイルを指定して、本機で印刷を行うことができます。また、応用設定から指定したボックスへの保存もできます。

参考

- ［ダイレクトプリント］は管理者モードでの設定によって表示されない場合があります。

12.4.5 宛先登録

［宛先登録］は管理者モードでの設定によって表示されない場合があります。

項目	説明
［短縮宛先］	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［グループ宛先］	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［プログラム宛先］	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［一時プログラム］	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［E-mail 件名］	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録、変更できます。
［E-mail 本文］	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録、変更できます。

12.4.6 カスタマイズ設定

ログイン後の初期画面を指定できます。

項目	説明
［オプション］	ログイン後の初期画面で表示される内容を設定できます。

12.5 管理者モードの概要

管理者モードにログインすると、以下の機能を設定できます。

参考

- 管理者モードの詳細は［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
- 管理者モードの表示モードには、［タブ表示］と［リストボックス表示］があります。本書では、［リストボックス表示］に設定して説明しています。詳しくは、12-13 ページをごらんください。

12.5.1 メンテナンス

項目	説明
［カウンター］	本機で管理されているカウンターを確認できます。
［ROM バージョン］	ROM バージョンを確認できます。
［インポート / エクスポート］	本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。
［状態通知設定］	本機でエラーが発生した場合に登録者に通知する機能の設定を行います。エラーの通知先と通知する項目を設定できます。
［トータルカウンター通知設定］	トータルカウンターを E-mail で通知する設定と通知先の E-mail アドレスを登録します。
［日時設定］	本機に表示される日時の設定を行います。
［タイマー設定］	本機のパワーセーブ、ウィークリータイマー機能の設定を行います。
［ネットワークエラーコード表示設定］	ネットワークエラーコードの表示の有無を設定します。

項目	説明
［初期化］	ネットワーク設定、コントローラーのリセットや宛先の一括消去を行います。
［ライセンス管理設定］	ライセンスの発行および機能の有効化を行います。リクエストコードの発行も行います。
［フォント / マクロ編集］	フォント、マクロを追加します。
［ジョブログ］	本機で実行されたジョブのログデータを作成し、ダウンロードできます。

12.5.2　環境設定

参考

- TWAIN を使用してアプリケーションソフトから本機をスキャナーとして使用する場合は、専用のドライバーソフトウェア **KONICA MINOLTA TWAIN** をインストールしてください。詳しくは、同梱されている CD 内の TWAIN ドライバーのマニュアルをごらんください。

項目	説明
［本体登録］	装置の登録情報を変更します。
［サポート情報登録］	本機のサポート情報（問い合わせ先や製品元ホームページ、オンラインマニュアル URL など）を設定します。この内容はユーザーモードの［情報表示］－［サポート情報］で表示されます。
［ネットワーク TWAIN］	スキャン（プッシュスキャンを除く）による操作ロック削除時間を設定します。
［ボックス設定］	不要なボックスの削除や文書削除時間の設定など、ボックスの機能を設定します。また、外部メモリーへの文書保存や読込みの許可設定もここで行います。
［スタンプ設定］	ヘッダー、フッターの登録を行います。
［白紙ページ印字設定］	白紙ページに［スタンプ / ページ印字］で設定した内容を印字する / しないを設定します。
［ジョブ飛越し動作設定］	ジョブの飛越し動作をする / しないを設定します。
［Flash 表示設定］	Flash 表示の許可する / しないを設定します。

項目	説明
[システム連携設定]	Prefix/Suffix の自動設定および携帯電話印刷を設定します。
[表示設定]	管理者モードの表示モードを[タブ表示]と[リストボックス表示]から選択し、設定します。
[アウトライン PDF 設定]	文字のアウトライン化をする / しないを設定します。

12.5.3 セキュリティー

項目	説明
[PKI 設定]	デバイス証明書の登録、SSL の設定、プロトコル設定、外部証明書の設定ができます。
[証明書検証設定]	証明書の検証で使用する項目を設定します。
[宛先参照許可設定]	宛先参照許可を行う場合、参照許可グループ名称や、参照可能レベルの設定ができます。
[ユーザー操作禁止設定]	ユーザーによる操作を禁止する機能を設定します。
[コピーセキュリティー]	コピーガード、パスワードコピーを使用する / しないを設定します。
[自動ログアウト]	管理者モード、ユーザーモードの自動ログアウト時間を設定します。
[管理者パスワード設定]	管理者モードにログインするためのパスワードを設定します。

[管理者パスワード設定]は以下の場合は表示されません。

- SSL 証明書がインストールされていない
- セキュリティー強化モードが[ON]に設定されている
- デバイス証明書が登録されていても、[セキュリティー]−[PKI 設定]−[SSL 使用設定]で[SSL/TLS 使用モード]を[なし]に設定している場合

12.5.4 ユーザー認証 / 部門管理

項目	説明
[認証方式]	本機のユーザー認証、部門管理の設定を行います。認証を行う場合はカウンターの割当て数や上限値到達時の動作を設定できます。
[ユーザー認証設定]	ユーザー認証を行う場合、ユーザーの登録や設定を行います。
[部門管理設定]	部門管理を行っている場合、部門の登録と編集を行います。
[外部サーバー設定]	外部サーバー認証を行う場合、外部サーバーの登録を行います。
[共有ボックス設定]	ボックス数の上限を設定します。
[ユーザー / 部門共通設定]	単色カラー、2 色カラーの出力管理を行います。
[Home 宛先有効設定]	Home フォルダーへのファイル送信設定を行います。
[送信宛先制限]	手動送信宛先を制限する場合に設定します。

12.5.5　ネットワーク

項目	説明
[TCP/IP 設定]	本機をネットワーク接続する場合の TCP/IP の設定ができます。
[E-mail 設定]	メール送受信に関する設定（インターネットファクス含む）を行い、E-mail の認証などの拡張機能を設定できます。
[LDAP 設定]	LDAP サーバーを使用するとき、サーバーの登録ができます。
[IPP 設定]	IPP 印刷の設定をします。
[FTP 設定]	本機を FTP クライアントまたはサーバーとして使用するための設定ができます。
[SNMP 設定]	SNMP の設定ができます。
[SMB 設定]	SMB クライアント、WINS、SMB 印刷の設定ができます。
[Web サービス設定]	Web サービスによるスキャン、プリントに関する設定ができます。
[Bonjour 設定]	Bonjour の設定ができます。
[NetWare 設定]	NetWare の設定ができます。
[AppleTalk 設定]	AppleTalk の設定ができます。
[ネットワークファクス設定]	ダイレクト SMTP 送信 / ダイレクト SMTP 受信の設定ができます。
[WebDAV 設定]	WebDAV 設定を行います。
[OpenAPI 設定]	OpenAPI の設定ができます。
[TCP Socket 設定]	コンピューターのアプリケーションソフトと本機のデータ通信に使用される TCP Socket の設定ができます。

項目	説明
[IEEE802.1X 認証設定]	IEEE802.1X 認証の設定を行います。
[LLTD 設定]	LLTD の有効 / 無効を設定します。
[BMLinkS 設定]	BMLinkS 設定を行います。
[SSDP 設定]	SSDP 設定を行います。
[Bluetooth 設定]	Bluetooth の有効 / 無効を設定します。 ・ Bluetooth 通信ができるように設定する場合は、事前にサービスエンジニアにご相談ください。

12.5.6 ボックス

管理者モードでログインしている場合は、ボックスを開くときのパスワード入力をせずに操作できます。

項目	説明
[ボックスを開く]	現在作成されているボックス（共有 / グループ / 個人）を開き、ボックスの設定を変更できます。 ・ 管理者モードからは、文書の操作はできません。 ・ ボックスにパスワードが設定されていてもボックスを操作できます。
[ボックスを作成する]	新しくボックスを作成できます。
[システムボックスを開く]	システムボックス（掲示板ボックス / 中継ボックス / ファイリングナンバーボックス）を開き、保存されている文書を操作したり、ボックスの設定を変更したりできます。 ・ 掲示板ボックス、中継ボックスはオプションの FAX キット FK-502 が装着されている場合に操作できます。
[システムボックスを作成する]	新しく掲示板ボックス / 中継ボックス / ファイリングナンバーボックスを作成できます。

12.5.7　プリンター設定

項目	説明
[基本設定]	プリンターの初期設定値を設定できます。
[PCL 設定]	PCL モードの初期設定値を設定できます。
[PS 設定]	PS モードの初期設定値を設定できます。
[TIFF 設定]	TIFF モードの用紙の設定を行います。
[XPS 設定]	XPS プリントに関する設定ができます。
[インターフェース設定]	インターフェースのタイムアウト時間を設定できます。
[ダイレクトプリント設定]	PageScope Web Connection からのダイレクトプリントの許可設定を行います。
[装置情報取得用アカウント設定]	プリンタードライバーで装置情報を取得するためのパスワードを、設定するかしないかを選択します。[する] を選択した場合、パスワードを設定します。

12.5.8 宛先登録

項目	説明
［短縮宛先］	本機に登録されている短縮宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［グループ宛先］	本機に登録されているグループ宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［プログラム宛先］	本機に登録されているプログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［一時プログラム］	本機に登録されている一時プログラム宛先の一覧を確認したり、宛先の登録や変更ができます。
［E-mail 件名］	E-mail 送信時に利用する件名を 10 件まで登録できます。
［E-mail 本文］	E-mail 送信時に利用する本文を 10 件まで登録できます。
［アプリケーション登録］	RightFax Server など、外部サーバーに登録されたアプリケーションを使用するとき、アプリケーションの内容やサーバーアドレスなどを登録します。アプリケーションとサーバーを登録することで、選択したアプリケーションのサーバーへ自動的に接続して使用することができます。 ・［アプリケーション登録］は **FAX キット FK-502** 装着時には表示されません。
［Prefix/Suffix］	メール送信時に、送信先の情報として付与する Prefix/Suffix を登録できます。

12.5.9 ファクス設定

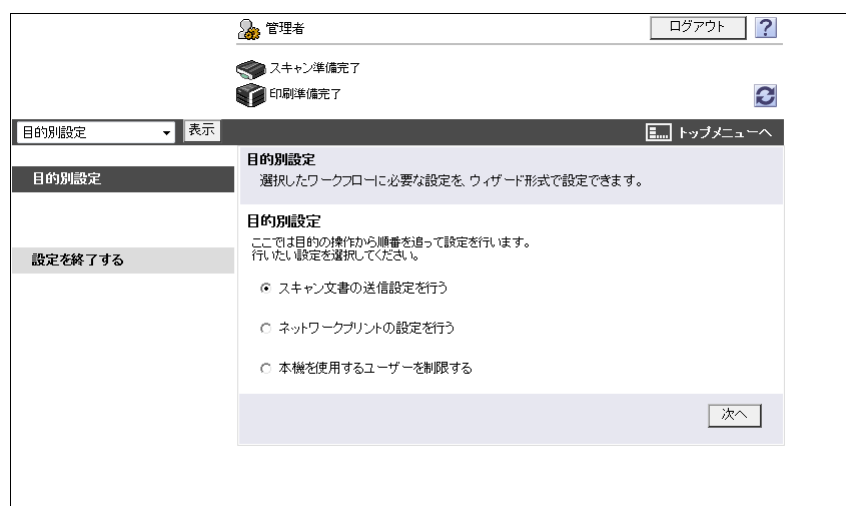
項目	説明
［発信元 / 受信情報］	発信元、受信情報の印字内容を設定します。

項目	説明
[回線パラメーター設定]	ダイアル方式など、ファクス送受信時の回線の設定を行います。
[送信 / 受信設定]	送受信時の用紙、ボックスなどの設定を行います。
[機能設定]	強制メモリー受信、ネットワークファクスなどファクス機能の設定を行います。
[PBX 接続設定]	PBX 接続時の外線番号を設定します。
[レポート出力設定]	通信管理レポートなど、送受信時に出力されるレポートの設定を行います。
[増設回線設定]	増設した回線のパラメーター、機能を設定します。 ・ 回線を増設している場合に表示されます。
[ネットワークファクス設定]	ネットワークファクス使用時の設定を行います。
[発信元 / ファクス ID 登録]	送信時の発信元情報、ファクス ID を登録します。

12.5.10 目的別設定

複数の設定が必要な項目について、画面の指示にしたがって設定を行います。

設定できる項目は以下のとおりです。

- スキャン文書の送信設定を行う
- ネットワークプリントの設定を行う
- 本機を使用するユーザーを制限する

参考

- 設定の手順が進むと、左側に設定の流れが表示されます。
- 設定を中断した場合は、中断する前に設定した項目を反映して目的別設定画面に戻ります。

13 ファクス / スキャン機能で困ったとき

13　ファクス / スキャン機能で困ったとき

ここでは、ファクス / スキャンを使用しているときに起きる現象や対処方法について説明しています。ここに記載されていない現象が起きたときや、問題が解決しないときはサービス管理店にお問合わせください。

13.1　送信できない

送信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に送信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、9-12 ページをごらんください。（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）

エラーメッセージについては、13-6 ページをごらんください。

原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

13.1.1　G3 ファクス

チェックポイント	処置
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認して、もう一度送信してください。
相手のファクス番号は正しいですか？短縮宛先やプログラム宛先は、正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているかを確認してください。 誤りがある場合は修正してください。
電話回線の設定は正しいですか？	設定メニューの［ダイアル方式］はお使いの電話回線に合っていますか？ 設定を確認して、誤りがある場合は修正してください。
電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？ 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が切れている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？ 受信側に電話をかけて確認してください。
パスワード送信時に、パスワードを間違えていませんか？	相手先のパスワードを確認し、正しいパスワードで送信し直してください。
宛先確認送信で、相手先に送信元のファクス番号が正しく登録されていますか？	相手先に登録されているファクス番号が正しいかどうか確認してください。 または宛先確認送信の設定を［しない］にして送信してください。

13.1.2　ネットワークファクス / ネットワークスキャン送信

インターネットファクス /IP アドレスファクス /E-mail/SMB/FTP/WebDAV/Web サービス機能使用時に送信できない場合、以下を確認してください。

チェックポイント	処置
送信しようとしている電子メール容量が SMTP サーバー容量を超えていませんか？	SMTP サーバー容量が設定されている場合、設定されているサイズを超えると、エラーとなり送信できません。SMTP サーバー容量の設定については、［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
送信の手順は正しいですか？	送信手順を確認してもう一度送信してください。送信の手順については 5-2 ページをごらんください。
ネットワークの設定や接続は正しいですか？	ネットワークの設定や接続を確認してください。ネットワークの設定については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
本機のメールアドレスは設定されていますか？	本機の E-mail アドレスを確認し、設定してください。E-mail アドレスの設定については［ユーザーズガイド ネットワーク管理者編］をごらんください。
ケーブル類が正しく接続されていますか？	ネットワークケーブル、モジュラーケーブルなどの接続が正しいか確認してください。
相手のファクス番号やアドレスは正しいですか？ 短縮宛先やプログラム宛先は正しく登録されていますか？	短縮宛先やプログラム宛先を使用している場合は、ファクス番号の登録に誤りがある場合があります。 短縮宛先リストをプリントするなどして、正しく登録されているか確認してください。
受信側にトラブルはありませんか？	受信側のファクスの電源が OFF になっている、用紙がないなどのトラブルはありませんか？受信側に電話をかけるなどして確認してください。

参考

- 送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に「----」と表示されても、インターネット網の途中経路の問題により、受信側に電子メールが到着しない場合があります。送信結果画面や通信管理レポートに表示される「----」は、サーバーまで正常に送信できたことを示すものです。受信確認（MDN）を受信すると送信結果画面や通信管理レポートの結果欄に［OK］が表示されます。重要な内容を受信する場合は、G3 ファクスを使用してください。

13.2　受信できない

受信できない場合は、次の表を参照して処置をしてください。処置をしても正常に受信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

参照

送信できなかった場合は、送信結果レポートが出力されます。詳しくは、9-12 ページをごらんください。
（送信結果レポートをプリントするように設定している場合）

エラーメッセージについては、13-6 ページをごらんください。

原稿づまり、用紙づまり、画質が悪い、トナーがなくなったなどのトラブルについては［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。

13.2.1　G3 ファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。 つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	トナーがなくなっていませんか？	トナーがなくなると、受信できません。 すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	手動受信に設定されていませんか？	設定メニューの［受信方式］が［手動受信］に設定されている場合は、受信の操作が必要です。6-4 ページを参照して受信の操作をしてください。
	電話線の接続は正しいですか？	電話線が外れていませんか？電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
	［閉域受信設定］が有効になっていませんか？	［閉域受信設定］が有効になっている場合は、特定の相手からのファクスだけを受信します。管理者にお問い合わせください。
	送信側から F コードで正しくない SUB アドレスが送信されていませんか？	親展ボックスや中継ボックスが設定されている場合、正しくない SUB アドレスを受信すると、通信エラーが発生し、受信できない場合があります。送信側に SUB アドレスの設定を確認してください。
	ナンバーディスプレイ、ダイアルインなどの設定が、接続している通信回線と合っていますか？	設定が合っていないと受信できないことがあります。接続している通信回線については管理者に確認してください。
	ダイアルインの着信番号は正しいですか？	ダイアルインを利用している場合、ファクス、電話、PC-FAX として着信させる番号が正しく設定されているか確認してください。詳しくは、11-23 ページをごらんください。
	着信拒否に登録している番号から受信していませんか？	受信している番号が誤って着信拒否に登録されている場合は受信できません。10-22 ページを参照し、着信拒否の登録内容を確認してください。
	特殊な内線交換器を使用していませんか？	呼び出しベルの鳴り方が NTT の回線の鳴り方と違う内線交換器を使用している場合は、着信できないことがあります。11-31 ページを参照して、着信回数を［0 回］に設定してください。

トラブルの内容	チェックポイント	処置
プリントされない	PC-FAX 受信が設定されていませんか？	PC-FAX 受信で保存されたボックスを確認してください。
	TSI 受信振分けが設定されていませんか？	TSI 受信振分けで保存されたボックスを確認してください。
	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 ・ ［ボックス］を押します。 ・ ［システム］を押します。 ・ ［強制メモリー受信ボックス］を押し、［利用 / 整理］を押します。 ・ パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して［OK］を押します。 ・ プリントしたい文書を選択し、［印刷］を押します。 または、［強制メモリー受信設定］を［しない］に設定します。

13.2.2 ネットワークファクス

トラブルの内容	チェックポイント	処置
受信できない	用紙はセットされていますか？	用紙補給アイコンが点灯している場合は、用紙がなくなり、メモリーに受信原稿が蓄積されています。用紙を補給してください。 用紙補給の操作については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	用紙がつまっていませんか？	紙づまりが発生している場合は、メモリーに受信原稿が蓄積されています。つまっている用紙を取り除いてください。 紙づまりの処置については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	トナーがなくなっていませんか？	トナーがなくなると受信できません。すぐにトナーカートリッジを交換してください。 トナーカートリッジの交換操作については、［ユーザーズガイド コピー機能編］をごらんください。
	ネットワークケーブルの接続は正しいですか？	ネットワークケーブルの接続を確認し、外れている場合は接続してください。
	メモリー不足、ハードディスクの容量不足ではありませんか？	メモリー残量、ハードディスクの残量を確認してください。 残量が不足しているときは、受信できない、または受信しても印刷できなくなります。
プリントされない	強制メモリー受信が設定されていませんか？	強制メモリー受信が設定されている場合は、次の手順で受信文書をプリントします。 ・ ［ボックス］を押します。 ・ ［システム］を押します。 ・ ［強制メモリー受信ボックス］を押し、［利用 / 整理］を押します。 ・ パスワードが設定されている場合は、パスワードを入力して［OK］を押します。 ・ プリントしたい文書を選択し、［印刷］を押します。 強制メモリー受信をしないよう設定を変更することもできます。詳しくは 11-23 ページをごらんください。

13.3　エラーメッセージが表示された

本機にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、次のエラーメッセージが表示されます。次の表を参照して処置をしてください。

処置をしても正常に通信できない場合は、サービス実施店にお問い合わせください。

13.3.1　G3 ファクス

エラーメッセージ	処置
［ダイアル中にエラーが発生したため、ジョブが正常終了しませんでした］	設定されている回数分のリダイアルをしましたが、相手が話し中などで送信できませんでした。 受信側の状態を確認して、もう一度送信してください。
［相手機を確認できませんでした］	相手先確認送信を［する］にして送信したときに、相手機確認ができませんでした。 受信側のファクス ID が正しく登録されているか、確認してください。
［メモリー残量不足のため、読込みの継続ができません］	原稿読込中に、メモリーが一杯になりました。 読込みが終わった原稿を送信する場合は、**スタート**を、中止する場合は**ストップ**を押してください。
［ジョブが正常終了しませんでした 回線の接続を確認してください］	電話線が抜けている可能性があります。 電話線の接続を確認し、外れている場合は、接続してください。
［ネットワークに接続できませんでした］	ネットワークケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、管理者設定の［ネットワーク設定］が正しく行われているか確認してください。
［同報可能件数オーバーのため、指定された通信方式の宛先は選択できません］	同報可能件数をこえて宛先を指定しています。同報宛先の数を減らし、数回に分けて指定してください。
［HDD の容量オーバーのため、ボックスに画像を保存できませんでした。履歴を確認してください］	HDD がいっぱいになりました。不要なデータを削除してから保存しなおしてください。
［ボックスの登録数が上限値です］	登録できるボックスの上限をこえています。不要なボックスがあれば削除してから登録しなおしてください。
［ボックスに登録されているドキュメント数が上限値です］	ひとつのボックスに登録できるドキュメントの上限をこえています。不要なドキュメントがあれば削除してから登録しなおしてください。
［ジョブの登録が上限値です。登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください］	登録されているジョブの上限をこえています。終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。

13.3.2　HDD Ready 表示が HDD 異常の場合

サービス管理店にお問合わせください。

13.3.3　ネットワークファクスエラーコード表

ネットワークファクスを送受信時にトラブルが発生するとエラー画面が表示され、Nxx 形式のエラーコードが表示されます。以下の表を参照して処置をしてください。

送信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N00	接続エラー	宛先エラー	無	・ 宛先に誤りがないか確認してください。 ・ 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N01	相手ビジー	相手機ビジー	有	・ 相手機の状態を確認してください。 ・ しばらく待ってからもう一度送信してください。
N03	サーバー	グローバルエラー	無	・ 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N04	LAN 接続	接続タイムアウト	無	・ 宛先に誤りがないか確認してください。 ・ ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N06	プロトコル	ステータスコードエラー	無	・ 相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N10	接続エラー	サーバー接続エラー	無	・ 相手機の状態を確認してください。 ・ 本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N11	接続エラー	接続拒否	無	受信が拒否されています。相手機の状態を確認してください。
N12	接続エラー	回線切断	有	ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。
N13	接続エラー	ネットワーク応答なし	無	・ 相手機の状態を確認してください。 ・ 本機のネットワーク設定を確認してください。 ・ ネットワークが正常に稼動しているかを、ネットワーク管理者に確認してください。
N14	接続エラー	メール配信エラー	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N15	相手リセット	相手機接続リセット	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N16	相手機ビジー	相手機ビジー	有	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N17	LAN 接続	接続タイムアウト	無	相手機の状態を確認して、もう一度送信してください。
N18	ネットワークエラー	ネットワークエラー	無	・ 各設定が正しいかを確認してください。 ・ ケーブル抜け等、ネットワーク異常が発生していないか確認してください。 ・ 主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N20	メモリーエラー	メモリーエラー	無	メモリーがいっぱいです。 ・ 他の処理中のジョブがないことを確認してください。 ・ 送信枚数を減らしたり、読込み解像度を下げて、もう一度送信してください。

コード	分類	エラー内容	リダイアル有無	処置
N21	HDD エラー	HDD エラー	無	HDD がいっぱいです。 ・　不要なファイルを削除してください。 ・　送信枚数を減らしたり、読込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N22	変換エラー	変換エラー	無	主電源を OFF/ON した後、もう一度送信してください。
N25	メモリーオーバーフロー	メモリーオーバー	無	メモリーがいっぱいです。 ・　他の処理中のジョブがないことを確認してください。 ・　送信枚数を減らしたり、読込み解像度を下げて、もう一度送信してください。
N30	シーケンスエラー	LAN 切断中に上位から送信起動要求が来た	無	・　送信ジョブを削除し、主電源を OFF/ON してください。 ・　宛先に誤りがないか、ケーブル抜け等のネットワーク異常が発生していないかを確認し、もう一度送信してください。
N31	シーケンスエラー	SDK 初期化未完了で上位から送信起動要求が来た	無	しばらく待ってから、もう一度送信してください。

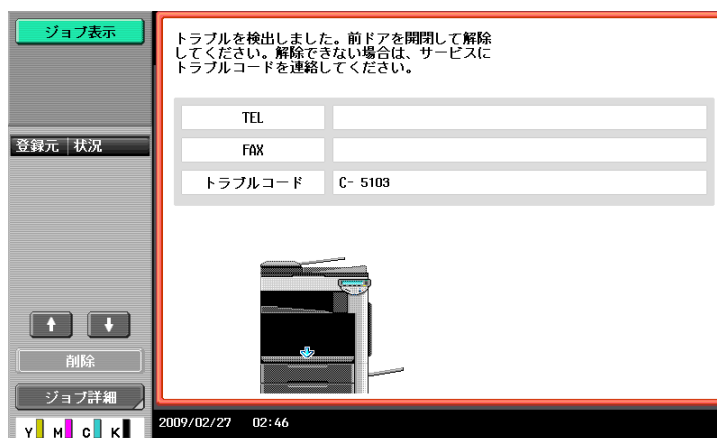
受信系エラーコード

コード	分類	エラー内容	処置
N50	SMTP 受信	SMTP 受信エラー	着信の呼接続後、60 分間 SMTP 受信が始まらない場合、本エラーとなります。 送信側に再送を依頼してください。
N51	デコード	受信長オーバー	送信側に、送信原稿長を短くして再送するよう依頼してください。
N52	デコード	受信頁オーバー	送信側に、送信原稿枚数を少なくして再送するよう依頼してください。
N53	デコード	ファイル・エラー	送信側に、以下の正しいファイル形式で再送するよう依頼してください。 インターネットファクス：TIFF IP アドレスファクス：PDF または TIFF
N54	デコード	デコード・エラー	不正な形式のデータを受信しました。送信側に正しい形式での再送を依頼してください。

13.4　［サービスに連絡してください］と表示されたら（サービスコール）

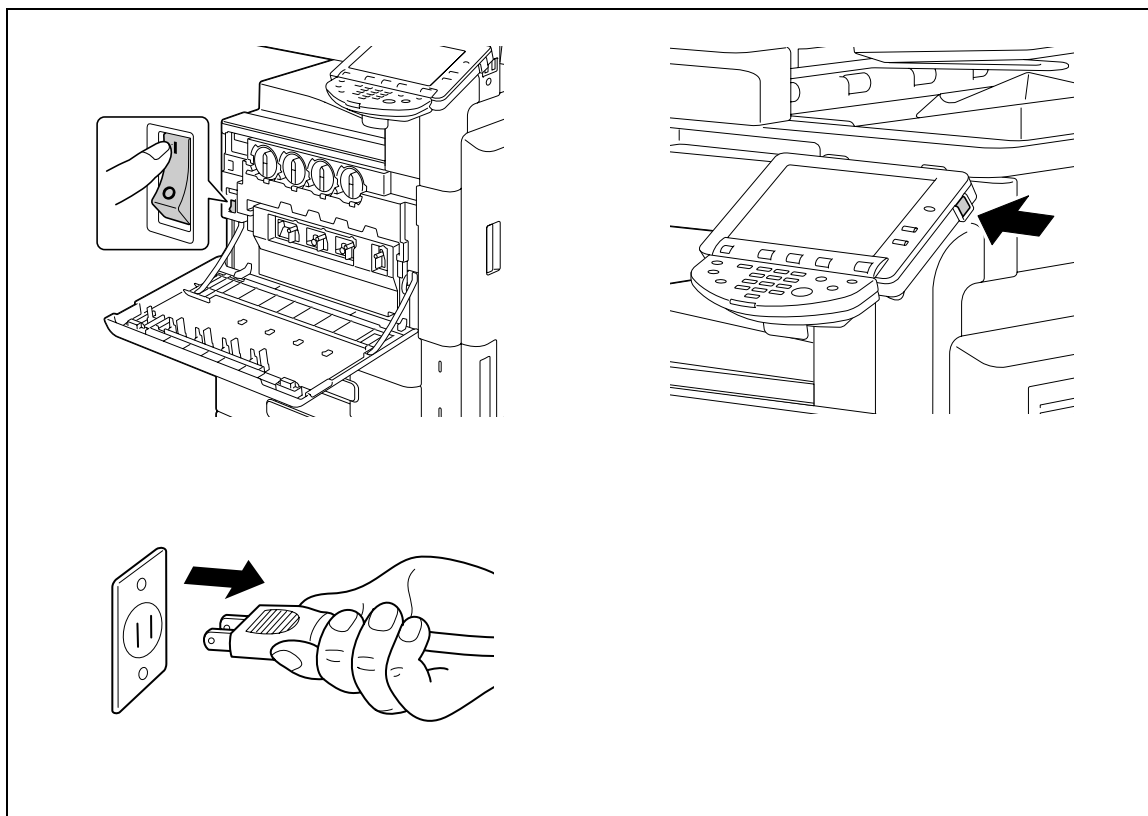
お客様では処置できないトラブルが起こったとき、［サービスに連絡してください］というメッセージが画面上に表示されます。（サービスコール画面）

サービスコール画面中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

ここでは、サービス実施店に電話でトラブルを知らせる手順を説明します。

⚠ **注意**

思わぬ事故になる恐れがありますので、サービスコール画面が表示され通信できなくなった場合は、次の処置をしてください。

- トラブルコード番号を書き留めます。
- **副電源スイッチ**、**主電源スイッチ**を OFF にします。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。
- サービス実施店に連絡し、トラブルコード番号をお知らせください。

---

14 付録

14 付録

14.1 製品仕様

14.1.1 スキャナー機能

項目	仕様
スキャン速度	70 枚 / 分（A4 時）
スキャン可能範囲	コピー機と同じ（最大 A3）
機能	E-mail 送信 ファイル送信（FTP） ファイル送信（SMB） ボックス保存 WebDAV Web サービス
スキャナー解像度	200/300/400/600dpi
読込可能な用紙サイズ	A3 ▭ ～ A5 ▭/▯、A6 ▭、B4 ▭ ～ B6 ▭ はがき（100 mm × 148 mm）▭/▯ 11 × 17 ▭、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭/▯、7-1/4 × 10-1/2 ▭/▯、5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯ 8 × 13 ▭ *1、16K ▭/▯、8K ▭ *1 Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2 ▭、220 mm × 330 mm ▭、8-1/2 × 13 ▭、8-1/4 × 13 ▭、8-1/8 × 13-1/4 ▭、8 × 13 ▭ の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービスエンジニアにおたずねください。
特殊機能	混載原稿、Z 折れ原稿、長尺原稿、原稿のとじしろ、枠消し、ブック連写、原稿セット方向、スタンプ / ページ印字

14.1.2 ファクス機能

項目	仕様
画像メモリー容量	2048 MB（標準）
蓄積枚数	10000 枚（A4 サイズ 700 文字程度の原稿を、解像度［精細］で蓄積した場合）
適応回線	加入電話回線（ファクス通信網を含む） PBX 回線
走査線密度	超高精細： 600 dpi × 600 dpi 高精細： 16 dot/mm × 15.4 line/mm、400 dpi × 400 dpi 精細： 8 dot/mm × 7.7 line/mm、200 dpi × 200 dpi 普通： 8 dot/mm × 3.85 line/mm 相手機の能力に応じて、上記のいずれかの走査線密度で通信されます。
伝送速度（G3）	2400/4800/7200/9600/12000/14400/16800/19200/21600/24000/26400/28800/31200/33600 bps
最大読み取りサイズ	原稿ガラス： 431.8 × 297 mm（A3 サイズ） ADF： 297 mm × 1000 mm（普通 / 精細 / 高精細） 297 mm × 432mm（超高精細 / 手動送信）
最大記録サイズ	420 × 297 mm（A3 サイズ） 1000 mm を超える原稿は受信できません。 セットされている用紙サイズより長い原稿を受信した場合は、ページ分割設定にしたがってプリントされます。

14.2　こんなときには

14.2.1　ファクス情報サービスを利用する

ファクス情報サービスを利用するときの基本的な操作を説明します。

参考

- 契約内容や詳しい操作方法については、ご利用になるファクス情報サービスの提供元にお問い合わせください。
- 必要に応じ、回線モニター音レベルを調整しておきます。回線モニター音レベルは、0 ～ 31 の範囲で調整できます（工場出荷時は 16 に設定されています）。ファクス情報サービスの音声ガイダンスを聞き取りやすくするため、大きめに設定しておくことをお薦めします。

ファクス情報サービスを利用するには

1 ファクス / スキャン画面の［オフフック］を押し、ファクス情報サービスの電話番号を指定します。

→ ダイアル（パルス）回線をお使いの場合は、パルスをトーンに切り替える必要があります。サービスコードを入力する前に、［トーン］または＊を押し、トーンを送出できる状態にしてください。

サービスに接続するとアナウンスが聞こえます。

2 サービスの案内に従って、必要なサービスコードを指定します。

3 ［受信］を押し、サービスの案内に従って［実行］または**スタート**を押します。

→ **スタート**を押した場合は、確認画面が表示されます。［はい］を押し、［OK］を押すと受信が開始されます。

→ ADF、または原稿ガラスに原稿がセットされている場合は、着信しても［受信］は反転表示しません。この場合は、［受信］を押して反転表示させてください。

受信が開始されます。

14.2.2　メモリーへの蓄積枚数について

本機には 250 GB のハードディスクが標準搭載されています。

ハードディスクには、各機能（コピー、プリント、スキャン、ボックス、ファクス）から保存 / 受信した原稿（A4 判 700 文字程度の当社標準原稿）を、10000 枚程度蓄積することができます（解像度［精細］で蓄積した場合）。

参考

- 原稿の読込み中に、メモリーがいっぱいになりオーバーフローすることがあります。この場合は、途中まで読込んだ原稿を送信するか、もう一度最初から送信するかを選択することができます。

14.2.3 コンピューターからスキャンの指示をする（Web サービス）

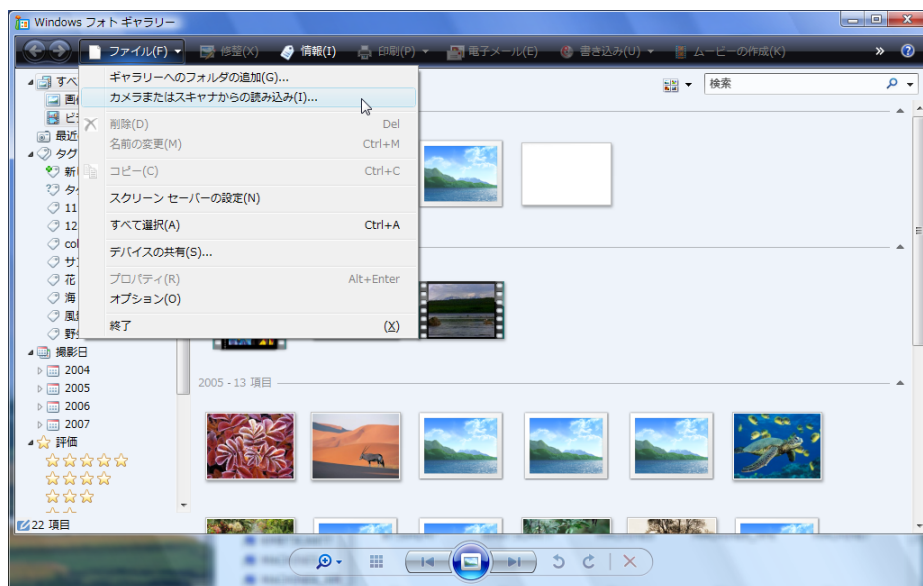
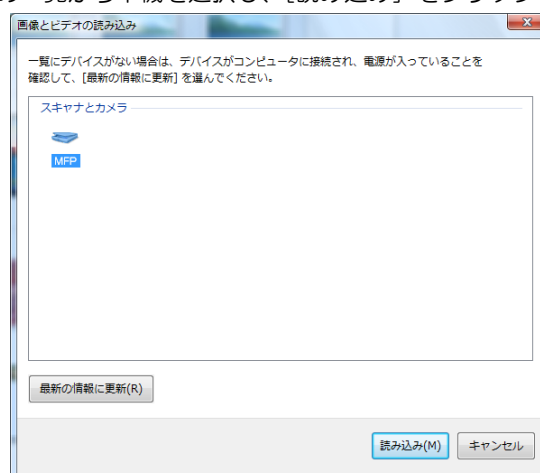
コンピューターからスキャンの指示を本機に行い、スキャンしたデータを受信できます。

ここでは、Windows フォトギャラリーからスキャンする手順を例に説明します。

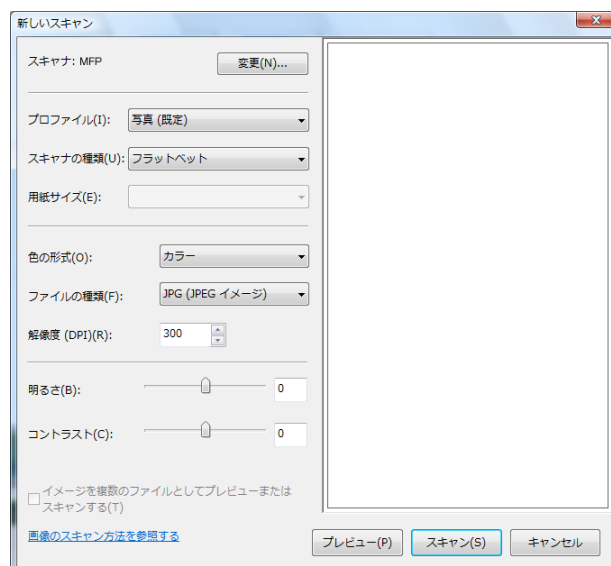
参考

- 事前に必要な設定については、4-6 ページをごらんください。
- 本機からスキャンを指示して、データを保存することもできます。詳しい手順は5-31 ページをごらんください。

コンピューターからスキャンの指示をするには

1. スキャンを行うことのできるアプリケーションソフトを起動します。
2. ［ファイル］メニューから［カメラまたはスキャナからの読み込み］を選択します。

3. ［スキャナとカメラ］の一覧から本機を選択し、［読み込み］をクリックします。

［新しいスキャン］ウィンドウが起動します。

4. 本機に原稿をセットします。

5　スキャンの内容を設定し、［スキャン］をクリックします。

6　［これらの画像をマーク］に保存するファイル名を入力し、［読み込み］をクリックします。
スキャンが行われ、画像の一覧にスキャンしたデータが追加されます。

14.3 スキャン用語集

	用語	説明
アルファベット	10Base-T/ 100Base-TX/ 1000Base-T	Ethernet の規格における仕様の一種。銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps、1000Base-T は 1000Mbps である。
	Active Directory	Microsoft が提供するネットワーク上に存在するサーバー、クライアント、プリンターなどのハードウェア資源や、それらを使用するユーザーの属性、アクセス権などの情報を一元管理することができるサービスのこと。
	Adobe® Flash®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザーに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
	anonymous FTP	通常は、アカウントとパスワードによって保護される FTP サイトを、アカウント名に anonymous（匿名）と入力することでパスワードが不要になり、誰でも利用できるようになる FTP サイトのこと。
	APOP	Authenticated Post Office Protocol の略。通常の POP が電子メールの受信に使われるパスワードを暗号化しないのに対して、パスワードを暗号化することで安全性が向上した認証方法のこと。
	AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
	Auto IP	自動で IP アドレスを取得する機能。DHCP による IP アドレス取得に失敗した場合、「169.254.0.0」のアドレス空間から任意の IP アドレスを取得する。
	bit	Binary Digit の略。コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
	BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
	Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う、Macintosh のネットワーク技術。以前は Rendezvous と呼ばれていたが、Mac OS X v10.4 から Bonjour と名称変更された。
	Byte	コンピューターやプリンターなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte = 8bit で構成される。
	CSV	Comma Separated Values の略。データベースソフトや表計算ソフトのデータをテキストファイルとして保存する形式の 1 つ（拡張子は .csv）。データをカンマ（区切り符号）で仕切ることで、異なるアプリケーション間でのデータの共有を図ることができる。
	Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピューターへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピューターやルータなどの機器のこと。
	DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバーからネットワークに関する設定を自動的に読みこむプロトコル。DHCP サーバーで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。

用語	説明
DNS	Domain Name System の略。ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のコンピューターにアクセスできるようになる。
DPI（dpi）	Dots Per Inch の略。プリンターやスキャナーなどで使われる解像度の単位。1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
Dynamic 認証（LDAP 設定）	MFP から LDAP サーバーに接続する際の、認証方法オプションのひとつ。宛先情報を LDAP サーバーから参照するときに、LDAP サーバーへのログイン名とパスワードをユーザーに毎回入力させたい場合、このオプションを選択する。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
GSS-SPNEGO/Simple/Digest MD5	LDAP サーバーへのログオン時の認証形式。LDAP サーバーは使用するサーバーやサーバーの設定により認証形式が異なり、GSS-SPENEGO/Simple/Digest MD5 という認証形式がある。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバーとクライアント（Web ブラウザーなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
ICM	Image Color Management の略。Windows で使用されているカラーマネジメントシステムのこと。ディスプレイ・スキャナー・プリンターなどの入出力デバイスによる色の違いを調節し、どのデバイスでも同じ色に近づけるよう再現する。
IMAP	Internet Message Access Protocol の略。サーバー上のメールボックスの管理機能を持つ電子メール受信用のプロトコルのこと。現在は IMAP のバージョン 4 である IMAP4 が主に使われている。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンターにデータを送って印刷することもできる。
IPsec	TCP/IP で使用されているセキュリティー技術の名称。送信するパケットの暗号化や認証に関するプロトコルを決めることによって、セキュリティーを強化したサービス提供が可能となる。
IPv6	Internet Protocol version 6 の略。インターネットを使用する機器の増加に伴い、現在使用されている IPv4 に代わるものとして準備が進められてきたプロトコルの名称。IP アドレスの 128 ビット化、セキュリティー機能の追加などが追加されている。
IPX	NetWare で利用されるプロトコルのひとつ。OSI 参照モデルのネットワーク層で動作する。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピューターを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割り振られる。
Java	Sun Microsystems 社が開発したプログラミング言語。ハードウェアや OS に依存せずに動作する。ただし、Java アプリケーションを動作させるためには、JavaVirtual Machine（Java VM）と呼ばれる動作環境が必要である。

用語	説明
Kerberos	Windows2000 以降で使用されているネットワーク認証システムの一つ。Active Directory の認証に使用される。ネットワーク内に信頼できるサイトを配置し、このサイトでユーザーのログオンと各種ネットワーク・リソース利用という 2 段階のフェーズで認証を行うことにより、ユーザーを安全かつ効率的に認証することができる。
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピューター同士を接続したネットワークのこと。
LPD	Line Printer Daemon の略。TCP/IP 上で動作する、プラットフォームに依存しない印刷プロトコル。もともと BSD UNIX 用に開発されたが、一般のコンピューターでも使用されるようになり、今では標準的な印刷プロトコルとなっている。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンターに出力させることができる。
LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割り当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割り当てる番号である。
MH	Modified Huffman の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、10 分の 1 程度に圧縮される。
MIB	Management Information Base の略。TCP/IP 通信において、SNMP を用いて収集されるネットワーク機器の管理情報フォーマットを定義したもの。メーカー独自のプライベート MIB と、標準化されたスタンダード MIB の 2 種がある。
MMR	Modified Modified Read の略。ファクス用のデータ圧縮符号方式の 1 つ。文字を中心とした原稿の場合、20 分の 1 程度に圧縮される。
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピューター名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
NTLM	NT LAN Manager の略。Windows NT 以降で共通して使用されるユーザー認証方式。MD4 または MD5 という暗号方法でパスワードを暗号化する。
NTP	Network Time Protocol の略。コンピューターの内部時計を、ネットワークを介して正しく調整するプロトコルのこと。階層構造を持ち、最上位のサーバーが GPS 等を利用して正しい時刻を得、下位のホストはそれを参照する事で時刻を合わせる。
OCR	Optical Character Reader の略。手書き文字や印字された文字を光学的に読み取り、前もって記憶されたパターンとの照合によって文字を特定し、文字データに変換する装置またはソフトウェアのこと。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピューターのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。

用語	説明
PASV	PASsiVe の略。ファイアウォール内部から FTP サーバーに接続するモード。このモードに設定していないとファイアウォールが不正アクセスと見なし、接続を遮断してしまうため、ファイル転送をすることができなくなる。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
POP	Post Office Protocol の略。メールサーバーから電子メール受信を行うためのプロトコルのこと。現在は POP のバージョン 3 である POP3 が主に使われている。
POP Before SMTP	電子メールを送信する際の、ユーザー認証方法のひとつ。まず受信動作を行い、POP サーバーにてユーザー認証を行う。その後、POP サーバーにユーザー認証を通過した IP アドレスに対して、SMTP サーバーの利用を許可する。メールサーバーの利用権のない第三者が、不正にメールを送信するのを防ぐ。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティーを確保するために設置されるサーバーのこと。
Raw ポート番号	Windows 等の TCP 印刷で Raw プロトコルを選択した場合に使う TCP ポート番号のこと。通常の番号は 9100。
realm（IPP 設定）	セキュリティー機能を実現するための領域。ユーザー名とパスワードなどの認証情報を組織化し、領域内のセキュリティー原則を定義する。
referral 設定（LDAP 設定）	宛先を検索した LDAP サーバーに該当するデータが無かった場合、次にどの LDAP サーバーを検索するべきか、LDAP サーバーが指示を行う。この指示された LDAP サーバーを、MFP が検索するかどうかの設定。
Samba	SMB（Server Message Block）を利用して、UNIX システムの資源を Windows 環境から利用できるようにする、UNIX のサーバーソフトウェア。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスや、クライアントの自動検索を行う。
S/MIME	Secure/Multipurpose Internet Mail Extensions の略。MIME（E-mail の操作）に暗号化や電子署名などの機能を追加するプロトコル。 暗号化には、暗号化と復号化で異なる鍵を使う公開鍵方式が利用されている。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンター共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。電子メールを送信 / 転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。
SSL/TLS	Secure Socket Layer/Transport Layer Security の略。Web サーバーとブラウザー間で安全にデータ通信するための暗号化方式のこと。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TCP Socket	TCP/IP において利用するネットワーク用 API のことを指す。このソケットを使って通信路を開いて、通常のファイル入出力を行う。
TIFF	Tagged Image File Format の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .tif）。データの型を表す「タグ」によって、1 つの画像データの中にさまざまな種類の画像形式の情報を保存できる。

	用語	説明
	TWAIN	スキャナーやデジタルカメラなどの画像入力機器と、グラフィックソフトなどのアプリケーションとの間のインターフェースに関する規格のこと。TWAIN 対応機器を使用するためには、TWAIN ドライバが必要である。
	USB	Universal Serial Bus の略。コンピューターとマウスやプリンター等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
	WINS	Windows Internet Name Service の略。Windows 環境で、コンピューター名と IP アドレス変換を行うネームサーバーを呼び出すためのサービス。
	Zone	AppleTalk ネットワークに付ける名前。AppleTalk ネットワーク上の複数の機器をグループ分けするために使用する。
あ行	アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
	イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
	インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタードライバー等を、コンピューターのシステムに組み込むこと。
	ウェブブラウザー	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
か行	画素	画像を構成する最小単位のこと。
	解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
	階調	画像の濃淡の段階のこと。数が大きいほど、滑らかな濃度変化を再現できる。
	拡張子	ファイルの保存形式を見分けるために、ファイル名につけられる文字列のこと。ピリオドに続けて表記される。「.bmp」や「.jpg」など。
	クライアント	ネットワークを介して、サーバーが提供するサービスを利用する側のコンピューターのこと。
	グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
	ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
	コントラスト	画像の明るい部分と暗い部分の差（明暗の差）のこと。明暗の差が少ない画像を「コントラストが低い画像」、明暗の差が大きい画像を「コントラストが高い画像」という。
	コンパクト PDF	カラー文書をデータ化する際に、PDF 形式を利用して容量を小さく抑える圧縮技術。 文字領域とイメージ領域を認識し、それぞれの領域に最適な圧縮方法、解像度を適用することで、高い圧縮性能を実現する。 本機では、スキャン機能により文書をデータ化する際に、コンパクト PDF を選択することができる。
さ行	サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
	サムネイル	画像ファイルや文書ファイルの内容（ファイルを開いたときのイメージ）を小さく表示する機能のこと。
	シングルページ TIFF	1 つのファイルが 1 ページだけの TIFF ファイルのこと。
	線数	画像を形成する網点が、どれだけの密度で使われるかを示した数のこと。

	用語	説明
	走査（scan）	スキャナーの読み取り動作で、一列に並んだイメージセンサを少しずつ移動させながら画像を読み取っていくこと。イメージセンサを移動させる方向を主走査方向といい、イメージセンサが一列に並んでいる方向を副走査方向という。
た行	デフォルト	初期設定値のこと。電源ボタンをオンにしたときに、あらかじめ選択されている設定。または、ある機能をオンにしたときにあらかじめ選択されている設定。
	ドライバ	コンピューターと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
な行	濃度	画像の濃さを表す量のこと。
は行	ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。電源を OFF しても、データが保持される。
	ハーフトーン	画像の各部分の濃淡を、黒または白の点の大小で表現する方法のこと。
	ピア・ツー・ピア	専用のサーバーを使うことなく、接続された機器同士が、相互に通信可能なネットワーク形態のこと。
	ピクセル	画素のこと。画像を構成する最小単位。
	プリンタードライバー	コンピューターとプリンターの橋渡しをするソフトウェアのこと。
	プレビュー	印刷 / スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
	プロトコル	コンピューターが他のコンピューターや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
	プロパティ	属性情報のこと。プリンタードライバーを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
	ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
	ポート番号	ネットワーク上のコンピューター内で動いている複数の処理のそれぞれの通信口を識別する番号のこと。同一のポートを複数の処理で使用することはできない。
ま行	メモリー	データを一時保存するための記憶装置のこと。電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。

14.4 インターネットファクス用語集

インターネットファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	DSN	DSN = Delivery Status Notifications の略。受信側のメールサーバーに電子メールが到着した時に送信側に送られる配送状態通知メッセージのことです。
	MDN	MDN = Message Disposition Notifications の略。 送信側が開封確認を要求している場合に送られる開封確認メッセージのことです。
	POP3	Post Office Protocol - Version 3 の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。メールボックスの認証、電子メールのダウンロードや一覧情報の確認、電子メールの削除などの機能をもちます。
	SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。 電子メールの送受信で、一般的に使われている通信プロトコル（通信の約束ごと）のひとつです。
あ行	インターネットファクス	イントラネット（企業内ネットワーク）やインターネットを経由し、読込んだ原稿をインターネットファクスやコンピューターとのあいだで電子メールの添付文書（TIFF 形式）として送受信する通信形態のことです。

14.5 ファクス用語集

ファクス通信で一般に使われる用語について説明します。

本機で搭載されていない機能の用語についても説明されている場合があります。

	用語	説明
アルファベット	bps	bit per second の略です。 データ伝送の単位で、1 秒間に送るデータ量を表します。
	ECM	(Error Correction Mode:誤り訂正方式) G3 通信の誤り再送方式です。相手に正しくデータが送られたかどうかを確認し、正しく送られていない場合はそのデータを再送しながら通信します。相手側が ECM モードをもっていれば、本機では ECM オフを指定しない限り、ECM で通信されます。
	F コード	ITU-T(国際電気通信連合)で標準化された T.30 *のサブアドレスの使い方について、CIAJ(情報通信ネットワーク産業協会)が定めた通信手順のことです。F コード機能をもつファクス間の通信では、メーカーが異なる場合も、F コードを使用したいろいろな機能を利用することができます。本機では、掲示板、中継依頼、親展通信、パスワード送信で F コードを使っています。(*通信の規格のことです)
	G3	ITU-T(国際電気通信連合)が標準化したファクスの通信モードのひとつです。通信モードには、G3、G4 があります。G3 は、現在最も多く使われているモードです。
	LDAP	Lightweight Directory Access Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークで、ネットワークを利用するユーザーのメールアドレスや、環境に関する情報を管理できるデータベースにアクセスするためのプロトコルのこと。
	PB	プッシュ式回線のことです。
	PC-FAX	紙を使用せずに、コンピューターから直接ファクス送信できる機能のことです。
	Super G3 (SG3)	ITU-T V.34 に準拠した G3 通信のモードです。通常の G3 通信より高速(最高 33,600bps)で通信することができます。
	TSI	Transmitting Subscriber Identification の略で、送信(発信)ファクス端末の ID のことです。
	V34	スーパー G3 のファクス通信時に使われる通信方式のことです。相手機又は自社機が内線交換機経由で回線に接続されているなどの場合、回線の状況によっては、スーパー G3 モードで通信できない場合があります。このような場合は、V34 OFF を選択することによって、スーパー G3 モードをオフにして送信することをおすすめします。
	Z 折れ原稿	折り目がついているために原稿サイズを正しく検知できない原稿の場合に、いったん原稿サイズを確定してから原稿を読込み送信する機能のことです。この機能は、原稿を ADF で読込む場合にだけ使用できます。
あ行	宛先確認送信	送信時に、指定したファクス番号と相手機のファクス番号情報(CSI)を比較して、一致した場合のみ送信する機能のことです。不一致の場合は通信エラーとなるため、誤送信を防止することができます。相手機に送信元のファクス番号が正しく登録されている必要があります。
	宛先レベル	情報のセキュリティーのため、特定の宛先情報を特定の人にだけ閲覧できるように設定する機能のことです。ユーザー認証と連動して使用し、設定したユーザーレベルと一致した宛先レベルの情報だけを閲覧できます。
	一括送信	宛先、送信時刻、メモリー送信や解像度などの送信条件が同じ文書がメモリーに蓄積されると、指定した時刻にひとつの文書として自動的に送信されることです。

	用語	説明
か行	海外通信	国外の相手と通信をすることです。海外通信モードに設定すると、ゆっくりとしたスピードで通信します。国内でも、通信状態の悪いところへ通信するときは、海外通信モードに設定しておくと、確実に通信することができます。
	解像度	原稿を読み取る細かさのことです。解像度の数値が大きいほど、画質は細かくなり、送信にかかる時間（電送時間）が長くかかります。必要に応じた解像度を選択してください。
	加入回線	日本電信電話株式会社（NTT）グループが提供している公衆電話回線のことです。
	強制メモリー受信	受信した文書をメモリーに蓄積し、必要に応じてプリントする機能のことです。
	クイックメモリー送信	原稿を 1 ページ読み取ると同時にファクス送信を始める方法のことです。原稿の枚数が多い場合にもメモリーオーバーすることなく送信する機能のことです。
	グループ	複数の短縮番号をグループ化しておくことです。同じ宛先に順次同報送信や順次ポーリング受信をすることが多い場合に便利です。
	掲示板	閲覧したい文書を掲示したり、ポーリング送信したい文書を蓄積しておく機能のことです。
	原稿のとじしろ	ADF を使って両面原稿を送信する場合に原稿のとじ位置を設定する機能です。両面原稿のとじ位置には、原稿の上側（または下側）にとじ位置がある上下とじと、原稿の左（または右側）にとじ位置がある左右とじがあり、原稿の裏面の上下関係が異なります。
	原稿枚数	原稿の総ページ数を付けて送信することで、クイックメモリー送信の場合に使います。原稿が正しく届いたかを確認するのに便利です（メモリー送信の場合は、自動的に総ページ数が付けられます）。
	混載原稿	サイズの異なる原稿をセットし、それぞれの原稿サイズを検知して送信する機能のことです。
さ行	再送信	メモリーに保存されている送信できなかった文書を選択して、同じ宛先か、または宛先を変更してもう一度送信する機能のことです。
	下地調整	原稿の背景色の濃さを調整して送信する機能のことです。
	シャープネス	文字のエッジを強調して送信する機能のことです。
	主走査	原稿を読み取るときの横方向のことです。
	手動送信	相手側の状態を確認しながら送信する場合の操作です。
	初期値	工場出荷時に、あらかじめ設定されている値のことをいいます。初期値のいくつかは、設定メニューで変更することができます。お使いの状況に合わせ、よく使う値を初期値に設定しておくと便利です。
	親展通信	特定の人にだけ見せたい原稿を送受信する機能です。親展送信した原稿は、受信側の親展ボックスに蓄積され、受信時には印刷されません。親展ボックスの暗証番号を入力するなどの操作をすると、受信した文書が印刷されます。
	送信予約	送信中やプリント中に、次の送信を予約する機能のことです。
た行	ダイアルイン	ファクス用の電話番号と、電話用の電話番号を別にもつことができる機能のことです。 ダイアルイン機能を使用するためには、NTT にダイアルイン機能（モデムダイアルイン）の申し込みが必要です。
	ダイアル方式	PB（プッシュ式回線）、10PPS（ダイアル式回線 /10PPS）、20PPS（ダイアル式回線 /20PPS）の 3 種類があります。
	代行転送	操作パネルの設定確認ボタンを使い、出力待ちの受信原稿を手動で転送する機能のことです。代行転送は、ファクス / スキャン画面が表示されているとき、紙なし、または紙づまりで動作が中断しているときに設定します。

	用語	説明
	タイマー通信	指定した時刻に通信する機能のことです。深夜や早朝などの電話料金割引時間を利用して通信すると経済的です。
	短縮宛先	頻繁に送信する宛先のファクス番号を登録しておく機能のひとつです。短縮宛先を登録するときに、宛先名と検索文字を登録しておくと、短縮選択の検索文字を利用して宛先を指定することもできます。
	着信	ファクスに電話がかかってきた状態をさします。
	着信拒否宛先	着信拒否したい相手の電話番号をあらかじめ登録し、迷惑ファクスを受信しないようにする機能のことです。登録されている電話番号と着信電話番号が一致した場合、［着信拒否］とメッセージを表示し受信されません。
	中継指示局	中継同報の指示をするファクスのことです。
	中継同報	他のファクス（中継配信局と呼びます）を経由して、同報送信をする機能のことです。同報先が遠隔地に複数ある場合、同報先のひとつを中継局に設定し、中継局から同報送信をすることで、全体の通信料金を削減することができます。
	中継配信局	中継指示局からの中継依頼を受けて、中継配信先に送信するファクスのことです。
	長尺原稿	A3 サイズ（420 mm）より長い、長尺サイズの原稿を送信する機能のことです。長い原稿を送信したい場合は、長尺原稿を指定することにより送信することができます。
	電送時間	ファクスを送る時間のことです。解像度が高く、用紙サイズが大きいほど、電送時間が長くかかります。
	伝送速度	ファクスではモデムの伝送速度のことをいいます。 本機では、33,600bps などの高速な伝送速度で通信できます。海外通信モードに設定しておくと、7200bps や 4800bps のノイズに強い伝送速度で通信します。
	同報	ひとつの原稿を 1 回の操作で複数の相手に送信することです。
は行	パスワード送信	パスワードをつけて送信する機能のことです。相手機が閉域受信を設定している場合、送信側からは閉域受信パスワードと同じパスワードを送る必要があります。
	発信	電話をかけることをさします。ファクスでは、原稿を送信したり、ポーリングをするためにダイアルすることです。
	発信元記録	ファクス送信をしたときに、受信側の記録紙の先端に印刷される、送信日時、名前、電話番号、ページ番号などのことです。
	発信元名	漢字、英数カナで表す自局の名称のことです。受信側で、送信原稿の先端に発信元印字の一部として記録されます。
	ファクス ID	ファクス通信をするときに、お互いを確認するための識別コードのことです。通常は、ファクスの電話番号を登録します。
	副走査	原稿を読み取るときの縦方向のことです。
	ブック連写	本やカタログなどをファクス送信する場合に、表カバー、裏カバー、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとして送信できる機能のことです。
	プログラム宛先	頻繁に送受信する宛先のファクス番号や、定型で使う送信の操作手順などを登録しておく機能のことです。**プログラム**を押すだけで、宛先を指定したり、自動的に機能を設定して通信することができます。
	閉域受信	パスワードが一致する相手機からの通信のみを受け付ける機能のことです。
	ポーズ	間隔をあけてダイアルすることです。本機ではポーズを 1 回押すと、1 秒の間隔をあけることができます。
	ポーリング	相手側にセットされているか、またはメモリーに蓄積されている原稿を、受信側からの操作で送信させる機能です。

	用語	説明
ま行	メモリー	データをいったん蓄積しておく場所です。通信の指示をするときや、代行文書を蓄積するときに使われます。
	メモリーオーバーフロー	読込んだ原稿や代行文書を蓄積しているときに、ファクス画像メモリーが一杯になった状態をいいます。
	メモリー送信	原稿を読み取り、メモリーに蓄積してからファクス送信を始める方法のことです。メモリー送信を使用すると、発信元記録のページ数に自動的に総ページ数が付けられ、送信結果レポートに送信文書の 1 ページ目の画像が記載されます。ただし、原稿のページ数が多い場合や、原稿の画質が細密なために情報量が多い場合はメモリーオーバーすることがあります。
	メモリー代行受信	用紙切れなどで、受信文書をプリントできない状態のとき、自動的に受信文書をメモリーに蓄積する機能です。用紙補給などの処置をすると、代行蓄積文書が印刷されます。
や行	読込み	原稿を光学的に走査して、画像データに変換して取り込むことです。
	読込みサイズ	原稿を読込むサイズを指定して送信する機能のことです。受信側の用紙幅が送信原稿より小さい場合、通常は縮小して記録されます。縮小したくない場合に、原稿サイズを受信側の用紙サイズに指定すると、原寸で送信することができます。
ら行	リダイアル	相手機が、話中のときなどに、時間をあけて再びダイアルをすることです。手動でリダイアルする方法と、自動的にリダイアルされる自動リダイアルがあります。
	リモート受信	外部電話からリモート受信番号を使って受信の指示をする機能のことです。
わ行	枠消し	ADF を開いたまま原稿を読み取ったり、冊子になっている原稿を読込むときなどに、上下左右に写る黒い影を消して送信する機能のことです。

15 索引

15 索引

15.1 項目別索引

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

15.2 キー索引

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）